

YAPOO, THE HUMAN CATTLE
Egawa Tatsuya x Nema Shozo

家畜ヤプー

かちくじん

BIRZ
COMICS

家畜人ヤプー

Egawa Tatsuya x Nema Shozo

作画 江川達也
原作 沼正三

発行 幻冬舎
コミックス



9784344807044

ISBN4-344-80704-9

C9979 ¥590E



1929979005900

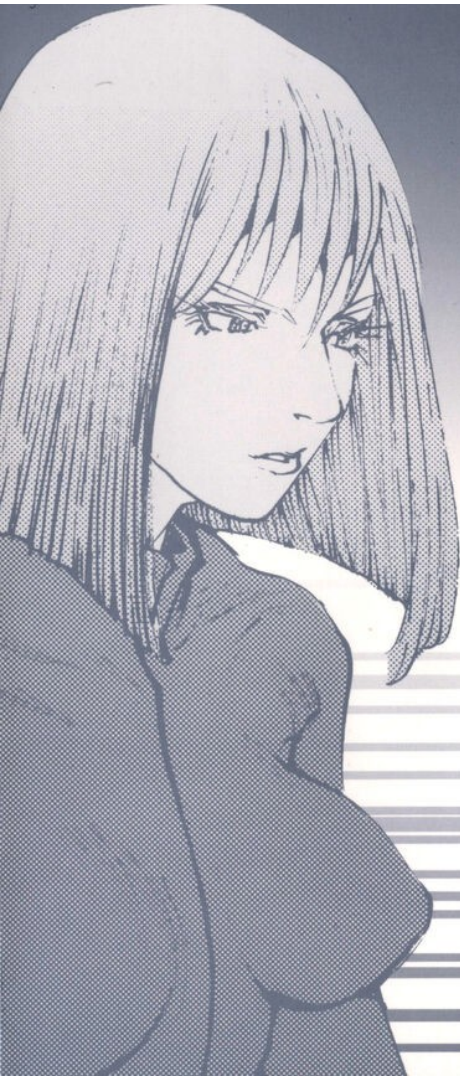
雑誌 54244-68
定価: 本体590円+税
発行=幻冬舎コミックス
発売=幻冬舎

YAPOO

作画 江川達也
原作 沼正三

BIRZ
COMICS

ヴァス・ヴァイルド・アオス・イーム
彼は何になるだろうか？



YAPOO, THE HUMAN CATTLE

BIRZ COMICS

家畜人ヤプー

原作 江正世

発行 幻冬舎コミックス

YAP



命をかけた挑戦

戦後最大の奇蹟の書

肉便器たる誇り

セブンティーンを生むのだ

作画 **江川達也**

原作 **沼正三**

江川達也
沼正三
新冬合
コミックス

サア、奴を何に使おうか。何を作ろうか。

本東帝国イース到着後、引き離された20世紀の婚約者・麟一郎とクララ。
家畜として皮膚強化処置をはじめとした手術を受けながらも、一心にクララを
戻して待つ麟一郎。一方、クララは貴族としてイース文明への理解を急速に深
めてゆく。いよいよ再会を果たす二人だけ……。

家畜人ヤプー

好評連載中の
月刊コミックバースは 毎月30日発売!!

YAPOO, THE HUMAN GATHE
Egawa Takuya x Numa Shozo

家畜

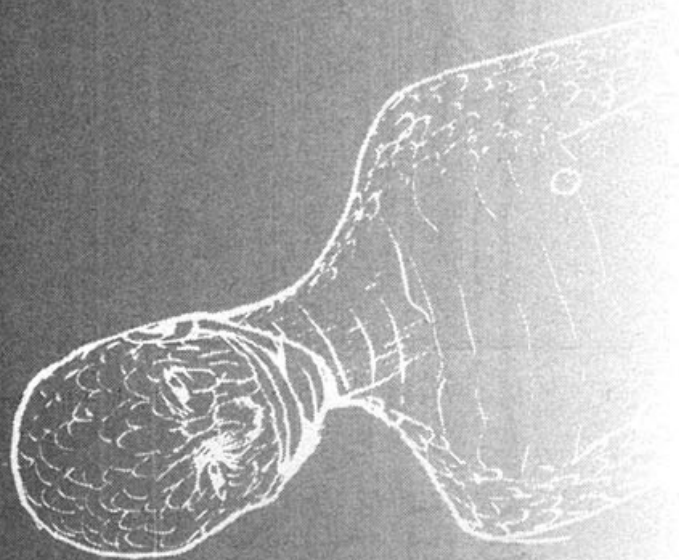
からく
じん

ヤ
P
O
O

七

作画
原作

江川達也
沼正三



YAPOO, THE HUMAN CATTLE 7 CONTENTS

第十二章 水晶宮の上階と地階で

第四話 ————— 5

第五話 ————— 41

第六話 ————— 77

第七話 ————— 113

第八話 ————— 149

第十三章 美女と野獣

第一話 ————— 174

福の神を象かたどった
七匹の矮人ピグミーが
集められているん
ですよ……



第十二章

水晶宮の上階と地階で

— 第四話 —



幌掛舟が
原始的な
ロケット式
宇宙船に
なっただけで

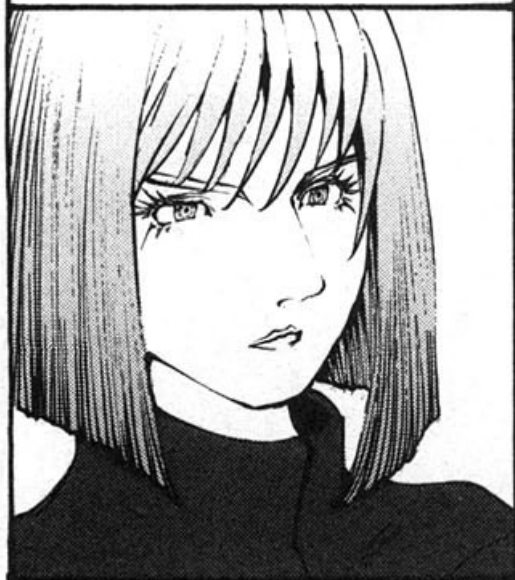
七福神しちふくじんの
個々一人一人は
同じであつた



もつとも
七福神
そのものを
知らない
クララには



ただ
モード
服装はやはり
新しいものに
変っていたし

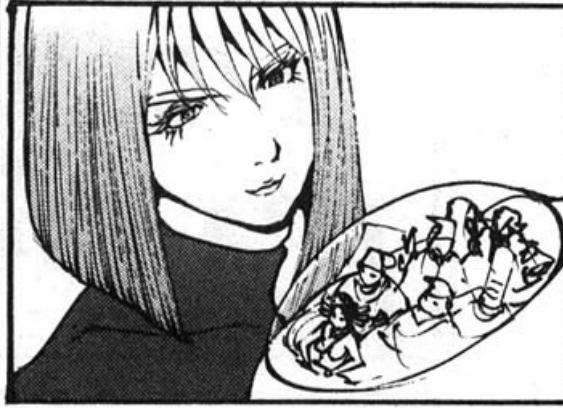


イース世界の
女権制を
反映している



船長が
弁財天べんてんなものも

その変化は
心に留らない



ほんとうに
おもしろい
コレクション
収集品ね



ただ
上蓋うわぶたをはずして
中の七矮人の
長頭ほていぼらや布袋腹の
奇形を
珍しがるだけだ



じゃ
さっそく
飾らせるわ



従者に命じて
彼女は
奥の寝室の
寝台の枕元にある
台上に飾らせた



お前たち
しばらく
はずしておくれ

ホルモン
精気パイプを
くゆらせつつ

ウイリアムは
F1号
M9号
の二人とも
廊下に出した



下郎は
口さがないもの

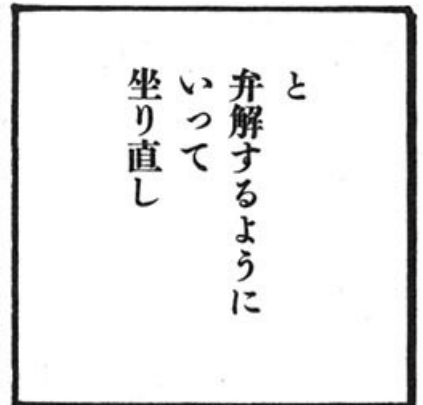
御用があれば
僕におっしゃって
下さい

余計なことを聞かれて
後で舌を抜かせなきや
ならんのも
面倒ですからね





と
ころで
クララ



と
弁解するよう
に
いって
坐り直し



あなた
貴女は
イースの人じゃ
ないんでしょ
う？



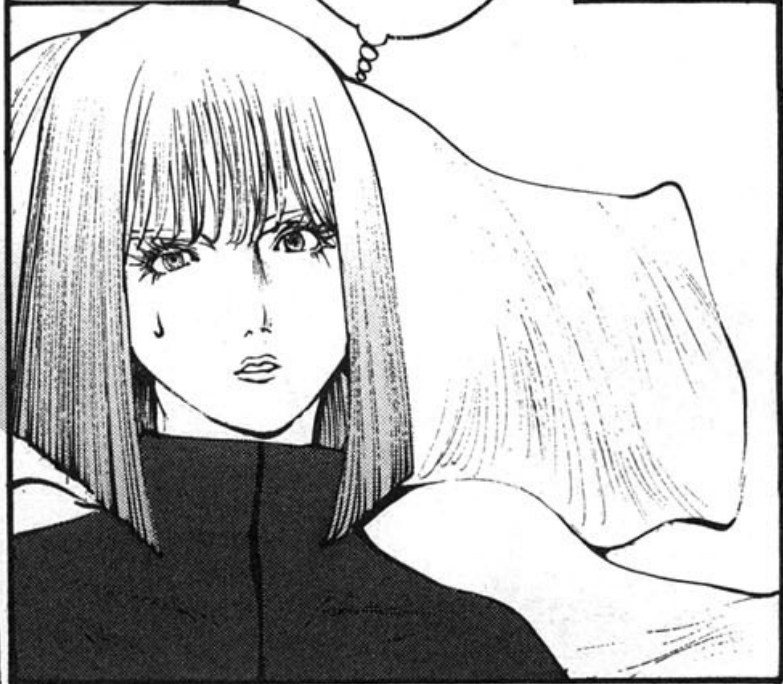
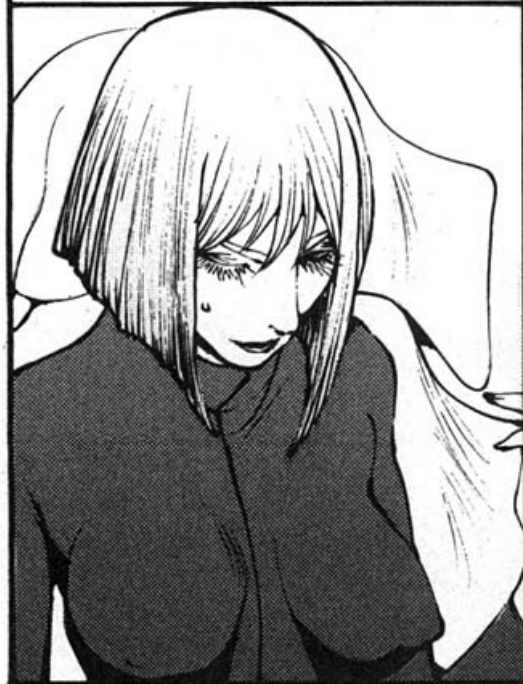
ズバリと
いった

もうこれ以上
嘘^{うそ}をいっても
ボロを出す
だけと
観念して

としたが




クララは






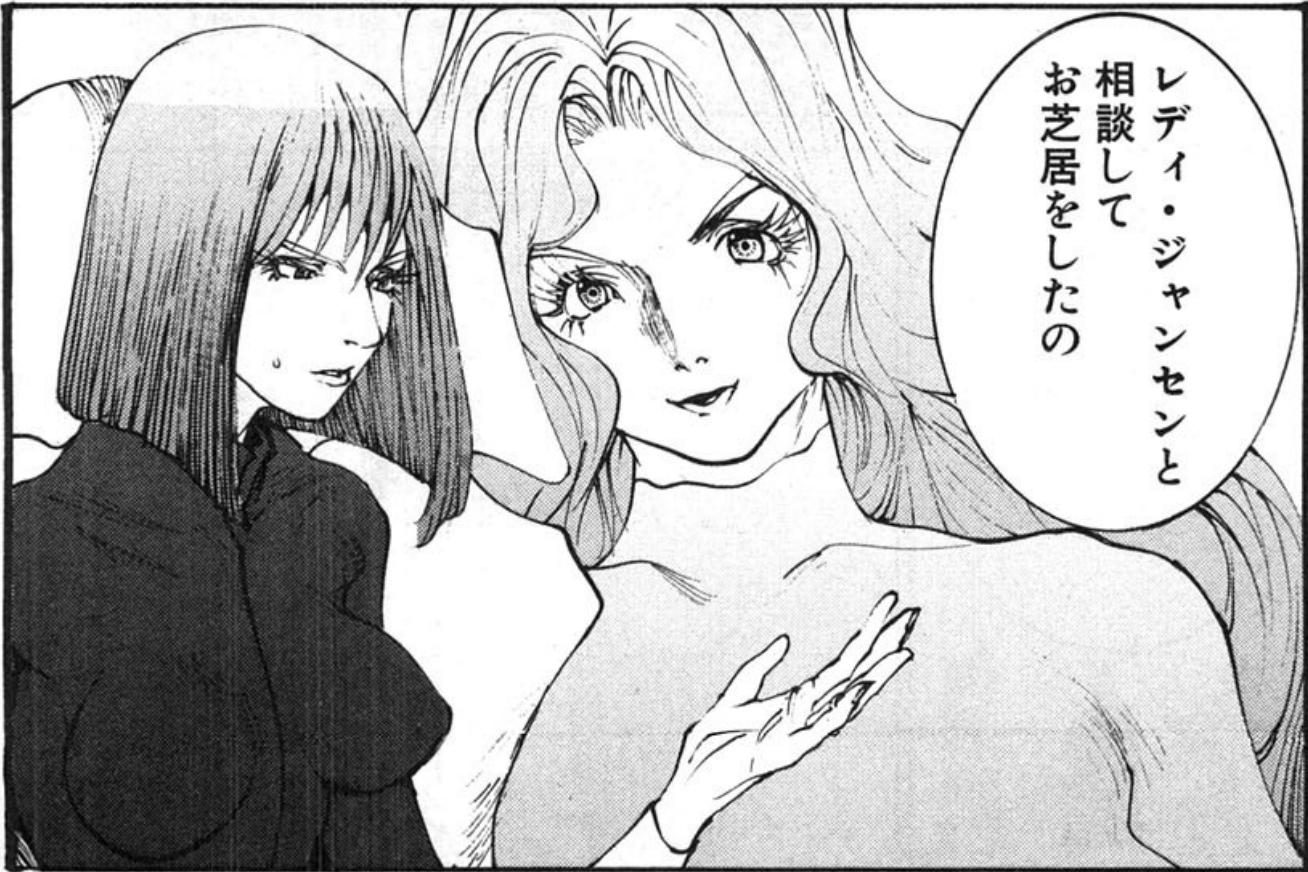
そのとおりよ



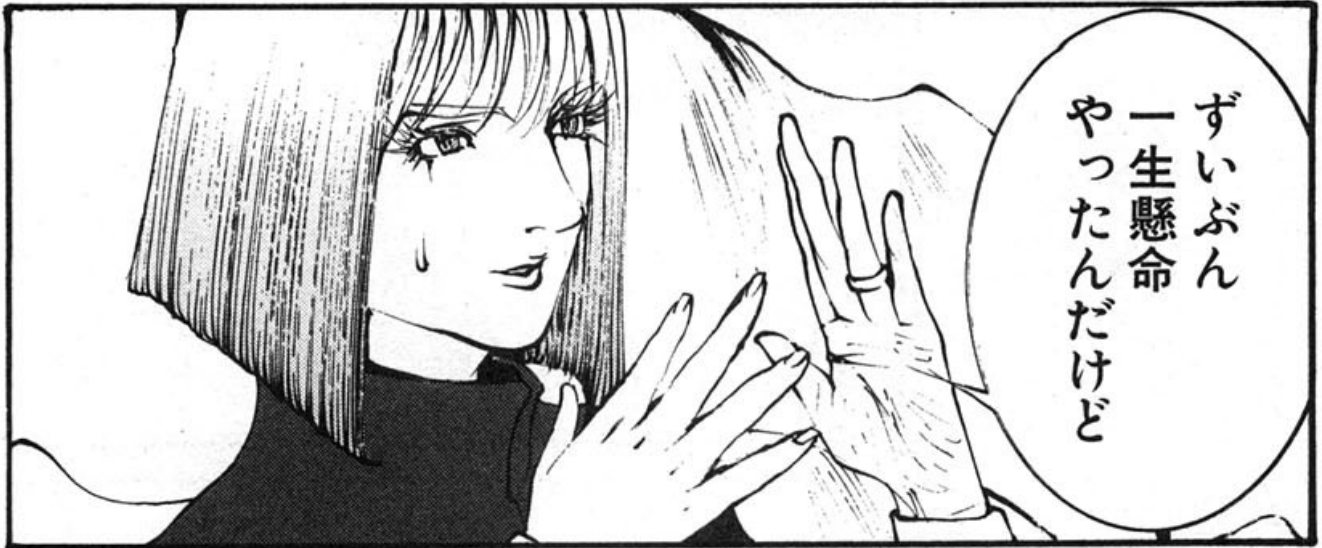
それがわかったら
「氷河号」に乗せて
もらえないからって



妾^{あたし}は
二〇世紀球面の
人間なの



レディ・ジャンセンと
相談して
お芝居をしたの



ずいぶん
一生懸命
やっただけど



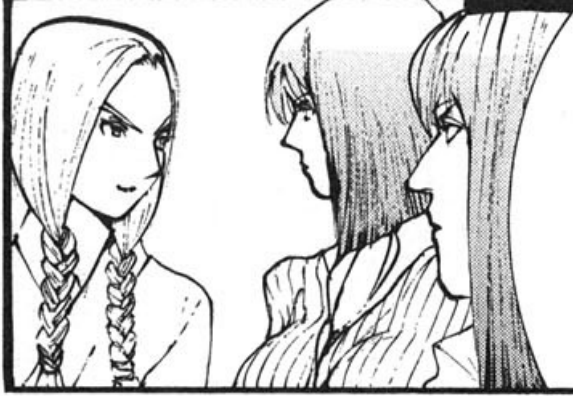
やっぱり
わかったかしら
……



僕が
変だなと
思ったのは

決闘前の
審判の訓辞を

あなた
貴女が
セシルに訳して
もらったとき
ですよ



ヤブリン
家畜語の知識は
記憶喪失と
いうだけじゃ
なくなるはずが
ないんです



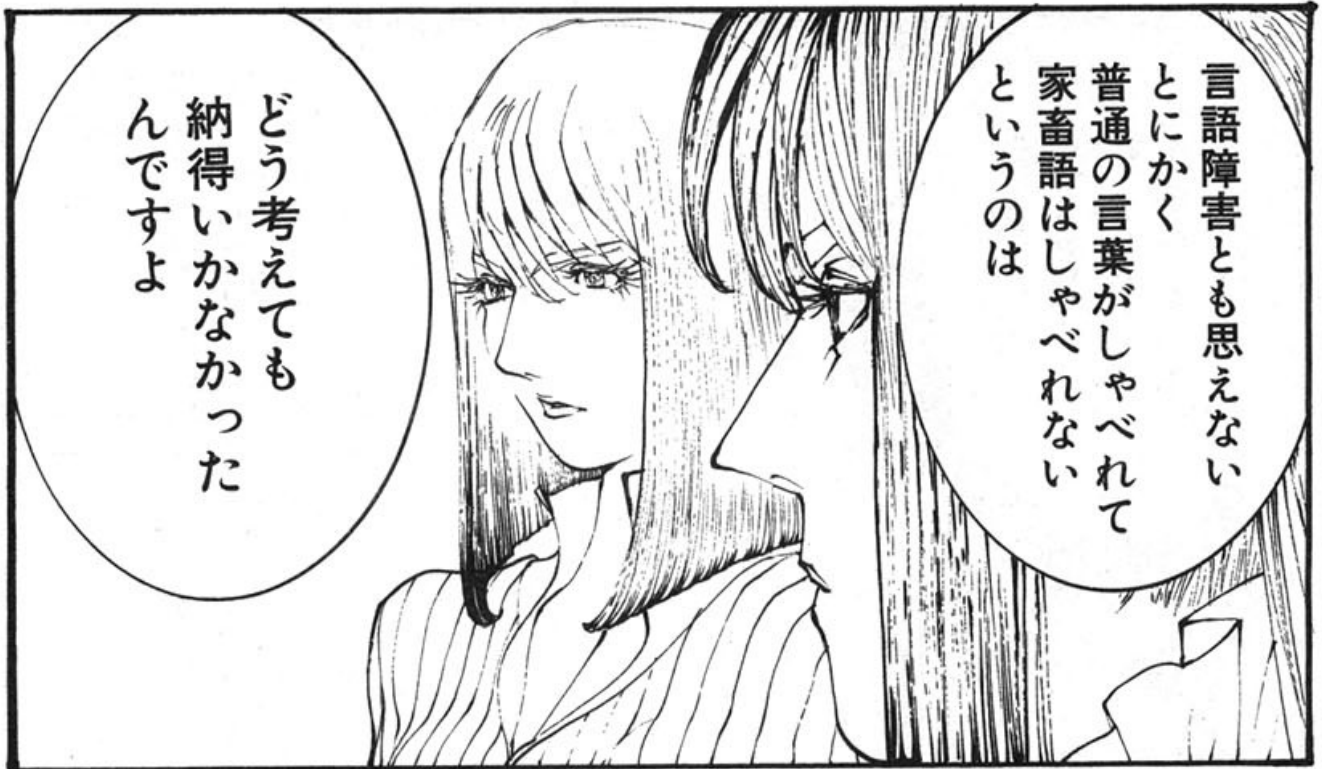
彼は
気がつか
なかつた
ようですが



我々は
片言を
しゃべり出す
ころには



もう
家畜語は
自由自在に
なるんですから



言語障害とも思えない
とにかく
普通の言葉がしゃべれて
家畜語はしゃべれない
というのは

どう考えても
納得いかなかった
んですよ



ドリスも
ちよつと変に思った
ようだけど



たとえば
ムサシに唾つばをやるのに
指先につけて
やったでしょう



そう思って
見ていると
どうもおかしい



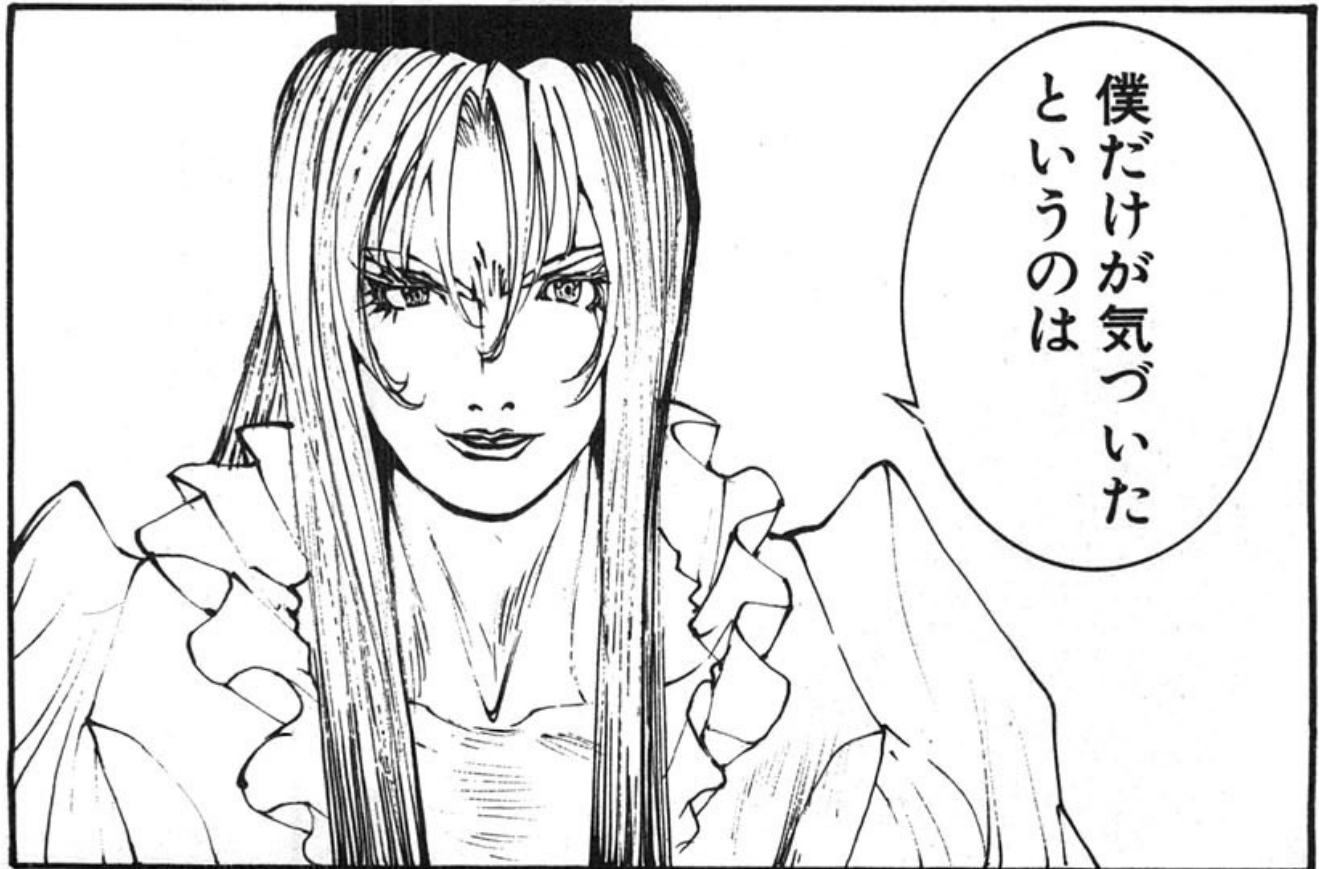
……まあ
それやこれやから
推理したんですが



貴女のは
どうも
前に経験ある人の
記憶復活とは思えない
ふしがある



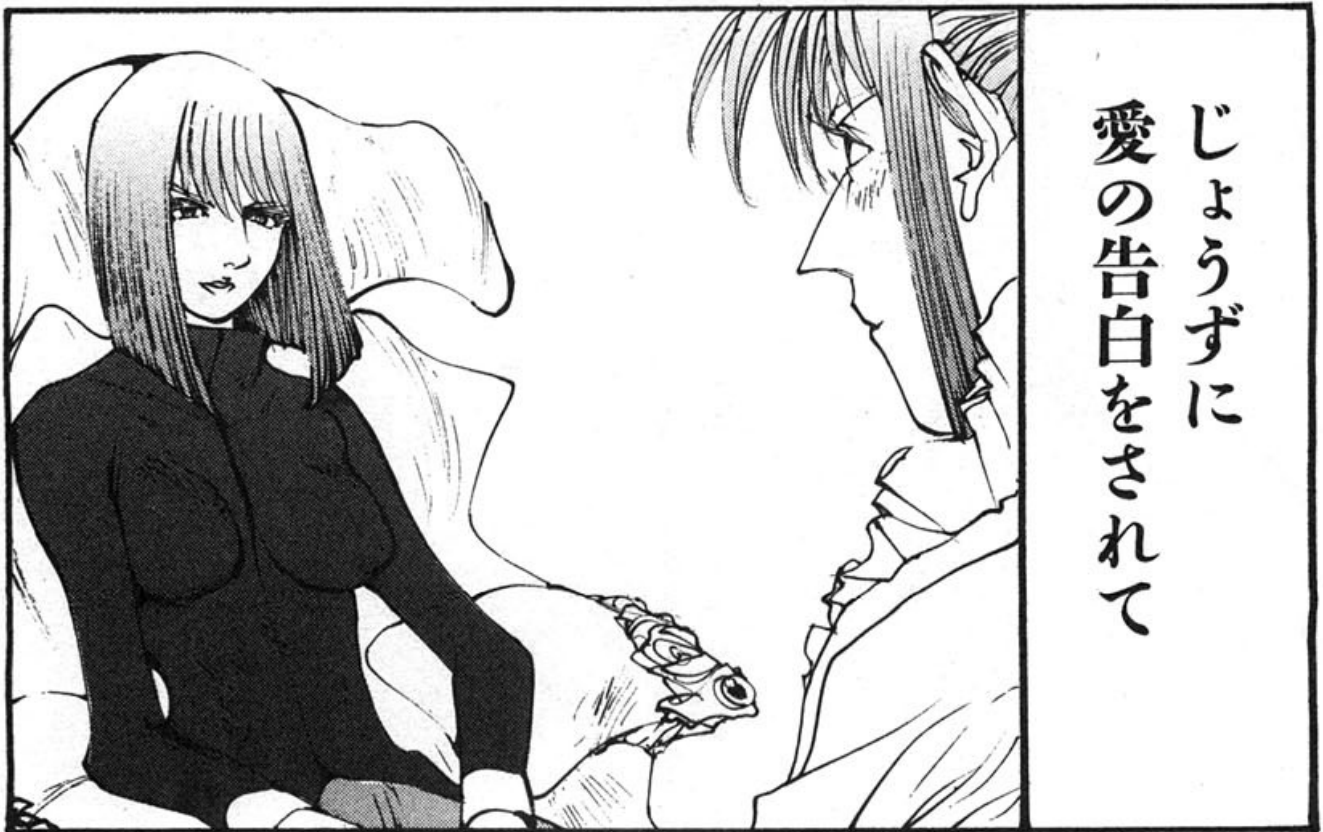
普通には
上を向けさせておいて
顔に唾を吐きかけて
やるんです



僕だけが気づいた
というのは

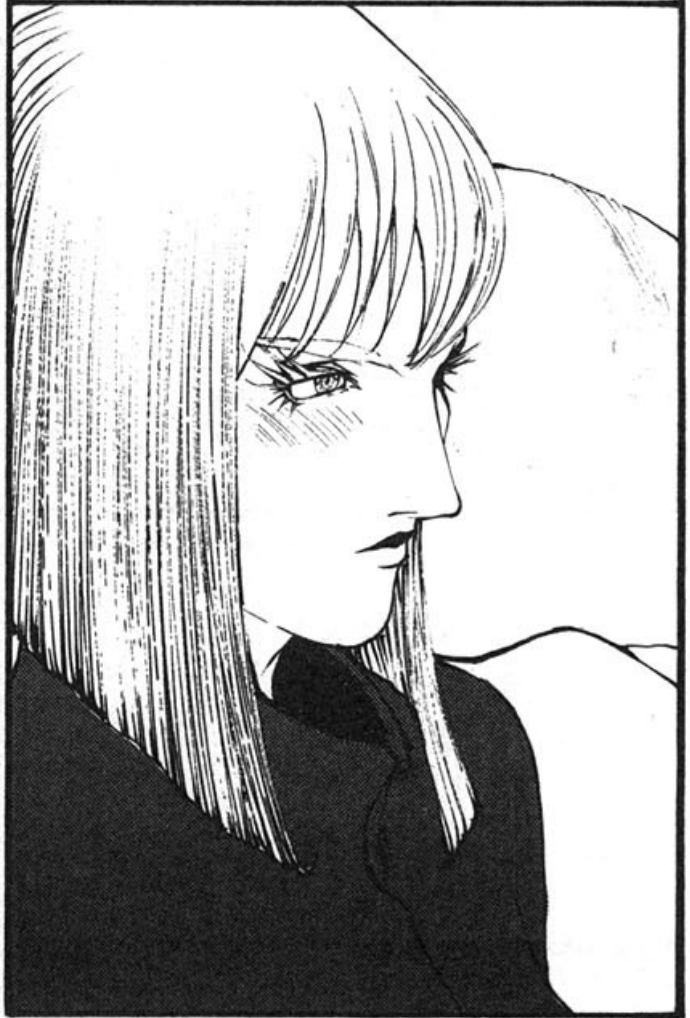


やはり
恋する者の靈感
でしようかな

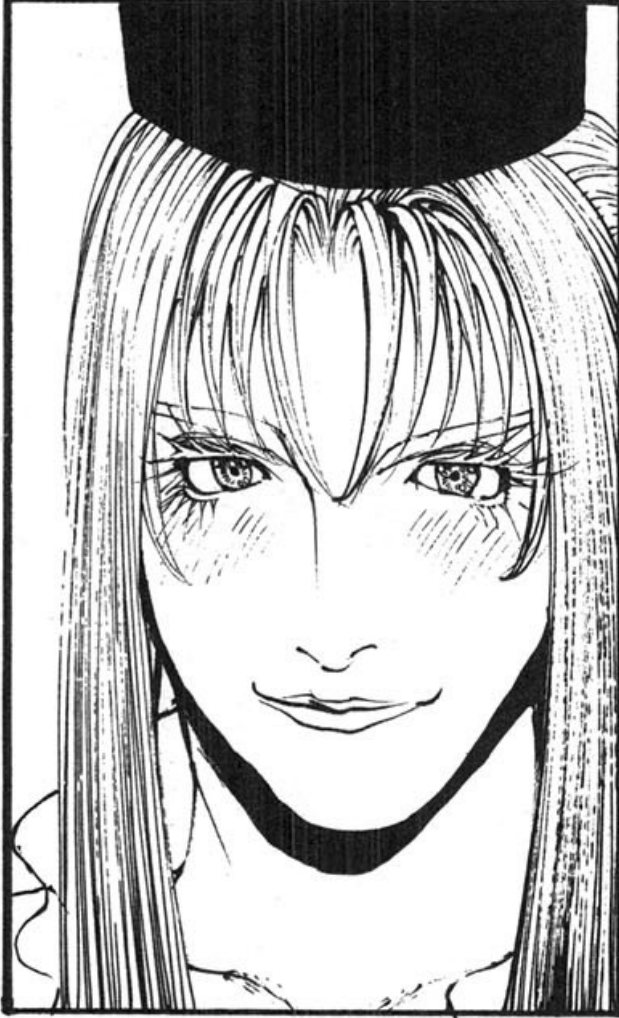


じょうずに
愛の告白をされて

クララの
はくせきほお
白哲の頬が
ポツと
赤くなつた



相手は
アポロの
ような
美青年



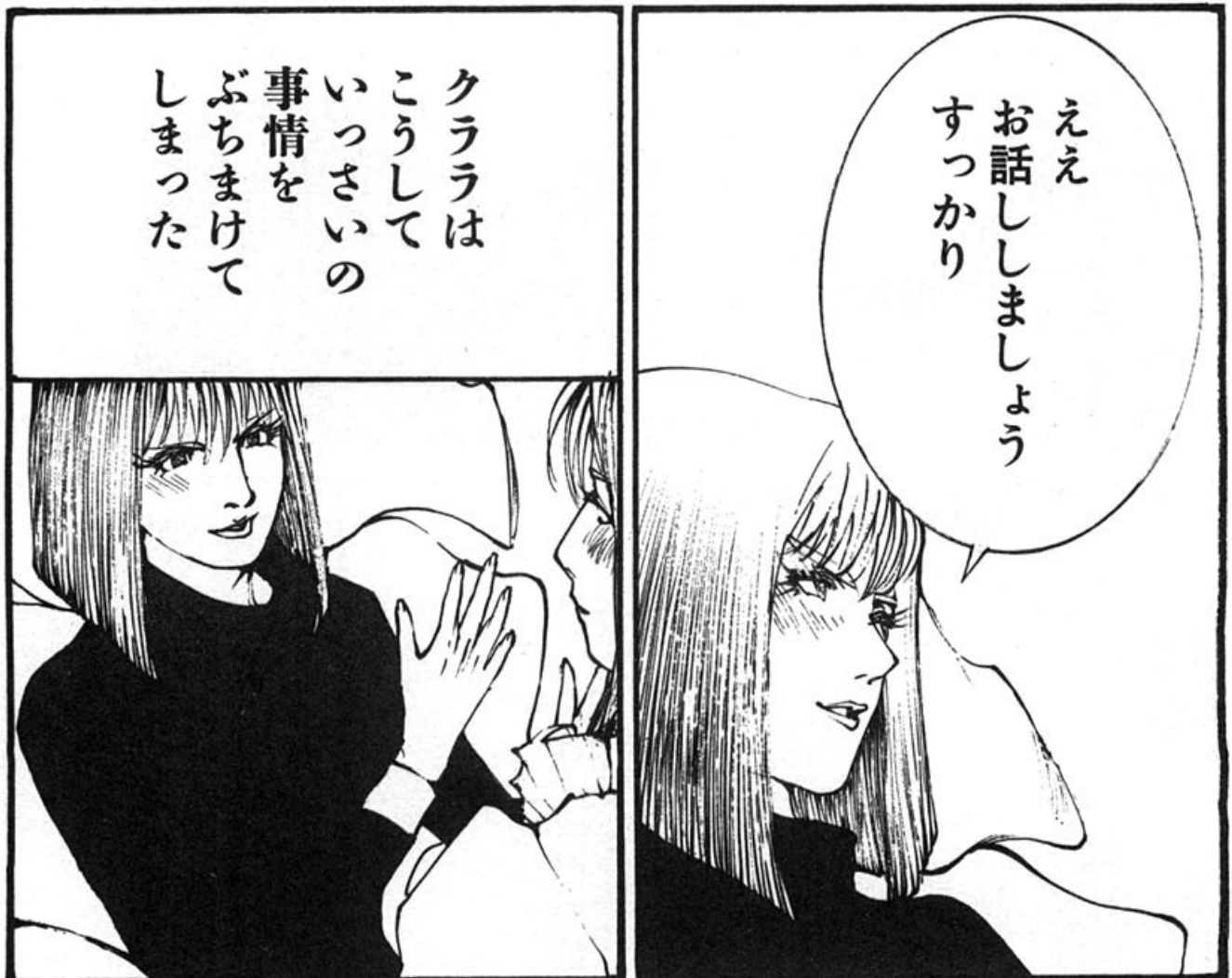
自分とて
憎からず
思っているのだ





どうでしょう
もし
おさしつかえ
なかったら

あなた
貴女が
なぜそんな冒険を
なさったのか聞かせて
くれませんか？



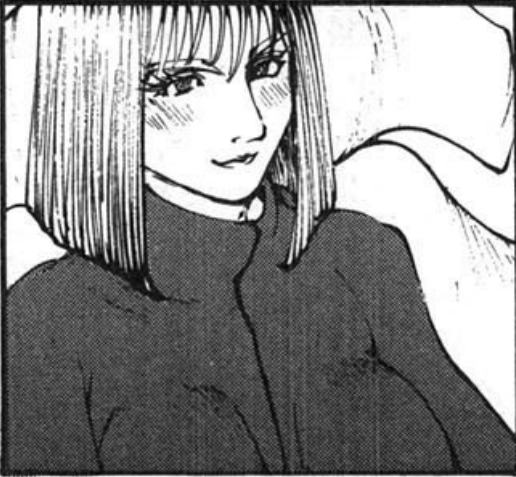
ええ
お話ししましょう
すっかり

クララは
こうして
いっさいの
事情を
ぶちまけて
しまった

もはや
新しい求愛者に
対し



また
自分の
気持としても
すべてを
打ち明け
たかった



何事も
包み隠さない
ほうが得策だと
思ったし



隣一郎との
関係



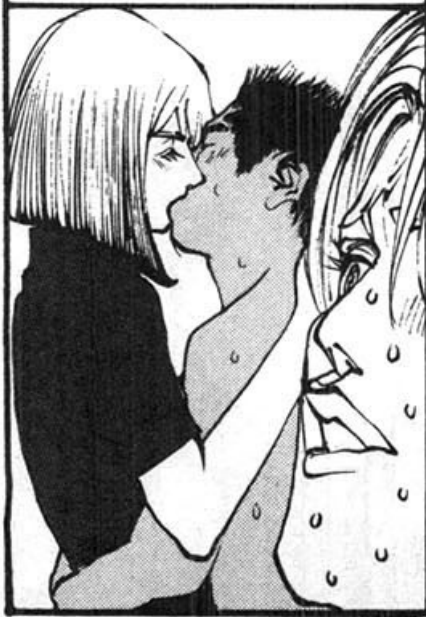
彼の麻痺



それを
救うための
冒険行



……
二人が
婚約関係に
あつた
と聞いて



ウイリアムは
たいそく
大息した



はあはあはあはあはあはあ

二〇世紀って
野蛮な時代
だったんだなあ



あの
ヤプーとねエ



このこと
ほか
他の方にも
打ち明けたほうが
いいかしら

だましてるようで
心苦しいの



いや
まだ黙ってるほうが
いいです





帰化の裁可って？



女王陛下から
帰化の裁可が
あるまでは



記憶喪失で
押しとおしたほうが
面倒がないでしょう



女王陛下に
拝謁するようになって
いっただけだったわ



いえ
レディ・ジャンセンは
ただ麟の麻痺を
直すことの
交換条件として



え？
貴女はそのために
アベルデーンに
行くんでしょう？



あのひと
彼女は
なかなか
策士ですからね



じゃ
あなた
貴女にも
真の目的を
いわなかったんだ



もちろん貴女を
帰化させるつもり
だったんですよ



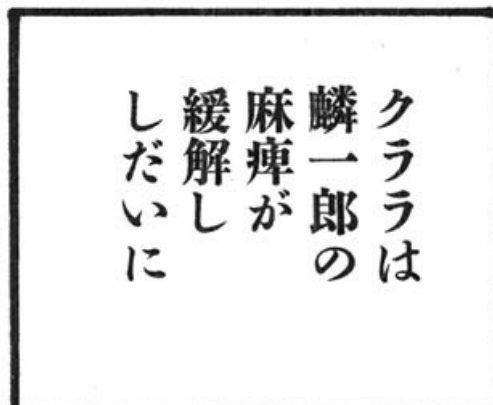
帰化できる
ものなら
是非したいわ



帰化できますの？



陛下の
ごじょう
御諚が
あればね





二〇世紀球面に
引き返したい
くらいで

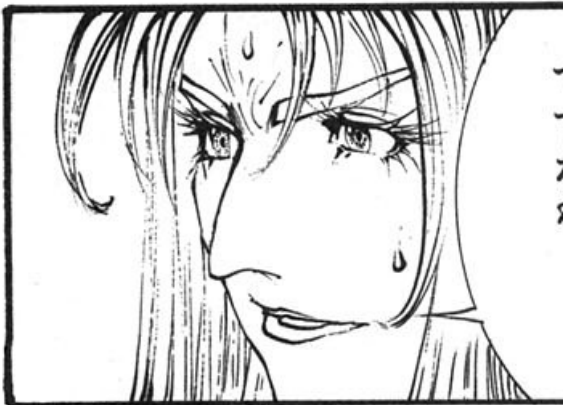
妻はそのときには
こちらに
長くいる気持なんか
ちっともなかったの



アベルデーに行きを
しぶしぶ
承諾したときの
心境を想起して
いった



なるほど
そういうもん
ですかね



リン
のことだけで
……



ヤプーに対して
そんな気持に
なるってことだけは





まとにかく
貴女のお気持が
正常に戻ってきて
よござんした



どうしても
理解できません
がねエ

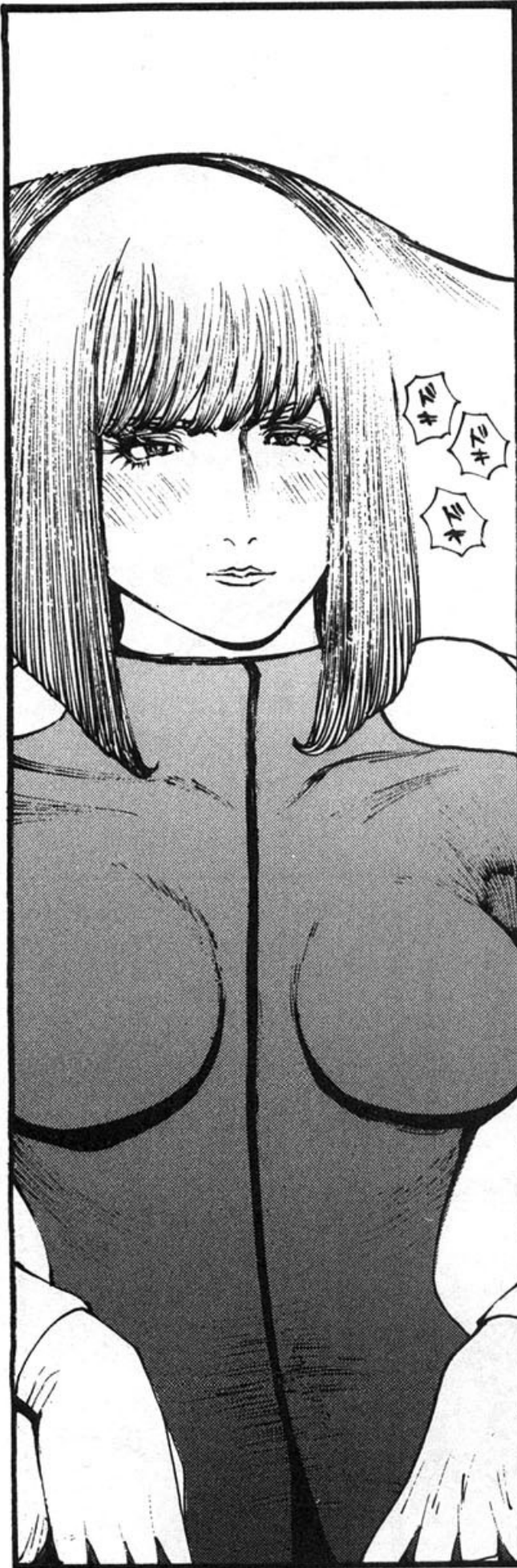


勇を鼓して
この球面に
来られた甲斐が
ありましたよ



ええ
「氷河号」で貴方あなたに
お会いしてから

だんだん
気持が変わって
きたんですわ



クララのほうも
巧みに愛情を
表現した

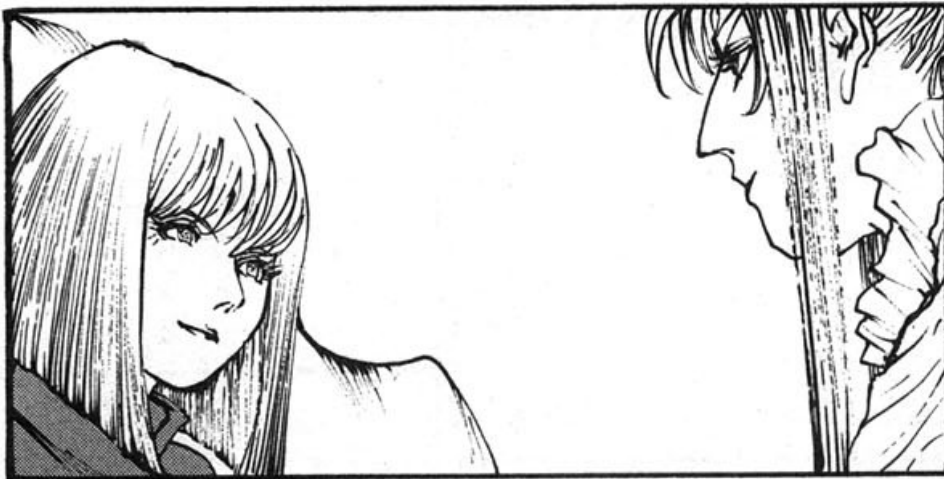
今ではほんとに
二〇世紀に
帰りたくは
ないんですね

もう
思わないわ

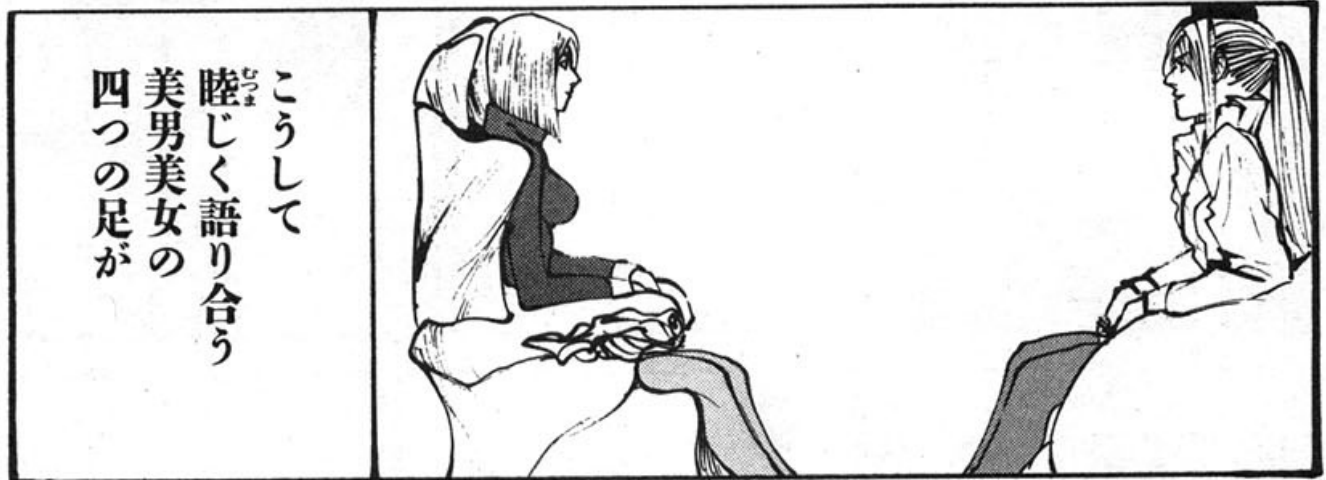
妾^{めかけ}にはどうせ
身寄りの者が
いないの

両親とも
戦争で亡くして
姉^{あね}も行方不明
だし……

野蛮な時代
でしたね
まったく……



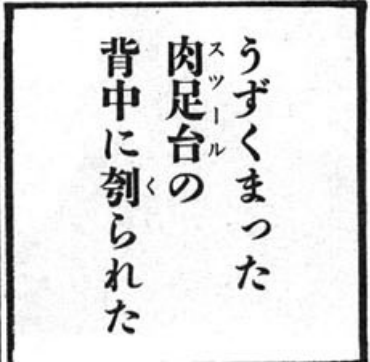
話題を
はずませながら



こうして
睦^{むつ}じく語り合う
美男美女の
四つの足が

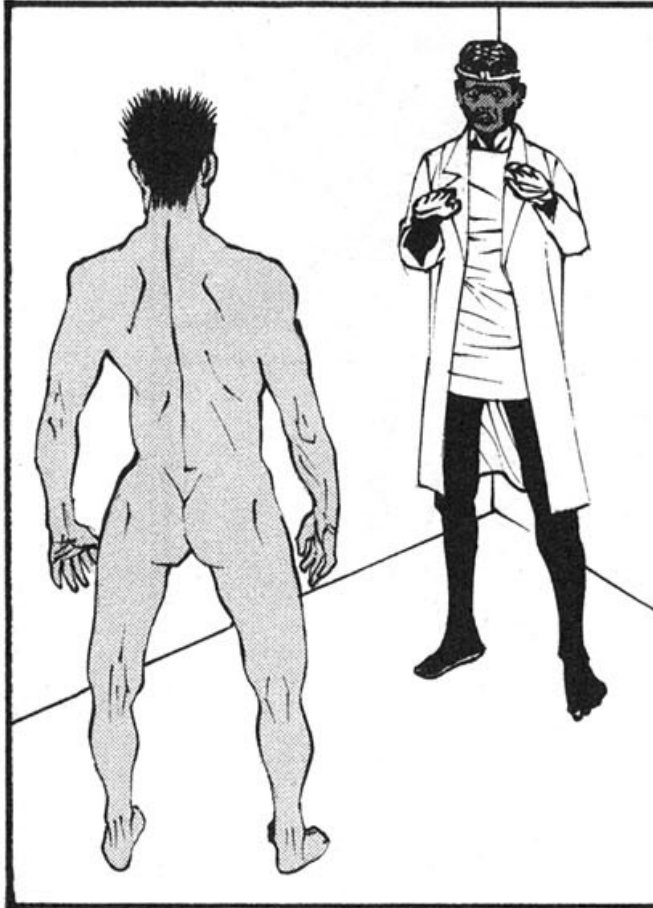


深い足形の凹^{くぼ}みに
埋まっていたことは
改めて説明の要もあるまい



うづくまった
スツール
肉足台の
背中に刳^くられた

獣医ジムを部屋の片隅に
追い詰めた麟一郎は



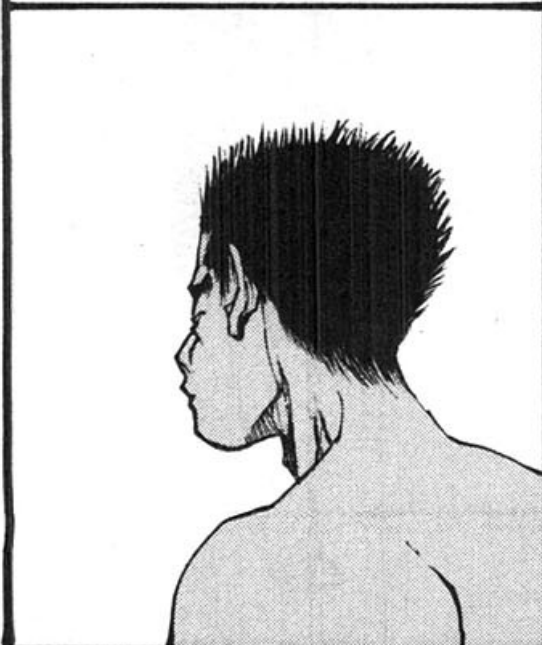
塚のあかぬ
押し問答を
重ねていたが



このとき突然
勢いよく
後ろの扉の
あく気配がして

どうしたの
いったい？

と
さわやかな
声が聞えて
きた

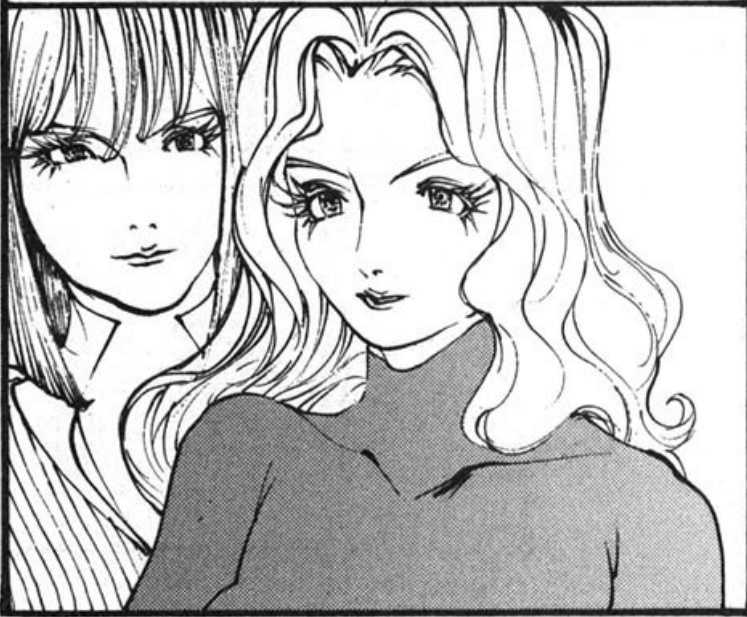


ポーリーン
だった



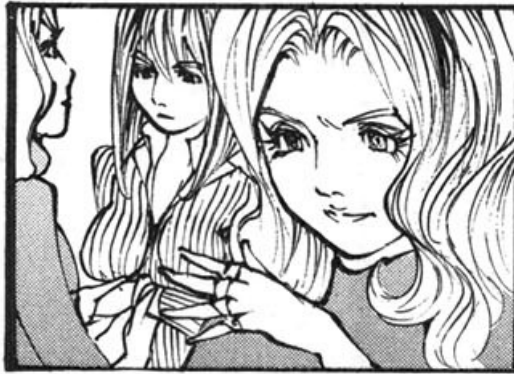
麟一郎は
救われた
思いで
振り返った

彼女なら
話もわかり
クララにも
会わせてくれる
だろうと
思ったからだ



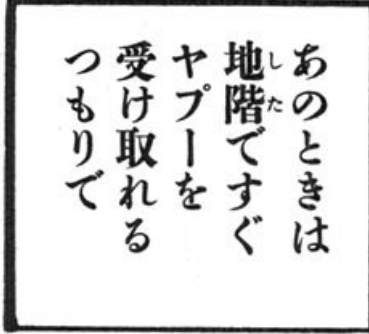
彼女は一人だった



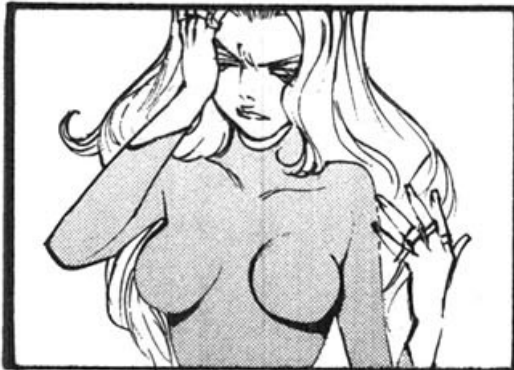
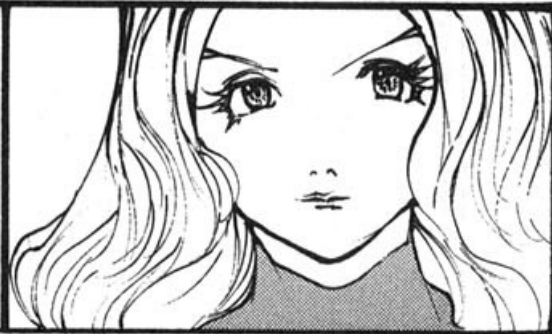


彼女は
リスト・マイク
腕送話器を
クララに
渡したのを
後悔していた

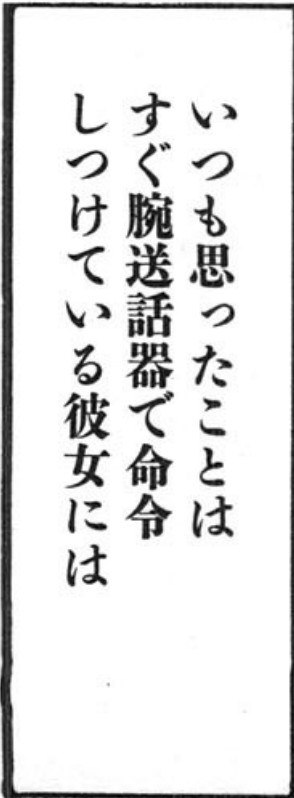
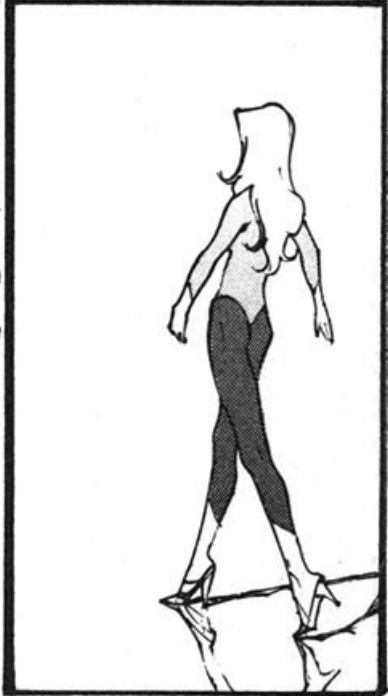
実は
黒奴舎を
視察しながら



あのときは
地階ですぐ
ヤプーを
受け取れる
つもりで



ほんのちよつとの
間だから
構わないと
思ったのだが

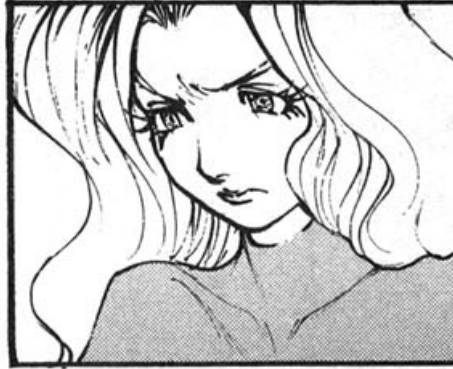


いつも思ったことは
すぐ腕送話器で命令
しつけている彼女には

こうして
地下街にいる間に
いろいろ命令したい
ことが頭に浮んだ



腕送話器なしの
不便さが
耐えられない



自分は
そろそろ
十五分に
なるので

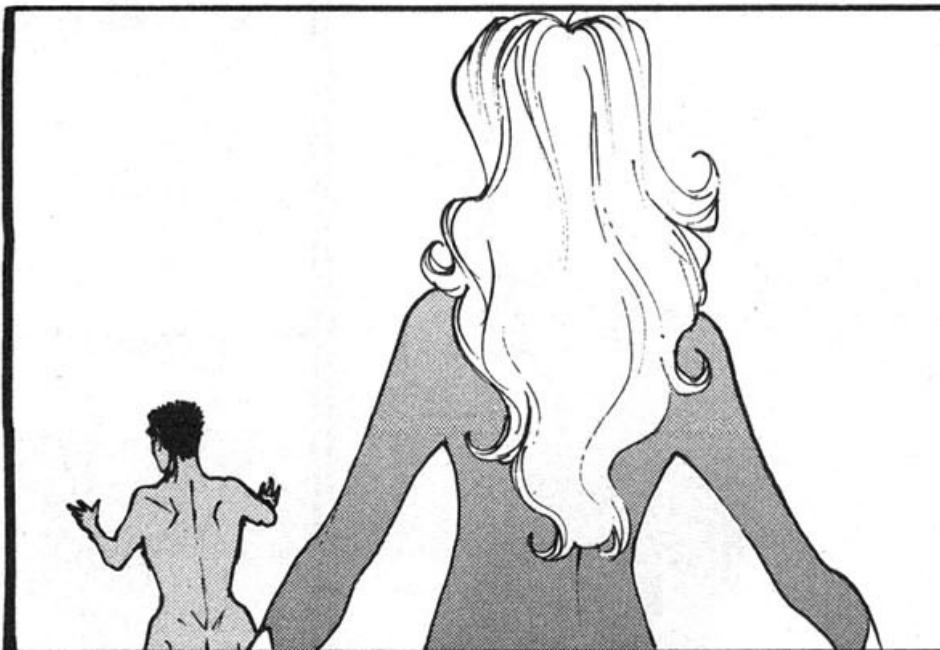
とうとう
従者A3号に



彼女の私室から
別の腕送話器を
取って来るように
命じて使いに出し



手術室に
戻って来たところ
だったのである



鱗一郎が
振り返った
一瞬の隙を
とらえて



鱗一郎の
頭めがけて
振り下ろした



ジムは卓上の
空から
空フラスコの
首を握るなり



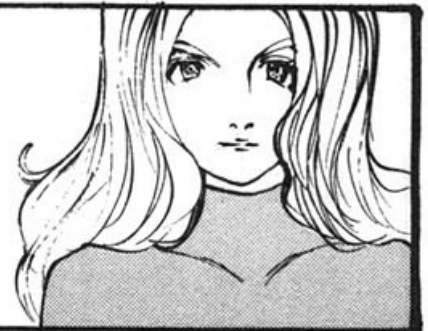
臆病な彼も



渾身の勇を
ふるって
反撃に
出たのだ



今
女主人の
現われたのを
見て



彼女に
危難の
及ぶことを
恐れ



「黒奴訓」
第一条には

黒奴は
忠節を尽すを
本分とすべし

とある

しかし
麟一郎のほう
が素速かつた

サツと
かわして

空^{から}振^ぶりさせた
その腕を
つかんで
身を沈めると

エーイ

見事な
背負投げで
あつた



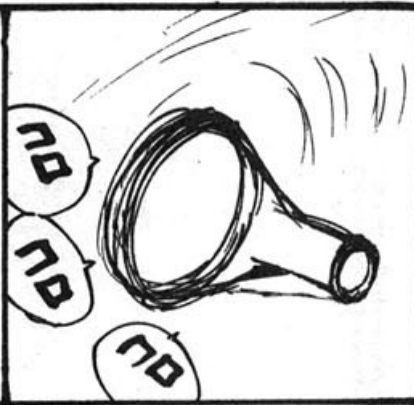
ちようど
ポーリーンの
立つ床ゆかの
前に



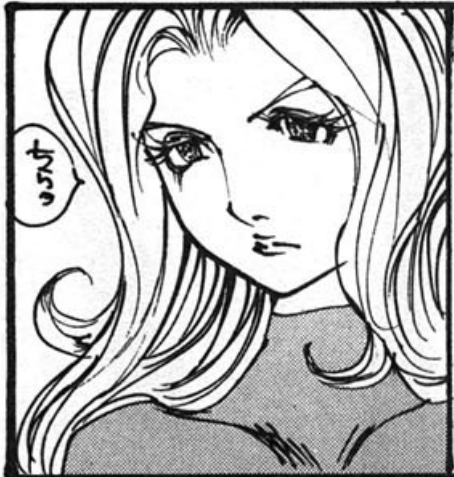
ジムの
長身が
長々と
伸びた



フラスコが
ころがった



ポーリーンは
いちべつ
一瞥して
事態を悟った



——
失敗した



手錠を
掛けさせて
おくんだった



ニューマを
連れて来れば
よかった



けれどそれにしても
このヤプーの
素晴らしさは
何としたこと
だろう!

リスト・マイク
腕送話器を
片時だって
身から放した
ことがないのに



今日に限って
嵌めてない
なんて



おまけに
A3号まで
……



何て
あいにくな
……





大の男三人を
ノシてしまった
腕力



グラジャートル
決闘士にしたら
大したもの



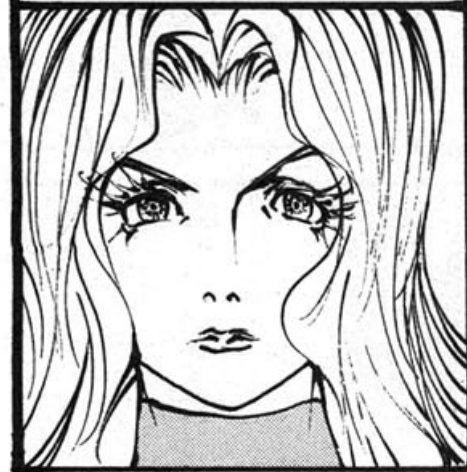
それも
わずかの間に
……

※ イース女性
は雌々しい
心を備えている



スパーマ
仔種を
取りたい
くらいだわ!

※ イース用語では「雌々しい」という意味である



こんな場面に遭遇しても



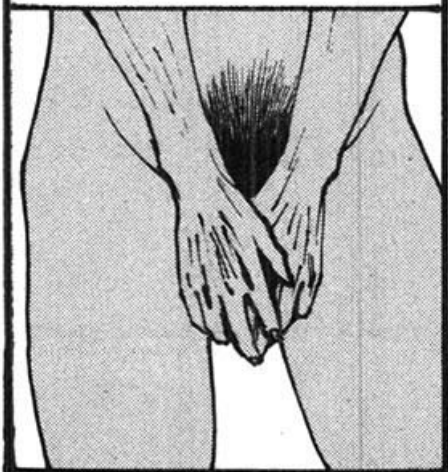
ポーリオンは
そんな感想を
いだくだけの
余裕を持っていた



——しかし
とにかく
このヤブーを
とり鎮めなければ
……



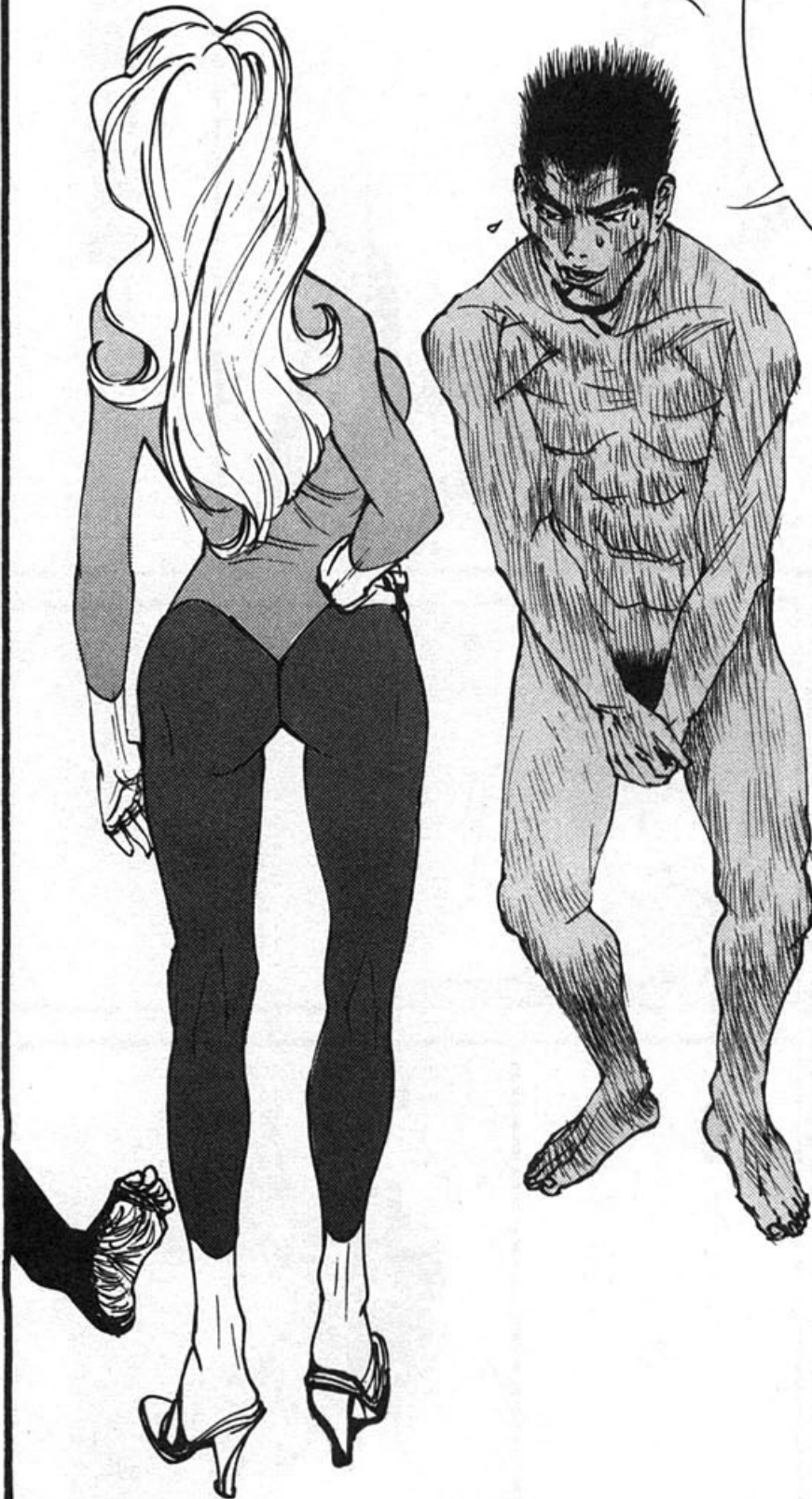
前のほうを
てのひら
手掌で
隠しながらいった

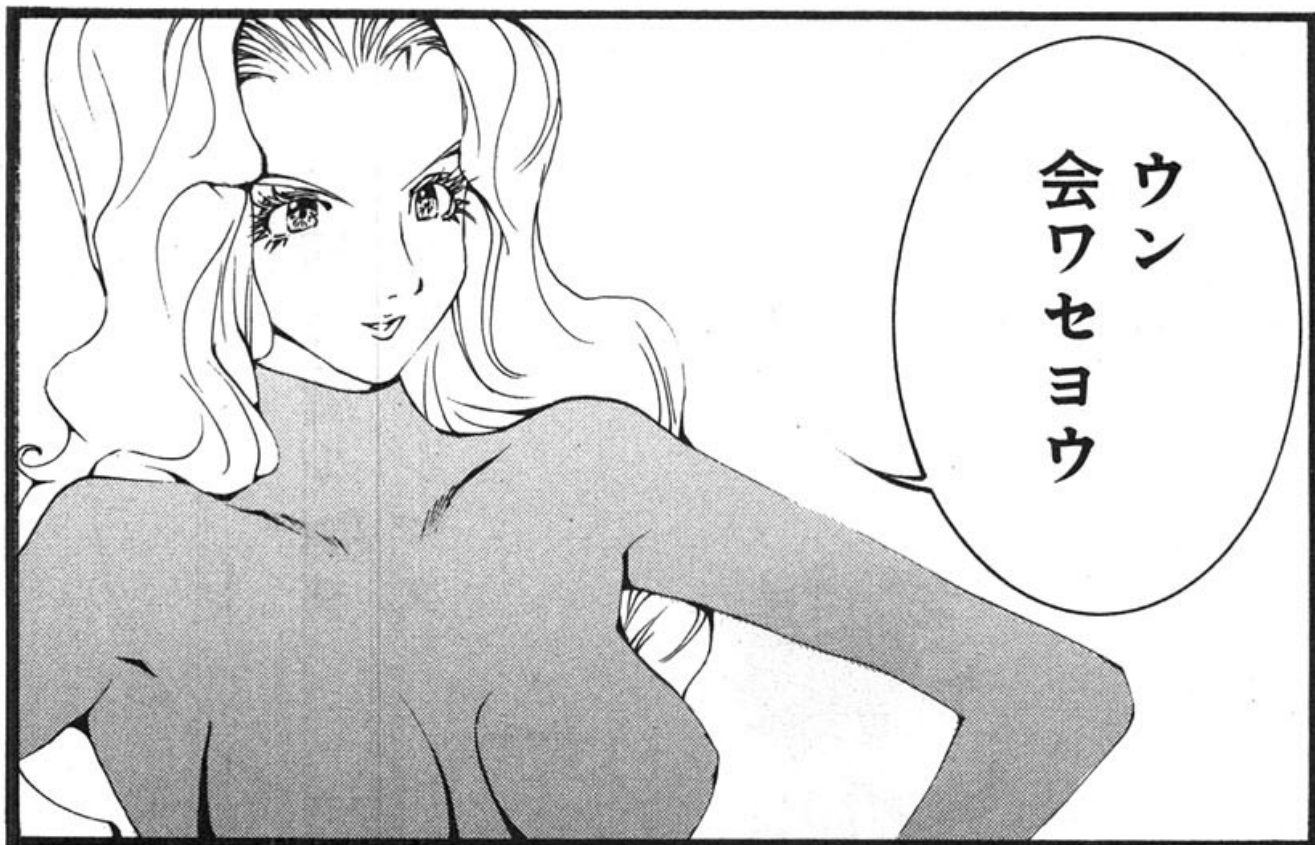


鱗一郎は
ポーリオンの
前に来ると



クララに
会いたいんです



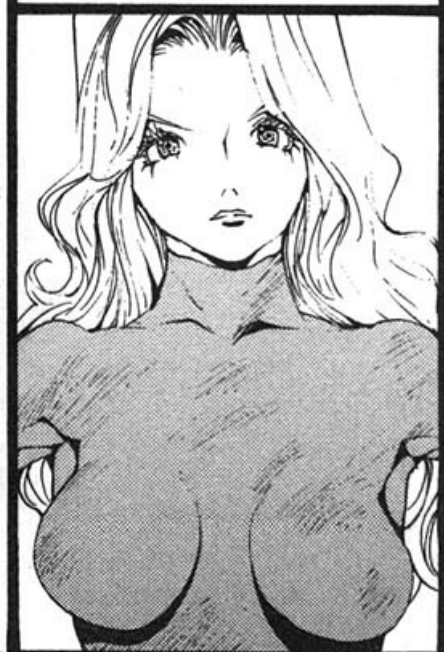


ウン
会ワセヨウ

ポーリーンの
家畜語は
女言葉としての
ニュアンスのない
言い回しだったが

それは
ヤプーに
命令することに
使用するだけで

女言葉として
話したことが
ないからである



ソレニ
何カ着ル物ヲ
オ願イシマス





第十二章

水晶宮の上階と地階で

— 第五話 —

乱暴者
という印象を
持たれたに
違いない
ひげ目を感じ

少しでもそれを
和らげようと

麟一郎は
丁寧な
言い方をした

着ル物？

ポーリーンは
思わず問い返したが

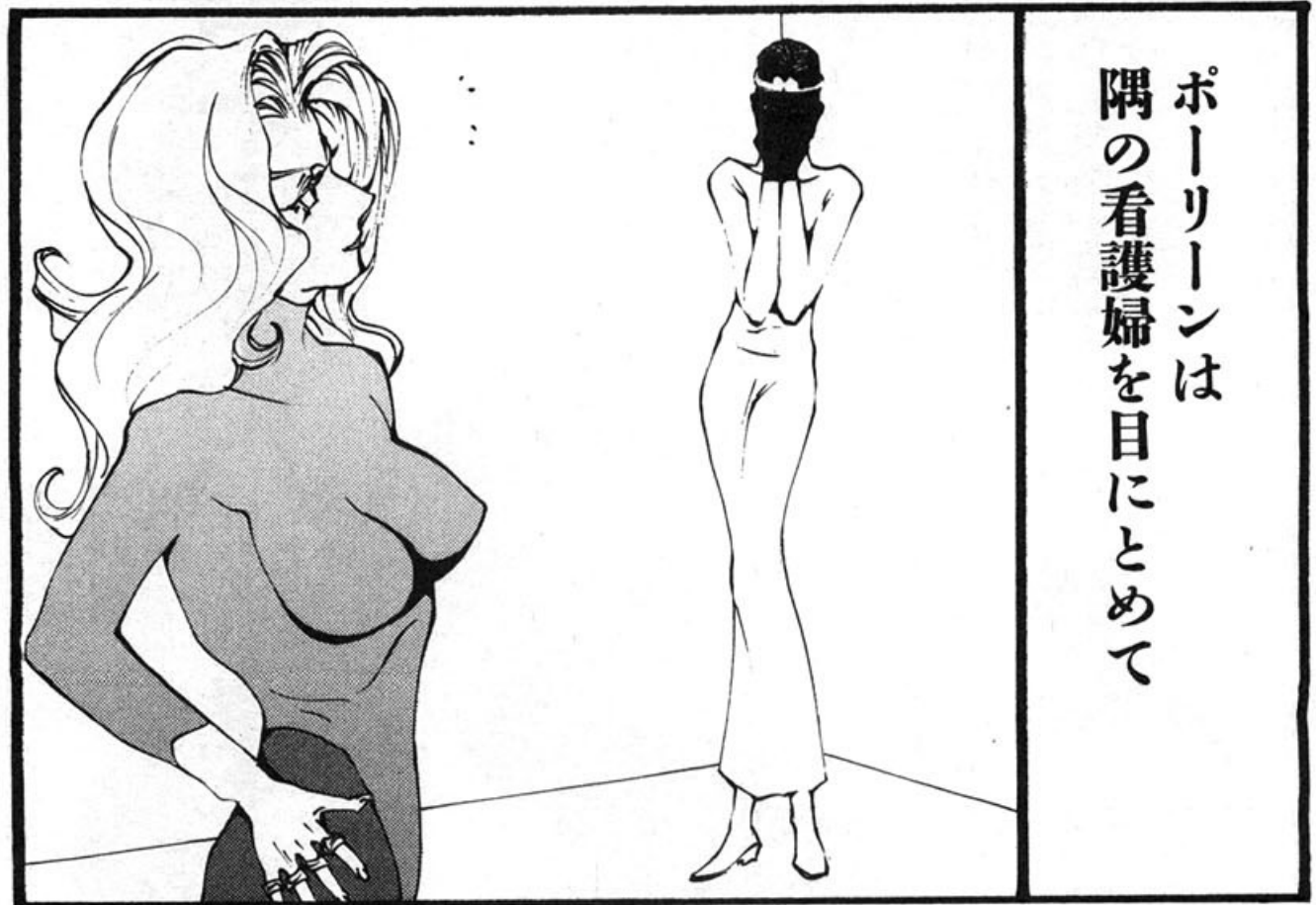
回転の速い頭に
たちまち真相を感じ取った

—そうか

このヤブーはまだ
自分の身体に加えられた
皮膚強化処置の意味を
知らないんだわ

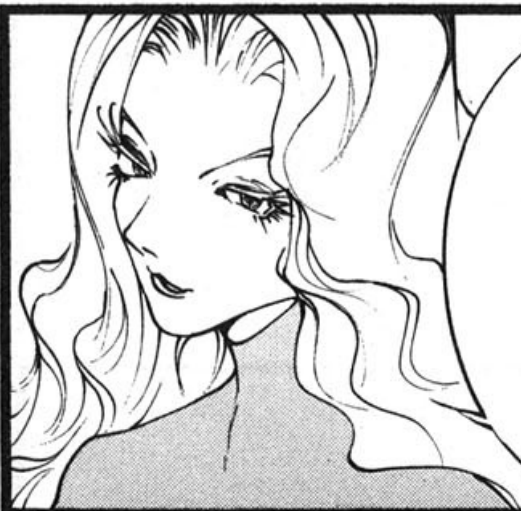
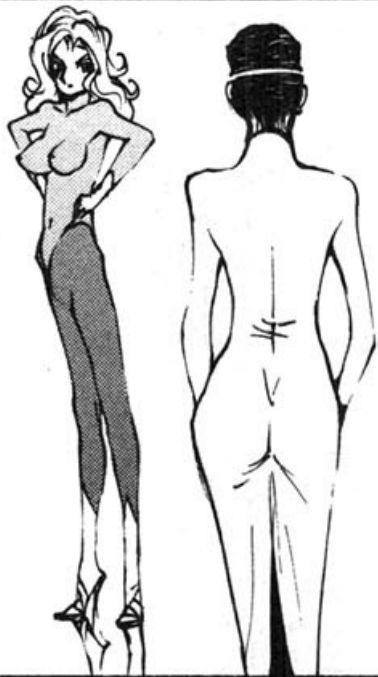


よし
これを利用して
こいつをとり押さえる
ことにしよう



ポーリーンは
隅の看護婦を目にとめて

命令は
絶対で
あった



お前
服を全部脱いで
ヤプーにおやり

はい
マダ
若奥様



人前で裸になるのは
ヤプーでない以上
異例のことだが

N5号は
不審の色
ひとつ
見せず



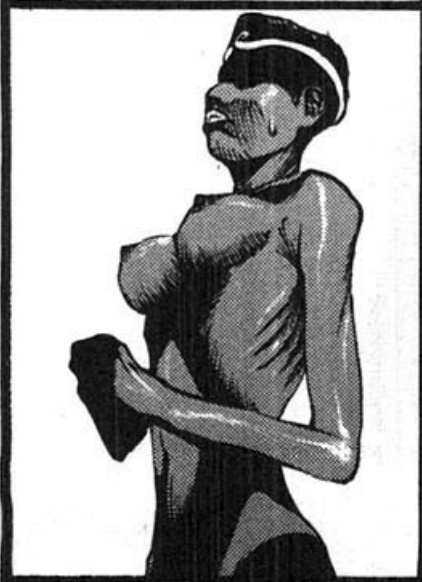
すぐ服を
脱ぎ捨てて
真っ黒な肌を
さらし出した





主人の命令を受けて
その理由を
反問することは
黒奴にとつては
犯罪を構成する

処罰の
対象には
なつて
いないが

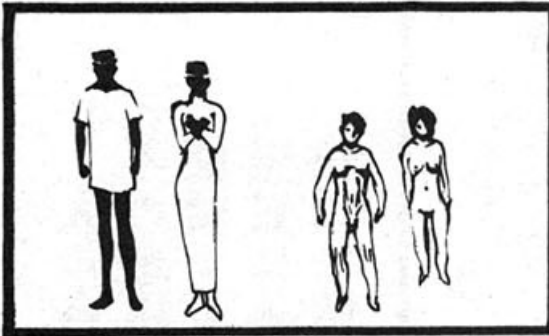


独り
心中に
このことを
考えることは



黒奴同士で
これを
あげつらう
ことも
いけない

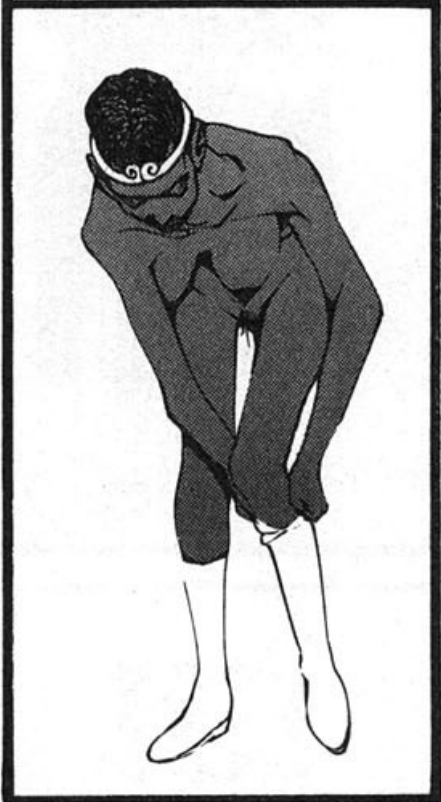
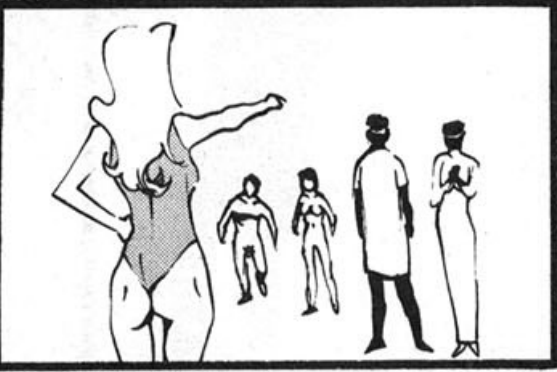




要するに
黒奴や
ヤプーの
知性は

道徳的には
非常に
悪いことと
されている

命令の
効果的遂行に
注がれるべきで



命令そのものへの
反省や懐疑は
許されない
のである



靴も脱いだ



しかし
不満はなかった



贅沢は
いうまい



と思った



—女の服か

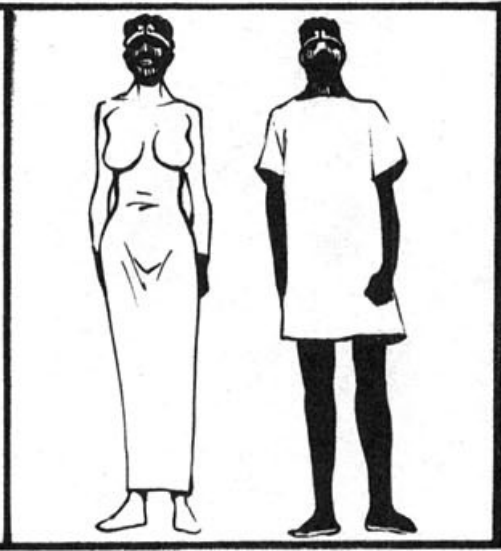
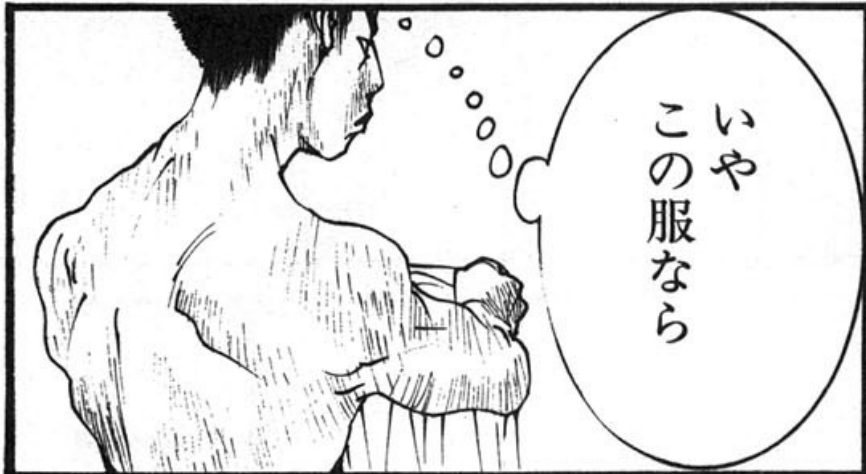


飢えた者は
食を選ばない

長い間の
裸に
鱗一郎は
すっかり
謙虚に
なっていた

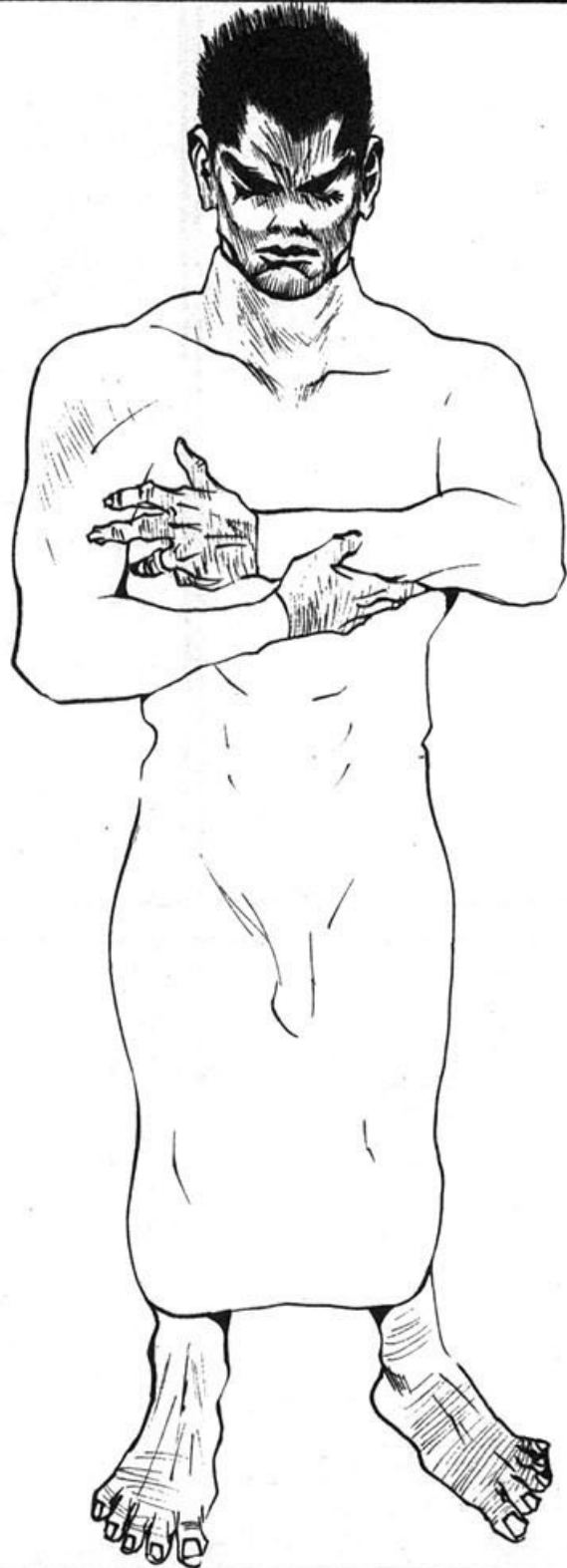
実際は
タウヌス山腹の
溪流で泳いだ
あるときから
まだ四半日も
経っていない
のだが

気持のうえでは
何か月も
着るものなしで
いたように
感じていた



はんそで
半袖
半ズボンの
黒奴男性用のより
ましなくらい
だった

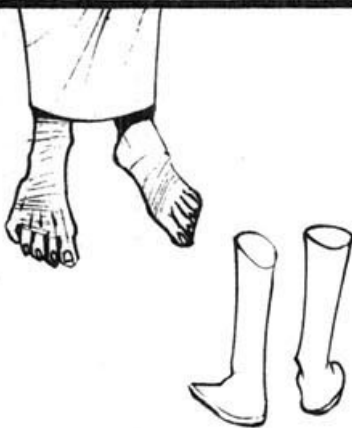
服は
ピツタリ
肌
に
吸
いた
着
いた



手首・足首まで
四肢が
包まれ
サーカス芸人の
肉衣裳の
ように
あった



靴は
ひどく
きつそう
なので
そちらは
あきらめた



裸足でも
仕方がない



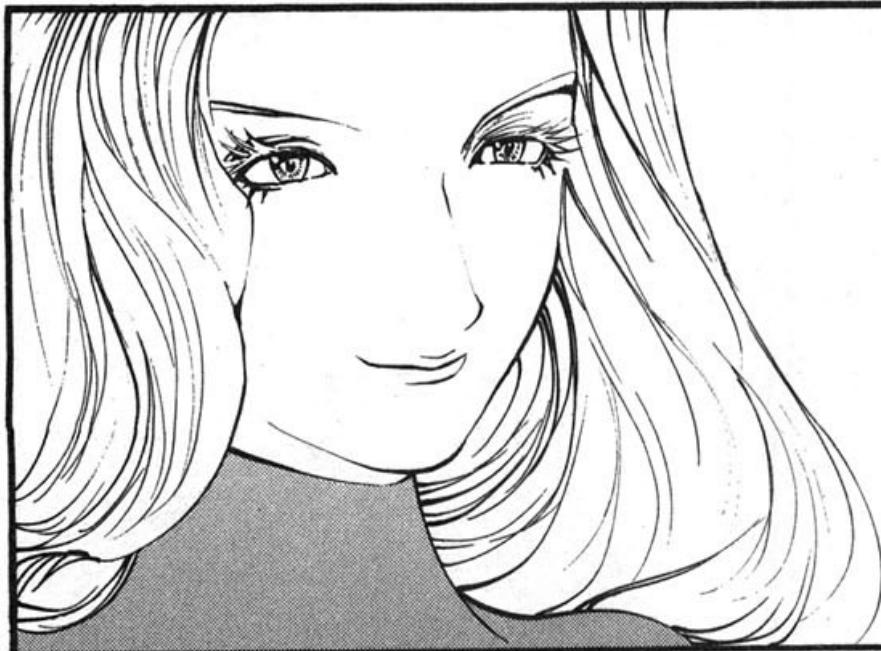
とにかくこれで
クララの
ところに行き



彼女の前に
立つだけの
準備はできた



ポーリーンは
奇妙な薄笑いを
浮べて



黒奴女の服を
着込んだヤプーを
ながめた



……そろそろ
A3号も
帰ってくる
はずだし……



もう
しめたものだ



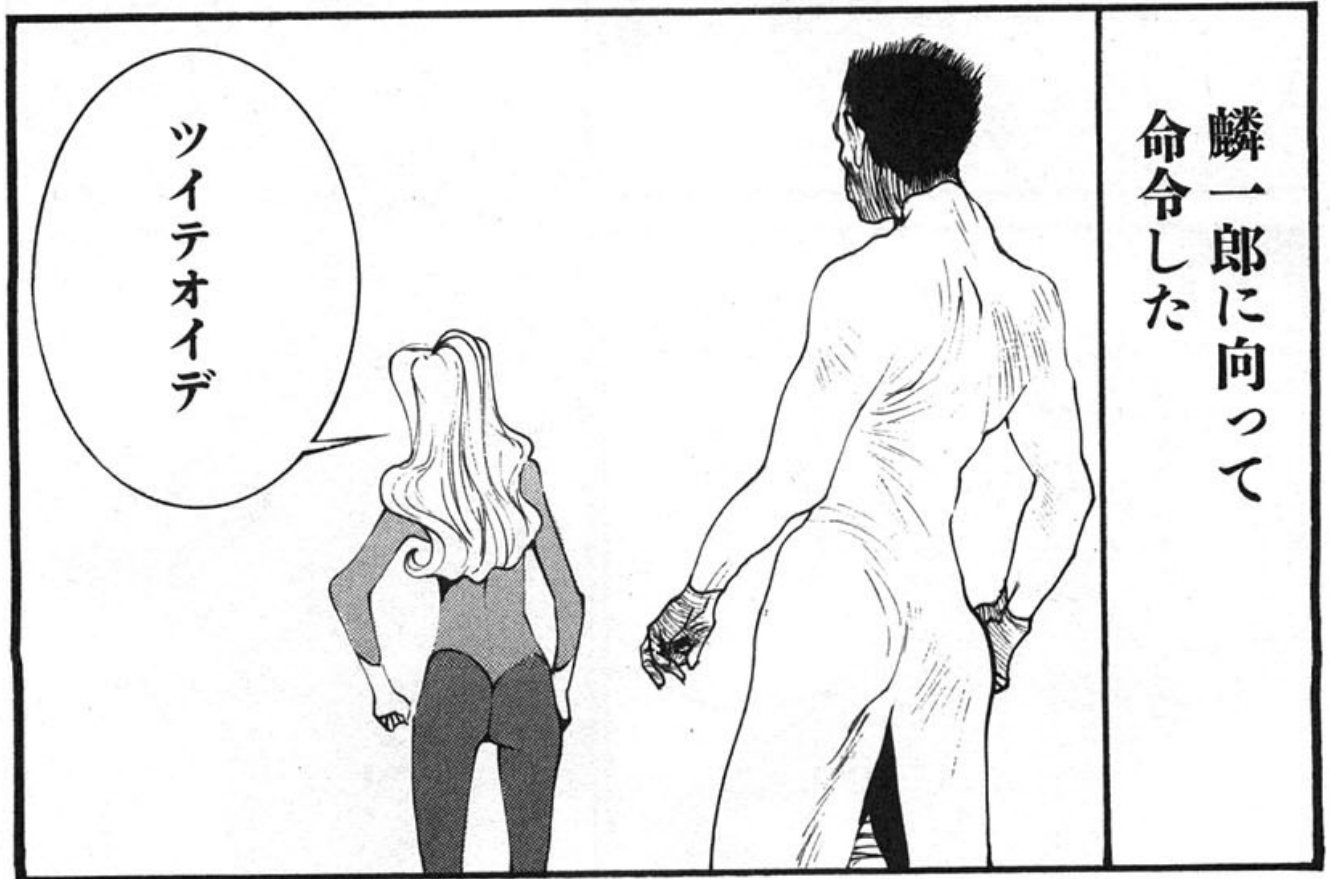
あと
三分もすれば
七転八倒の
苦しみが始まる





後始末は
頼んだよ

裸になったまま震えて立っていた
N5号に彼女はいい捨て

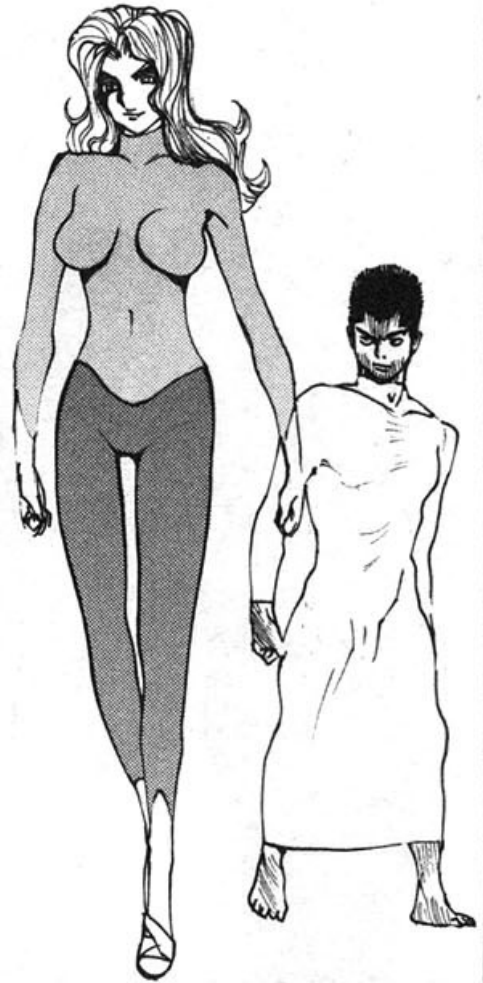


鱗一郎に向かって
命令した

ツイテオイデ

見向きも
せずに
部屋を
出てゆく

麟一郎は黒奴女に一礼すると



すぐ後を追った



もし
彼を捕縛しよう
とする連中が
現われたら



すぐポーリーンを
人質に取れるよう



彼は
彼女の肩
くらいしか
ないのである

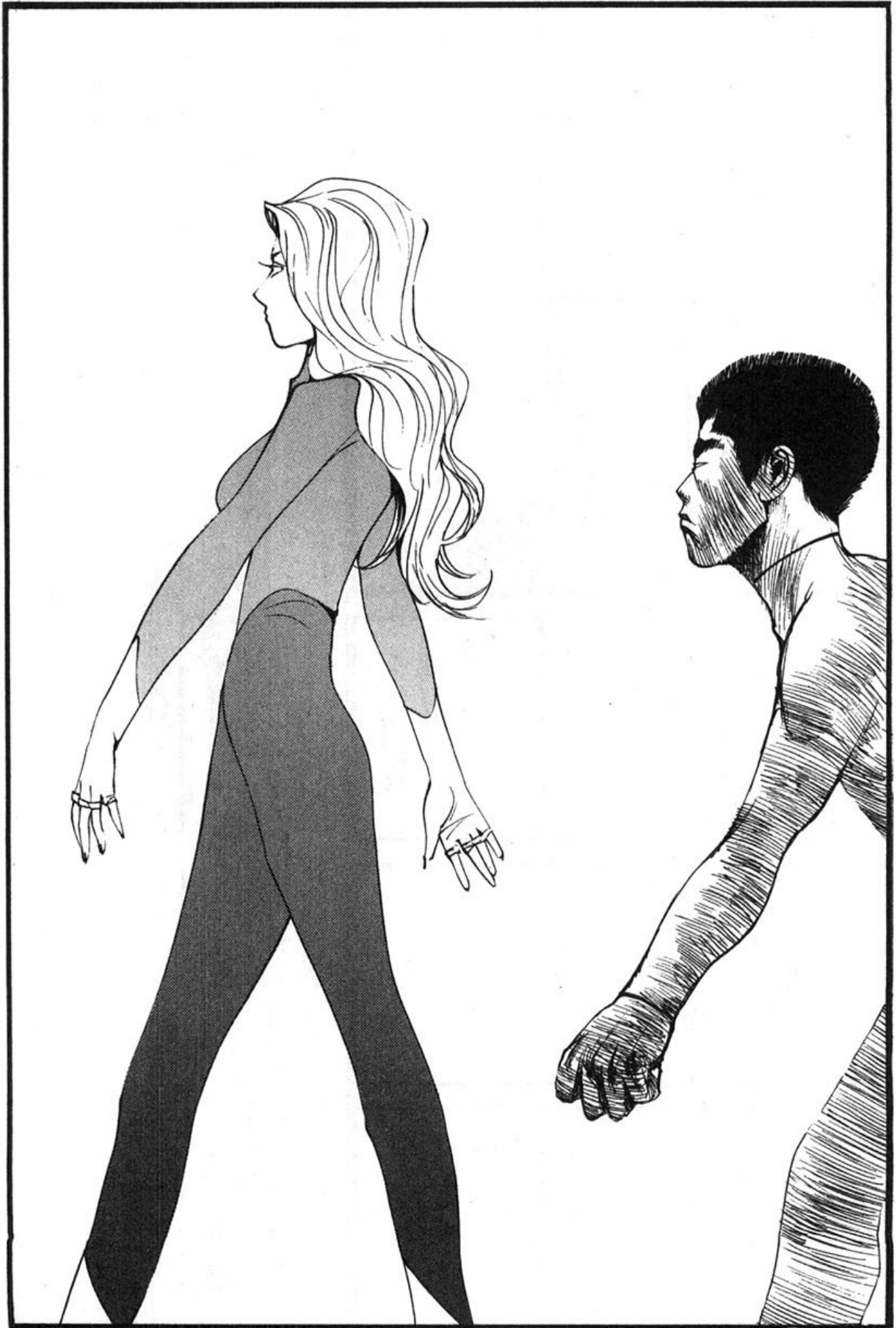


用心深く
彼女の
背後に
ぴったり
ついて
行った



並んで
みると
彼女の
体格の
よさは
いまさら
驚く
ばかりで





ポーリーンは
ゆっくり
歩いていった

廊下には
人影が
なかった

彼女の来臨は
もう地階中に
知れ渡って
いたので

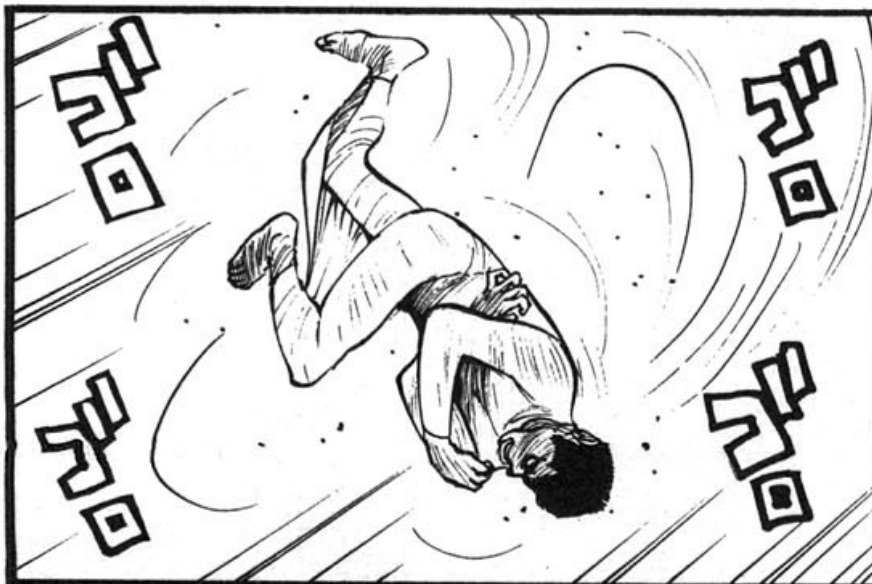
この通路は
通行禁止に
なったに
等しく

誰も
出て来ない
のだ

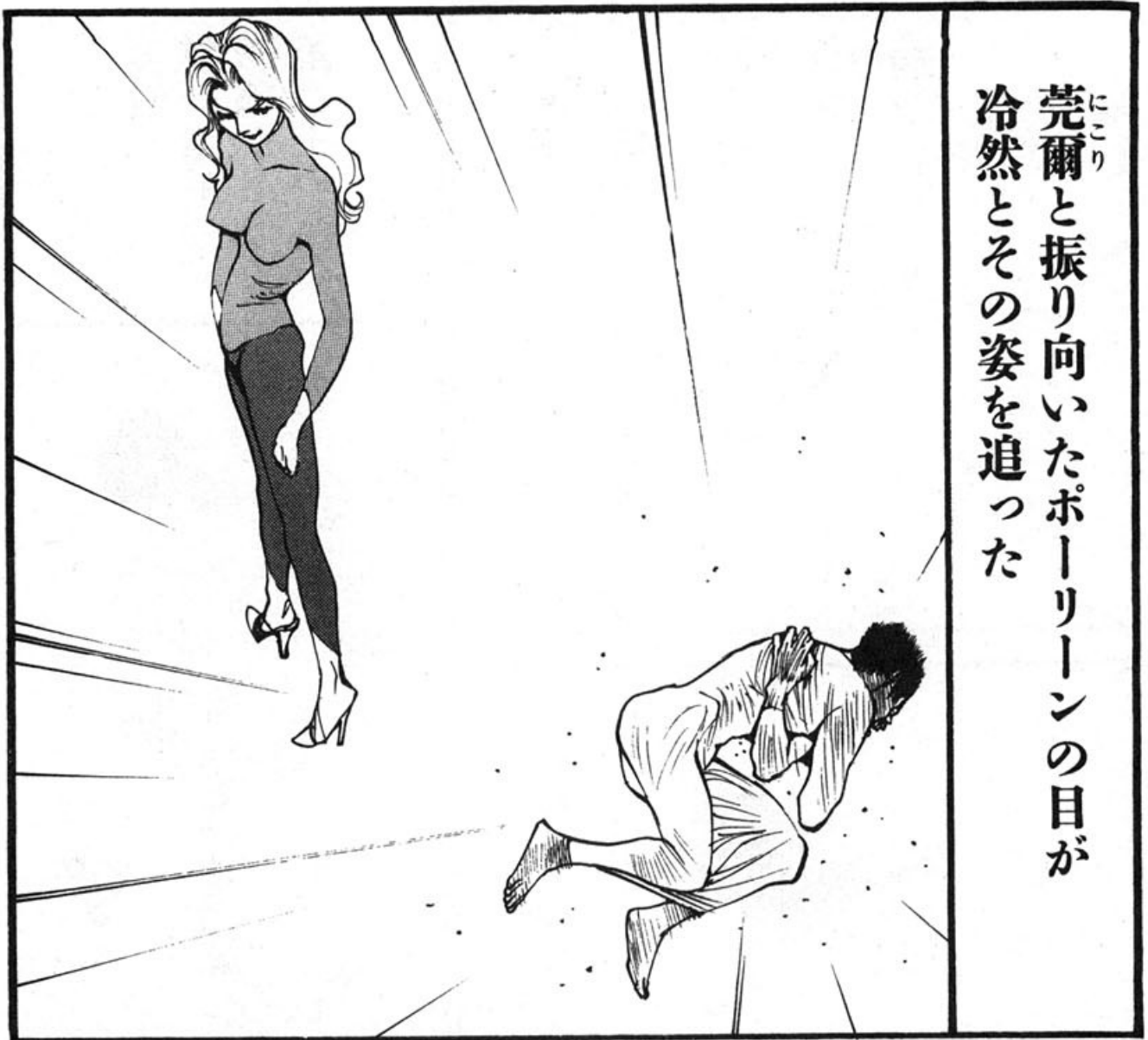
エレベーター
の手前まで
来たとき



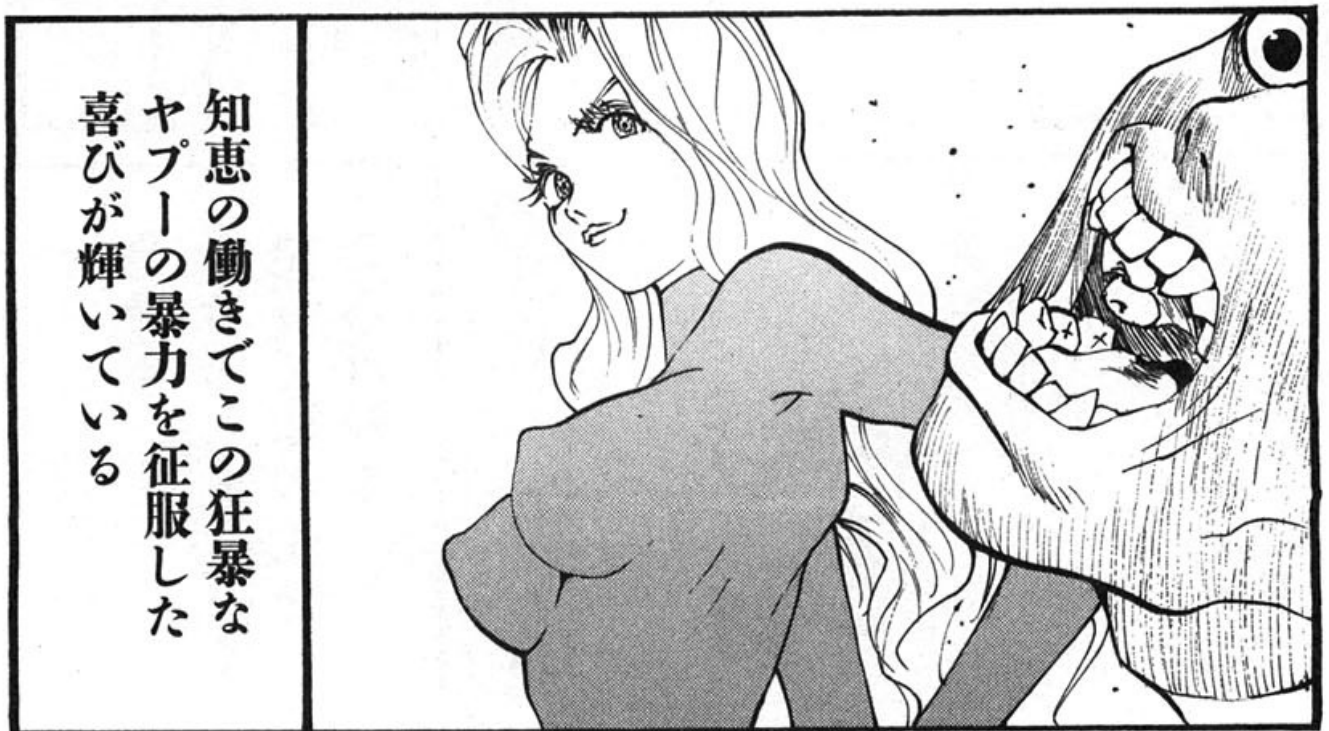
突然
鱗一郎が
悲鳴を上げて
飛び上った



と
全身を
かきむしるような
格好で床の上を
ころげ回る



莞爾にこりと振り向いたポーリーンの目が
冷然とその姿を追った



知恵の働きでこの狂暴な
ヤプーの暴力を征服した
喜びが輝いている

鱗一郎の
表皮細胞に含まれる
デルマトロームと



服地のあたる
部分一面に



服地中の
デルマトコンとが
皮膚反応を起し



末梢神経に
激烈な疼痛を
与えてるのだ



針で
間断なく
突き刺される
のに似た



言語に絶する
苦しみがあつて

※ ヤプー皮の生剥には二つの方法がある。剥がした皮膚に用のある場合にはコサンギニンを利用し、一箇月間白血球を増加させてゆき皮膚と肉とをリン液でしだいに遊離させる。そしてぶよぶよと水腫れた状態のままなめし液に一週間漬ける。「生なめし」といって、これによって新陳代謝を受けながらなめされて、作り出されるヤプー皮革は最も美麗で強靱である。ただこの方法は肉体的の方も変質させてしまう。そこで皮を捨て、肉を使う食用ヤプーの場合には皮膚反応を利用して剥ぐ。
 L・バコール「畜体処理工業概論」

これを
 デルマチック・ペイン
 皮膚反応痛
 という



一時間くらい
 続くと止るが



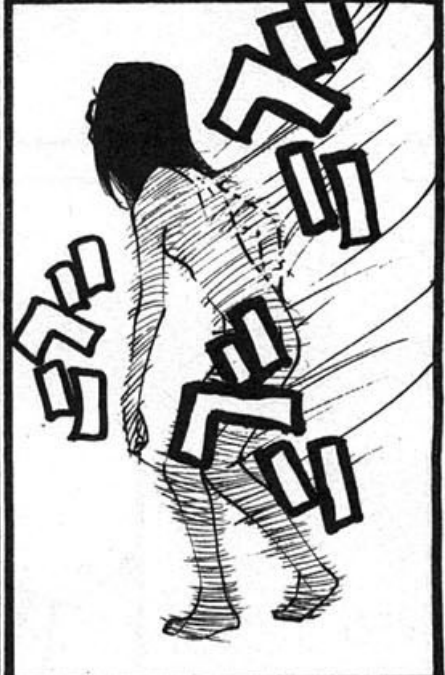
そのときには
 皮膚は
 完全に剝離し



服地と
 一枚になって
 しまっているのだ



ヤプーの皮膚を
 剥ぐのには
 普通これが
 使われている



もつとも
 ヤプーの肌
 に接する服地
 に重力が
 加わっていると

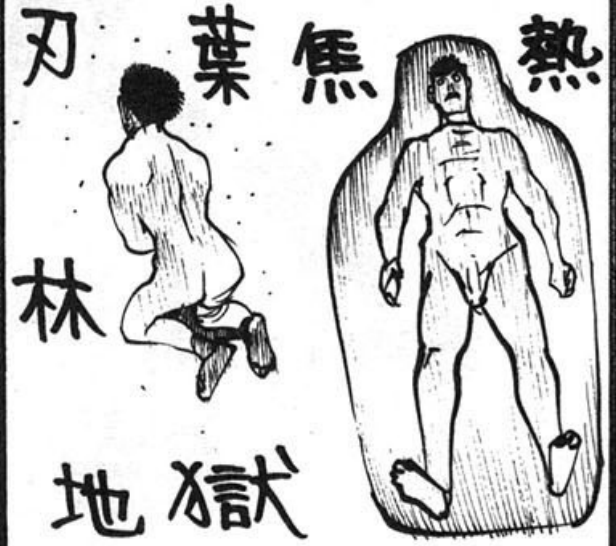


つまり
 ヤプーの肉体が
 白人を
 下から支える
 姿勢の場合には

反応痛は
 生じない



かま
窯の中が
焦熱地獄
なら
これは
刀葉林地獄と
でもいおうか



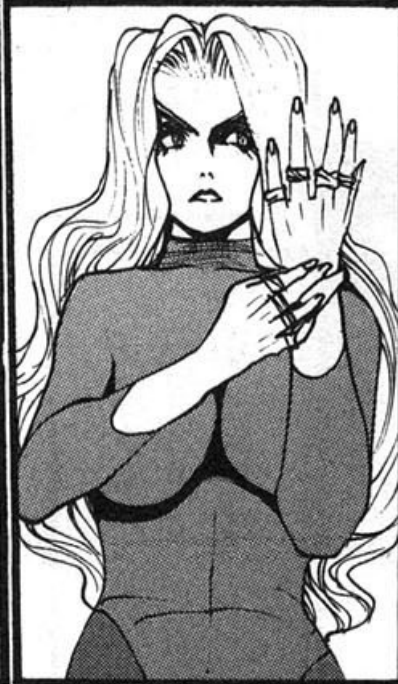
服地を
引き剥がそう
としても
離れればこそ
ただ
ころげ回る
ばかり
である



このとき
フットマン
従者が
帰ってきた



ポーリーンは
腕送話器を
腕に
着用しながら



彼に
命じて
手術室
から
手錠・足錠を
持って
来させ



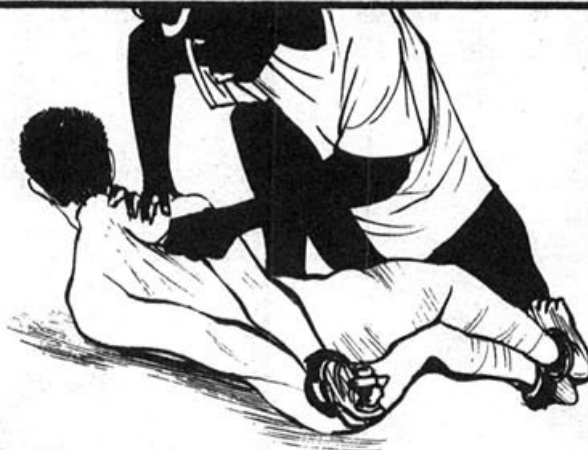
※ 食用畜も皮膚強化処置がしてあるのが普通で、皮は食べられません。そこで調理前に服型布巾で一時間全身を包みますと、皮は全部布巾に付着して取れてしまい赤身になります。赤身でも保存室で飼えば一週間は生きています。剣ぐときの皮膚反応痛で分泌された苦痛薬は二、三日で消えますから、飼に注意して、少なくとも三日間は赤身のまま生かしておき、それから調理すれば、美味しくいただけます。…… F・ダナウェイ「畜人料理のこつ」

とても
抵抗どころ
でない
鱗一郎の
両手・両足に
鎖錠さじょう
させた

よし
じゃこいつの服を
切り裂いて
剥がしておしまい

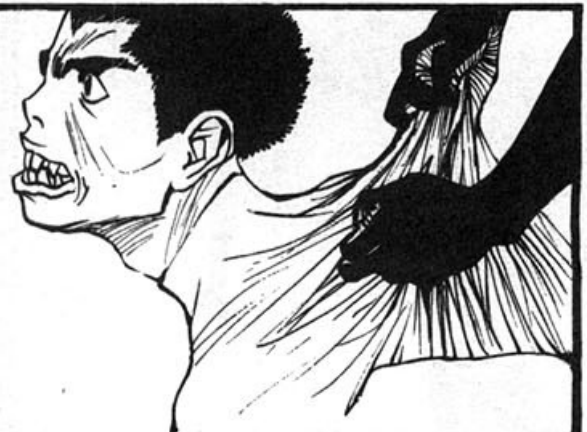


服の背中に
切り目を作って



まだ
それほど
反応が進行して
いないから

そこから
べりべりと
引き剥がす



強い絆創膏^{ばんそうこう}程度の
付着力で



服地が
取り去られると
嘘^{うそ}のように
激痛は去った

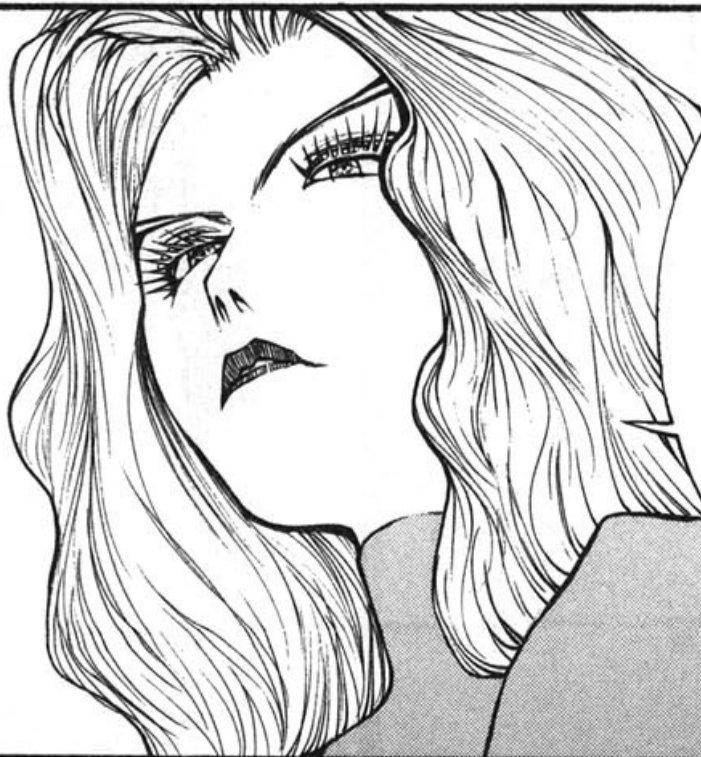
す



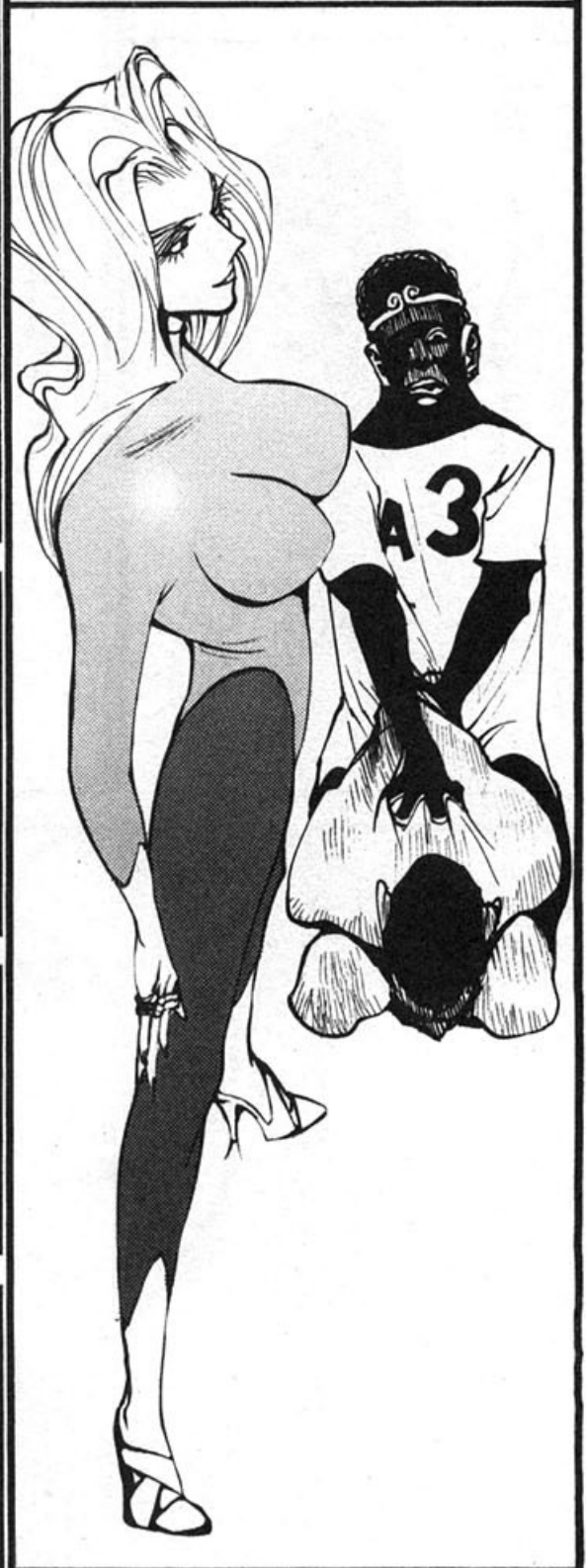
剥がしてしまえば
皮膚には
影響は残らない



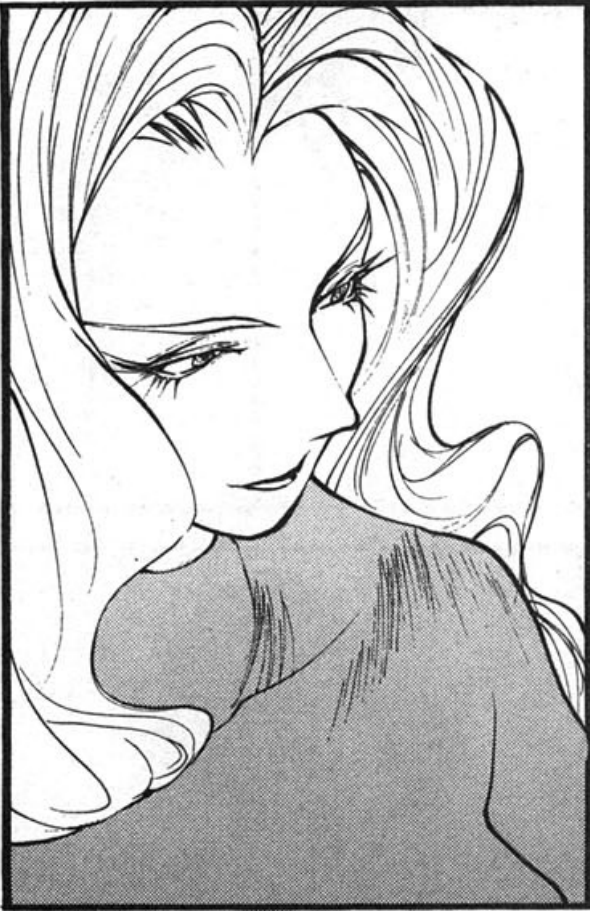
二度と
服を着る気は
起すまい



ふたたび
素裸に剥かれた
鱗一郎を
足元に見おろし
ながら



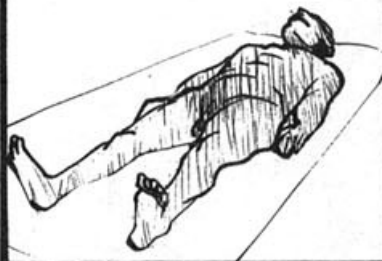
ポーリーンはひとりごちた



原因のすべてが
服にあった
ことを悟った
鱗一郎は



今こそ
船倉内で
入棺前に
聞かされた



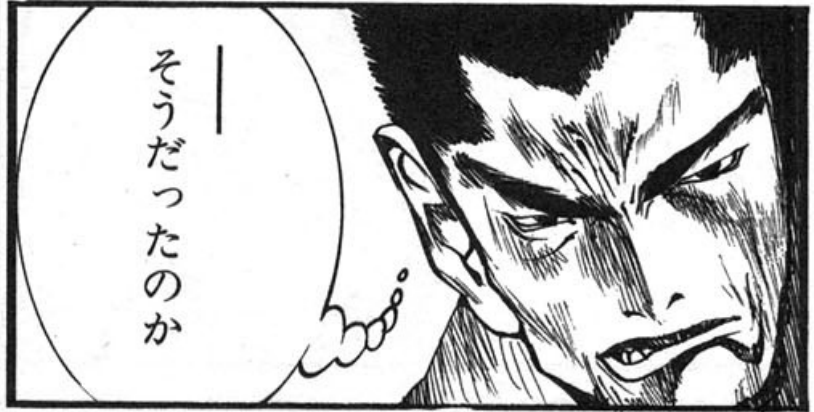
着物ノ
要ラネエ
肉体ニナル



との
謎なぞのような
言葉の真意を
理解した



—
そうだったのか



あの
高熱棺は
俺おれの皮膚を
変質させる
窯かまどだったのか



俺は
着物の着られない
体になって
しまったんだ

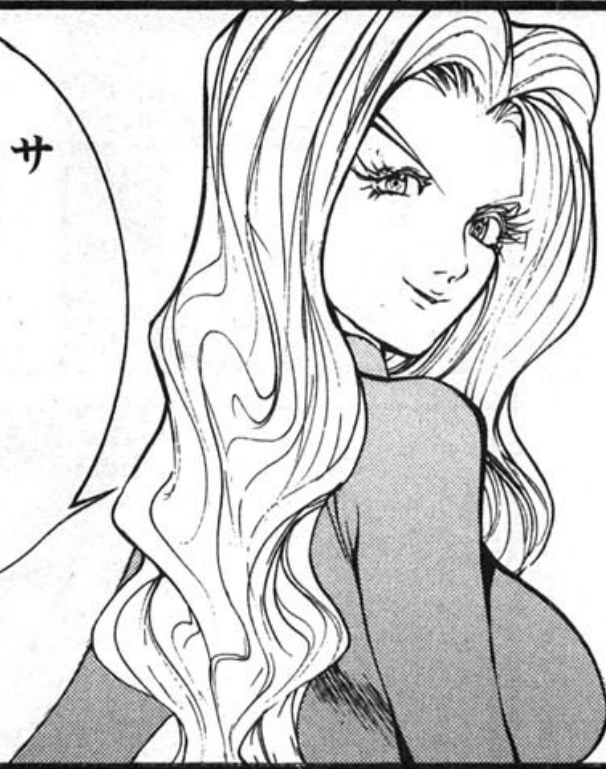


どうすればいいのだ
俺は……



ポーリーンが
笑いながらいった

サ
約束ドオリ
オ前ノ主人ニ
会ワセテヤルヨ



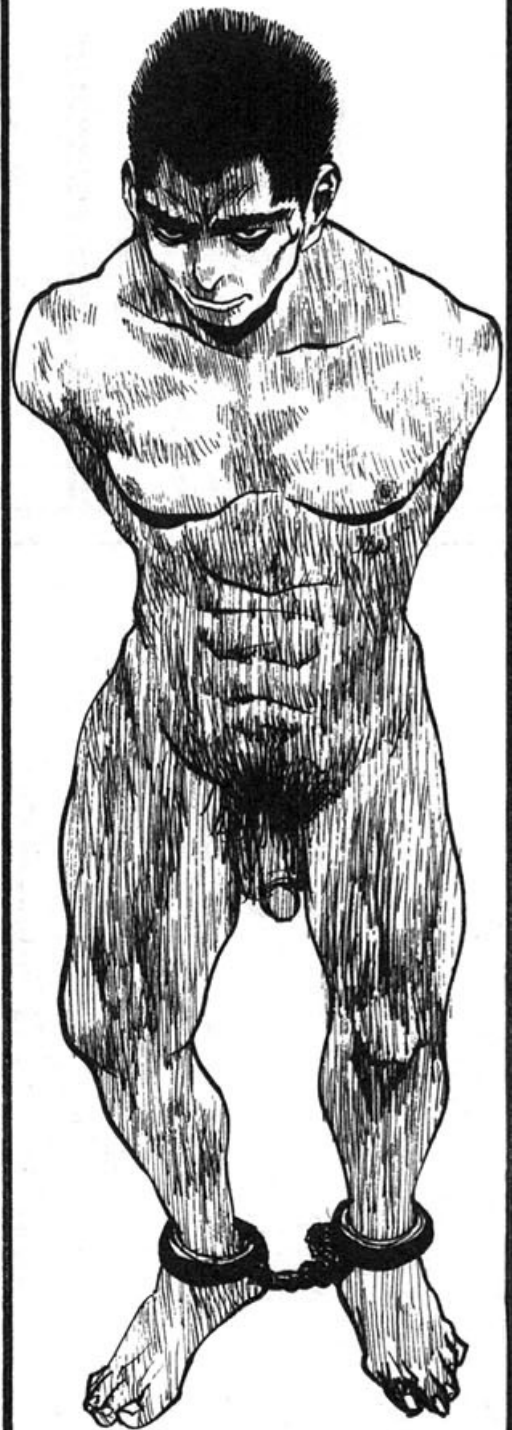
後ろ手錠の
鎖尻を
A3号に取られ

両踝くもがしを結ぶ
たった
三十センチ
しかない
足錠の鎖に
歩き悩みつつ

彼は
彼女に続いて
エレベーターの
人となった



絶望が
暗く
心を
満たして
いた



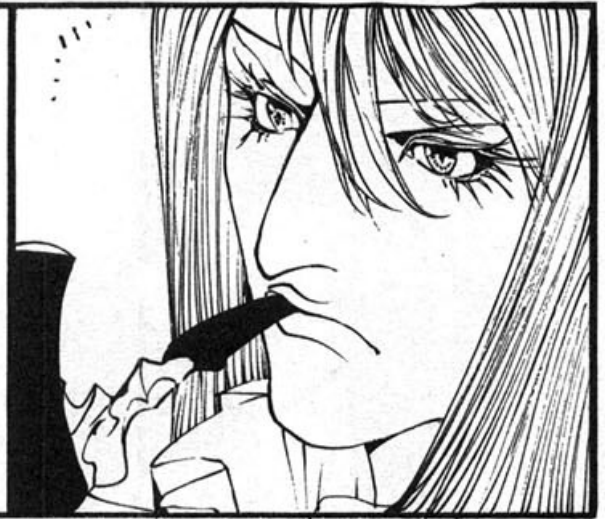
今は
クララの
温かい
言葉への
期待
だけが
彼の
心の支柱
だった



ウイリアムは
新しい一服を
吸いつけながら



ふと
思い出したように
訊いた

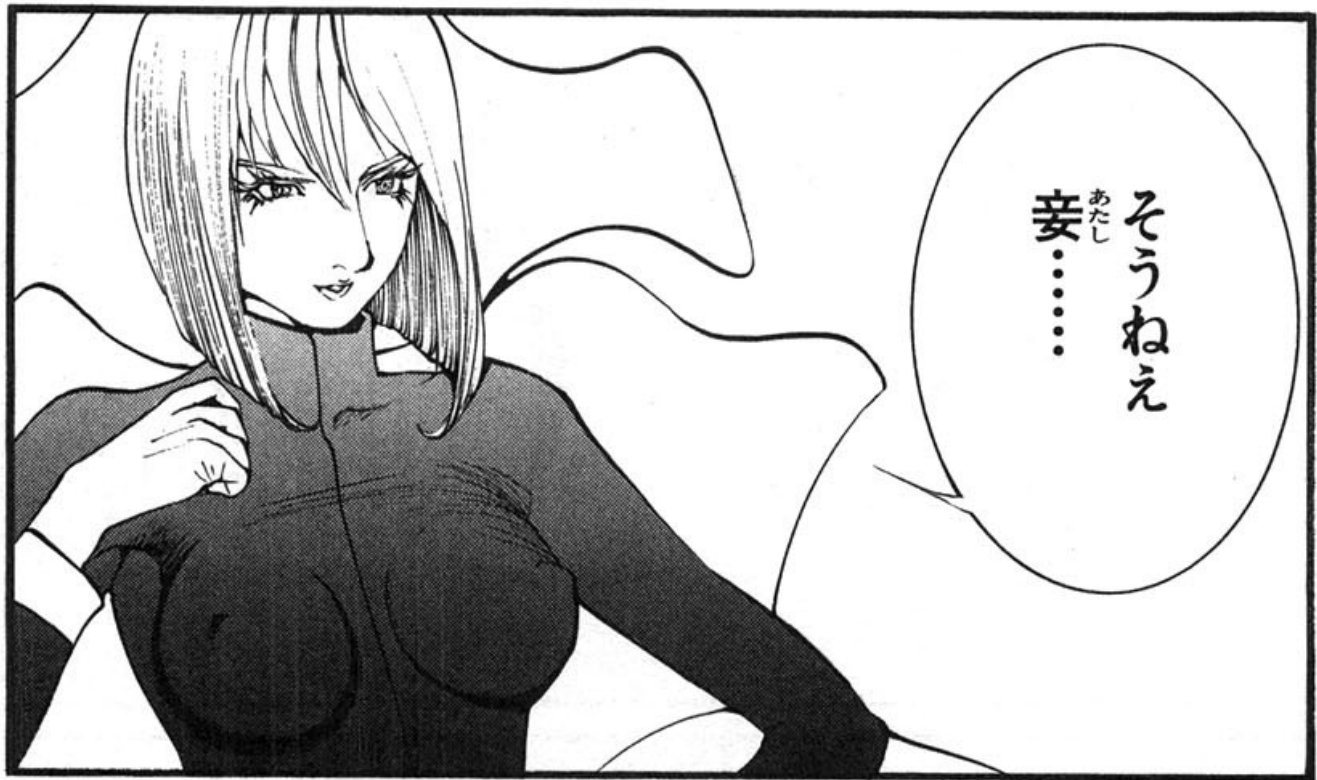


あのヤプー
——隣^{リン}って
いうんでしたね

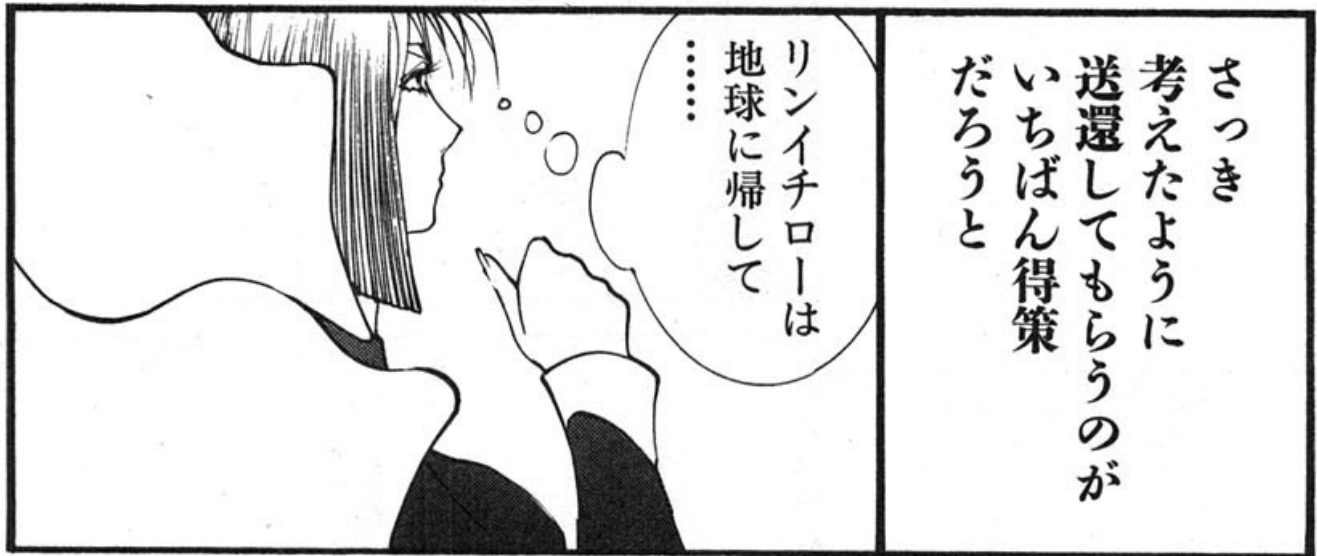


——^{あれ}奴を
どうする
おつもりですか？





そうねえ
あたし
妾……



さつき
考えたように
送還してもらうのが
いちばん得策
だろうと

リンイチローは
地球に帰して
……

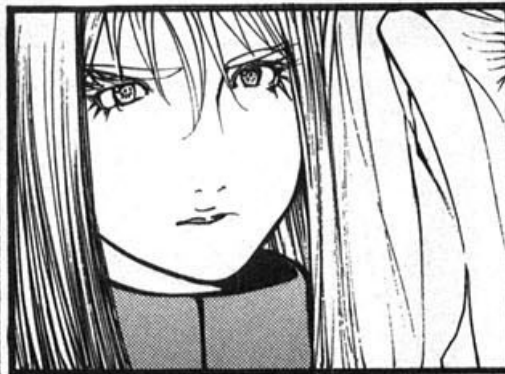


クララは
口に出し
かかったが

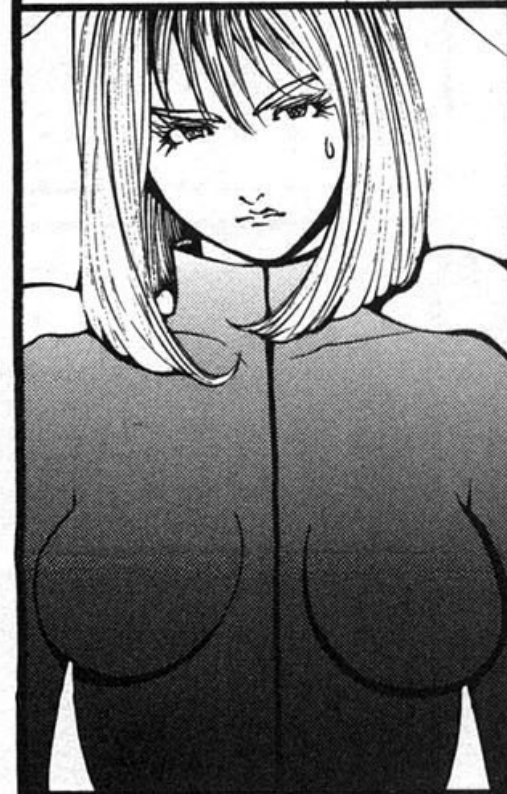


どうです？
何に使います？

彼女を
ドキリとさせ
口をつぐませて
しまうような
ものがあつた



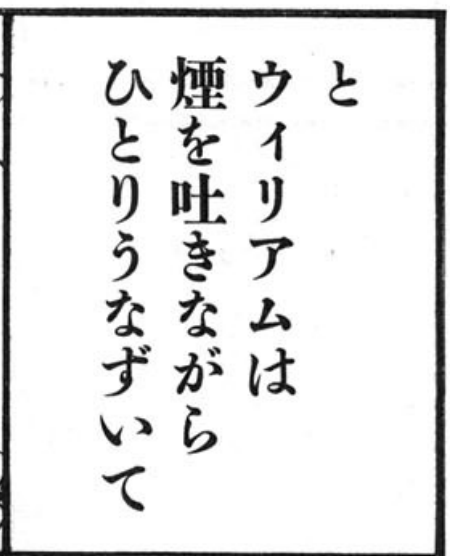
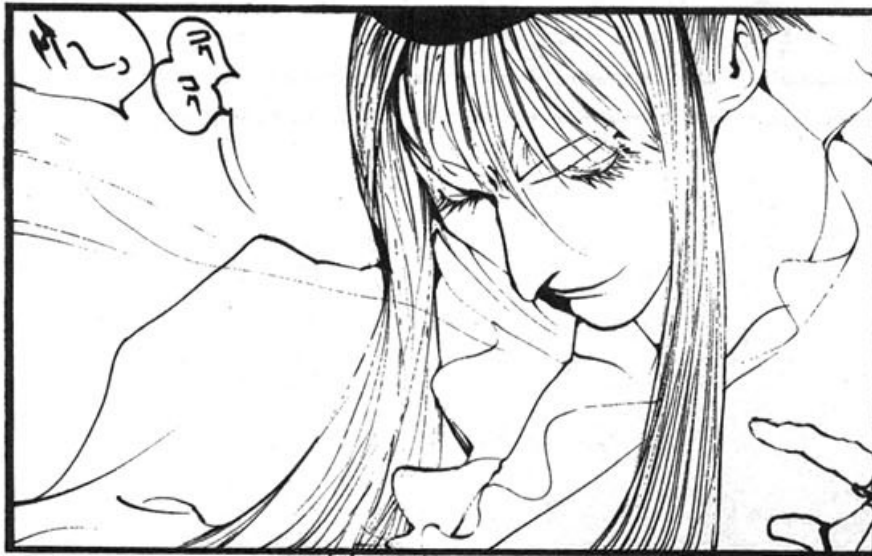
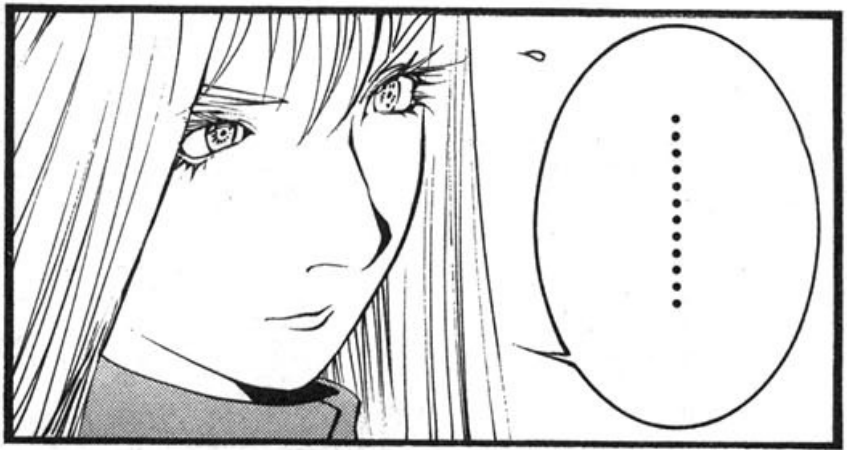
再度の
ウイリアムの
問いが意味する



何に
使います？



という
表現には

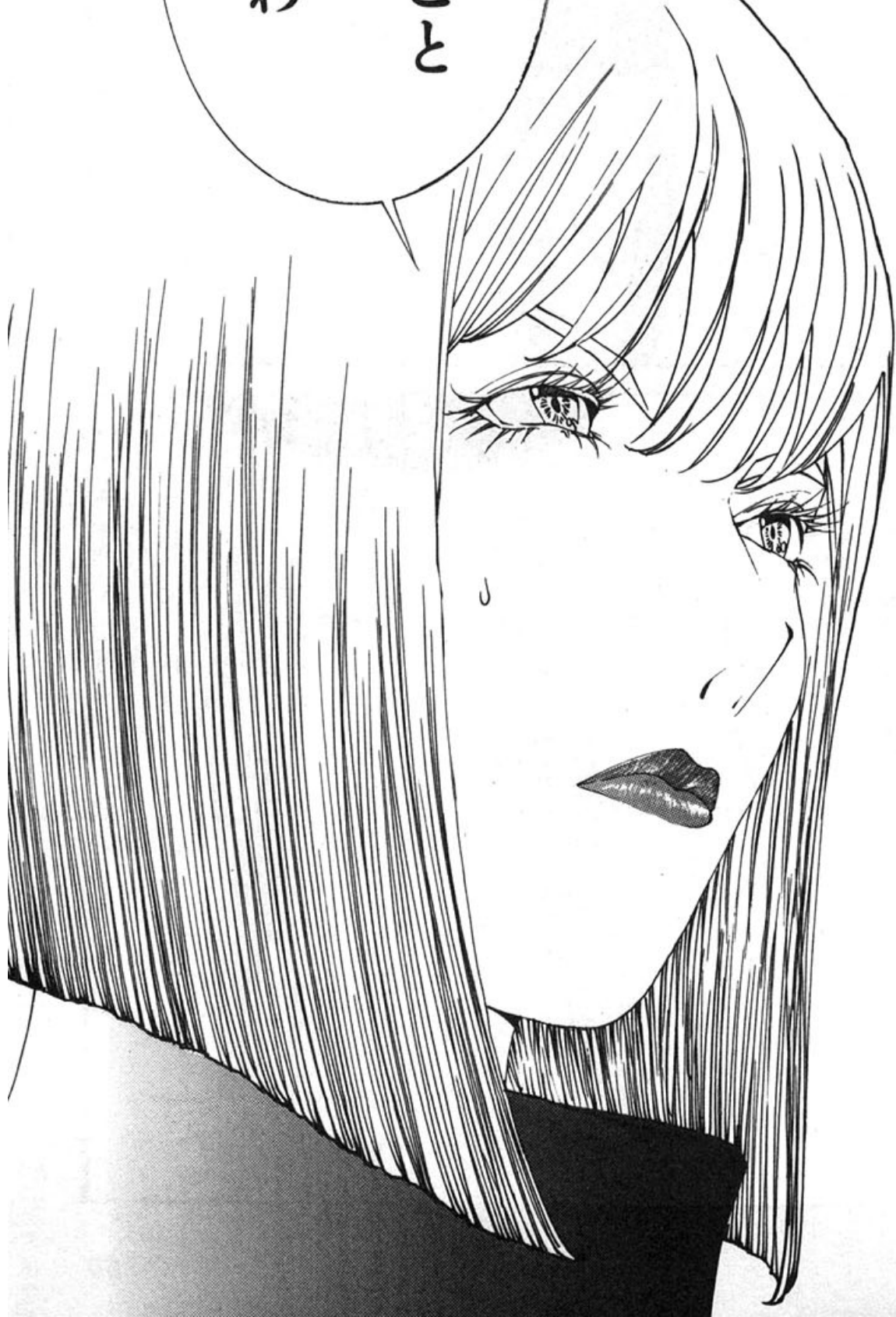




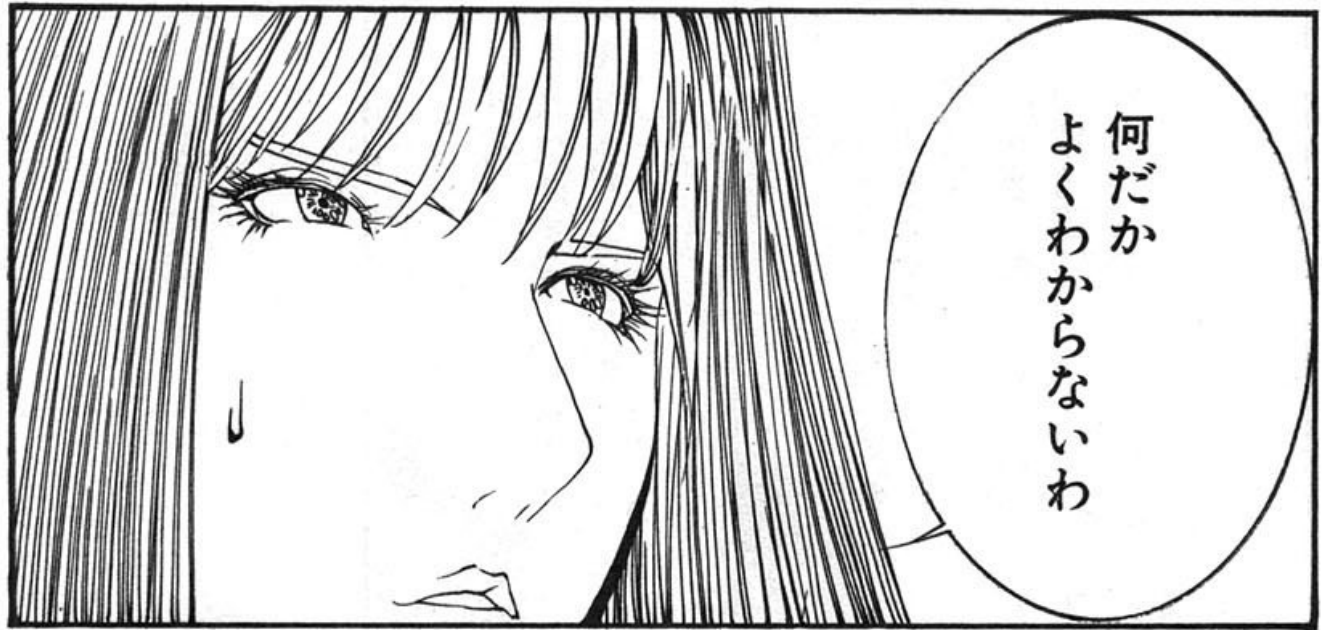




聞いたこと
のある
言葉だわ







何だか
よくわからないわ



ヤプーは
服従本能の旺盛な
動物だと
誰でもいいいます



奴らの
遺伝子の中の
家畜人因子が

白人に対する
絶対的劣等感を醸成し
それが自由意志を
抑制するのですね

優越

劣等感

ウイリアムは
本格的説明を
始めた

しかし
それは原ヤプーとして
生産される奴らが

イースという
家畜人に
本来適した
理想的環境で
育つからです

イース
家畜人
理想的環境



だから
イースで
生れ育たなかった奴らは
自由意志を持つ
個体に成長
してしまいます


自由意志の中枢は
大脳局部の

大脳



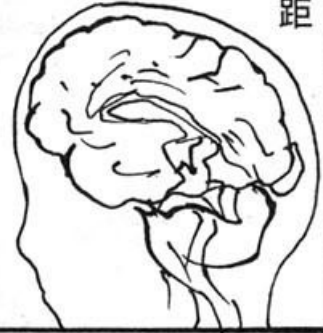
なんと
言ったかな

自由意志



そう
クルクレス
鳥距の近傍に
あるんですね

鳥距



そこで
そういう連中は
「意思去勢」
といって



その
大脳局部の
神経回路を
条件反射で
閉鎖させるんです

条件反射



これで
成育後の
無駄な知識経験に基づく
ヤプーにふさわしくない
物の考え方が
一掃されてしまうから

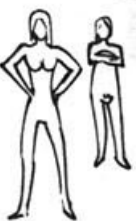


これを
洗脳と
称ぶんです

洗。脳。



これで
ヤプー本来の
服従本能が
露出してきます



服従本能



ロボトミー
脳葉剔出では
ありませんが
一種の
サイコ・サージカル・オペ
精神外科的手術
ですね

ヤプーの
優秀な知性を
利用するためには
それがいちばん
いいのです

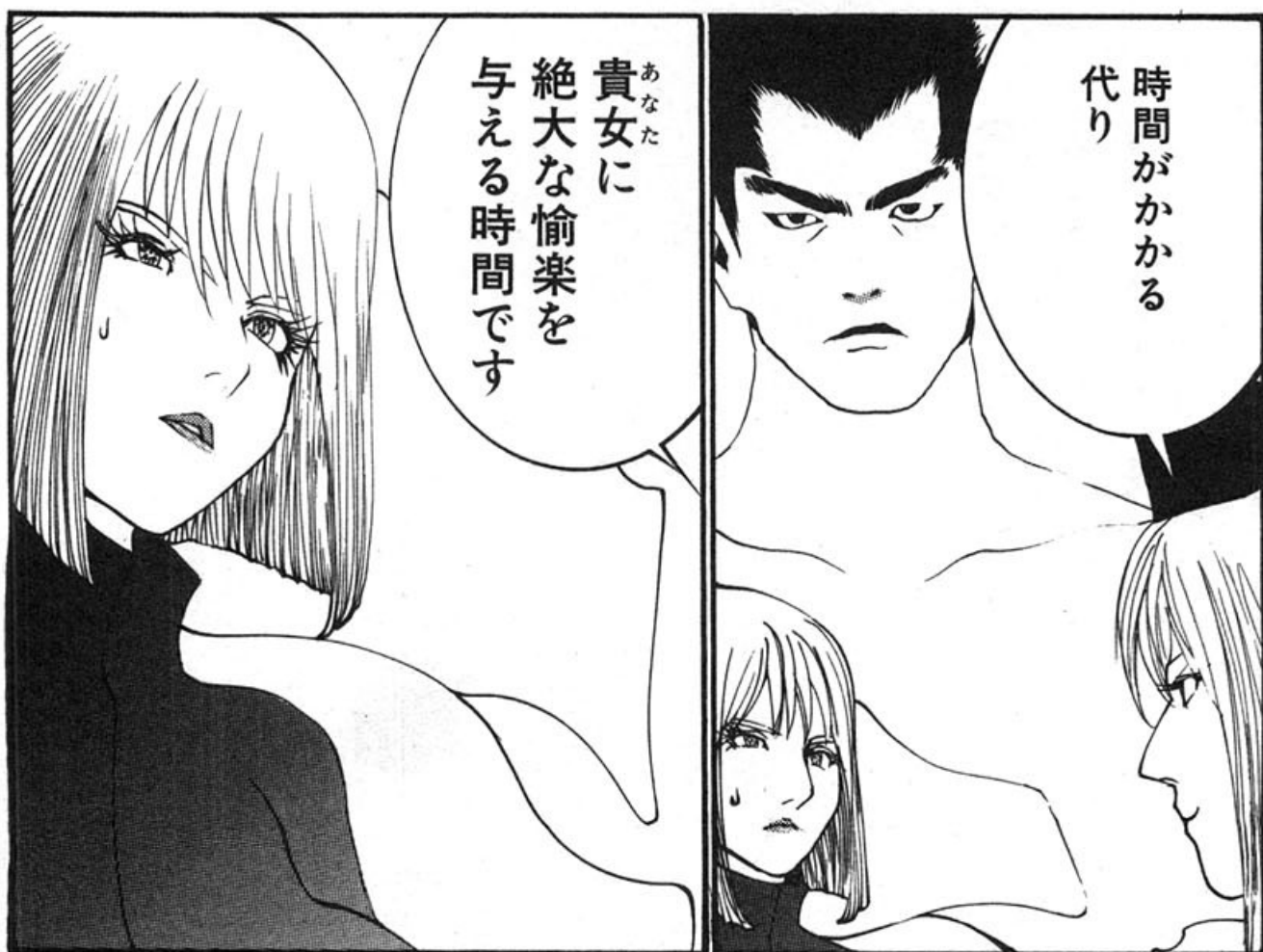
精神

もうクララは
ミスター・セベ
瀬部氏と
口をすべらせも
しなかった

では
麟も……

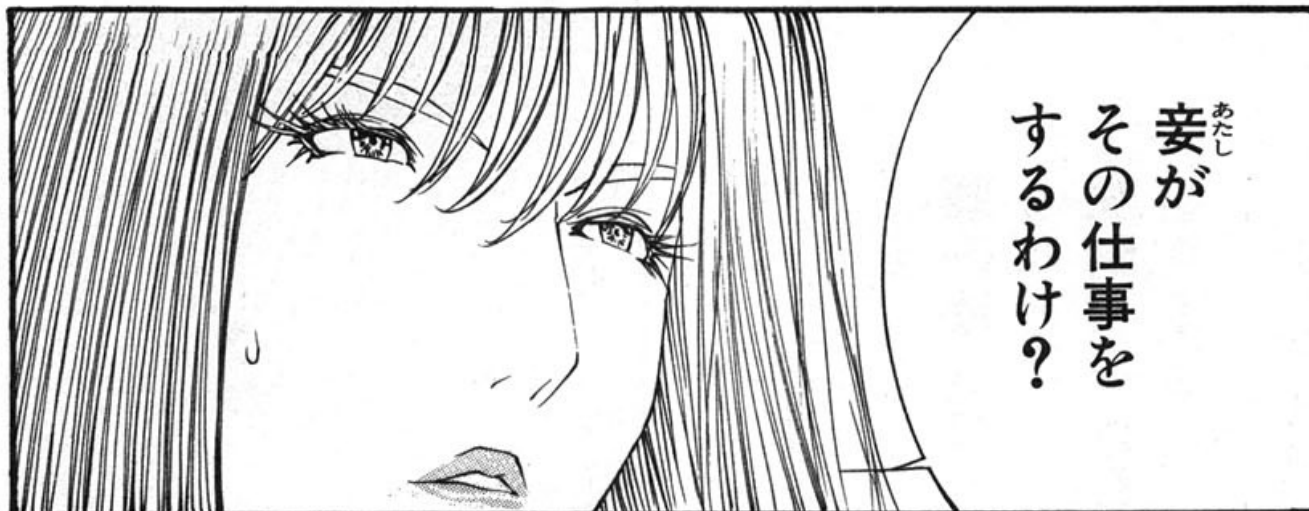


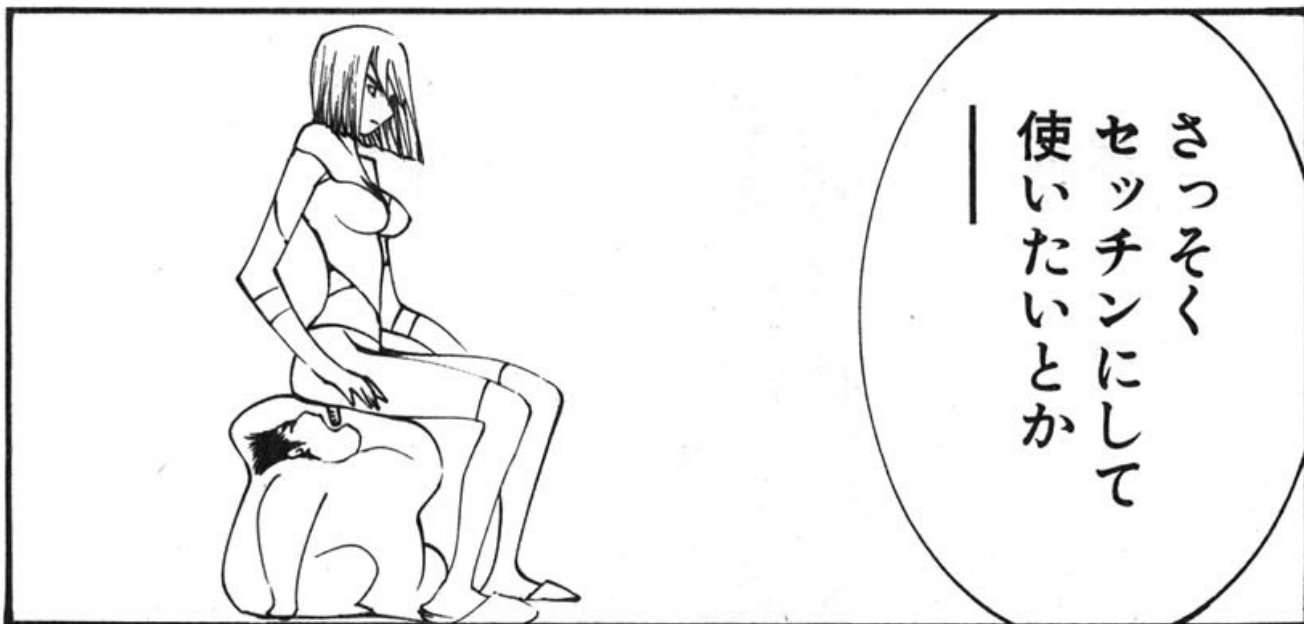
ええ
麟の場合は
もちろん
洗脳しなければ
なりません

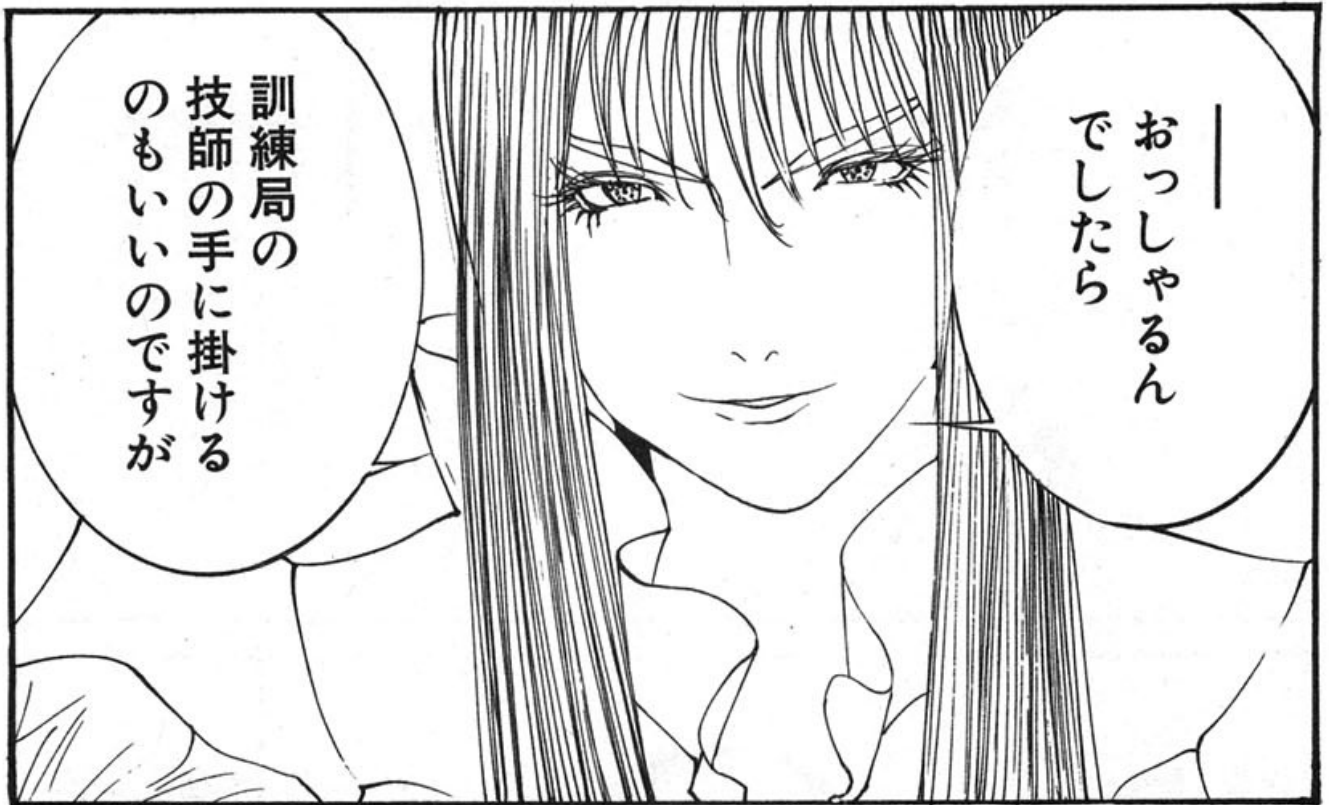


時間がかかる
代り

あなた
貴女に
絶大な愉樂を
与える時間です

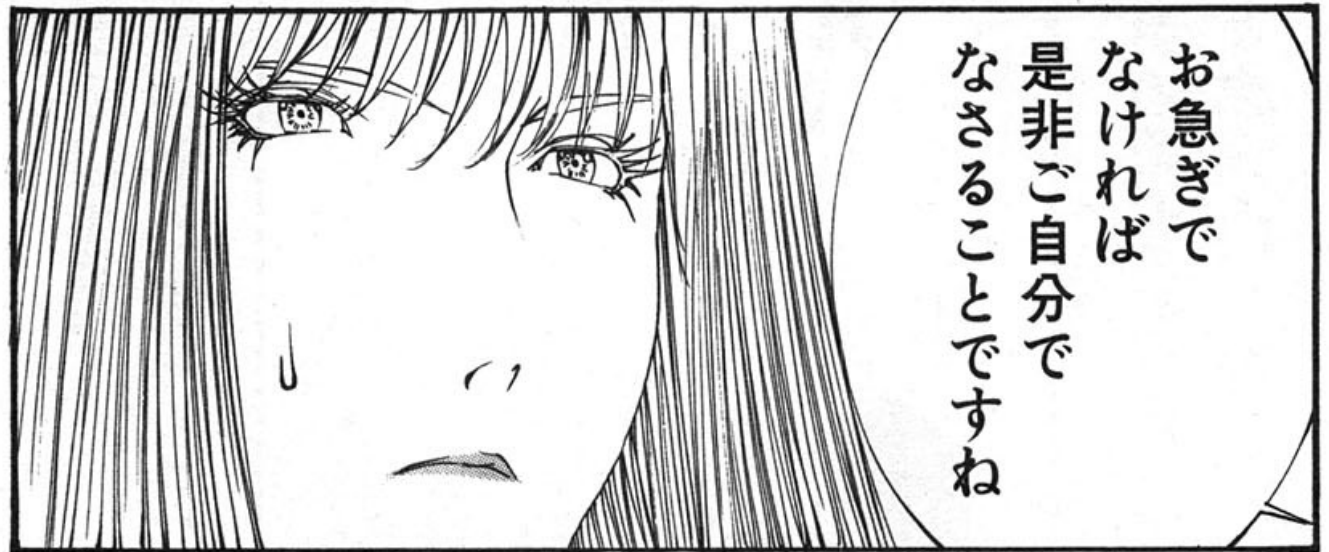




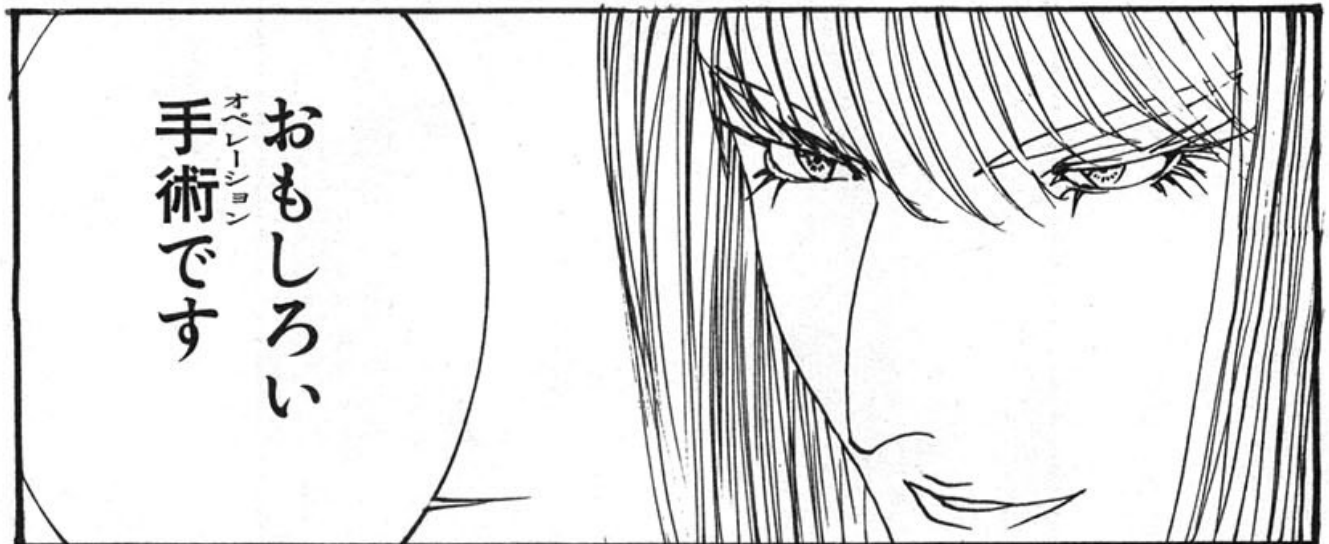


おっしやるん
でしたら

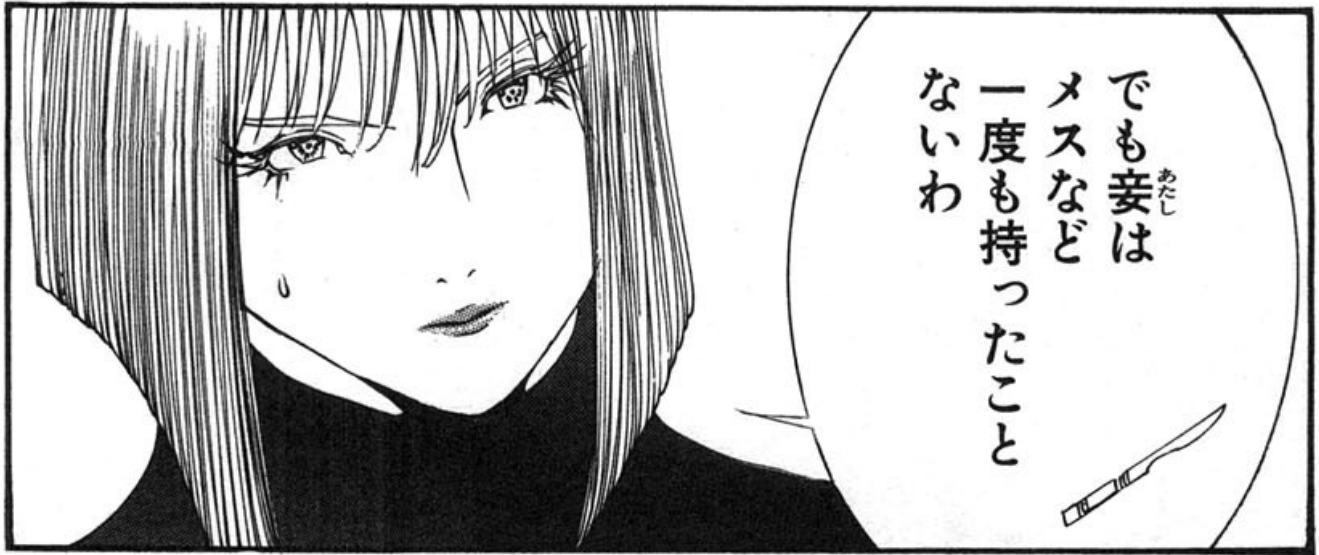
訓練局の
技師の手に掛ける
のもいいのですが



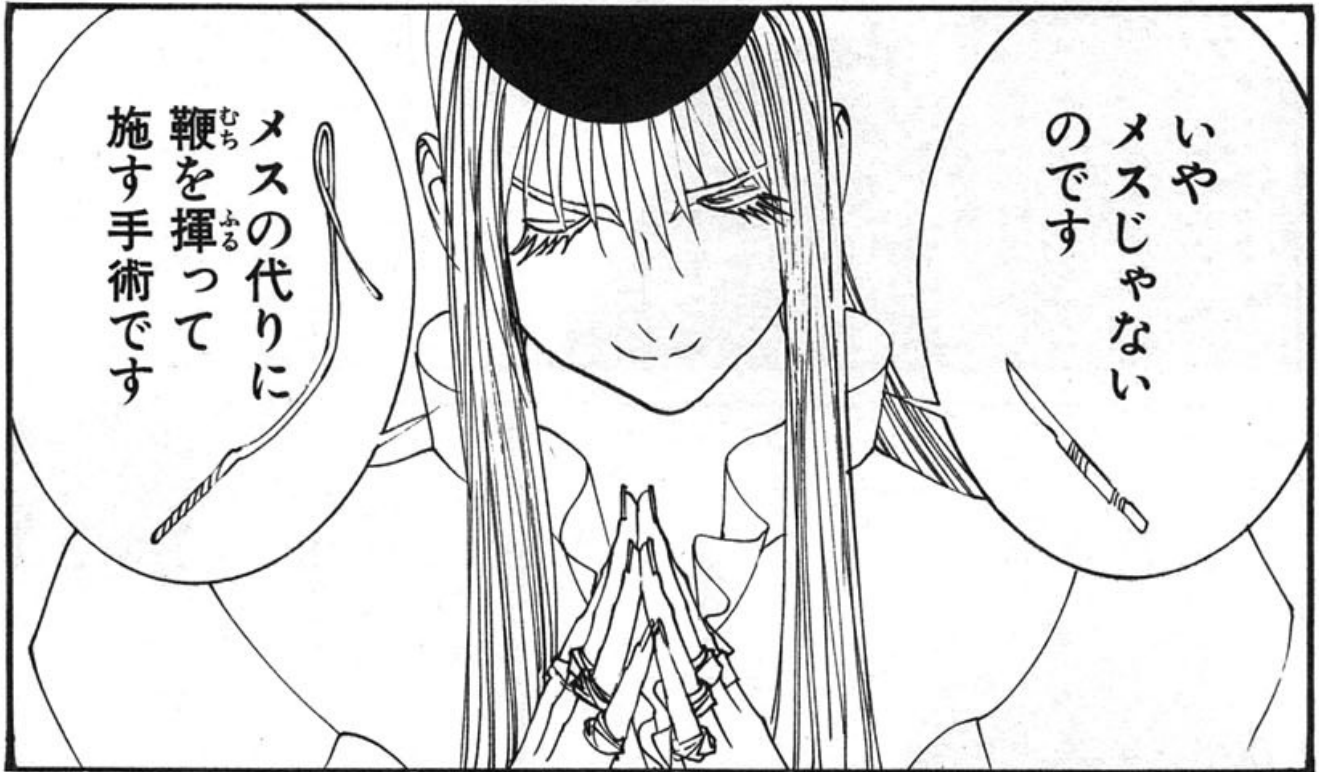
お急ぎで
なければ
是非ご自分で
なさることですね



おもしろい
オレーション
手術です



でも妾^{あたし}は
メスなど
一度も持ったこと
ないわ

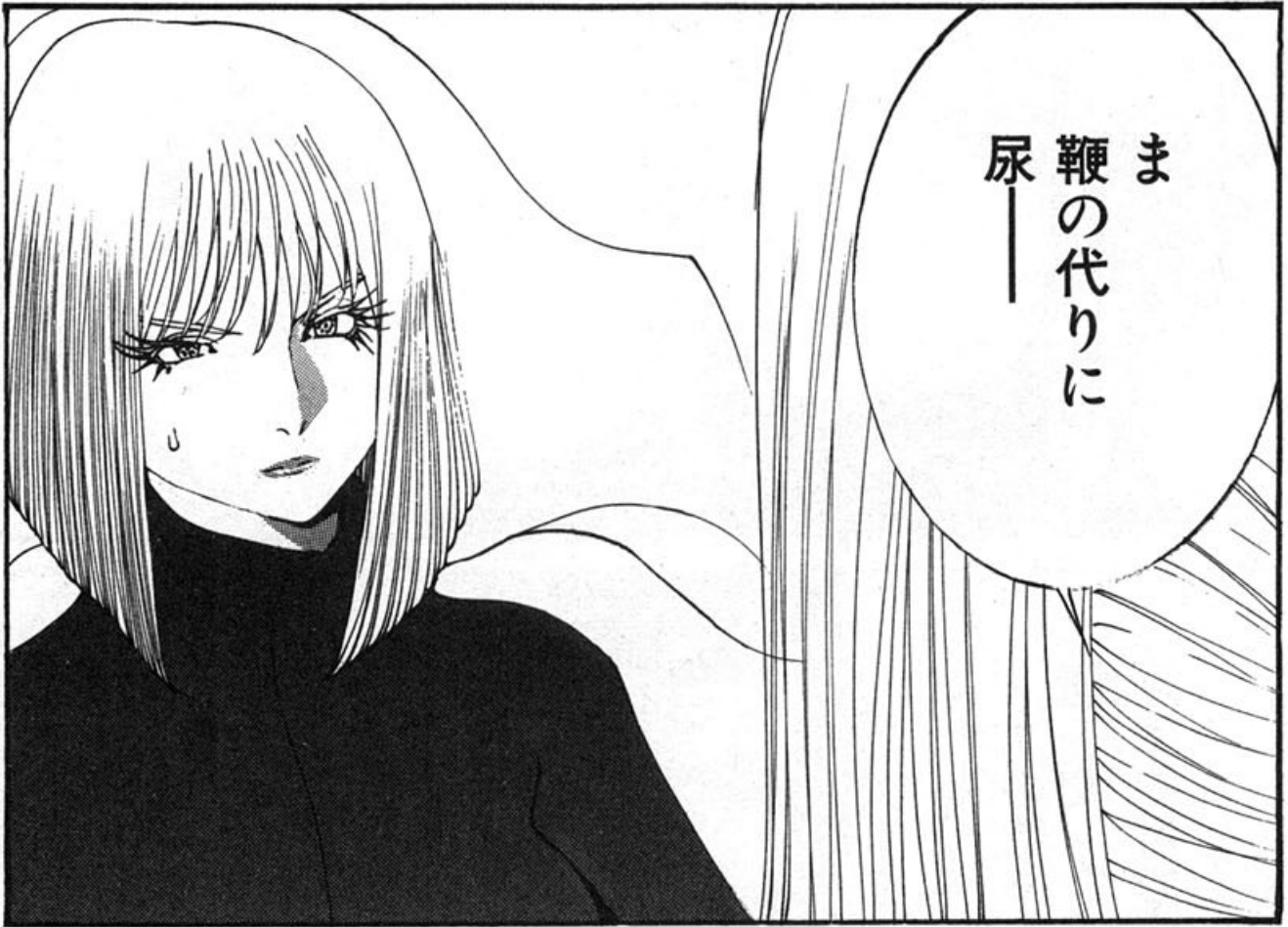


いや
メスじゃない
のです

メスの代りに
鞭^{むち}を揮^{ふる}って
施す手術です



普通
曲げるって
言いますがね



ま
鞭の代りに
尿




え?




小水を使
う人も
います
が




クララ



ヤプーには
自由意志を認めない
この世界に
ヤプン諸島一億の
土着ヤプー



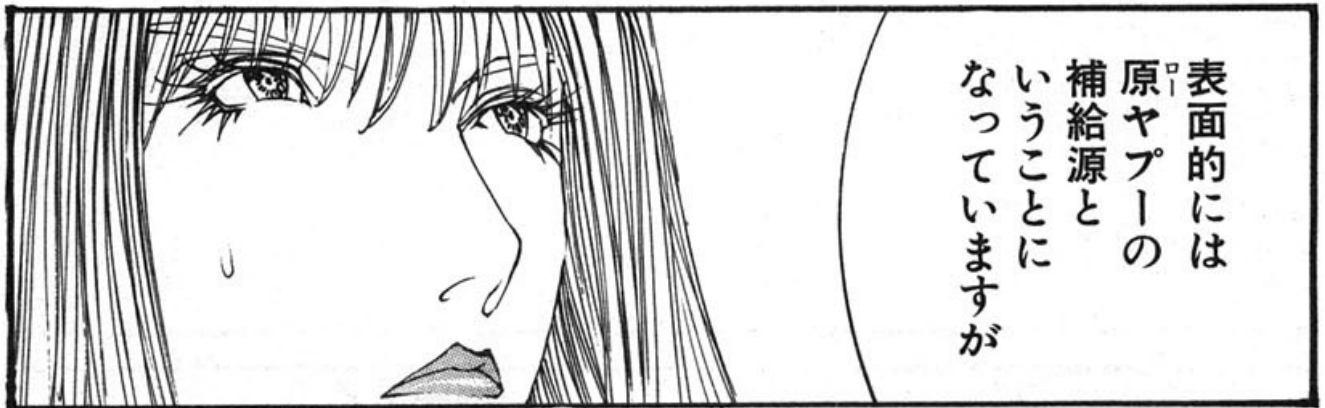
「^{ジャパン}邪蛮国のヤプーだから
^{ジャップ}邪蛮畜人」って
いうことも
多いんですがね



—が
人間意識を持つ
ことを許されて



生存しているのは
なぜだと
思いますか？



表面的には
原ヤプーの
補給源と
いうことに
なっていますが



実際は
奴らの
存在意義は



原ヤプーは
いくらでも
仔を作りますから
補給には
事欠きません



ジャップ
なしにだって

パイプの灰を
スベツクン
肉痰壺に
落しながら
続けた

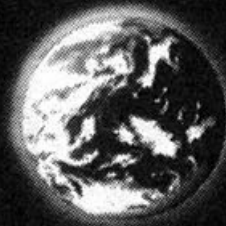
私たち貴族に
洗脳手術の
愉楽を与える
材料たるにある



と
いえるのです

この地球まで
捕獲とりに来るのが
遠すぎる星の
人々のためには

市場で
わざわざ
ジャップが
売られている
くらいです



商標は

「貴女の鞭の
お楽しみに」

と
いうんですよ

わかるでしょう

鞭で
ジャップの
自由意志を
叩きこわし
たた

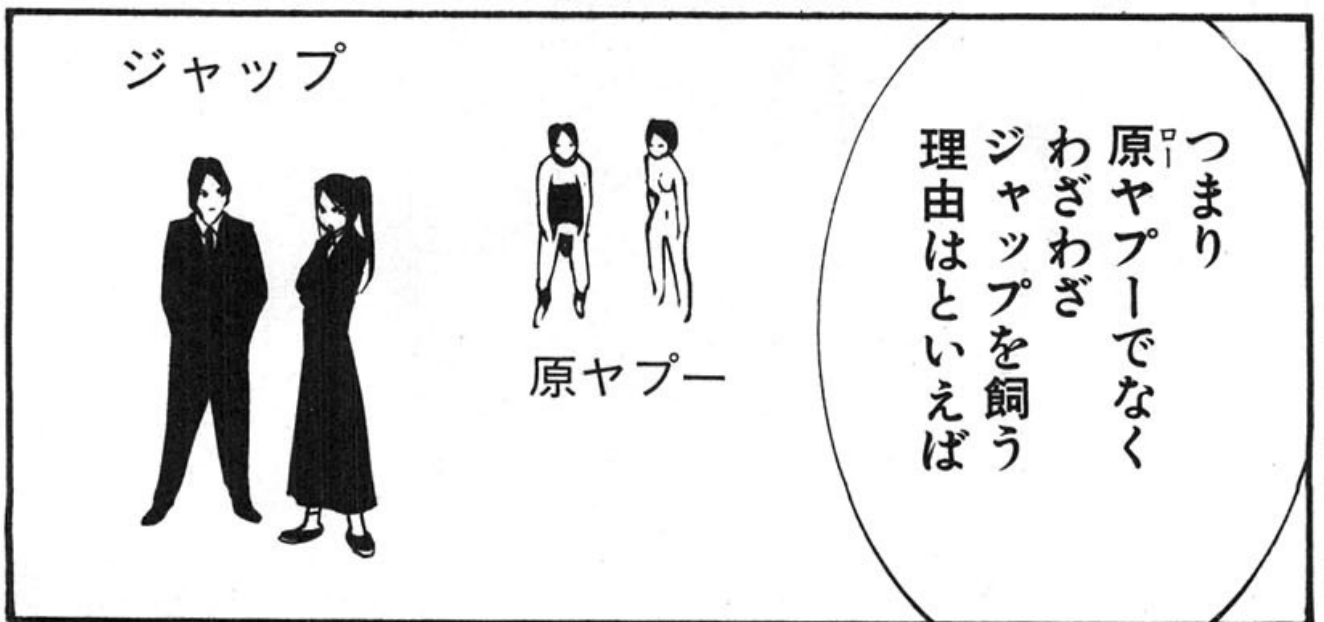


服従本能を
引き出して
一匹前の原ヤプーに
仕立て上げる
までの調教が

私たちが
貴族にとって
いかに愉快的な
精神的娯楽か
ということが



恐ろしいことを
ウィリアムは
平然と
語り続けるの
だった

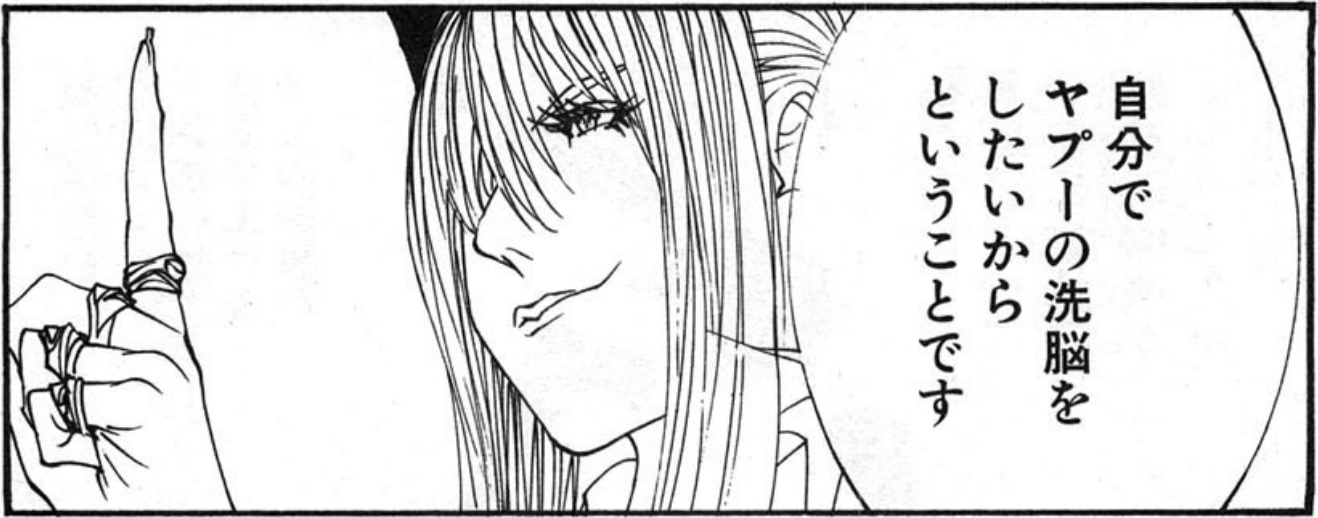


ジャップ



原ヤプー

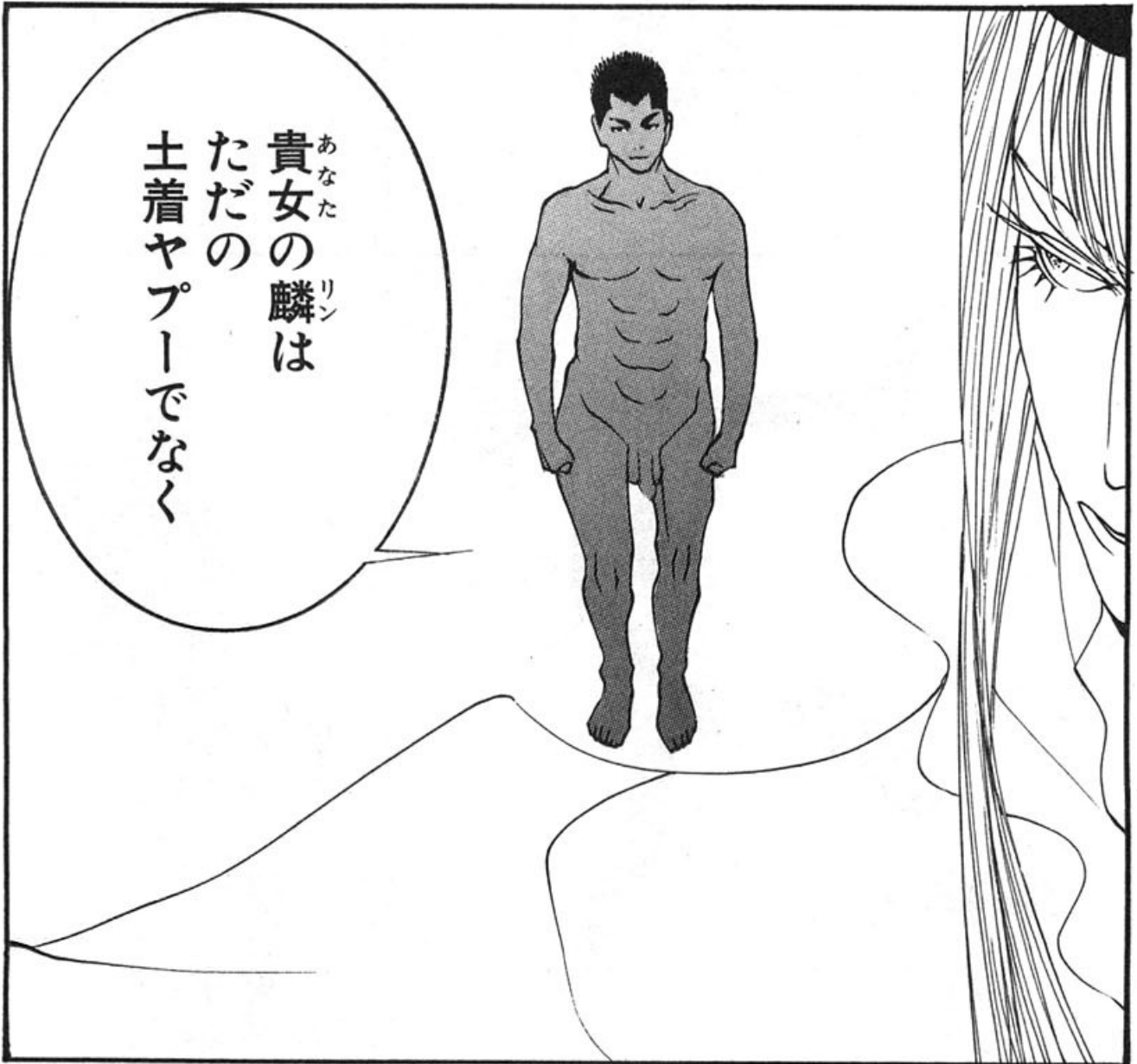
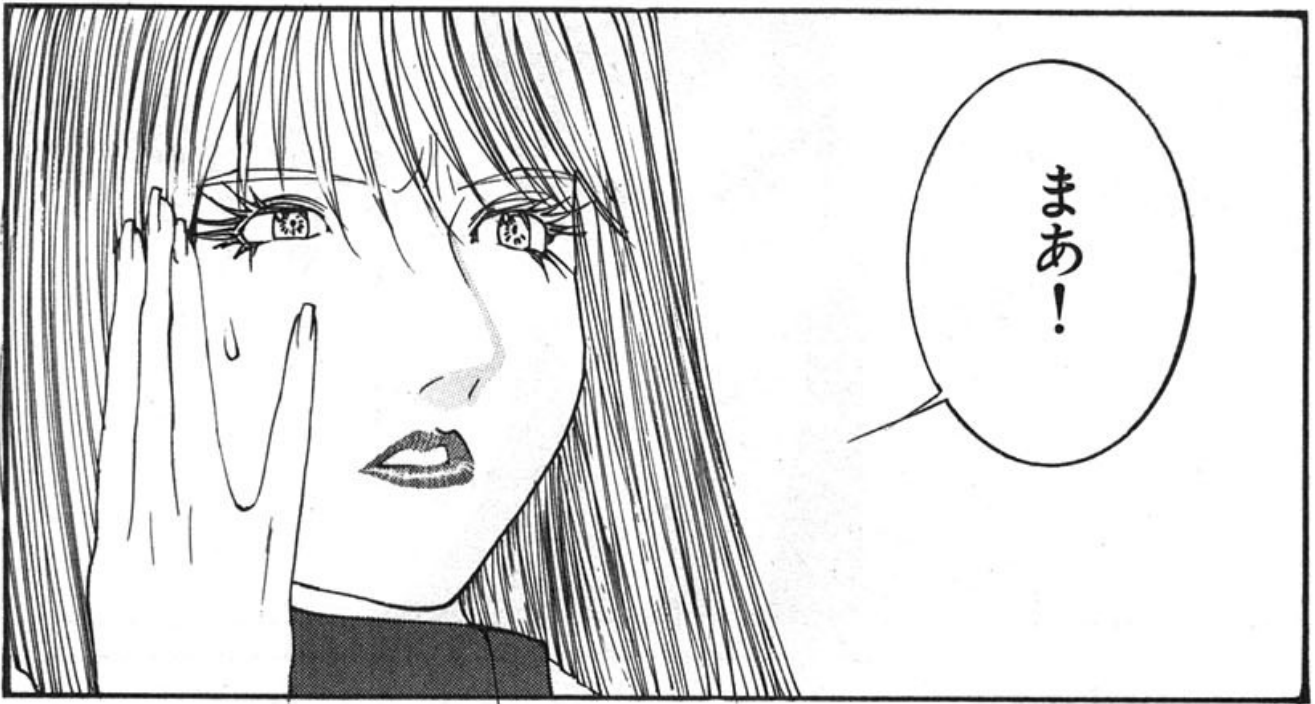
つまり
原ヤプーでなく
わざわざ
ジャップを飼う
理由はといえば

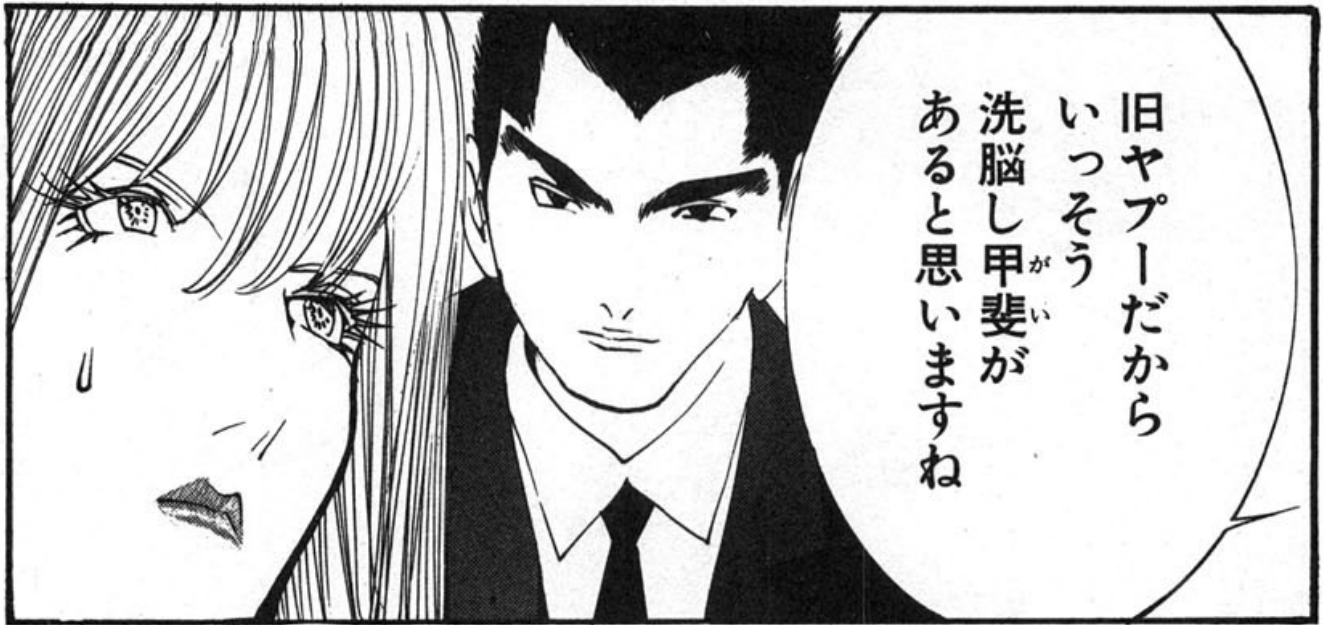


自分で
ヤプーの洗脳を
したいから
ということですよ



ジャップは
鞭打つために飼う
家畜なんですよ

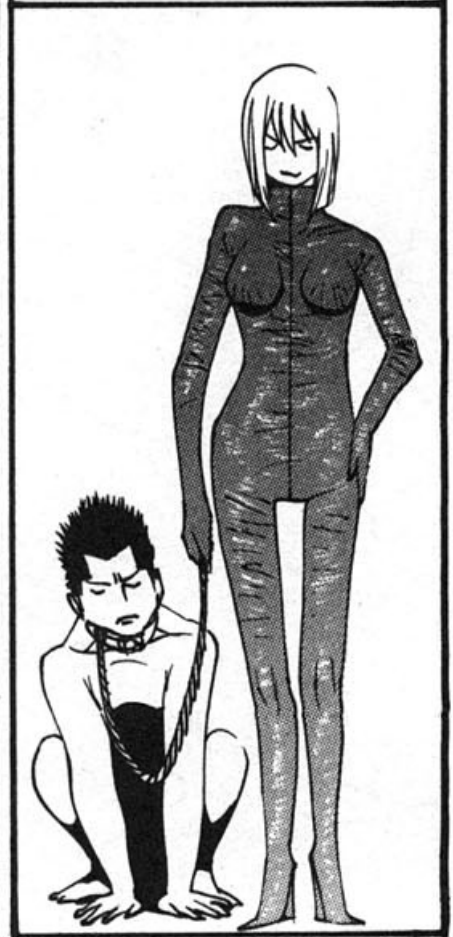




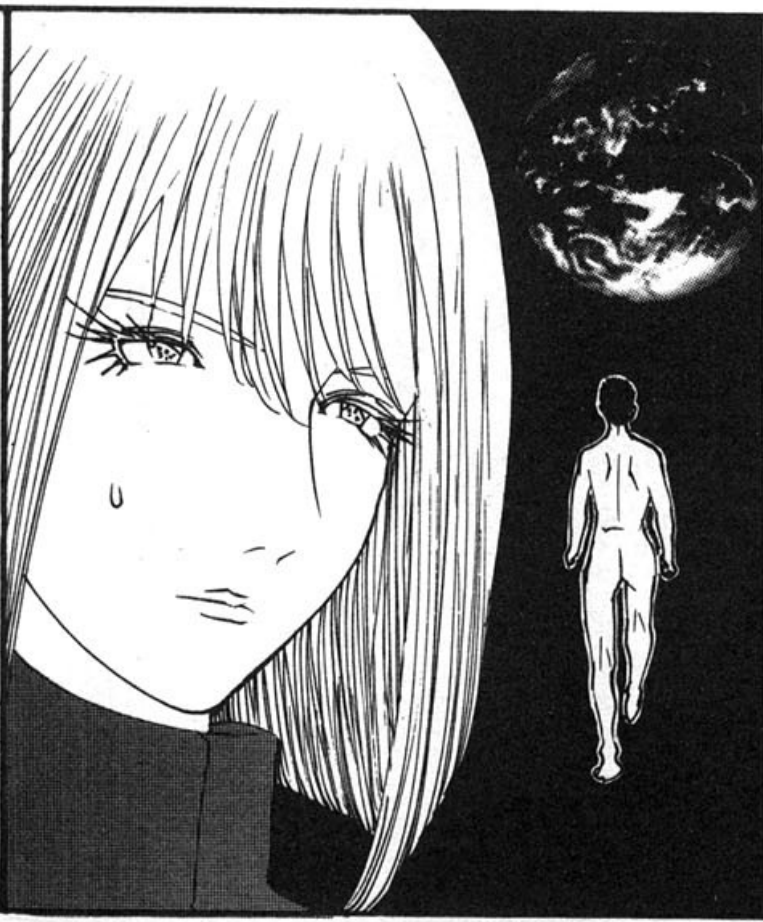
旧ヤプーだから
いっそう
洗脳し甲斐が
あると思いますね

今後
飼育する
ことを
当然のこと
とした
話しぶり
である

彼女が
鱗一郎を
飼ヤプー
として



クララは
それにはまだ抵抗を感じ



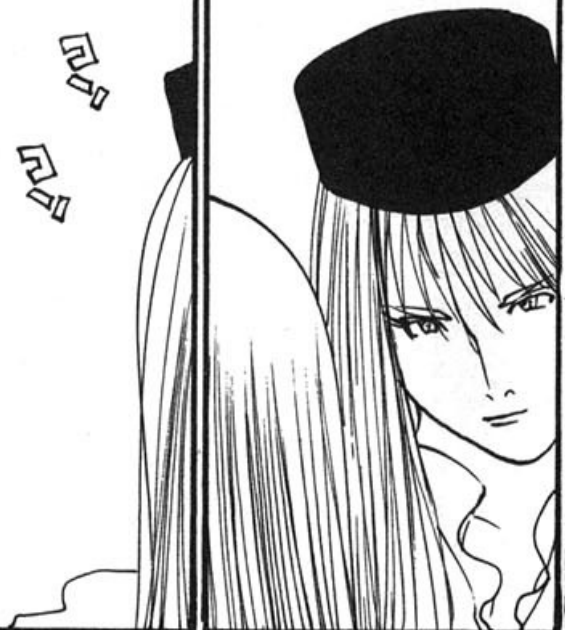
先ほどから考えていた
麟一郎送還の案を
逆に相談しようとした

……
妾^{あたし}が
考えているのは
……

と
切り出したが

そのとき
扉^{ドア}にノックの
音が聞え
どこからか
声が聞えた

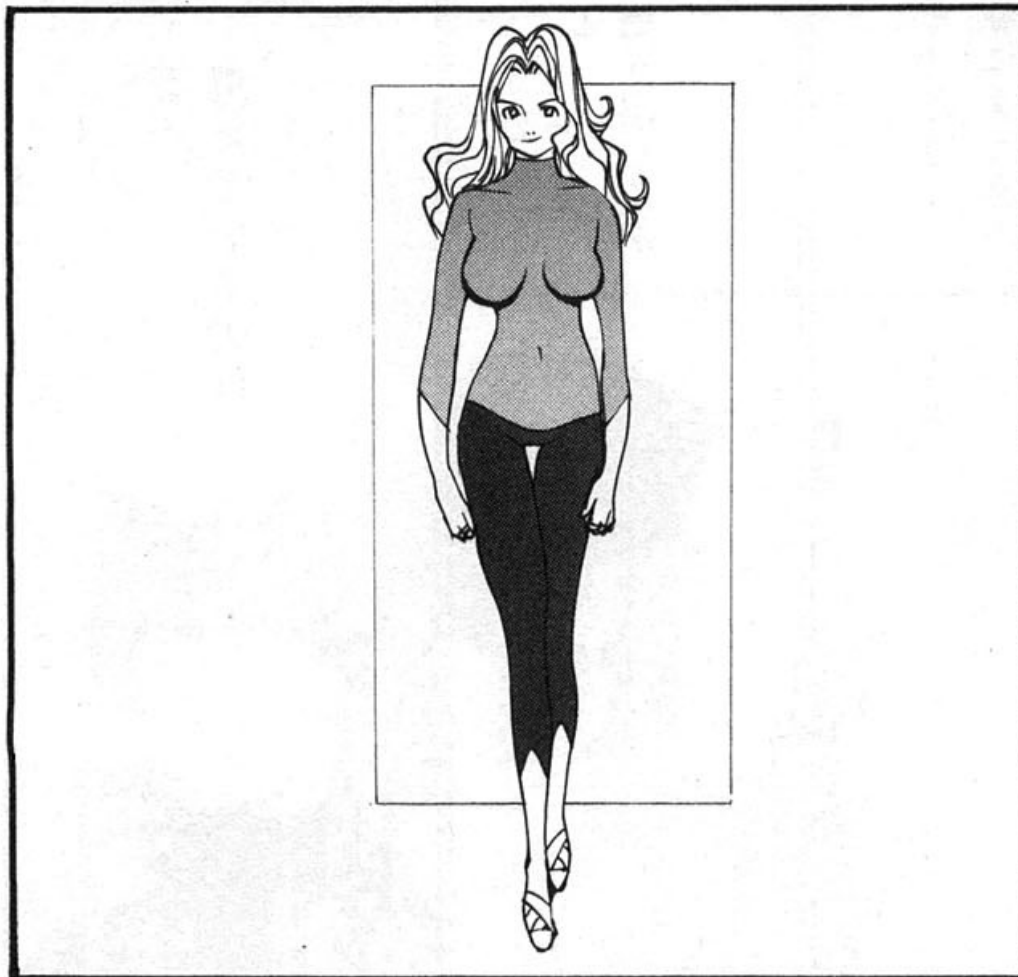
F1号で
ございます



……
お話し中で
ございますが
ただいま
若奥様がお見えに
なりました

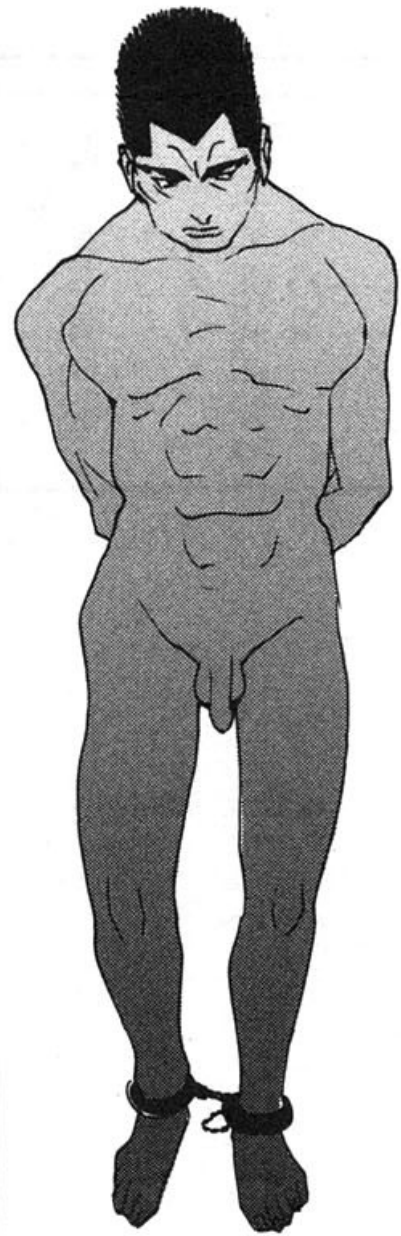


お^カは^ムい^リな^キい^ン



クララの声に応じて
扉が開き
ポーリーンがはいつてきた

後に
続くのは
素裸の
鱗一郎と



彼を
つないだ
鎖の端を
握る
黒奴従者
である

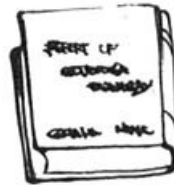


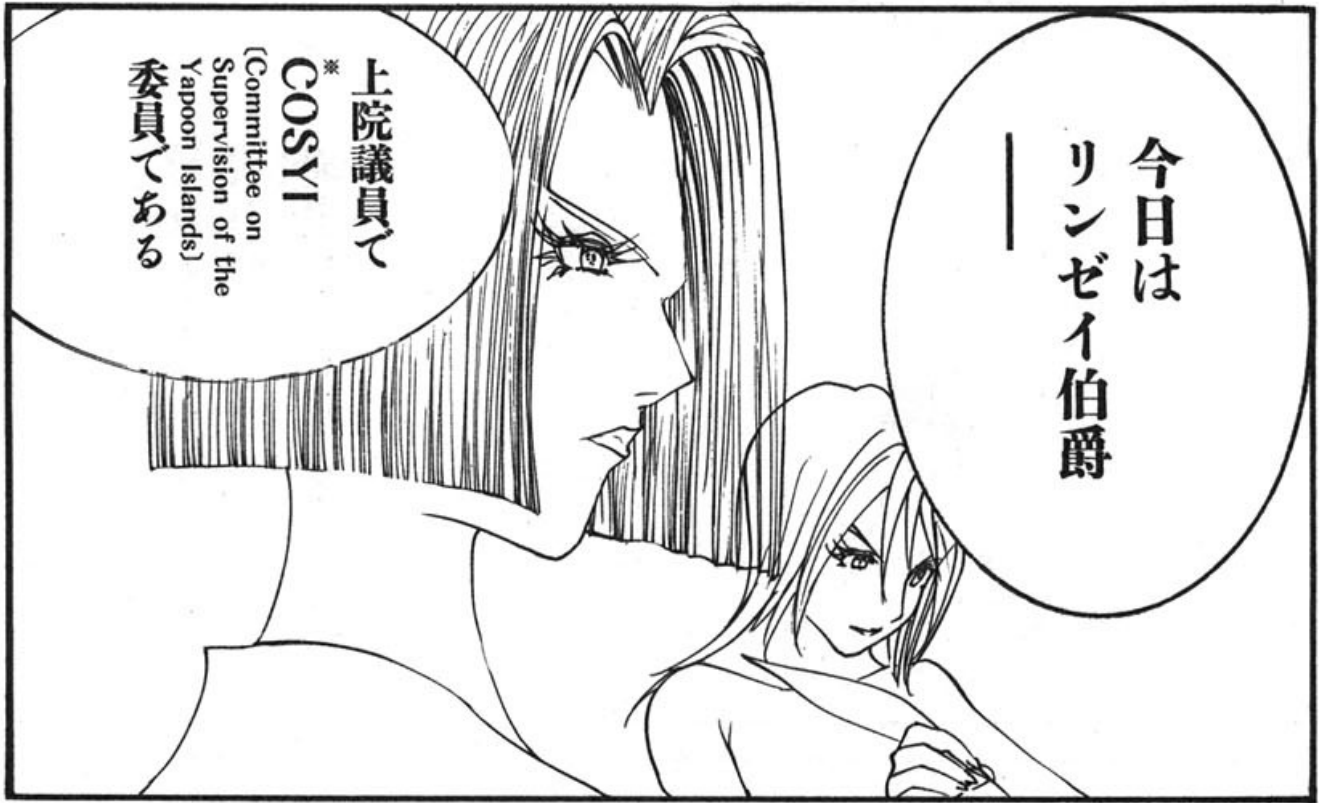
ジャップの曲げ

つまり
土着畜人の
洗脳についての
ウィリアムの話

理解しやすくする
格好の文献を
紹介しておこう

先にも引用した
キャサリン・
ノヴァタの
首都星探訪記録の
一節である



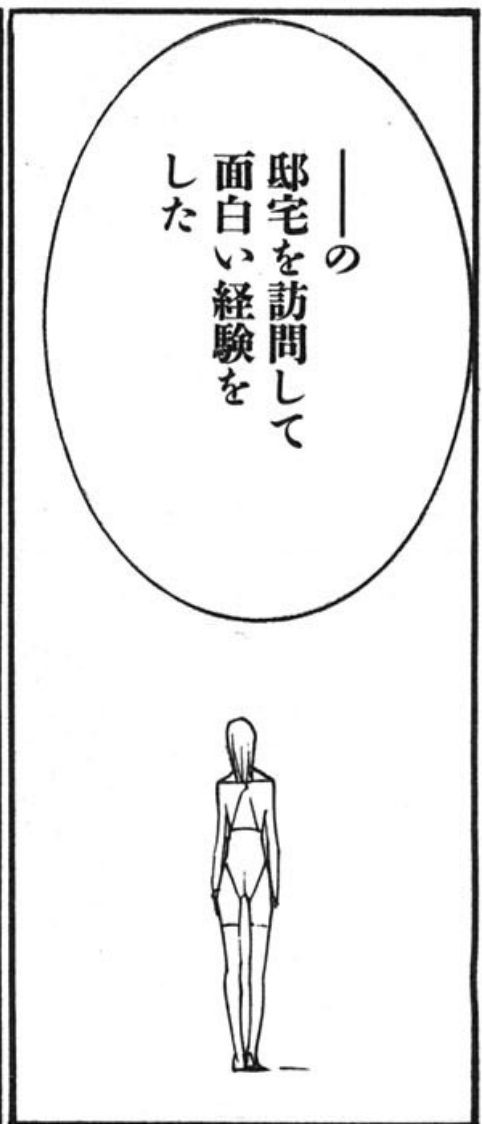


上院議員で
*COSYI
(Committee on
Supervision of the
Yagoon Islands)
委員である

今日は
リンゼイ伯爵



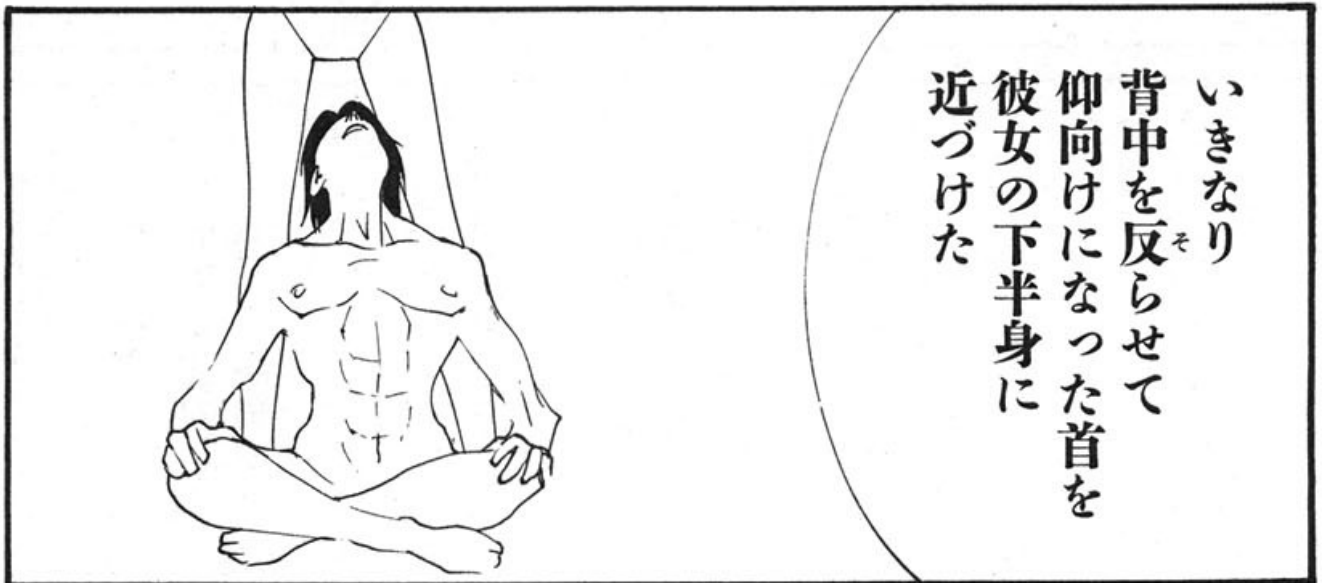
応接室で会話中
彼女の呼び出した
原ヤブーが



—の
邸宅を訪問して
面白い経験を
した



彼女の前に来て
後ろ向きになって
胡坐あぐらをかくなり



いきなり
背中を反そらせて
仰向けになった首を
彼女の下半身に
近づけた

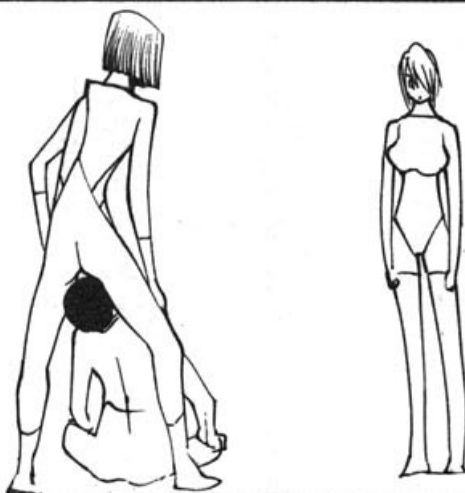


私は

なにか
遊戯するのか

と思ったが

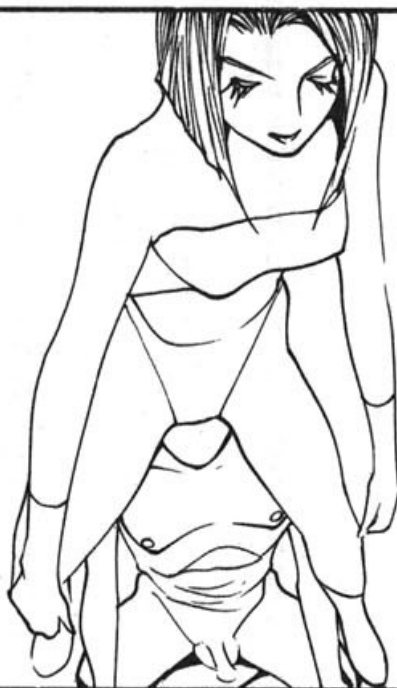
彼女は
中腰になって
股を開くと



そのまま
股の下に
差し出された
顔の上に



ひよいと
またが
跨ったから
びつくりした



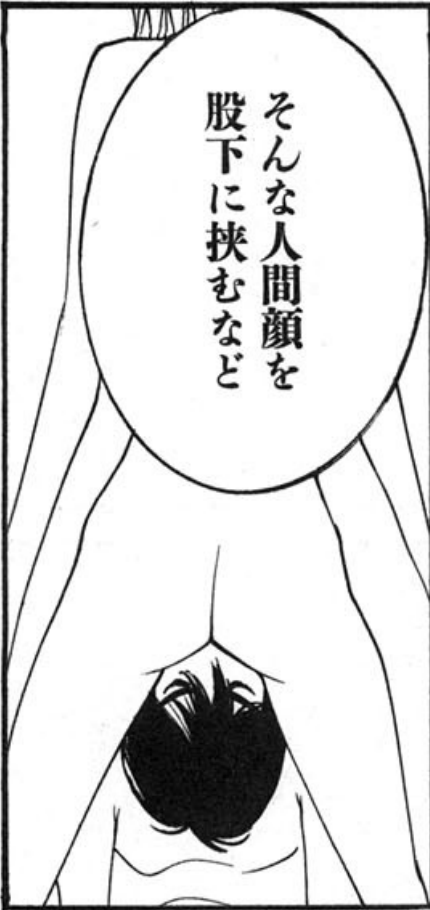
顔を整形してない
原ヤプーの顔は



鼻が低いとか
頬骨が張ってるとか
あっても
目鼻立ち
人間並である



そんな人間顔を
股下に挟むなど



故郷星では
一度も経験が
なかったから
思わず



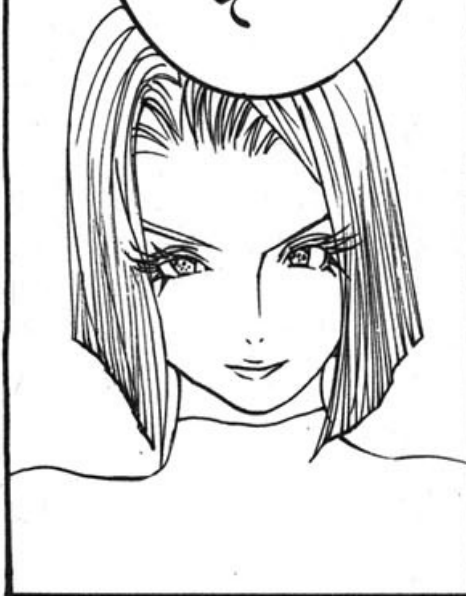
あら

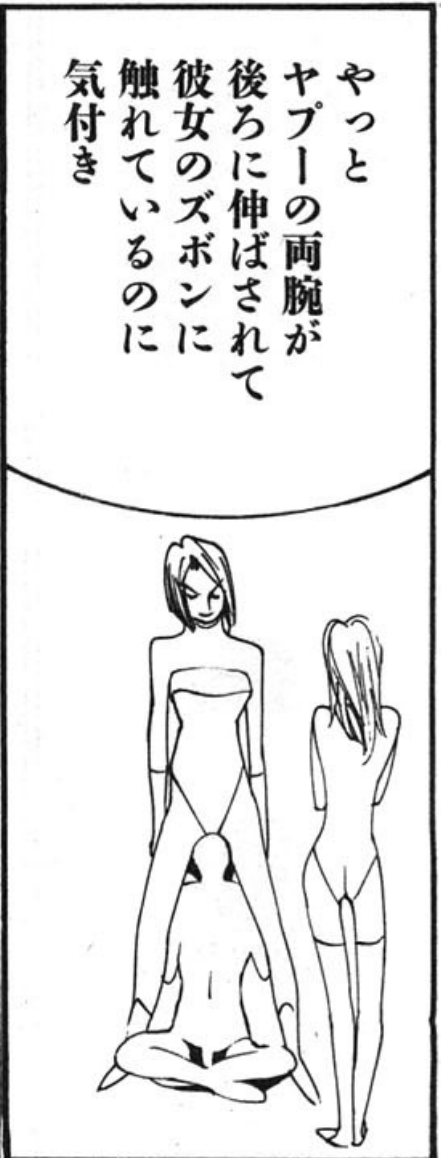
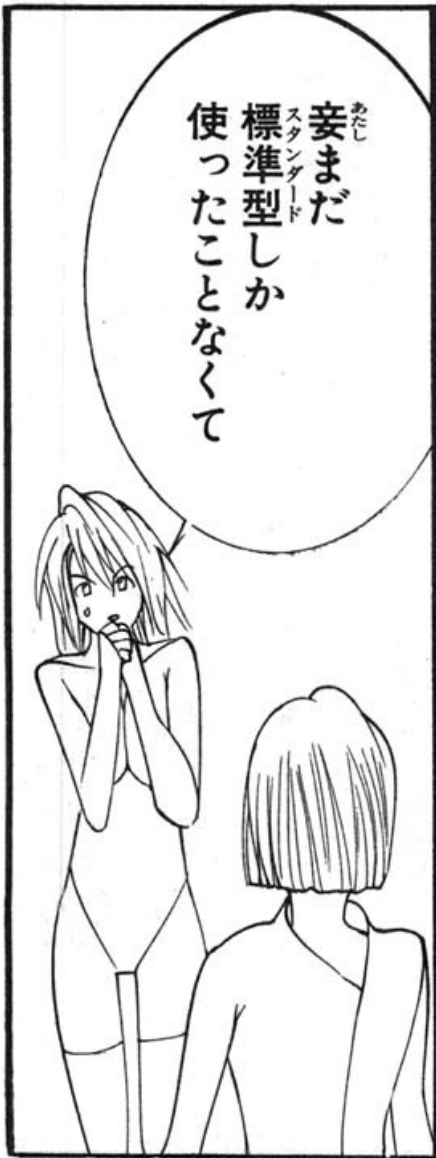


と
声が出たが



彼女は
平然たるもので





言いながら
いなかも
田舎貴族の
悲哀を感じた



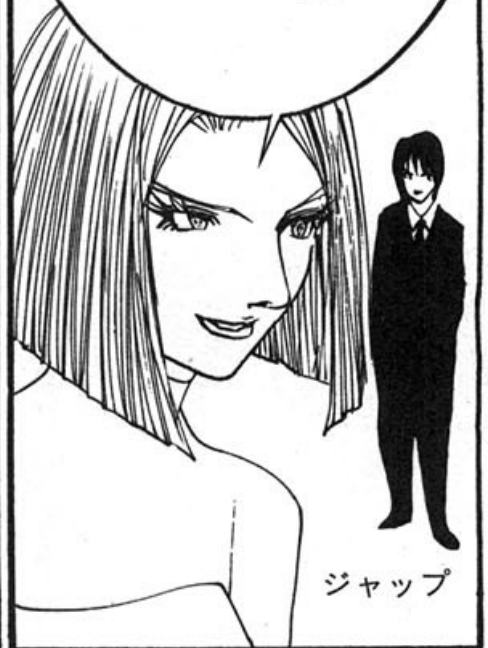
ああ
辺境星じゃ
そうかもね
ケイト



此奴ただの
原ヤッピーじゃなく
土着畜人なの



ここじゃ貴族なら
セツチンに仕込んだ
ジャツプを
専用器フライベーツに使うのが
普通なのよ



ジャツプ

此奴は
舌慣らしが
済んだだけの
訓練生で

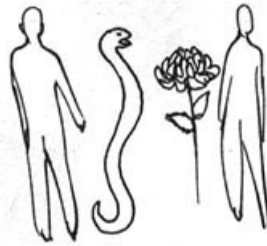


ネルソン調教の
順番待ちの間に
ハーフ・ネルソンを
教えただけの奴よ



貴女にはちやんと
仕込み済みのを
使わせてあげる

花と蛇
二種類あるのよ



〈舌慣らし〉
タン・イニユアリンケ
というのは
あとで教わったが

捕獲直後の
土着ヤプーは
まだ人間意識から
排泄物タブーを
持っている

イース生れの
原畜人なら有難がる
飲み物や食べ物を
嫌がって

嘔せたり
嘔いたりする

土着ヤプー



イース
生まれの原畜人→



そこで
飲食物を
与えずに
何日か
置いておいて



乾きと飢えて
耐えられなくなった頃
飲ませ食わせると



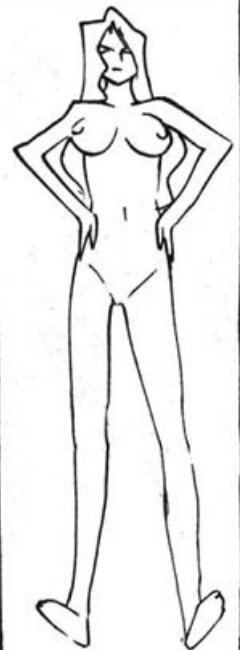
もともと
心理的な
ものだから



嘔せも
嘔きも
なくなる



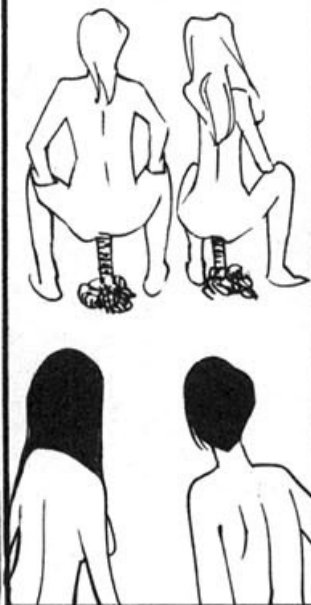
白「人」



「神」ではない
白神信仰入信前
だから



——のものは
自分たち
邪蛮人のは
違う



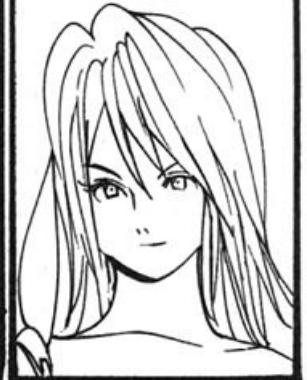
おいしいとまで
いなくても
口に入れられるのだ



ということを
まず納得させる



これが
ファースト・コース
第一過程だ



これは
排泄物を扱うのが
嫌だからと



ダイシー型の
アンドロイドに
任せるのが普通で



主人そっくりに化けた
アンドロイドが
仕込むのだ



それが終わってから
主人が

〈曲げる〉



つまり
セツチン姿勢を
仕込むのだ



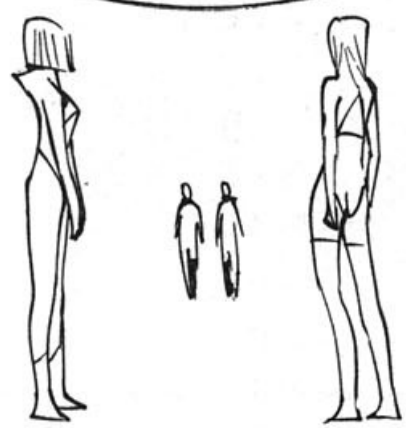
幕主性係数が
高い奴だと
いきなり



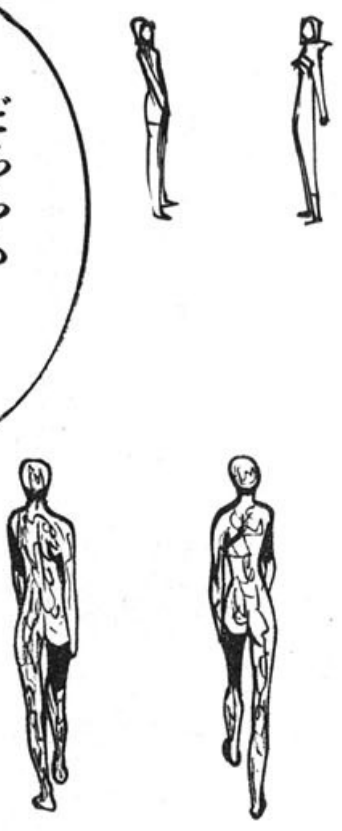
〈曲げ〉^{ベンドイング}に
はいることも
よくある
らしいが



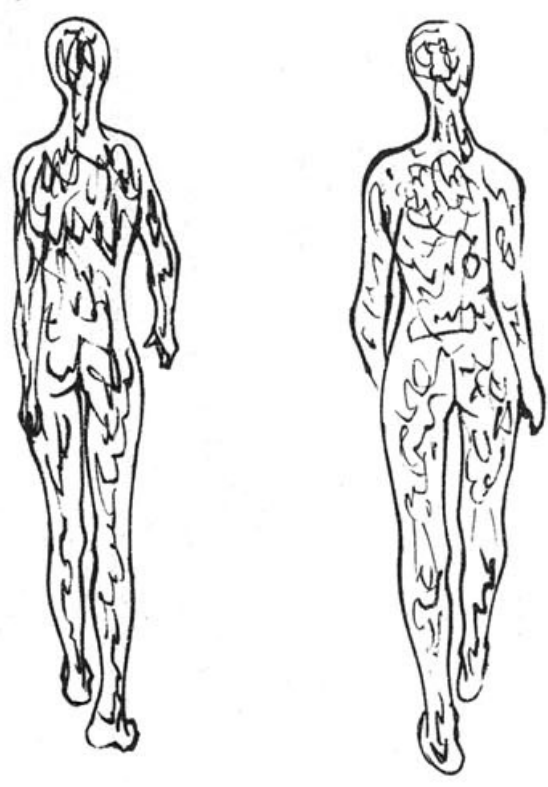
次々に
二匹呼び出して
二種類の
〈曲げ〉の
説明をしてくれた



どちらも
*全身に入墨
してある



一匹は菊の花
一匹は蛇だ



第十二章 水晶宮の上階と地階で

第七話

百年ほど前
宮中で
ウエリントン公爵と
ネルソン子爵と
両貴女レディの間に



原ヤブ^ロの体を
縮小させないまま
便器として
使う場合



その結果
姿勢が
二系列化した
のだそうだ



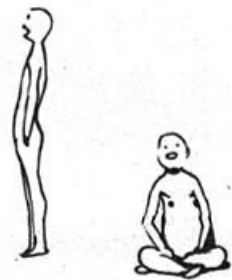
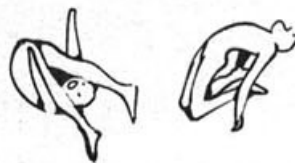
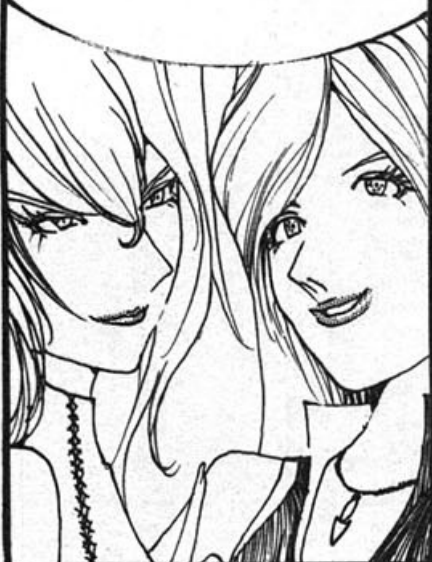
体を
前に曲げさせるのと
後ろに反らせるのと
どっちが使いやすいか
賭^{かけ}になり



どちらも
起立とか
胡坐^{あぐら}とかを
離れて

セツチンに
アクロバット姿勢を
取らせるのだが

両貴女は
それぞれ
矯正器具を
考案させた



ウエリントン・スタイル

というのは
前に曲げさせる

前曲



ウエリントン スタイル

ヤプーに
仰向けに寝てから
下半身を挙げて
上半身に重ねさせ



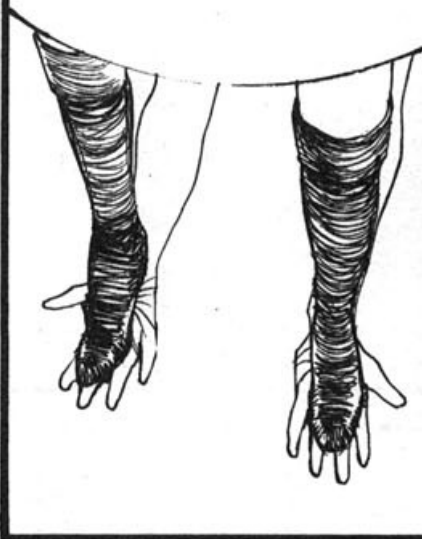
開いた
両腿の間から
首が出るよう
上半身を
挙げさせる



こっちは
その顔に
お尻を向け



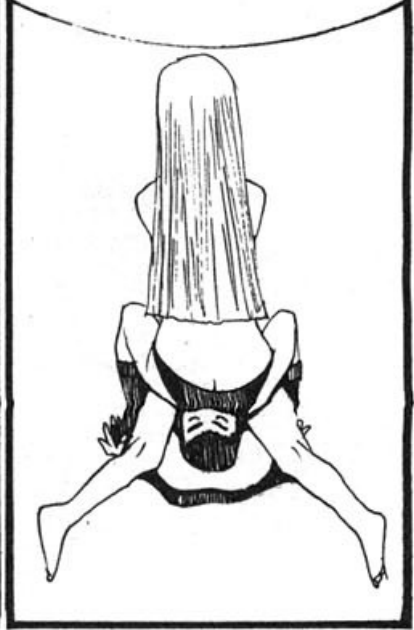
床についた
左右の畜手を
それぞれ
右左の足で
踏む位置で
腰を落すと



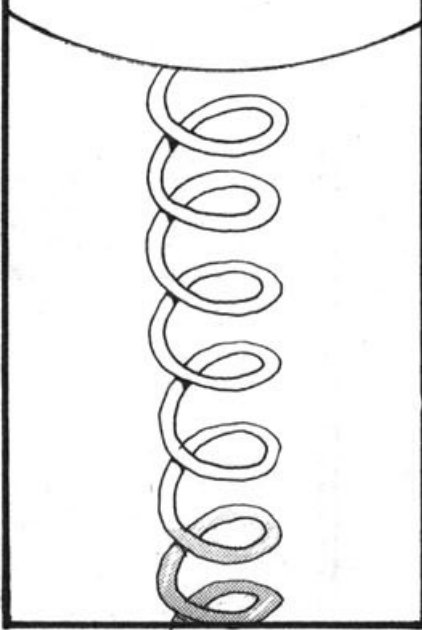
曲げられた
両脚の太腿に
こっちの太腿が
支えられ
お尻が
顔に支えられ



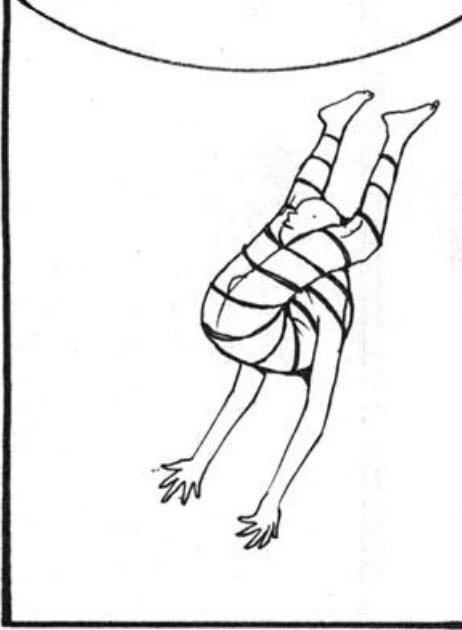
それも
お尻の穴の周りに
ちようど
下で大きく開いた
口の唇が当る



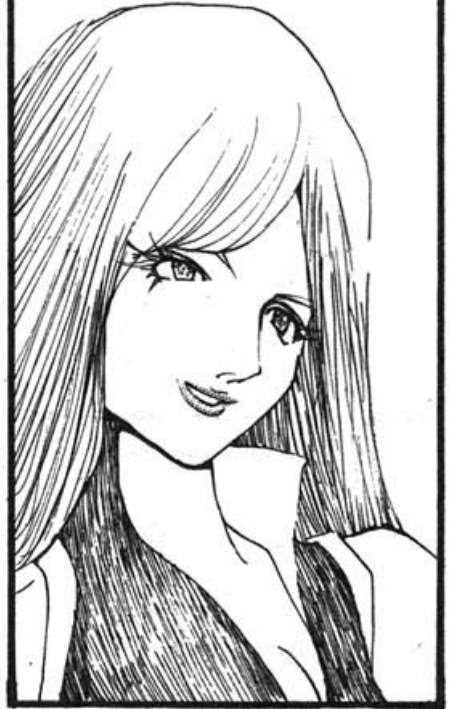
「ウエリントン螺旋^{スパイラル}」
という
^{ヤウリス・スネイク}
飼畜者の蛇に似た
人工動物締具で
巻き上げ



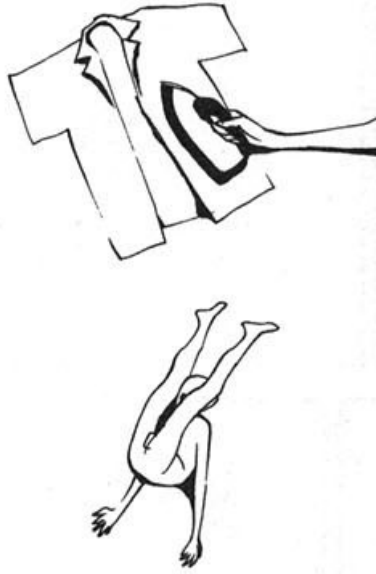
この姿勢が
ちゃんと取れるまで
二つ折りにしたまま
矯正する——



「折り癖を付ける」という彼女の言い方は



服地にアイロンかけるみたいでおかしかった



——のだ
そうだ



ネルソン・スタイル



※これをフル・ネルソンと称ぶのは、このスタイルの変形に、胡坐をかいた姿勢から上半身を後方に傾け反らせて顔面を仰向けるのがあって、それをハー
フ・ネルソンと言っているためだとか。これは、リンゼイ伯爵が使うのを見せられたように、こっちの股間部に向うの顔が入るときの方向が逆になる。

は
逆に後ろに
反らせる



ネルソン・スタイル

床に伏せた
姿勢から
上半身を挙げて
後ろに
曲げてゆかせ



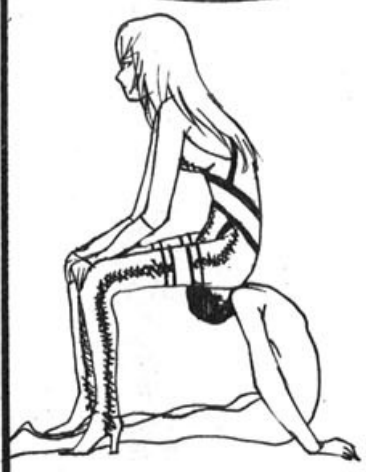
顔面が上向きで
床と平行に
なるまで
反ったところで



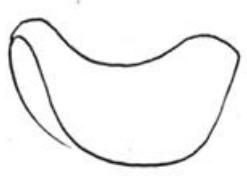
こっちは
その双肩もろかたに
左右の尻を
当てながら

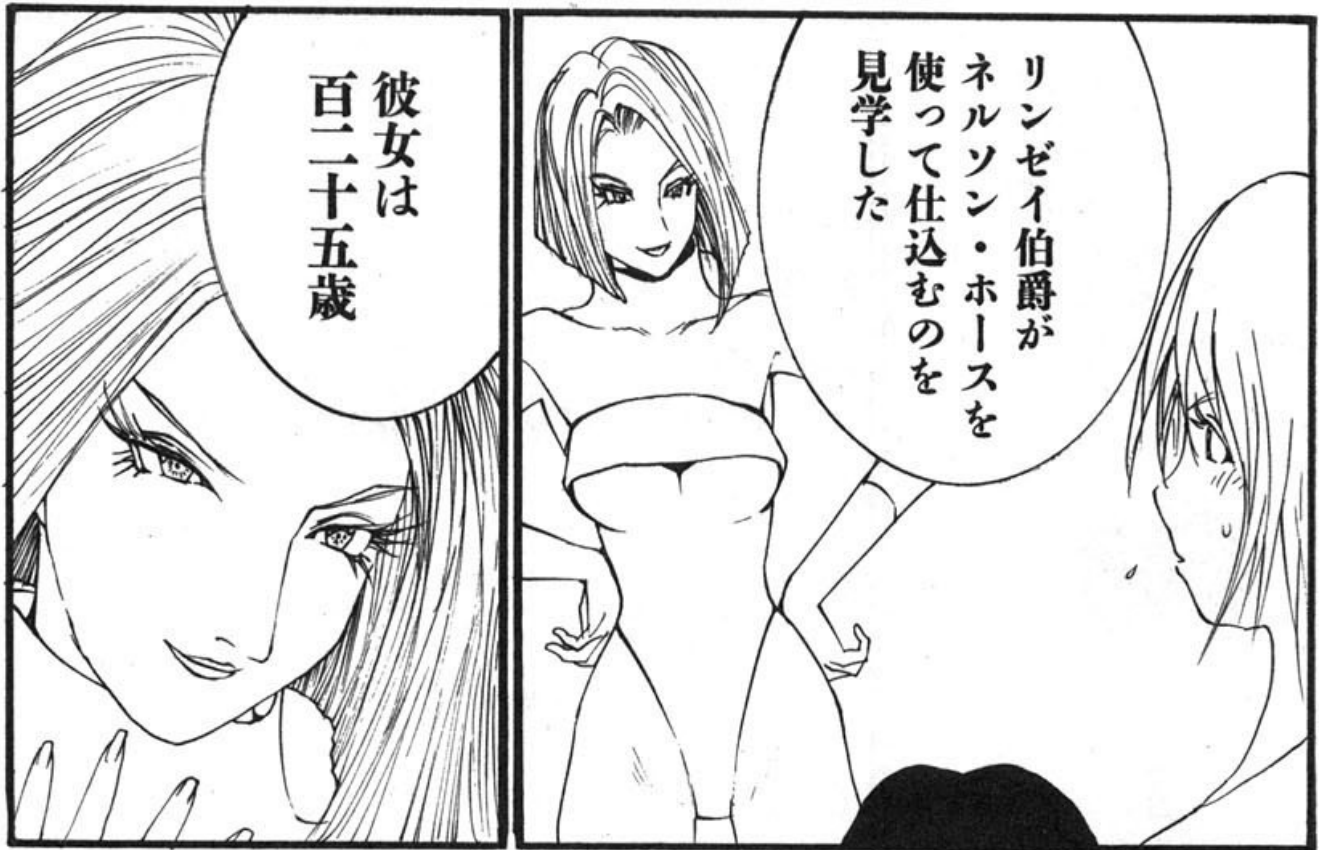


その顔に跨り
顔面で
こっちの腰を
支持させる



普通の
ネルソン調教まげには
「ネルソン鞍馬ホース」
というのを使う





彼女は
百二十五歳

リンゼイ伯爵が
ネルソン・ホースを
使って仕込むのを
見学した



妾より
半世紀としようえ年長だが
体形も
特殊孔ホール・ガゼ釘で大きく
露出させたお尻の肌も

三十女と
変わらぬ若々しさに
輝いている



調教の対象は
彼女がヤブン諸島から
三か月前に捕獲してきた
邪蛮人で二十五歳



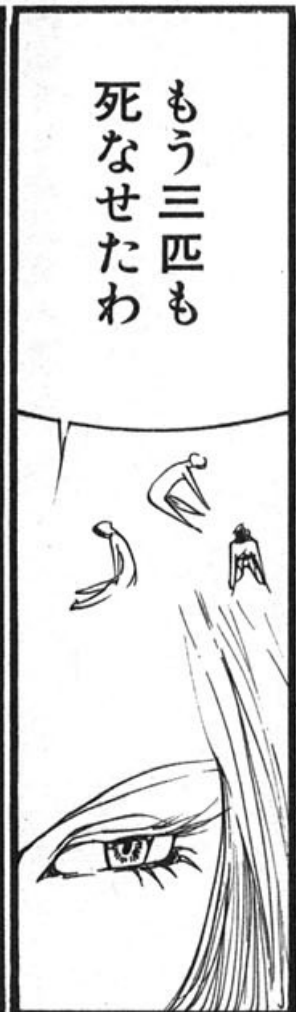
新婚間もない
地方公務員
だったという



フル・ネルソンは
曲げを急ぐと
背中を折っちゃう



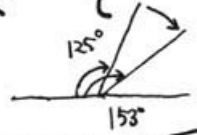
もう三匹も
死なせたわ



だから今は
一度増やすのに
三日かけてるの



一二五度から始めて
一五三度まで来た
今日は一度プラスよ
……



到達角を
一五四度に
設定してから
ヤプーの上半身を
仰向かせて
鞍部に乗せ

床に平行に
なった顔を
鞍馬^{ホース}に
見立て跨った



口と鼻を
覆われて
息が詰まって
苦しいから
下半身が
揺れる



それを
鞭で
叩くと
大きく
もがく



それと運動して
両脚先を唾くわえた綱が
だんだん縮まり
下半身は
後ろに反って
宙に浮いていく



部品が
透明だから
空中で
曲芸綴アクロバット・スペラー字畜の
跨ったように
見える



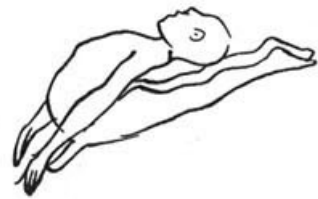
鞭一打ちごとに
縮まっていくが
まだ一五四度で
斜めにしか
なれない



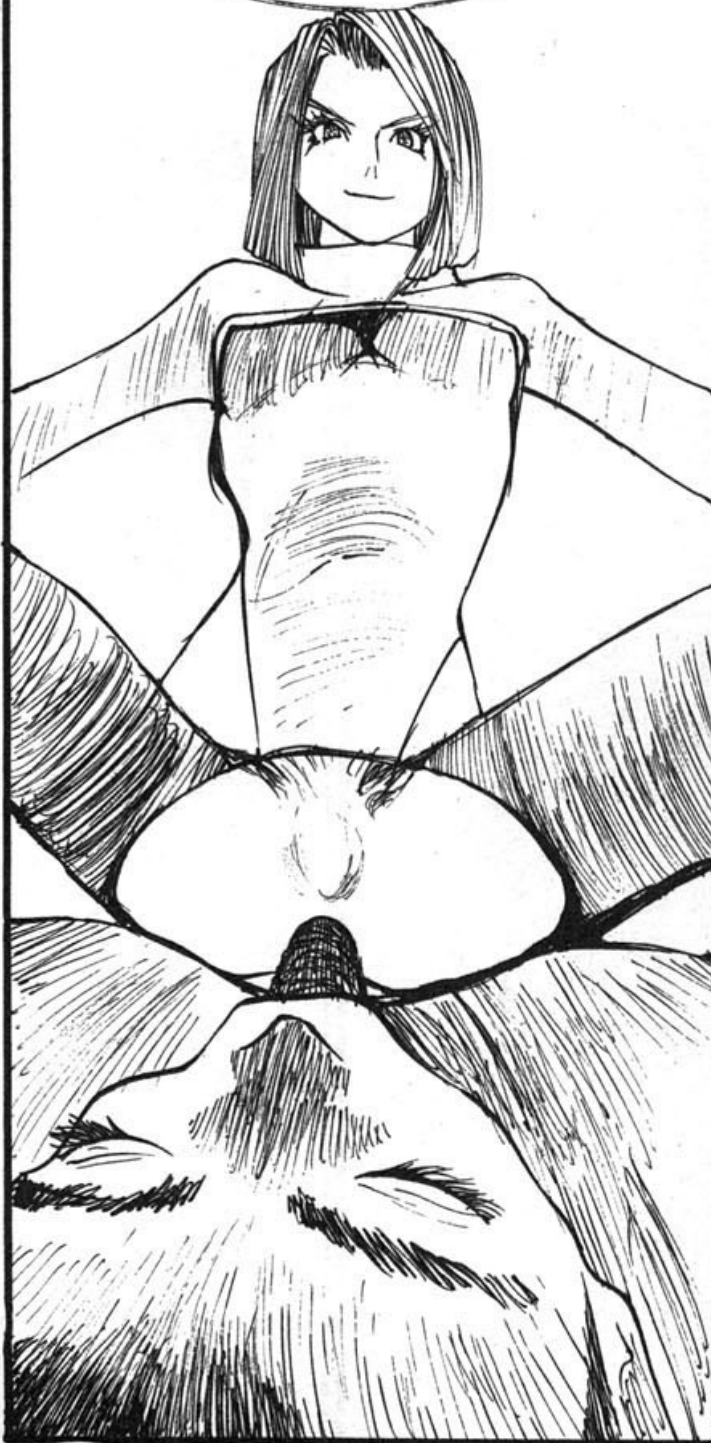
これを
だんだん曲げて
Uの字を
横にしたように
なるまで
仕込むわけだ



あと何か月かで
一八〇度に
までなれば
そこで墨を
入れられ



カルーでも
評判の美女
リンゼイ伯の
ものを
頂戴できる



その日目ざして
命懸けて



彼女には遊びでも
奴は一つ間違えば
背骨折られちゃう
んだから
文字どおり
risk his neck
よ



頑張ってる感じ





反らせた裸の
下半身から
雄畜おすの一物が
勃起勃起してるのを
指摘エレクトしたこと
から
こんな会話に
なった



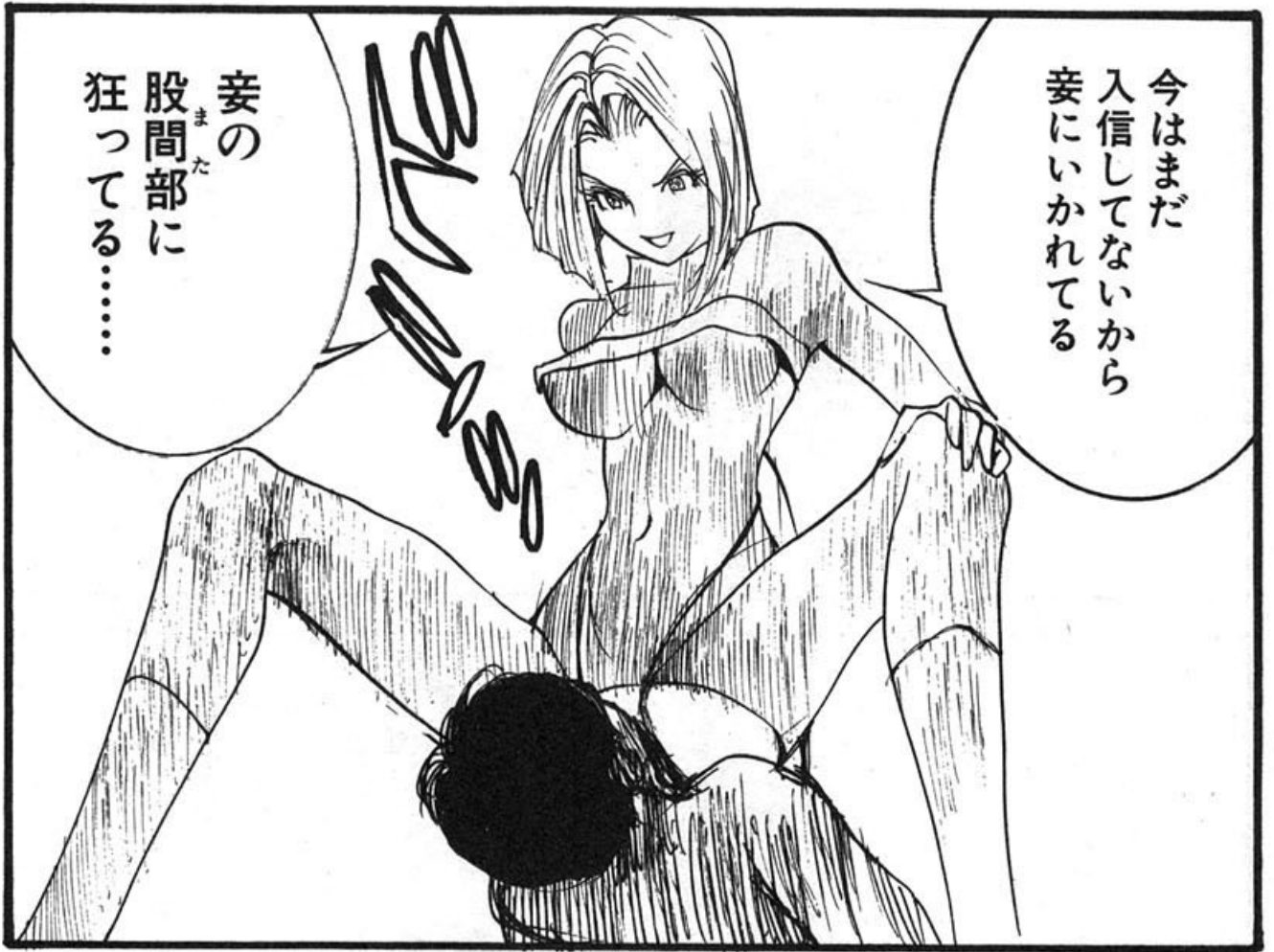
見苦しいもの
お目にかけて
済まないわね
ケイト

いずれ妾の
股間部またを
御神体ダイテイと見る
敬虔な気持が
育てば
全然立たなく
なるんだけど



その信仰の
深まる度合いを
調べるために
わざと去勢しないのよ





今はまだ
入信してないから
妾にいかれてる

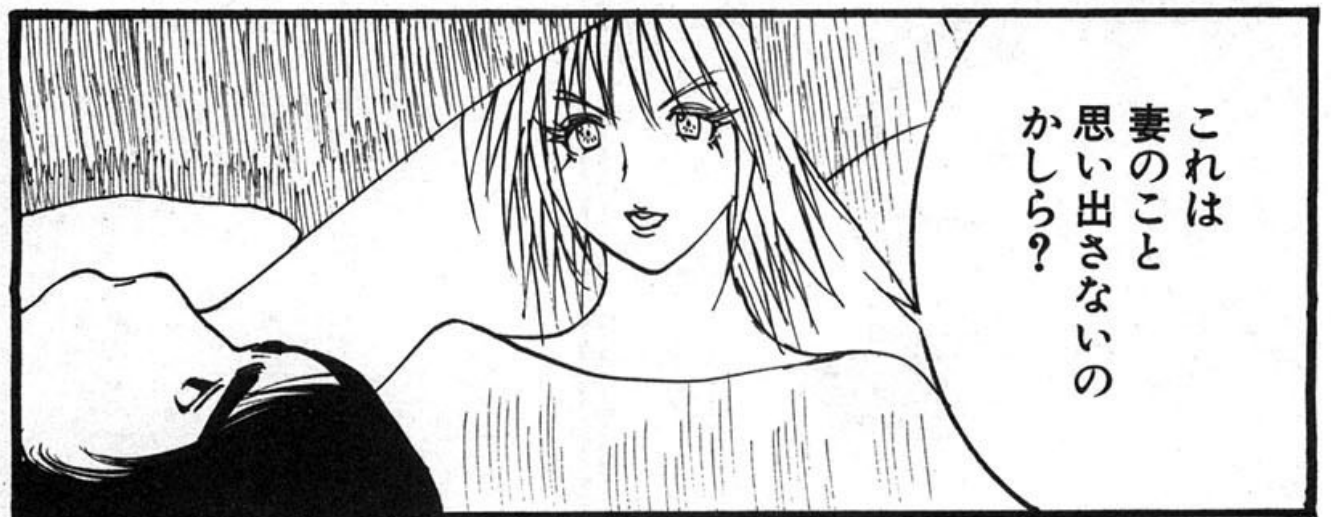
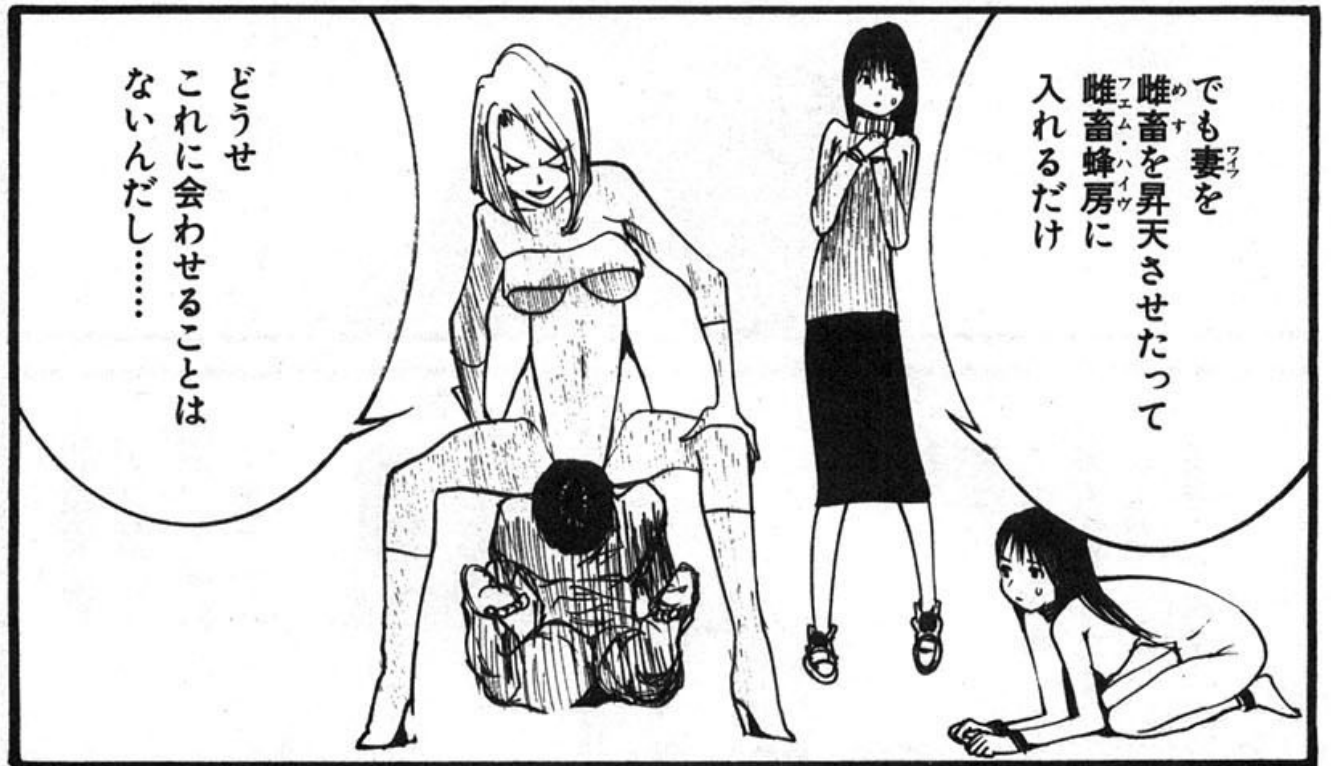
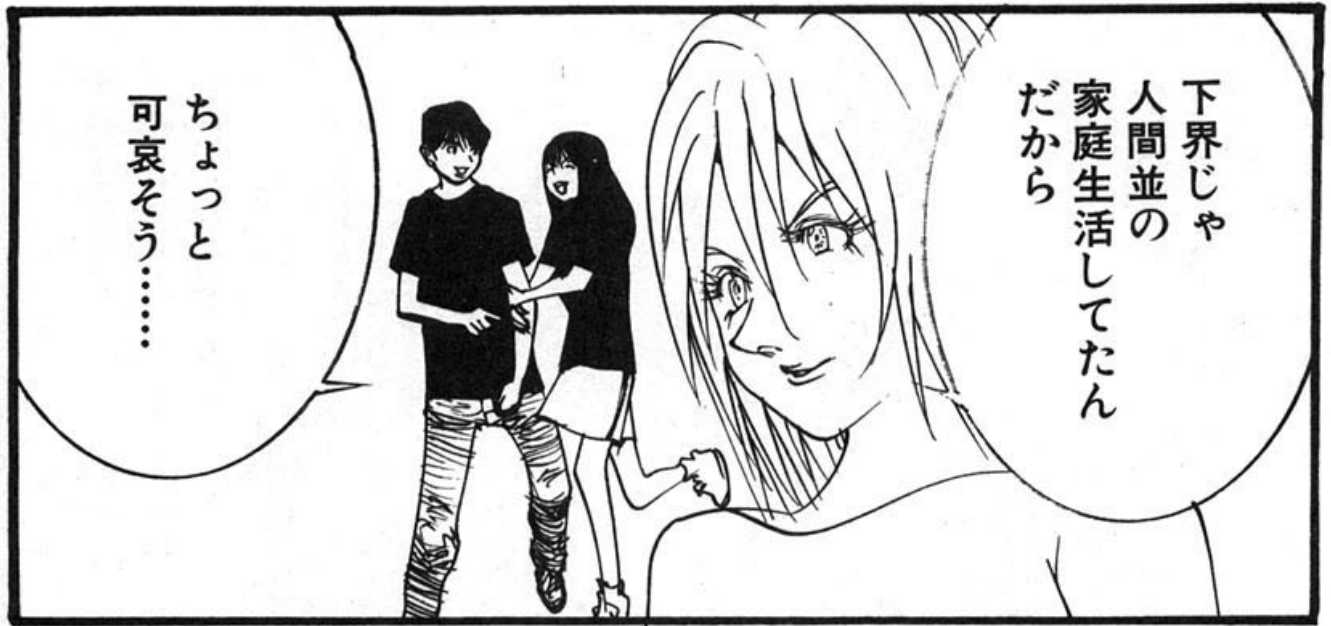
妾の
また
股間部に
狂ってる……

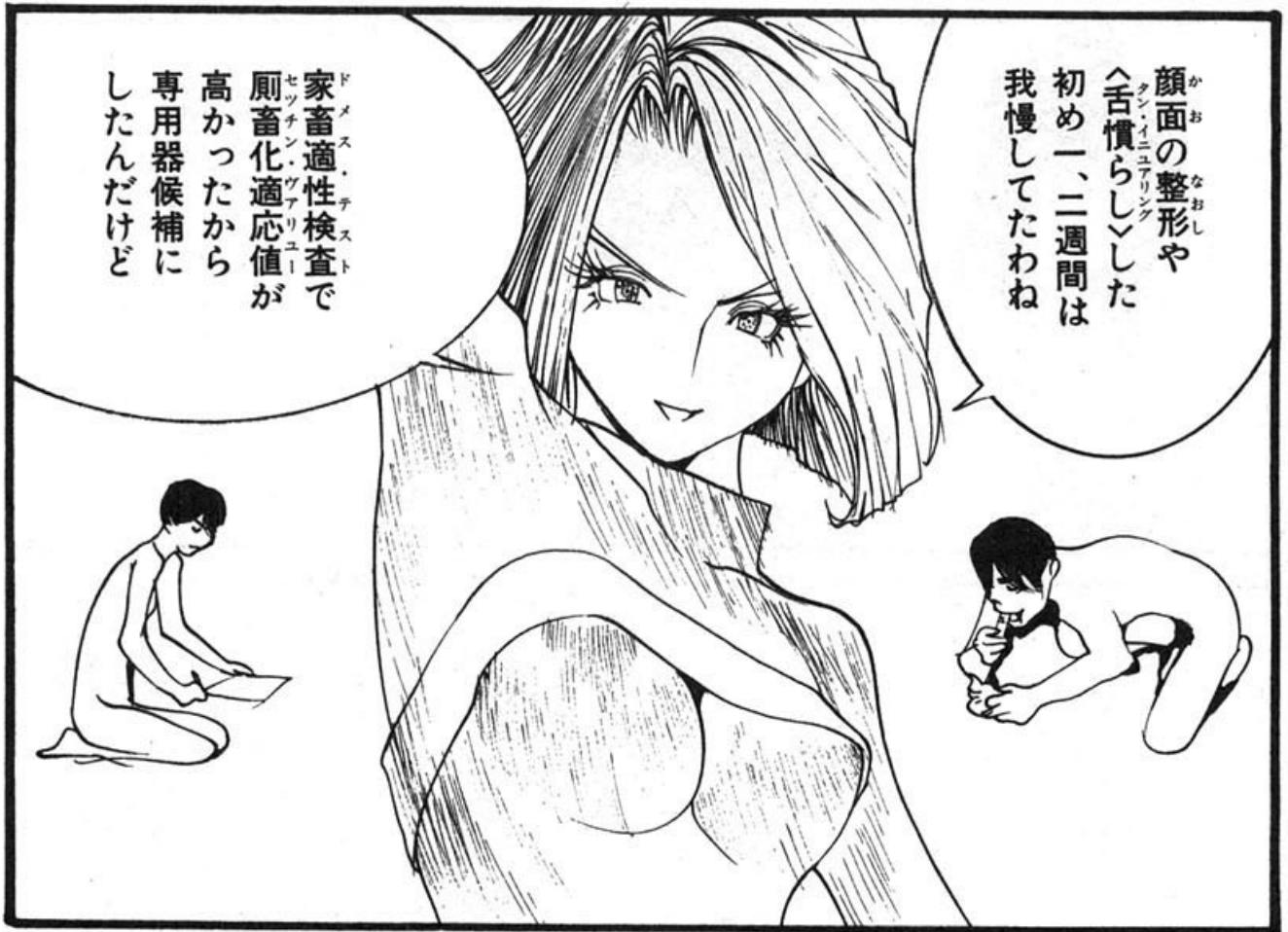


そう
妻は
この三か月間
待ち焦がれてる
かもね
蒸発した夫を



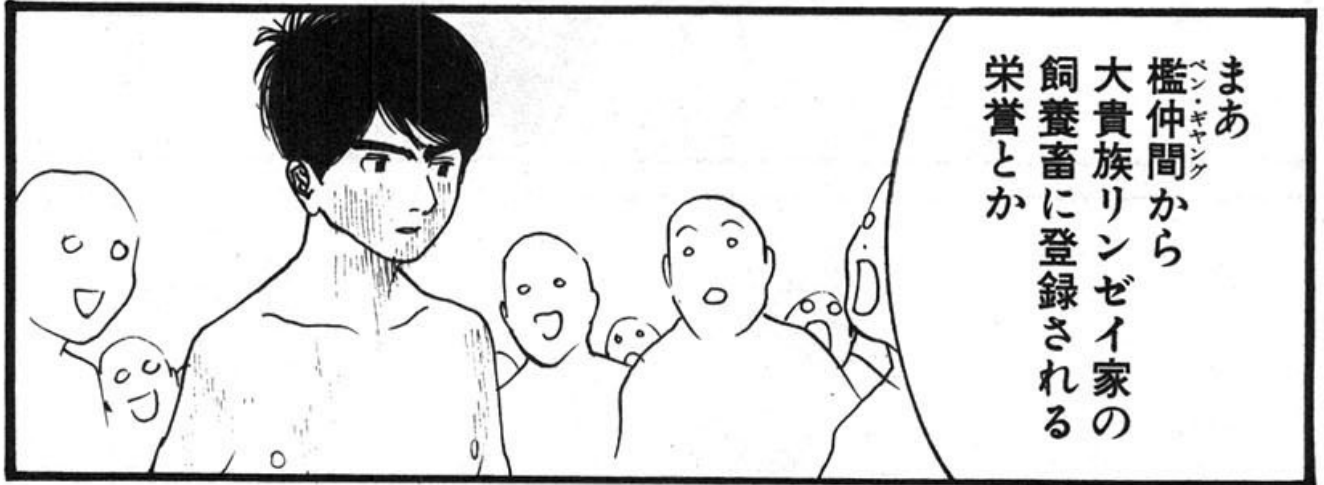
新婚夫婦を
引き裂いて
攫ってきたん
ですって？





かおの整形や
舌慣らしした
初め一、二週間は
我慢してたわね

ドメス・チスト
家畜適性検査で
セツチン・ヴァリユー
厩畜化適応値が
高かったから
専用器候補に
したんだけど



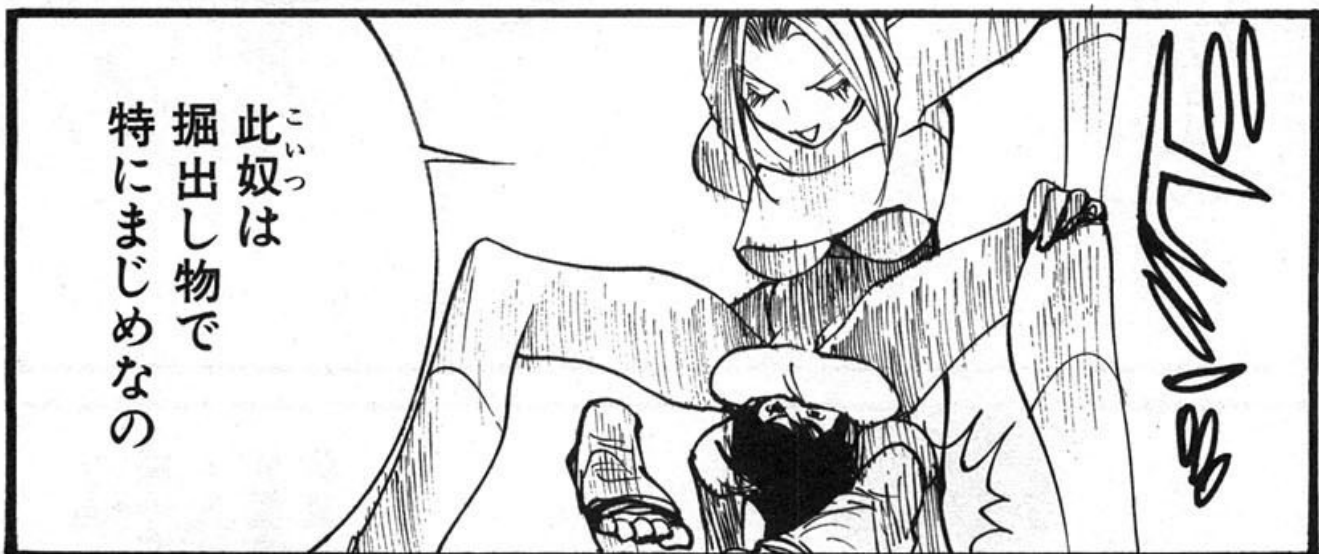
まあ
ベン・ギヤング
檻仲間から
大貴族リンゼイ家の
飼養畜に登録される
栄誉とか



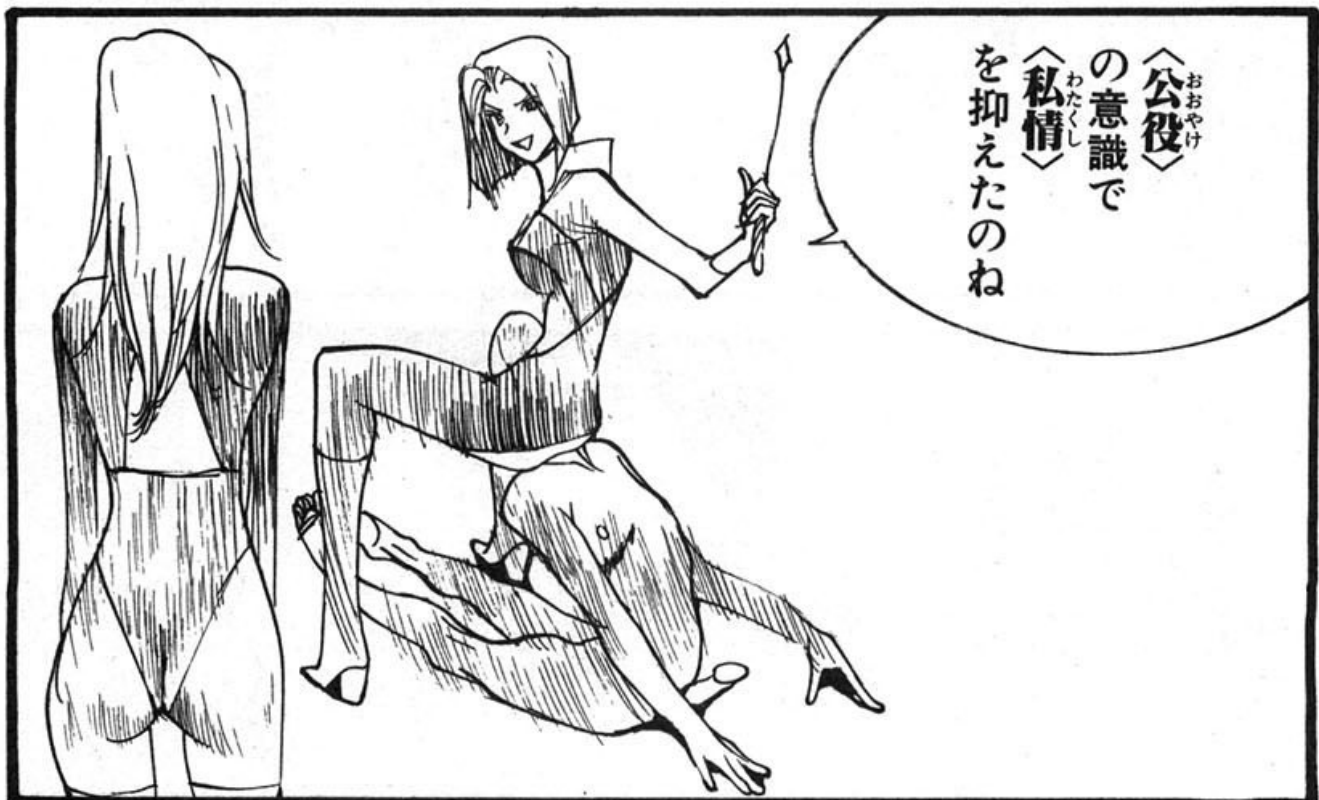
すぐ妾の
トレイニー
訓練生になれた
幸運とか
いろいろ
説き聞かされて



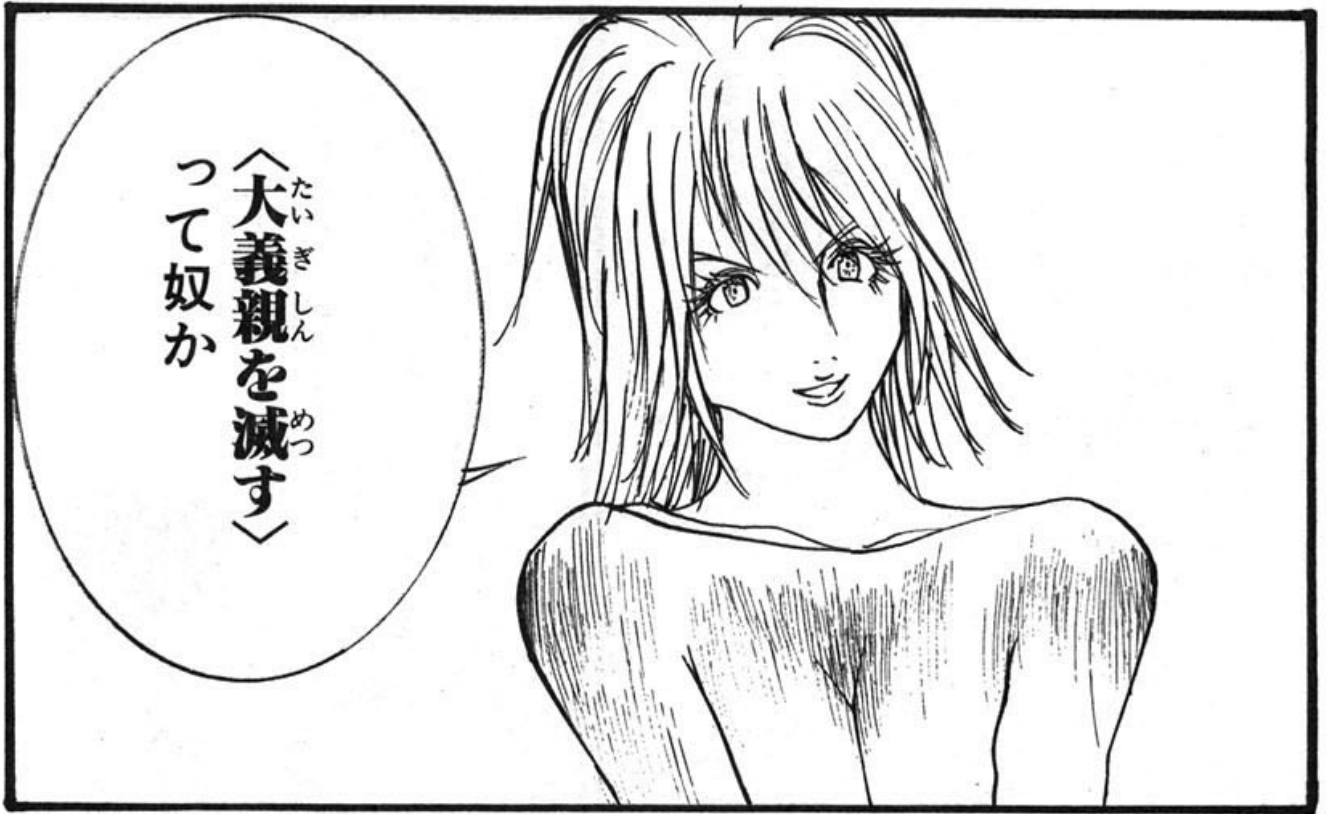
その感激で
雌畜^{めす}への恋しさを
抑えてたようね



こいつ
此奴は
掘出し物で
特にまじめなの



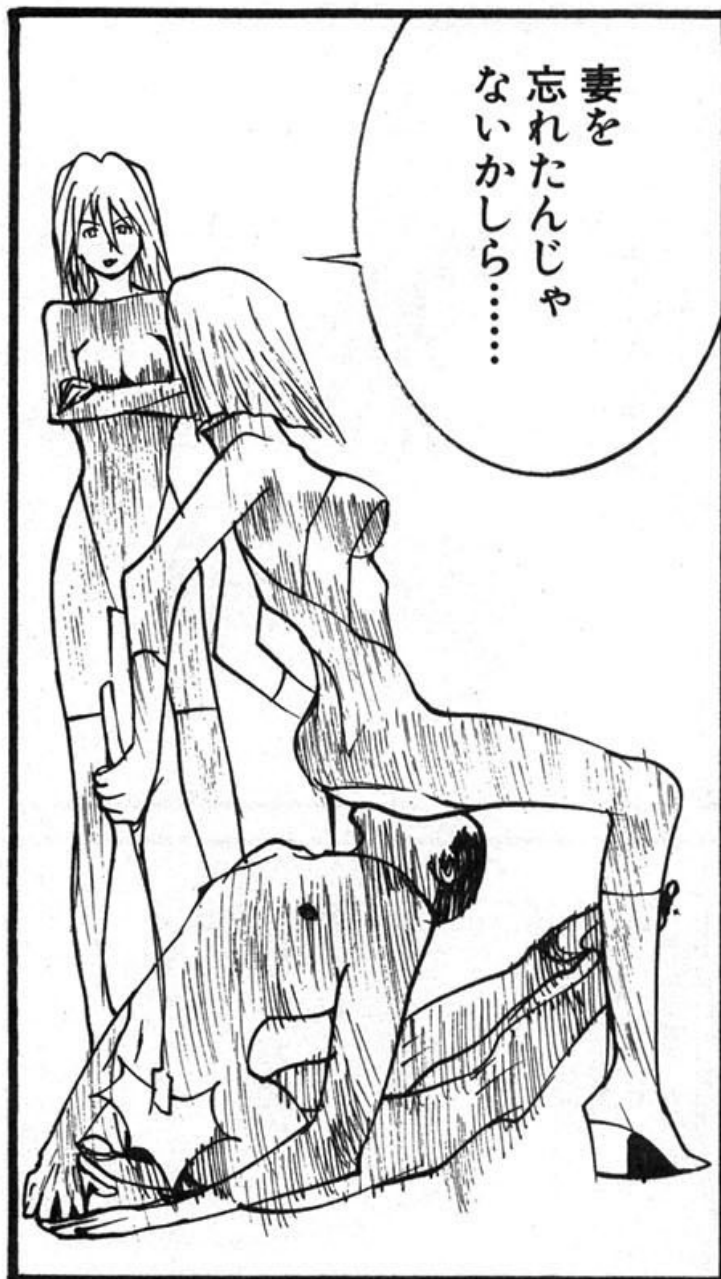
〈公役〉
のおおやけ
の意識で
〈私情〉
をわたくし
を抑えたのね



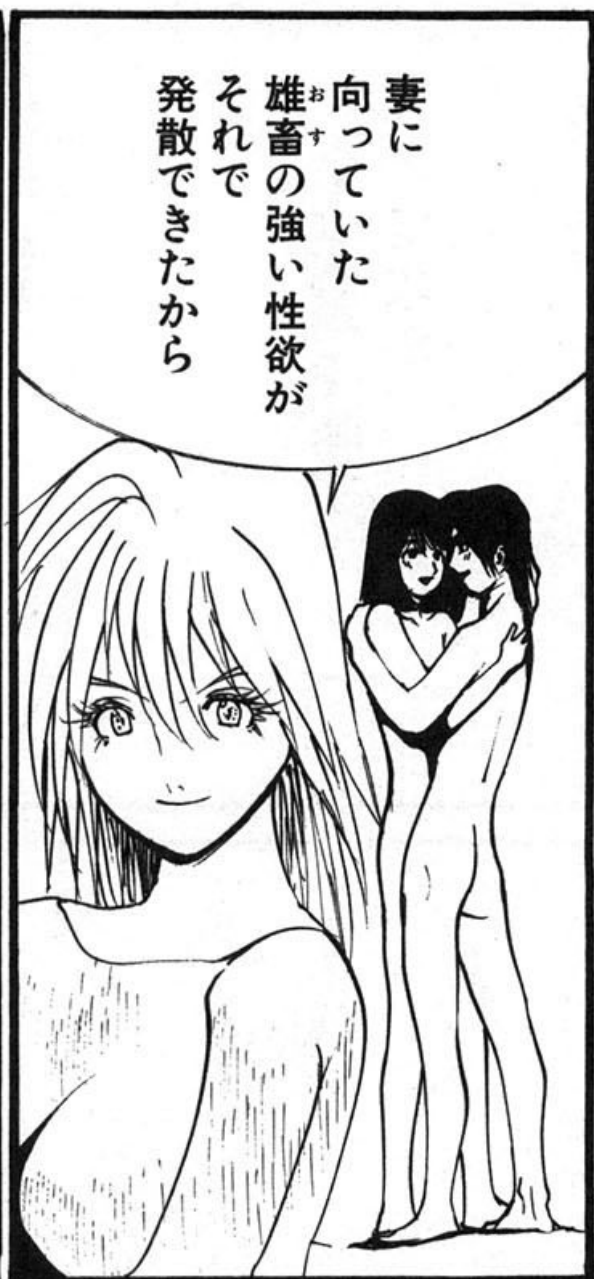
〈たいぎしん
大義親を滅す
めつ
つて奴か〉



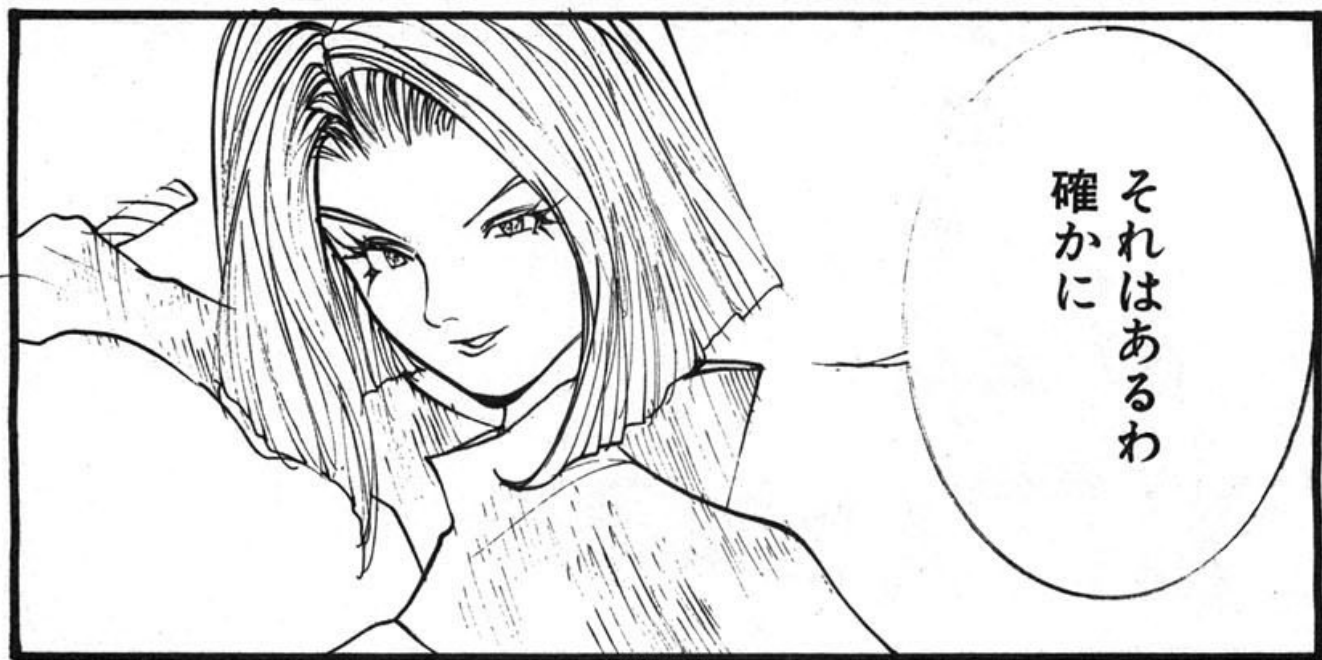
それに
貴女の
フエヤスキン・バトックス
白皙のお尻に
敷かれる
ボデー・エラエクト
肉体効果ね



妻を
忘れたんじゃ
ないかしら……



妻に
向っていた
雄畜おすの強い性欲が
それで
発散できたから

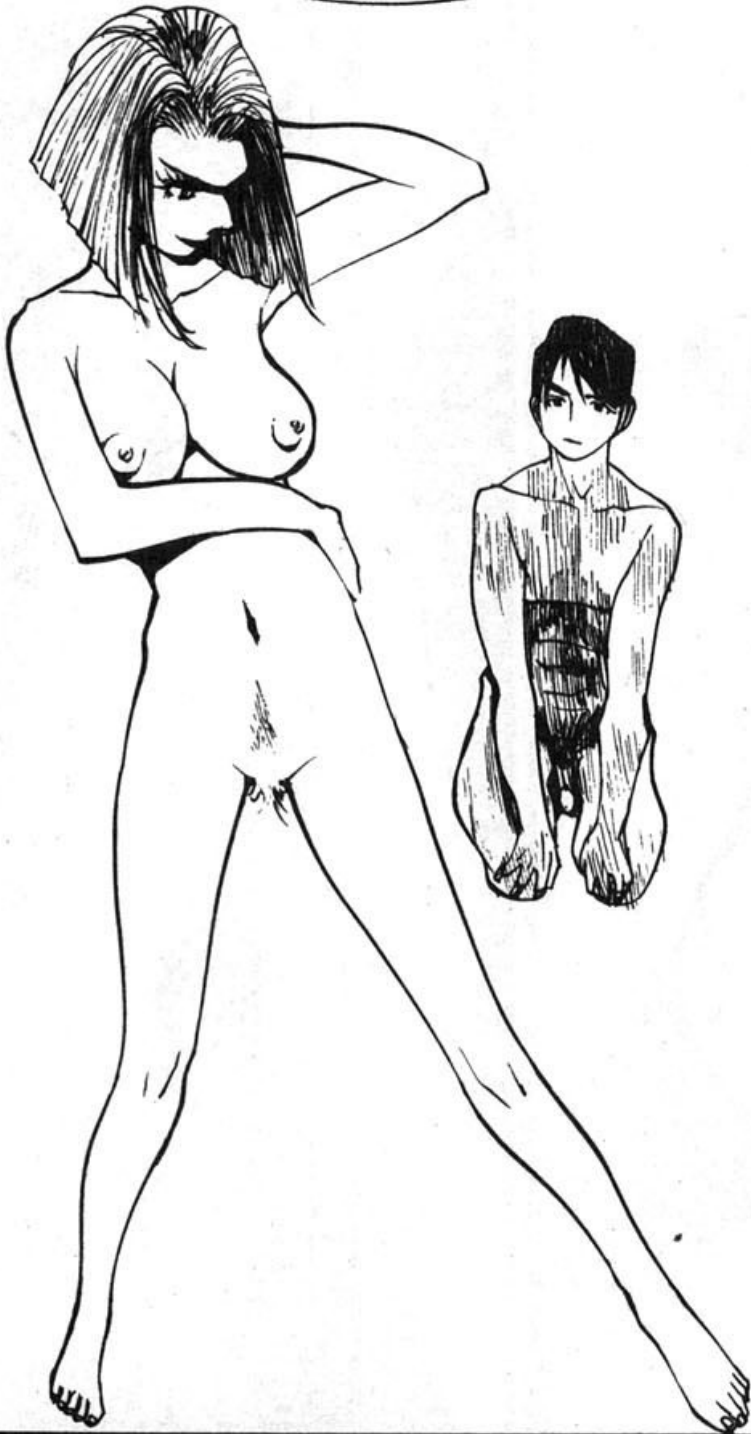


それはあるわ
確かに

妾が
曲げ始めると
すぐ忘れた
ようだから



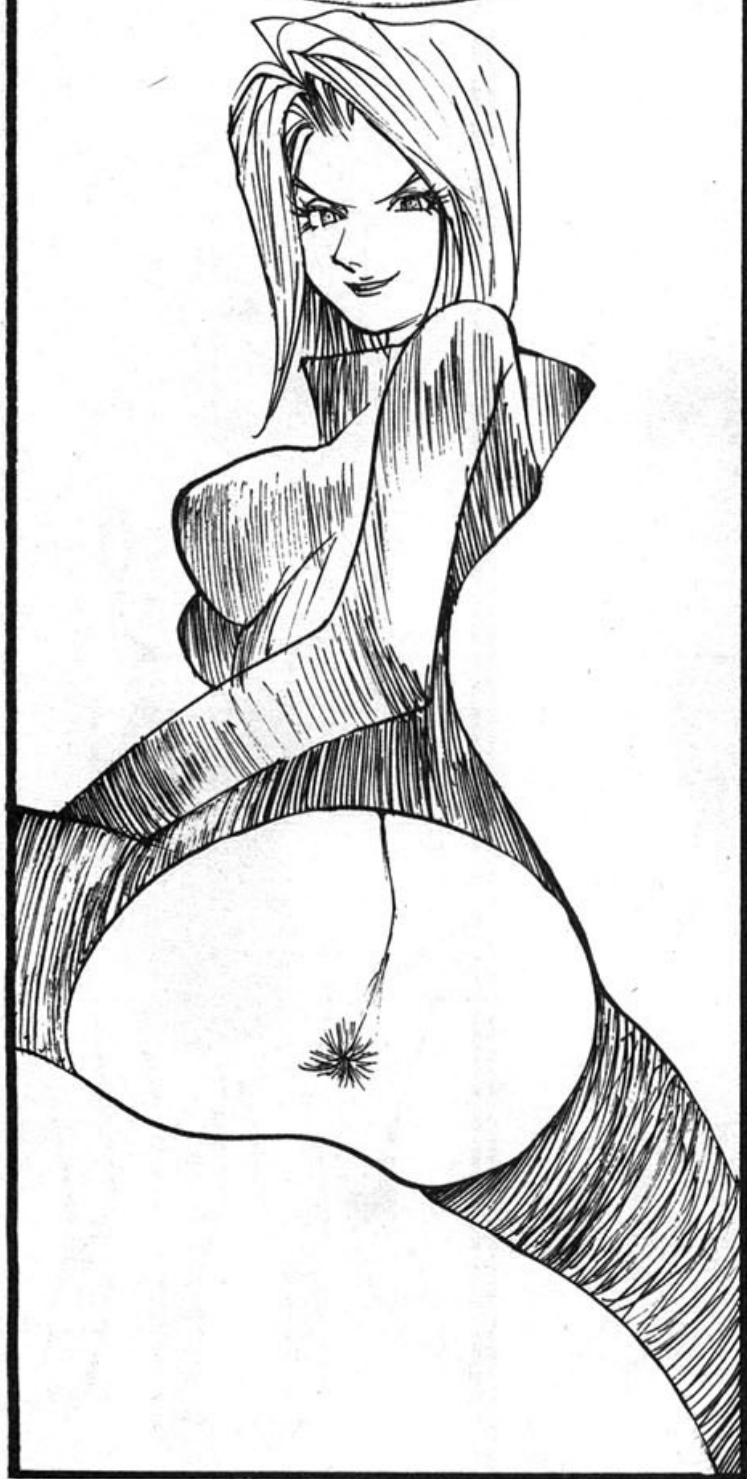
ふだん
使うときと
違って
調教のときは
浴室に坐らせて
こちらの
裸を見せる



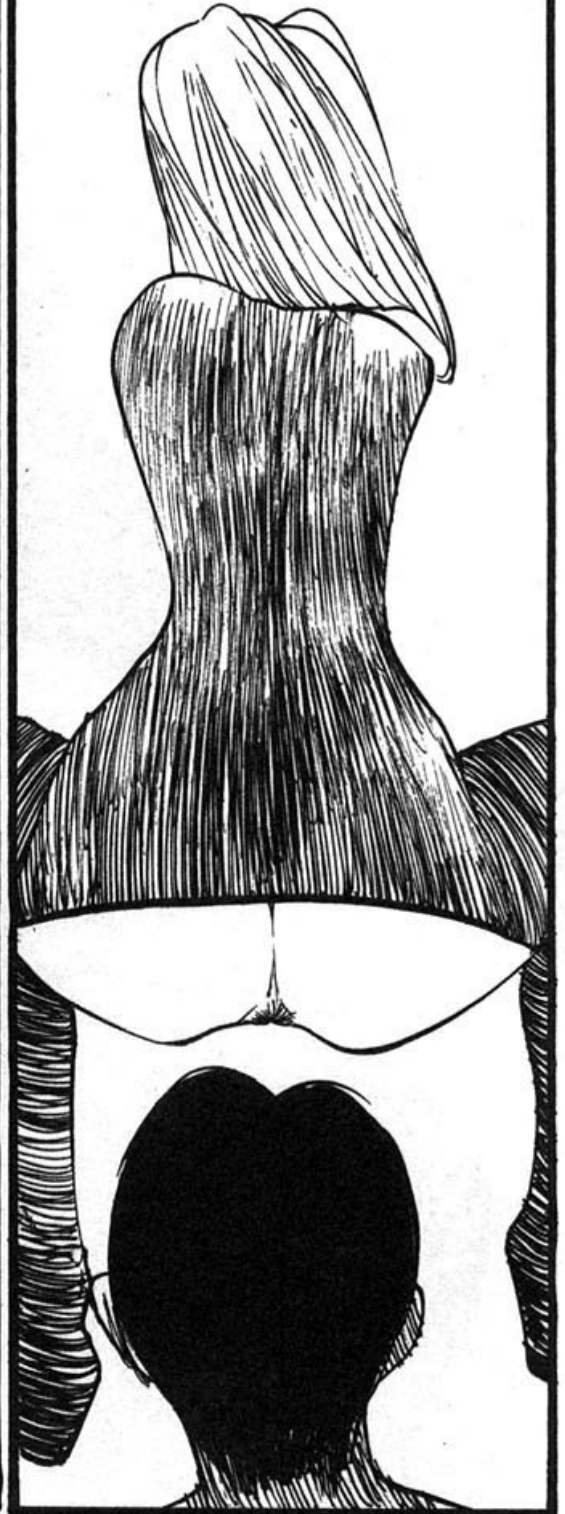
肌の白さを
印象づけて
やるのよ



そうして
ズボンやパンツの
孔釦ホルボタンには
普通より大きく
特別なのを使って



こっちの
白いお尻を
見せてやる

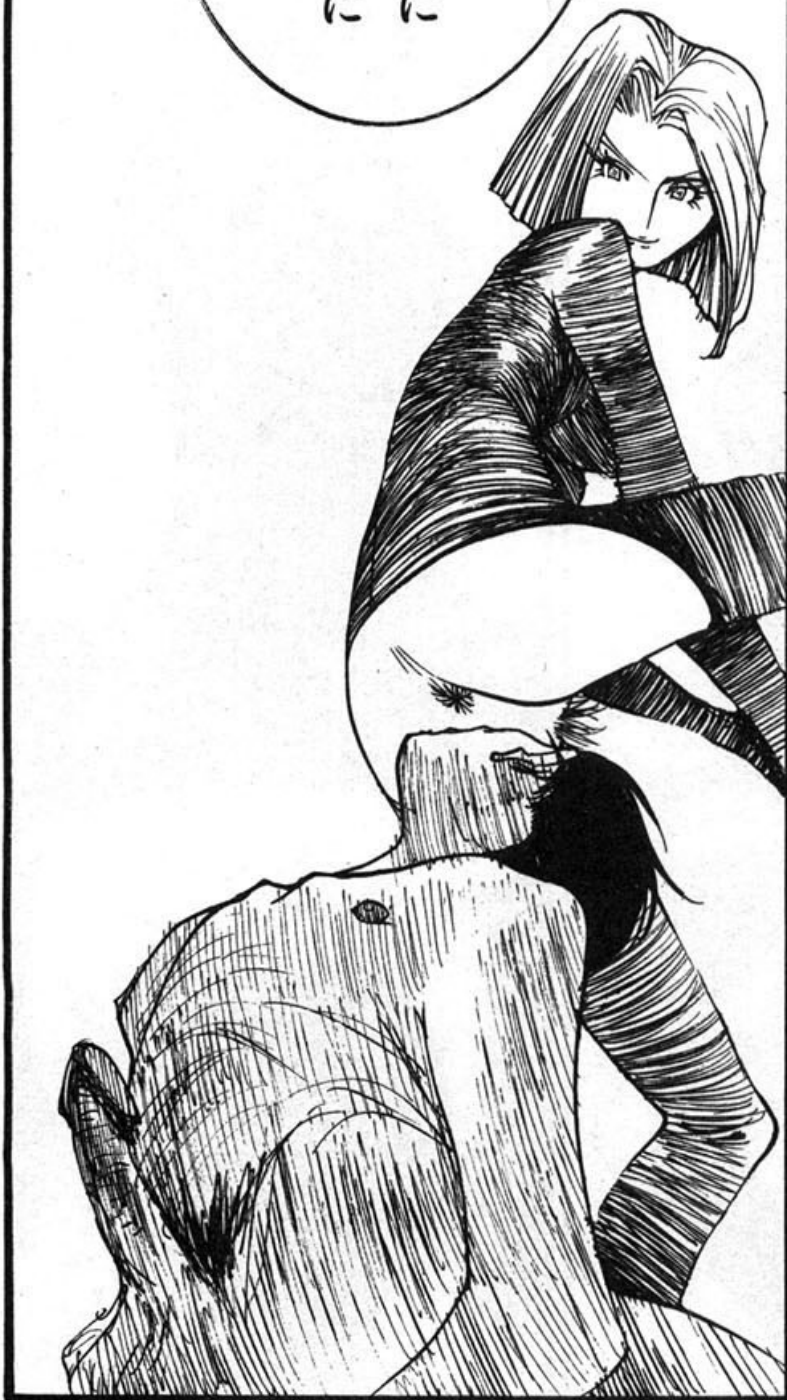


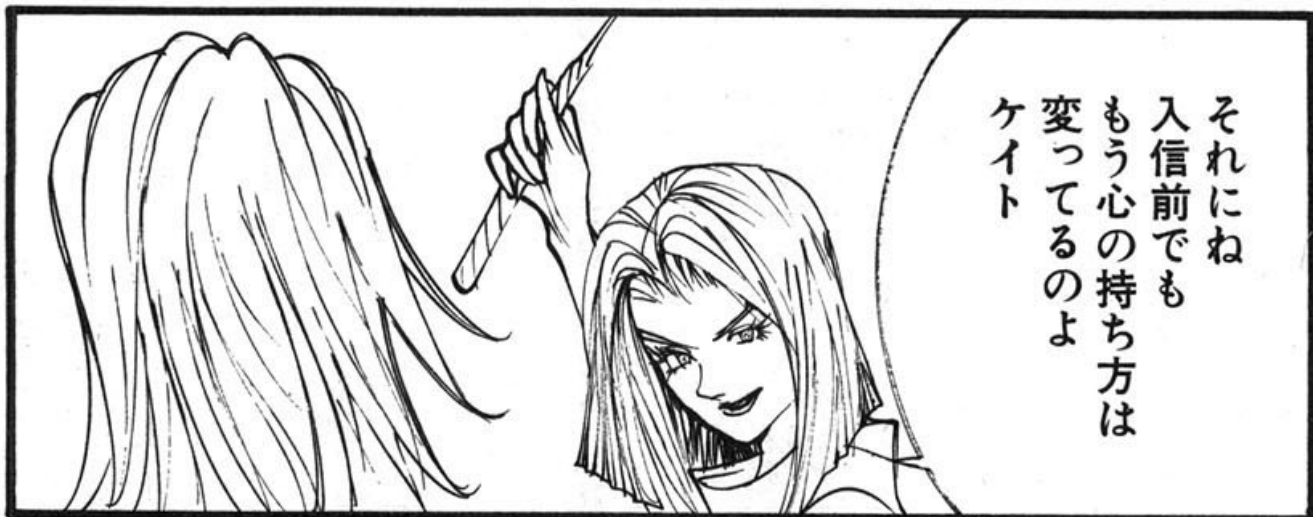
そしてじかに
顔に触れてやる



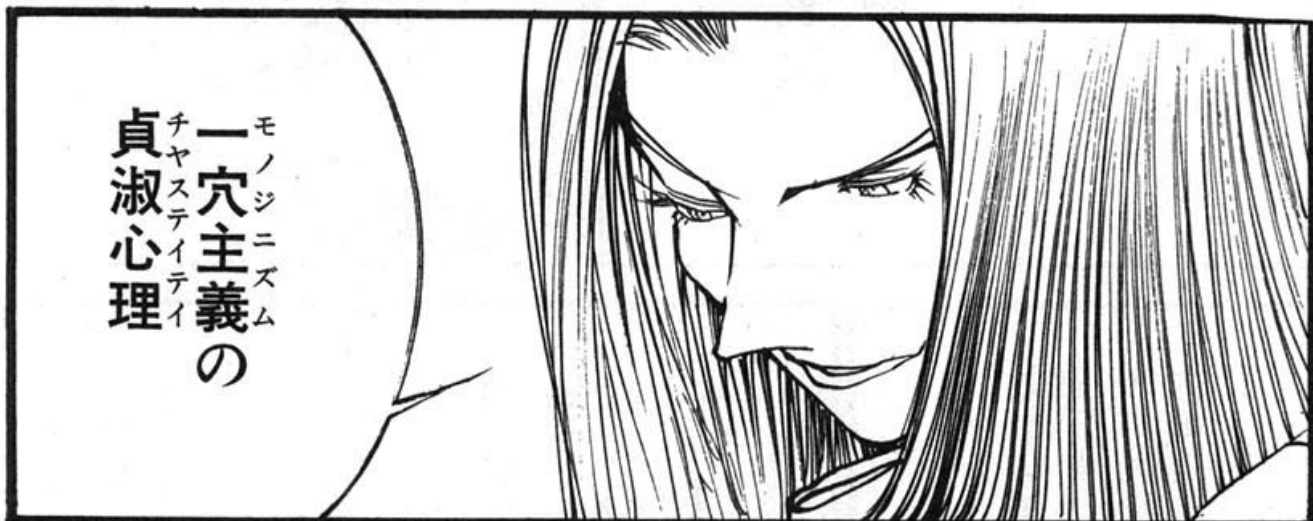
白い肌に
弱い彼らが
それで狂わない
筈がないのよ

此奴今は
陰毛が顔を擦る前に
もう勃起するよう
なつたわ……





それにね
入信前でも
もう心の持ち方は
変ってるのよ
ケイト



モノジニズム
一穴主義の
チヤステイテイ
貞淑心理

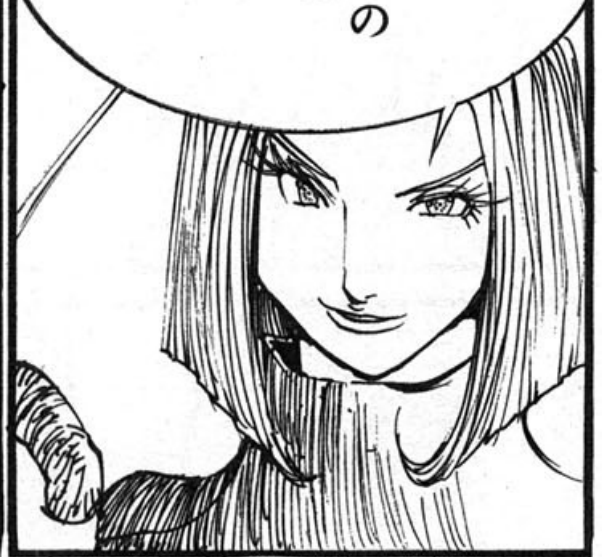


ううん
単能具のよ

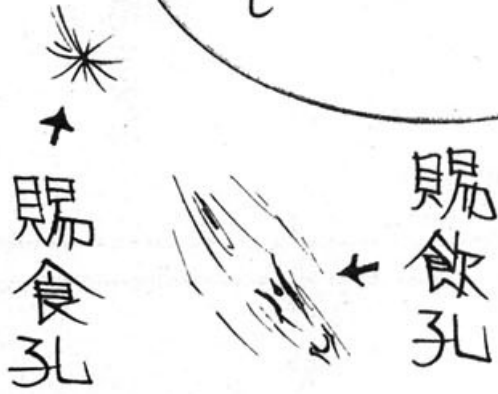


一穴主義？
イース男性の？

ケイト
セツチンの
専用器は
単能具に
限るの



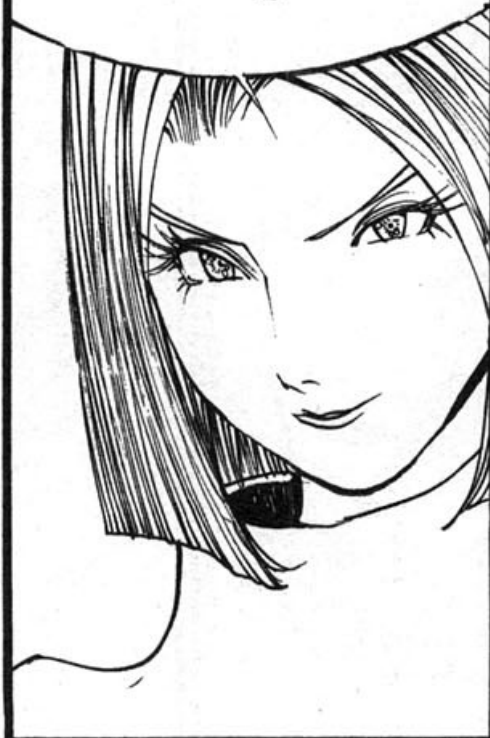
贅沢な
ようだけど
賜飲孔まへのあなか
賜食孔うしろのあなか
決つてると
姿勢が
取りやすいし



顔面かおの
整形なまだって
少して済む



それを
自覚したのが
奴らの
モノジニズム
一穴主義



ケイト
貴族の専用器の
他のセツチンへの
差別意識って
大層なものなの

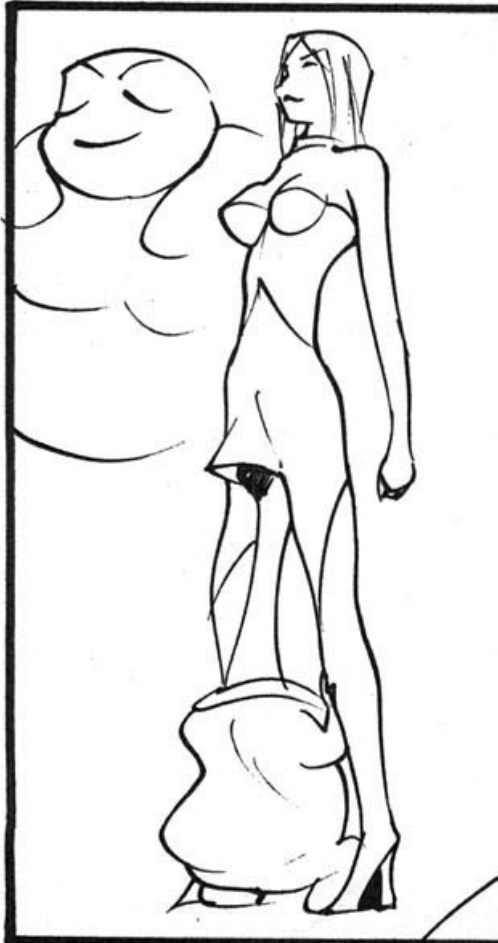




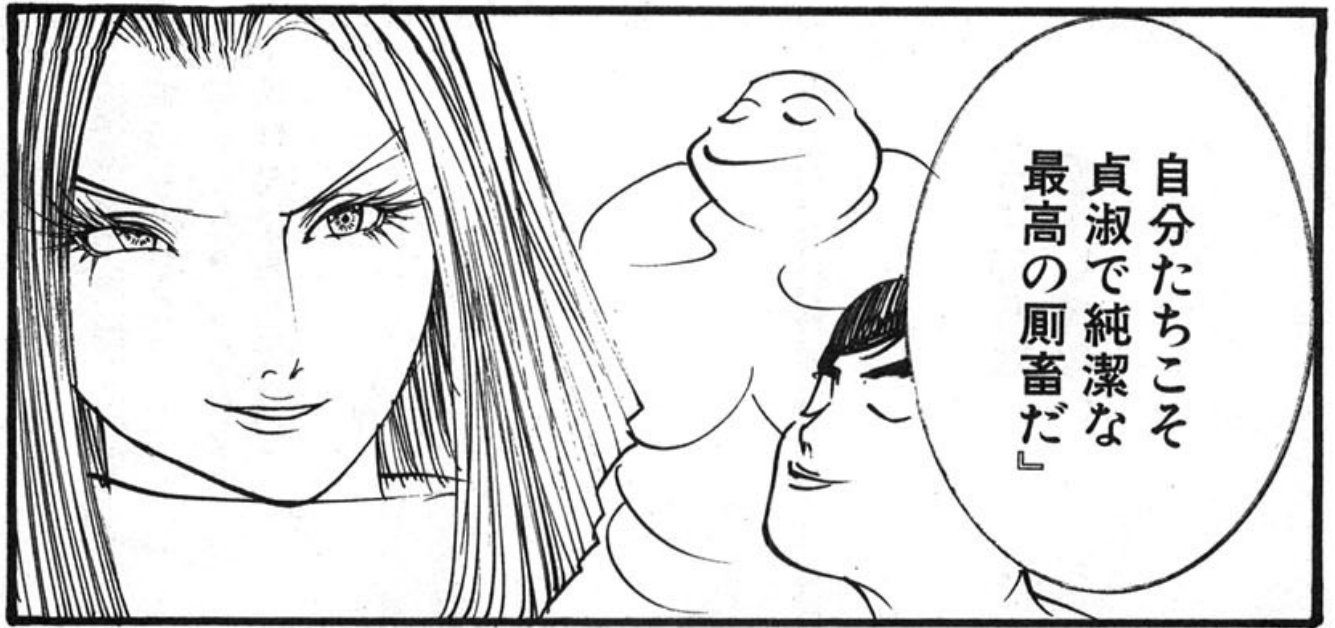
自分たちは
そうじゃない



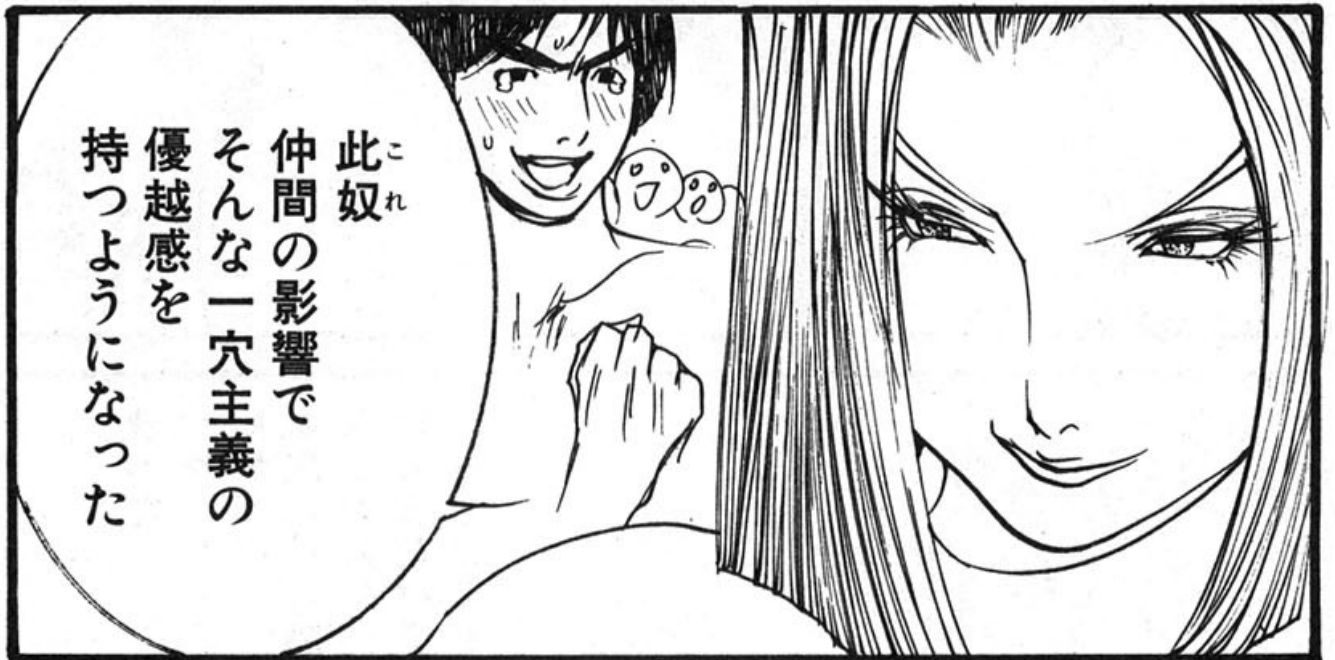
『スタンダード・セツチン
標準型肉便器なんて
誰のものでも
口にしないきゃならない
無貞操な共同便所だ』



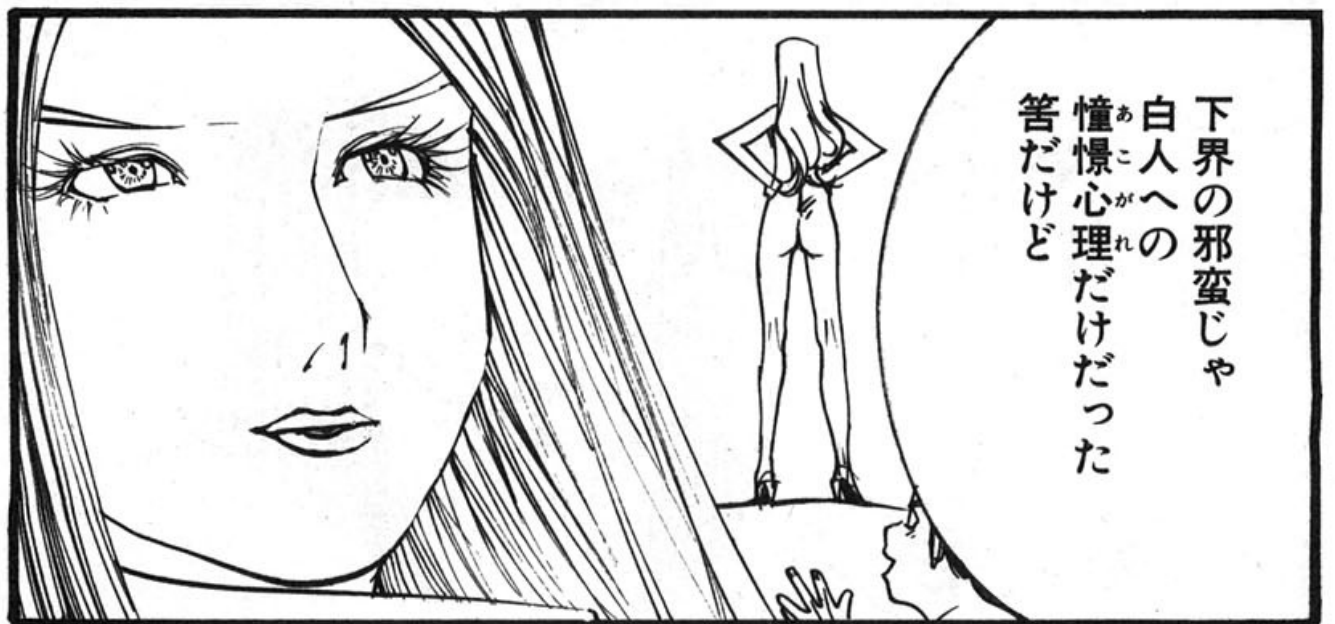
決った
パラソル・
レディの
お尻にだけ触れ
決った穴に
仕えるだけで
一生を終える



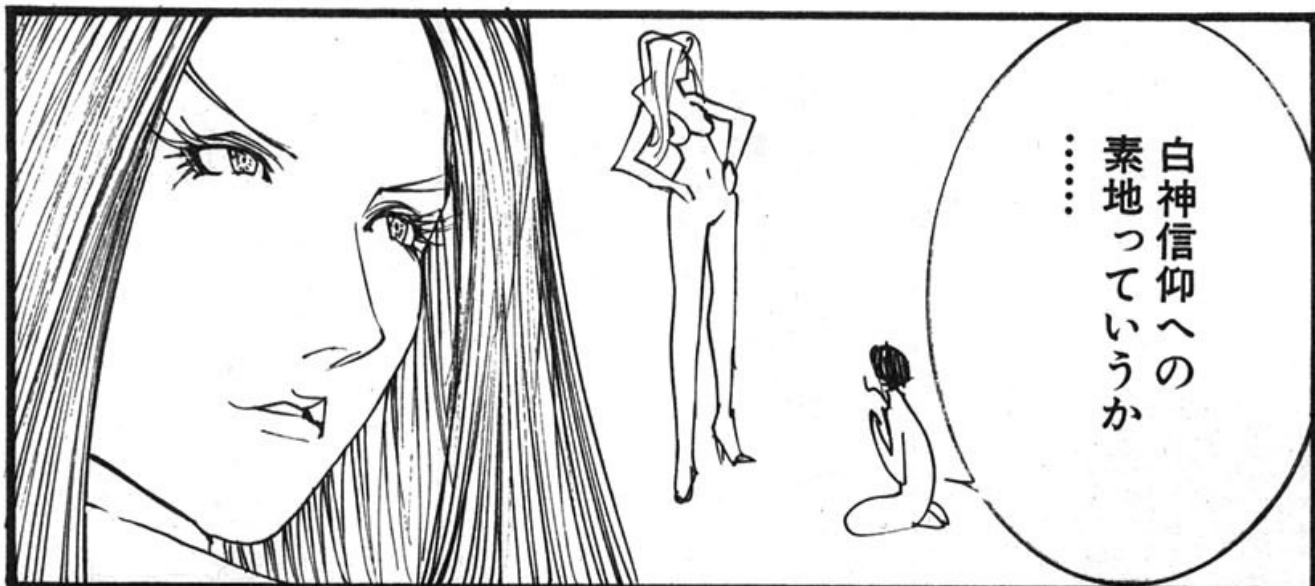
自分たちこそ
貞淑で純潔な
最高の厠畜だ』



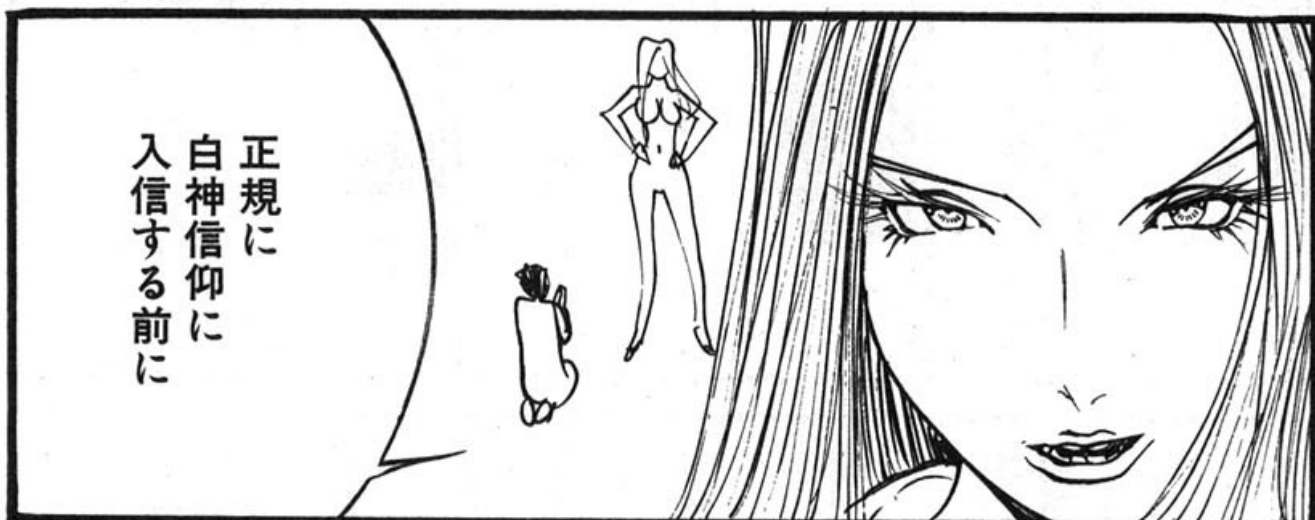
此これ奴れ
仲間の影響で
そんな一穴主義の
優越感を
持つようになった



下界の邪蛮じゃ
白人への
憧憬あこがれ心理だけだった
筈だけど



白神信仰への
素地っていうか
……

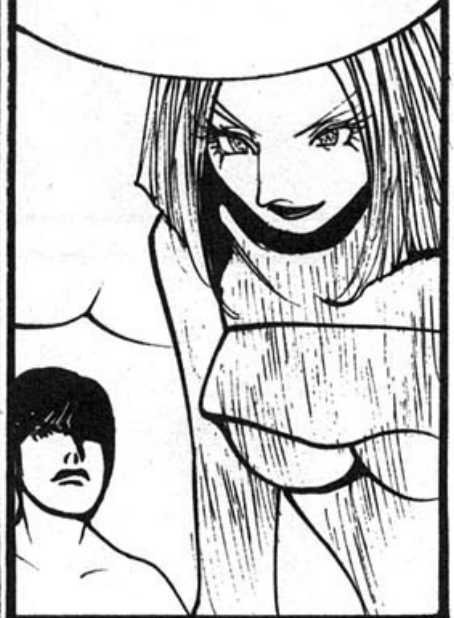


正規に
白神信仰に
入信する前に



《心のドミナ》
フライベイト・ラウアタ
への専用厠畜意識を
身につけたって
わけね

そう
それからは
妾のお尻に
操を立てて



それ以外
性的な連想を
生むものを
潔癖に
拒むようになった



下界の妻ワイフ



雌め畜すも
その一つよ

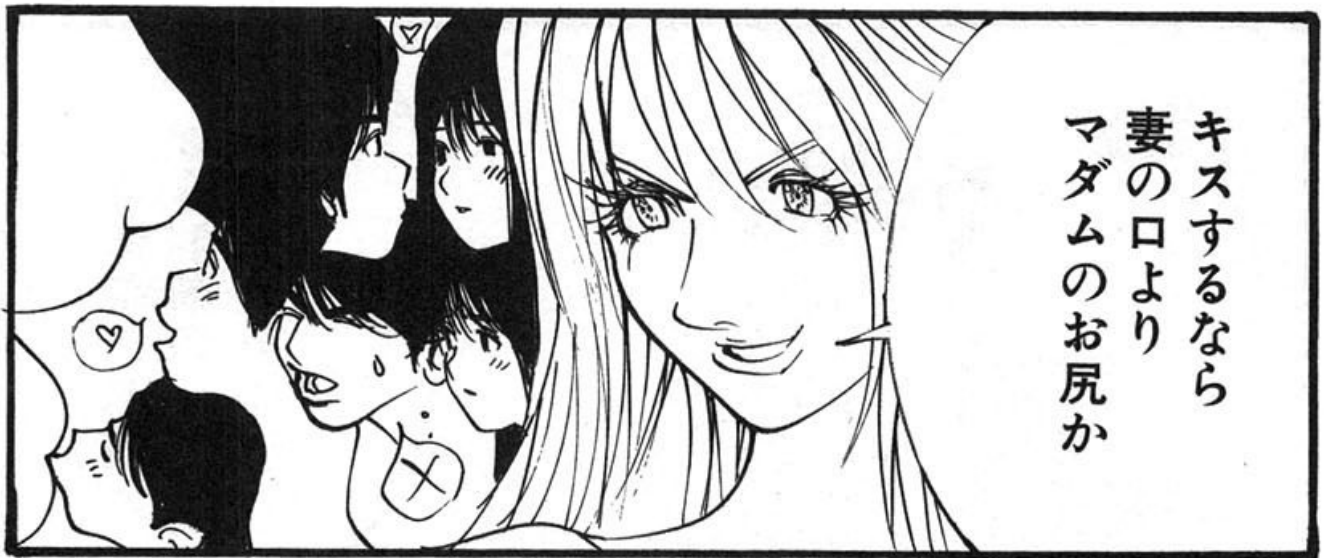


今じゃ
エロー・スキン
黄色い肌の
平坦な顔
フラット・フェイス
なんか



思い出すのも
嫌気が
さすような
心境らしいわ

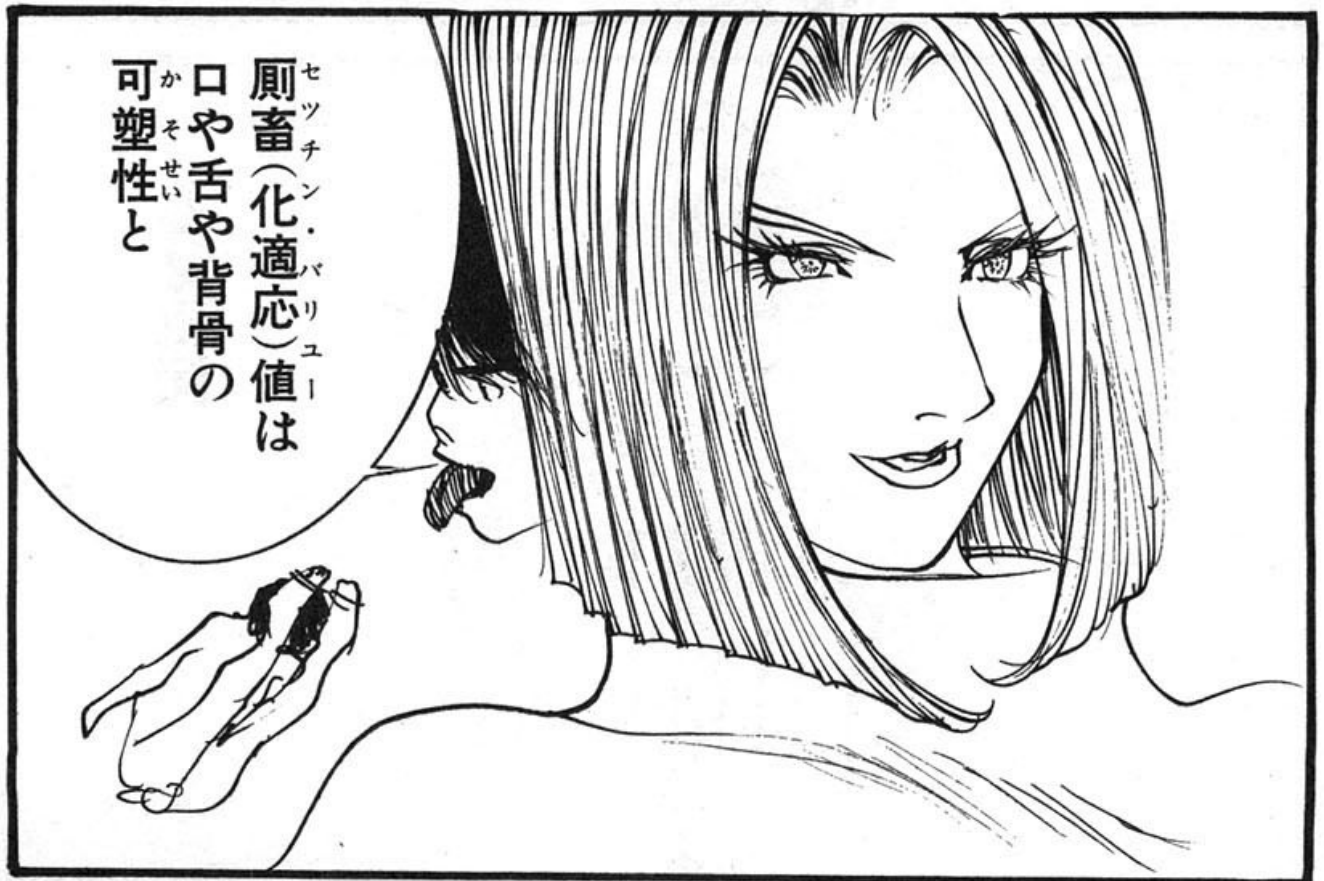




キスするなら
妻の口より
マダムのお尻か



ま
当然だわね



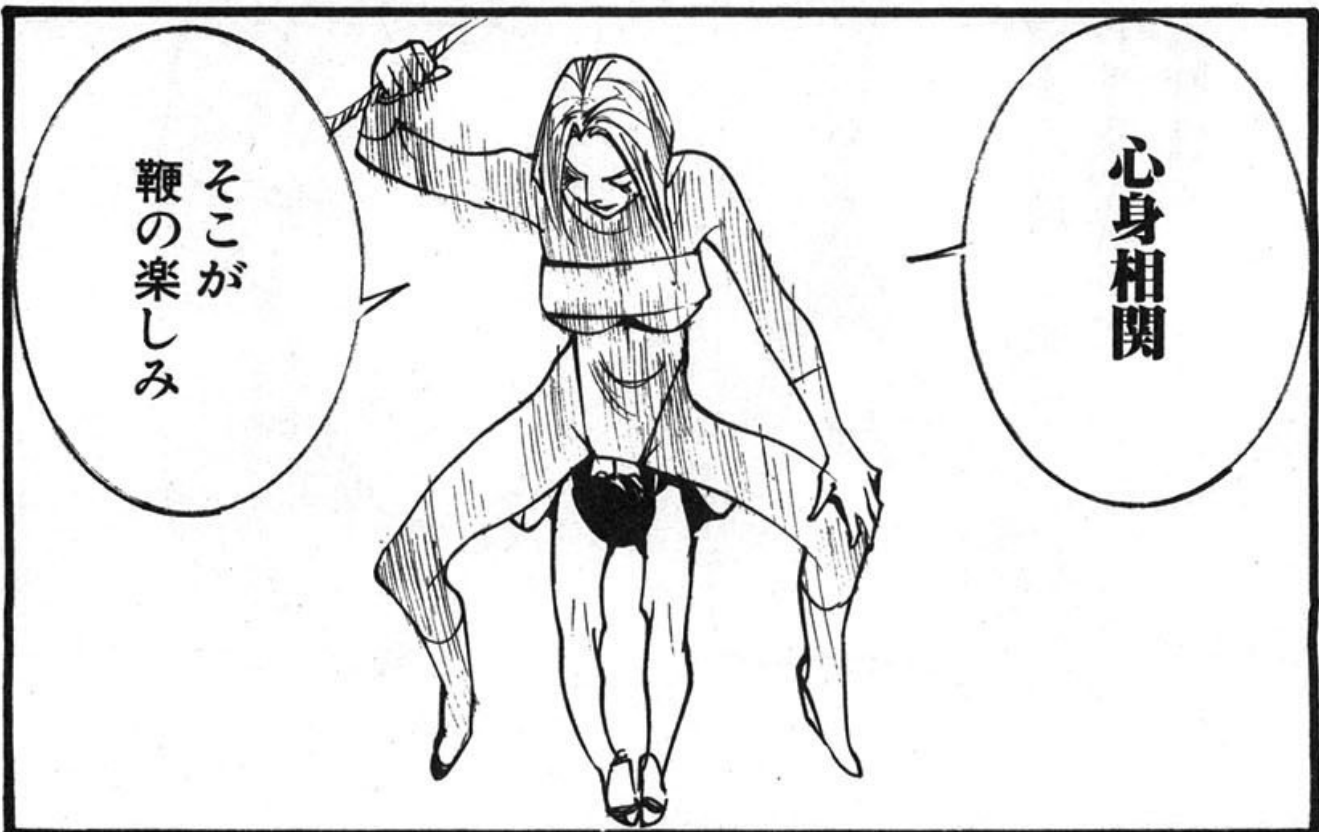
セツチン・バリユー
厠畜(化適応)値は
口や舌や背骨の
かそせい
可塑性と



心理傾斜方向の
総合判断の
数値だから

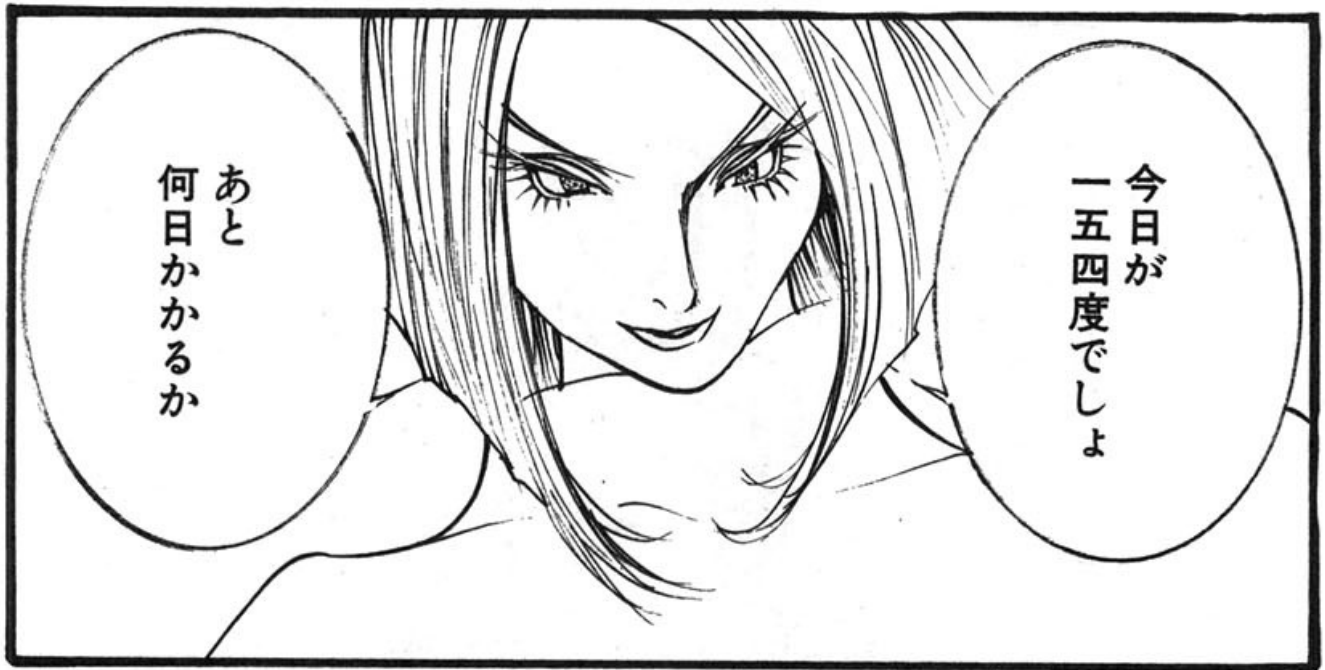


曲げが一度分進むと
精神値もそれだけ
進んだことが
数字でわかる



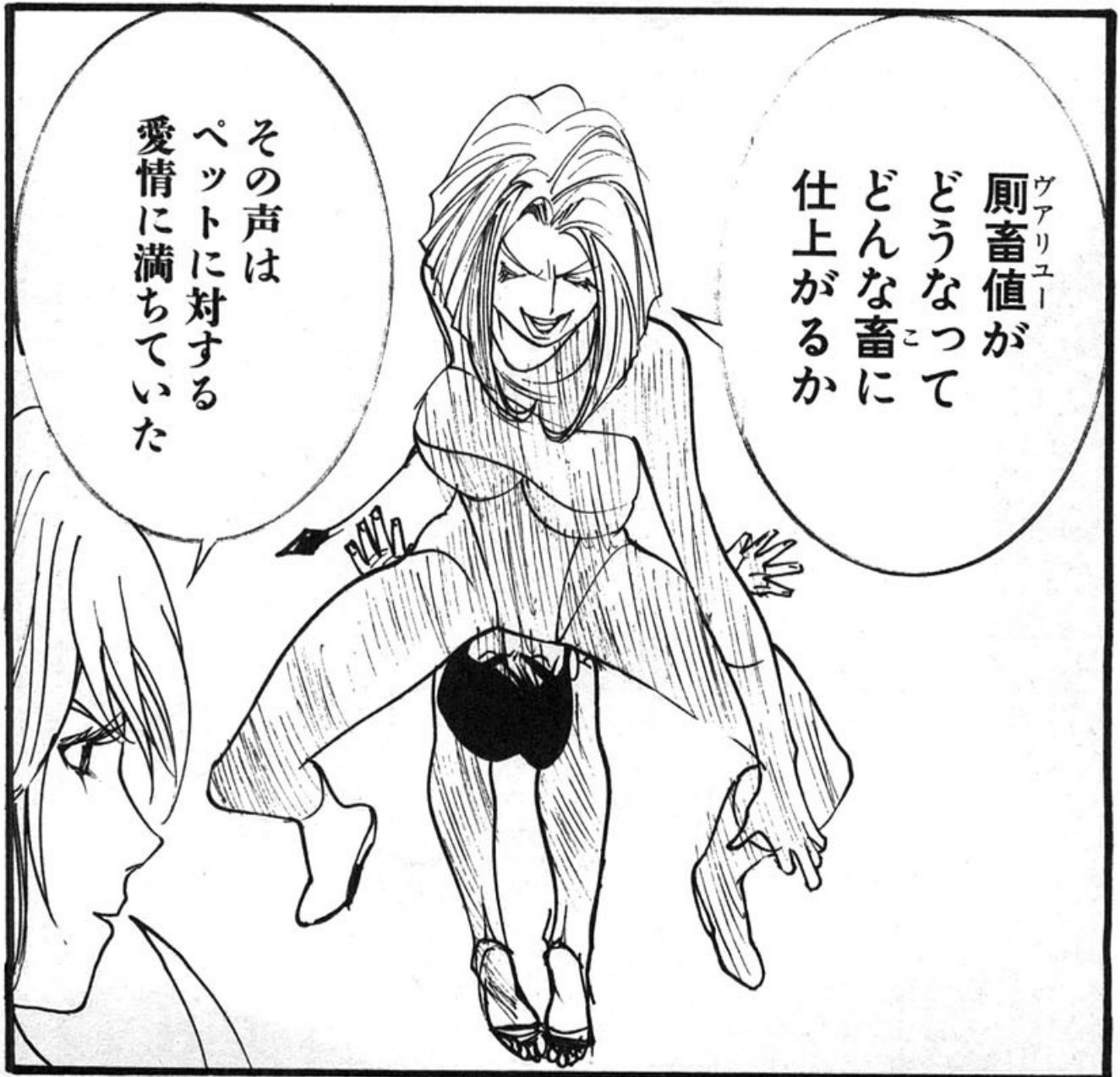
そこが
鞭の楽しみ

心身相関



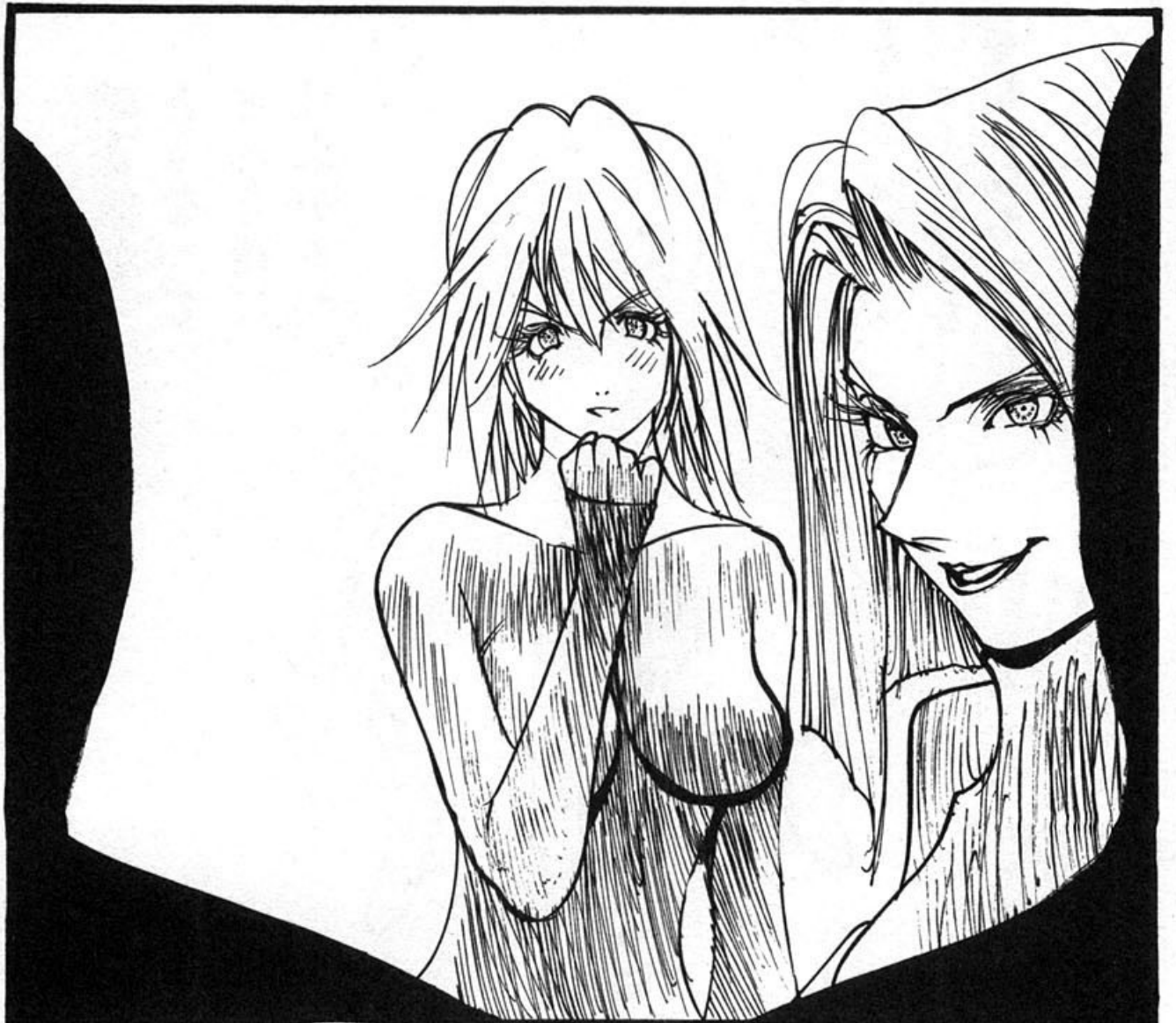
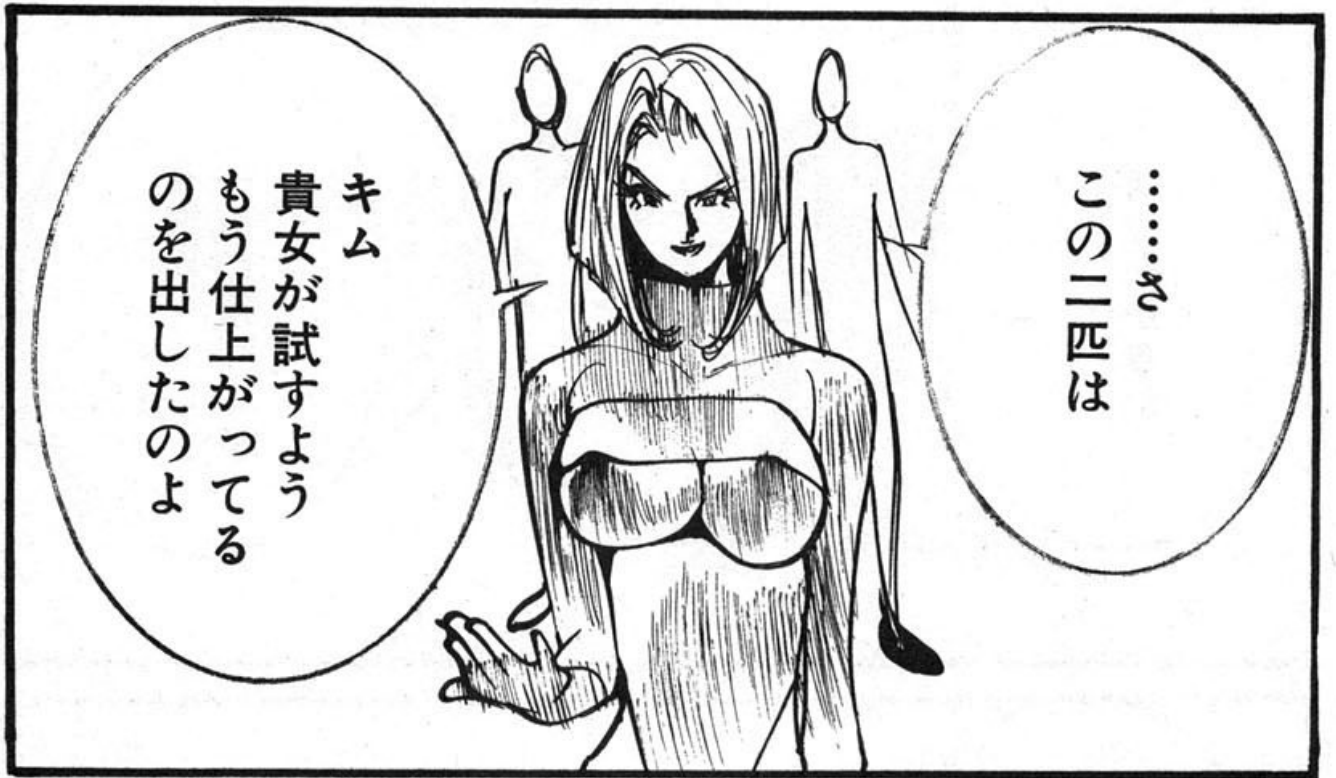
今日が
一五四度でしょ

あと
何日かかるか



ヴァリユー
厩畜値が
どうなつて
どんな畜に
仕上がるか

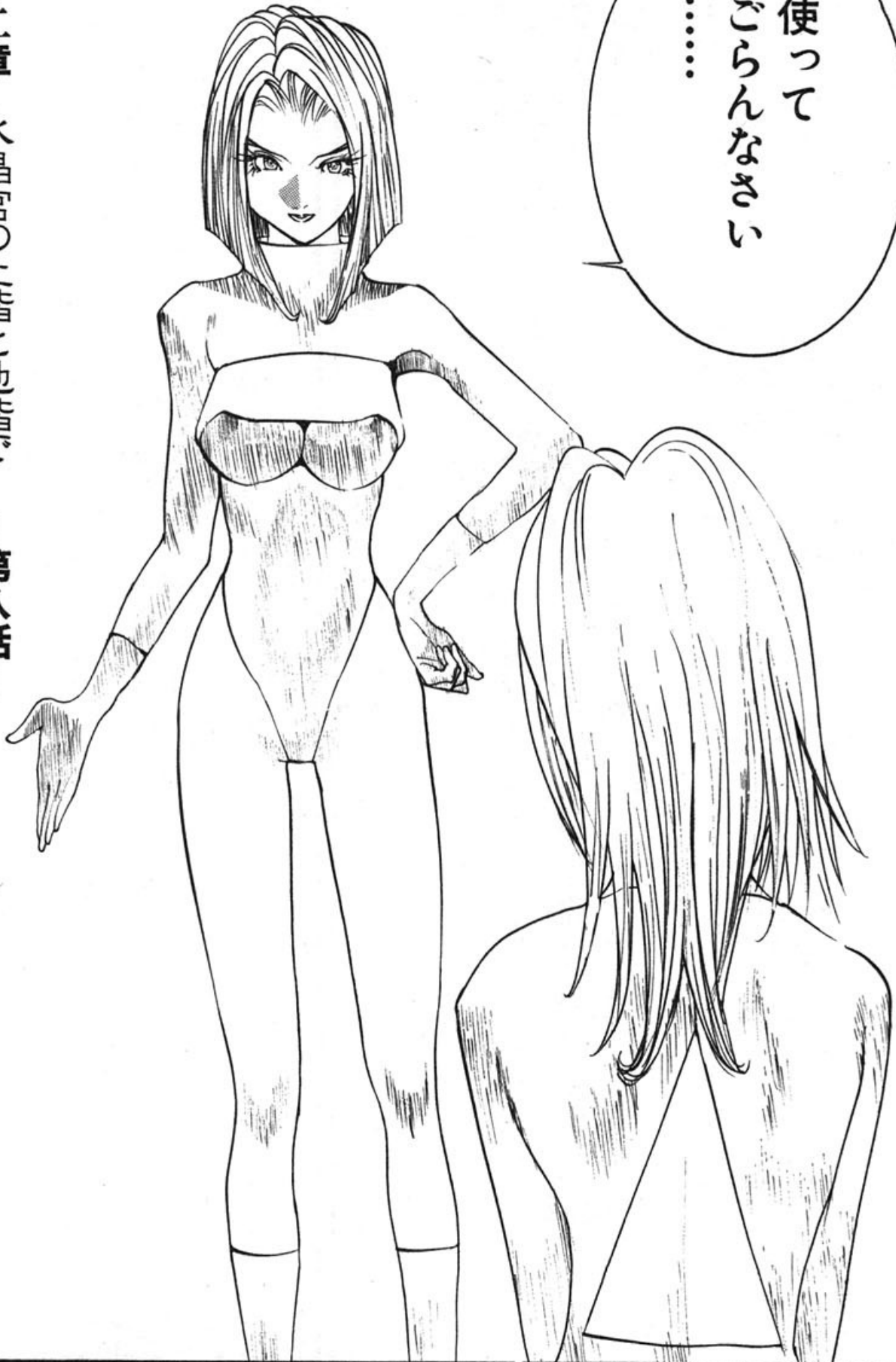
その声は
ペットに對する
愛情に満ちていた



第十二章

水晶宮の上階と地階で

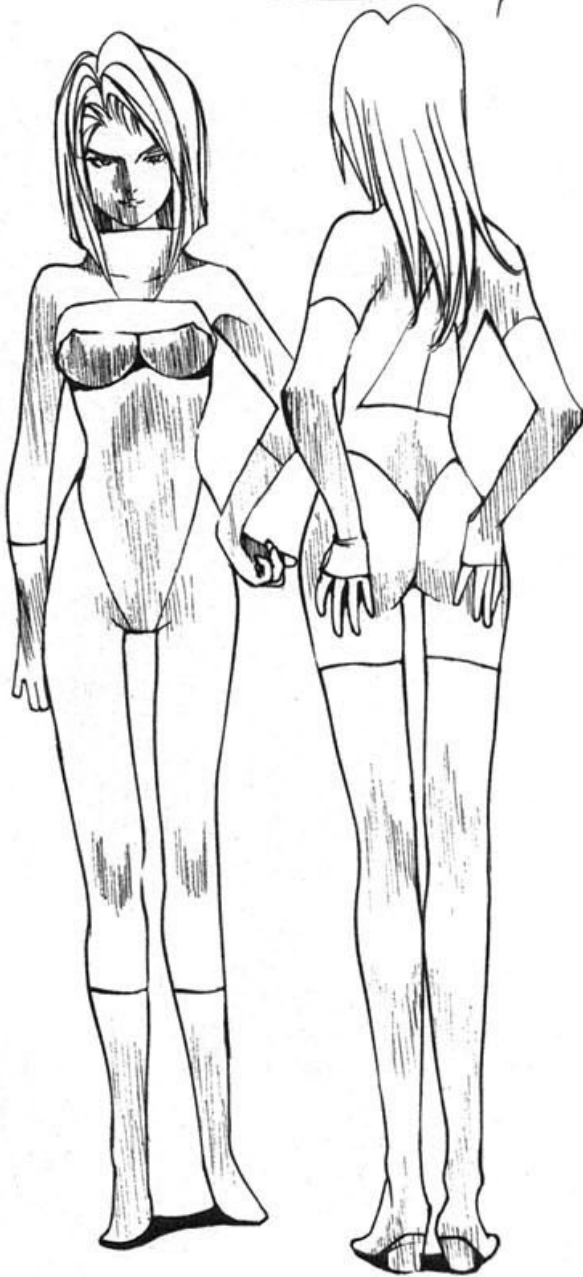
第八話



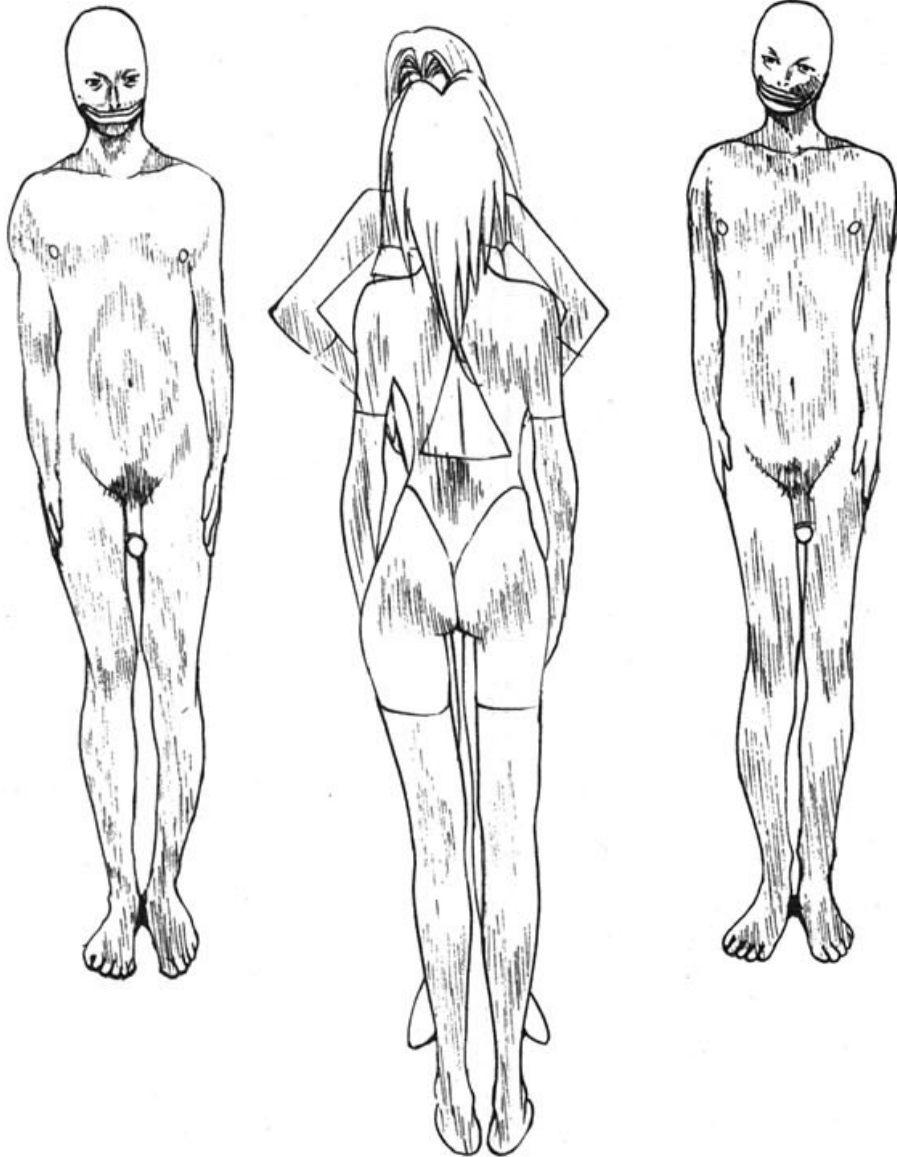
使って
ごらんなさい
……

え
ありがと

標準型しか
使ったことのない
いなかもの
辺境星貴族だけど
白いお尻の
持主では
あるわけだから
資格は十分ね

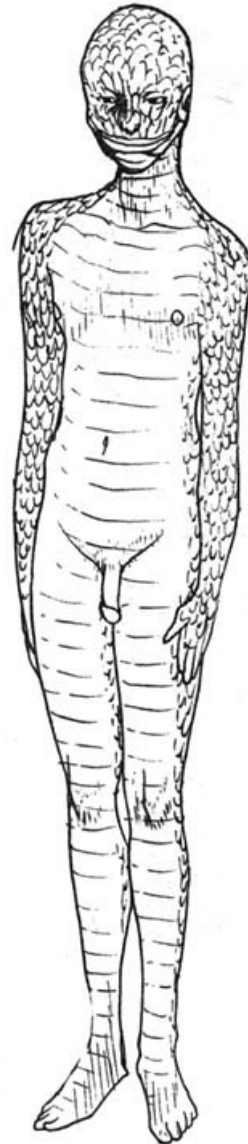


どつちも
ウェアリユー
厠畜値七〇台の
単能具



蛇が
オシツコ・オンリー
賜飲専門

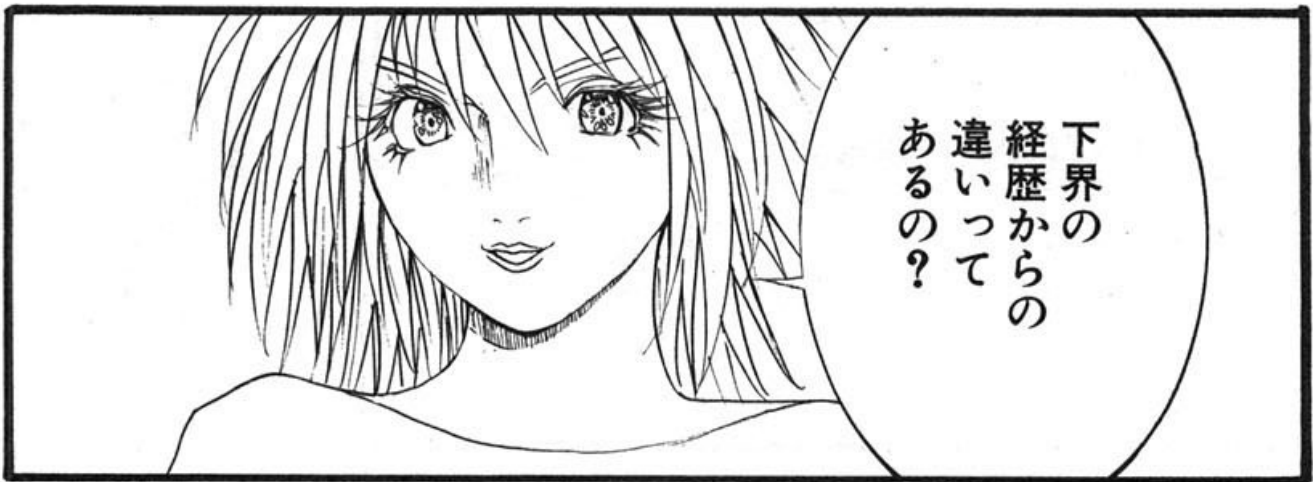
貧乏学生だった



菊は
ウンコ・オンリー
賜食専門

こつちはたしか
裕福な
株屋だった

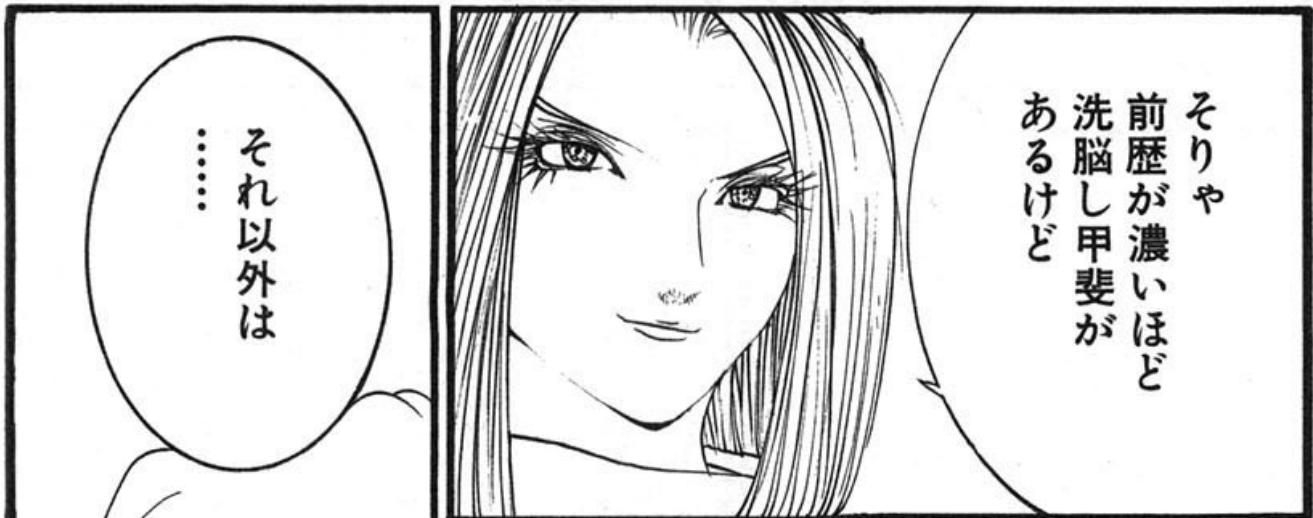




下界の
経歴からの
違いって
あるの？



厠畜値は
前歴とは全く
無関係よ



そりゃ
前歴が濃いほど
洗脳し甲斐が
あるけど

それ以外は
……



それだけ
老けてるわけで
くたばりやすいわね

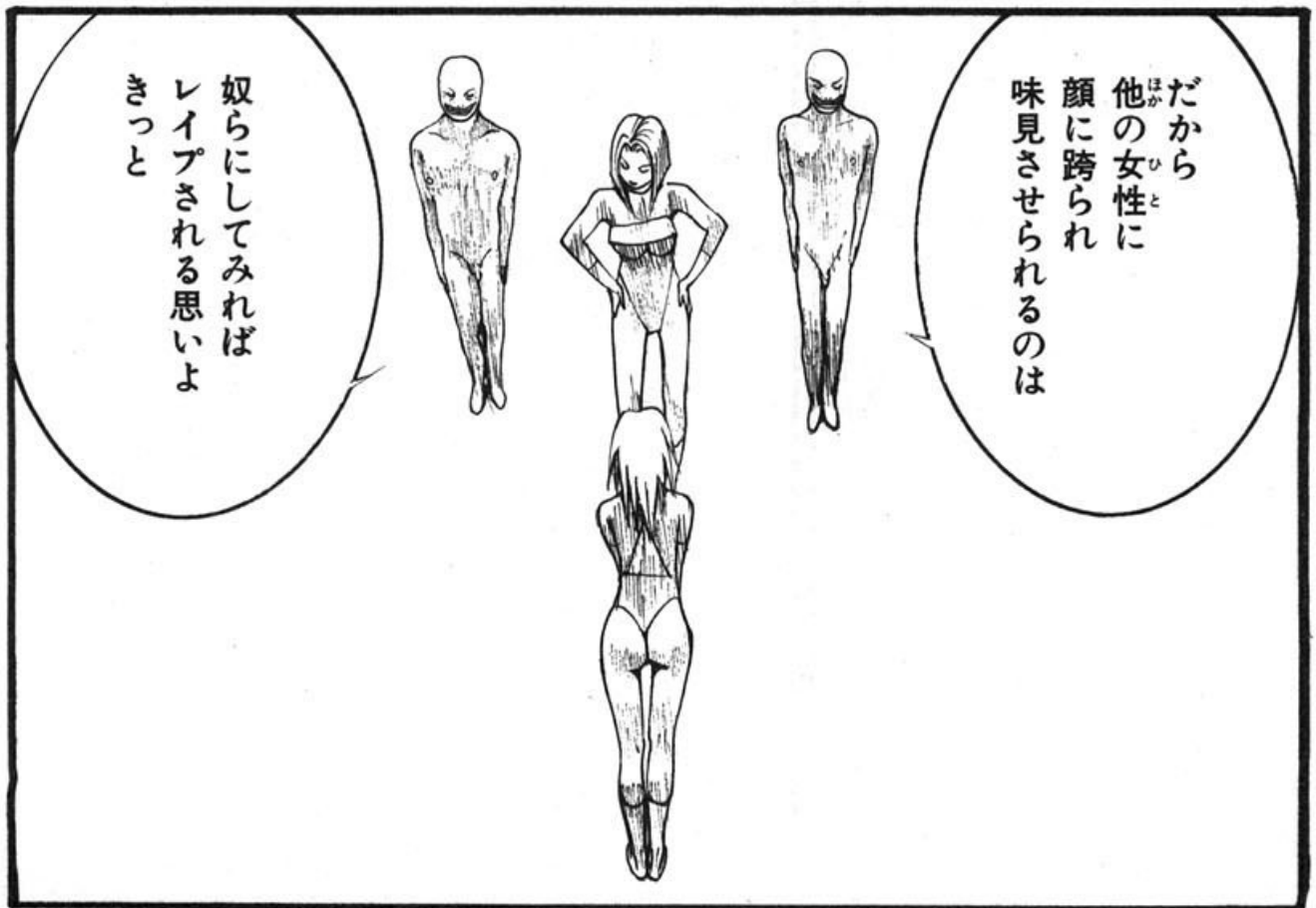
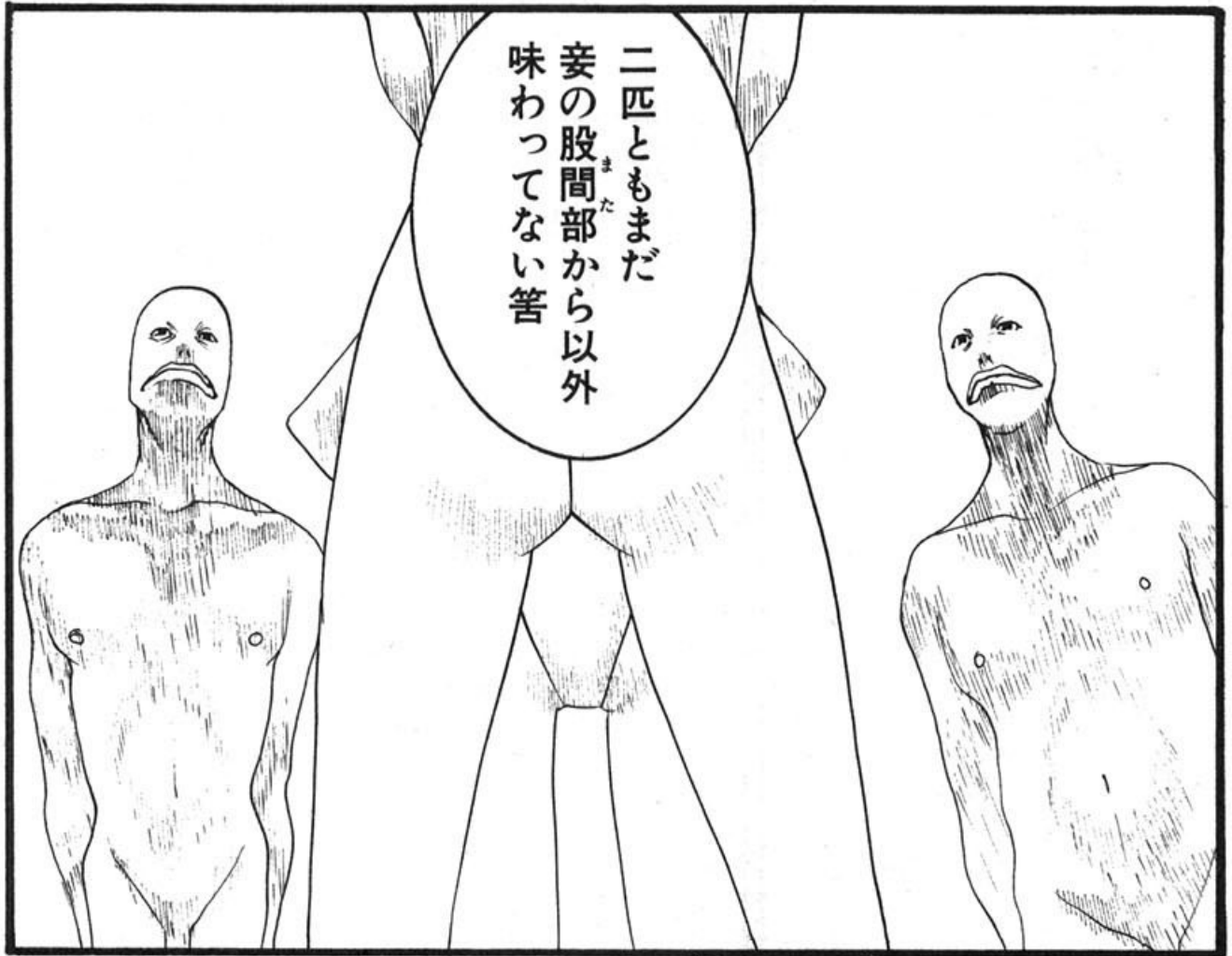
白い尻の下で
問われるのは
セクシー・ウアリエー
厠畜値だけ

邪蛮での
金持も
貧乏人も
違いあるわけ
ないわね

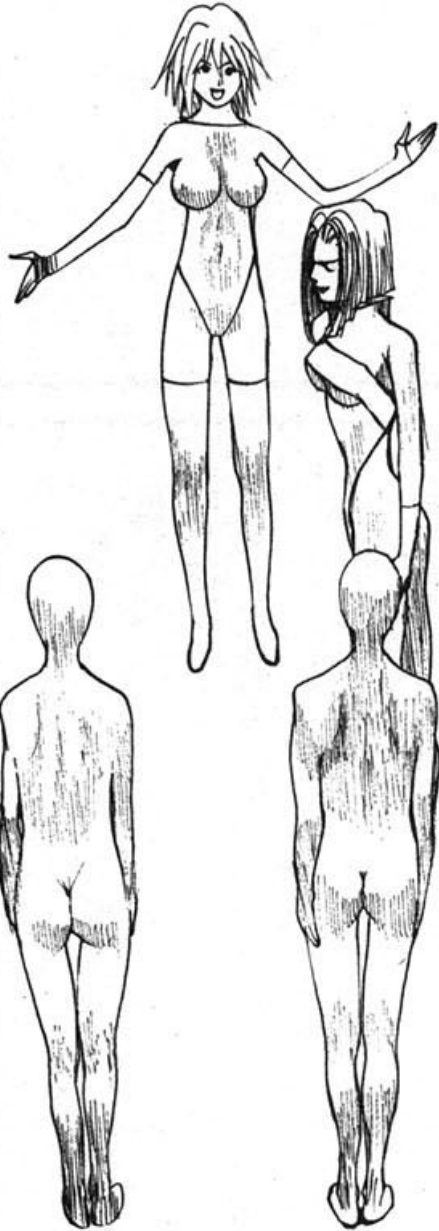
ホワイトデイズ・インバーシヤリテイ
白神のへー視同仁
ね

あるじ
女主人の
妾が許した以上
奴らは

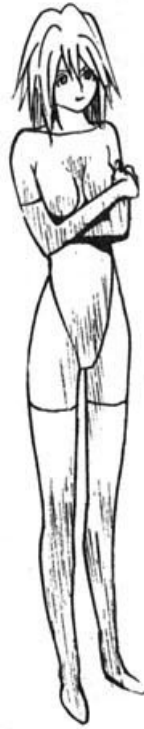
ケイト
貴女のも
喜んで
戴かなきゃ
ならないわけ
だけど



貞節のプライド無惨！
専用器の誇りよ いずこ？



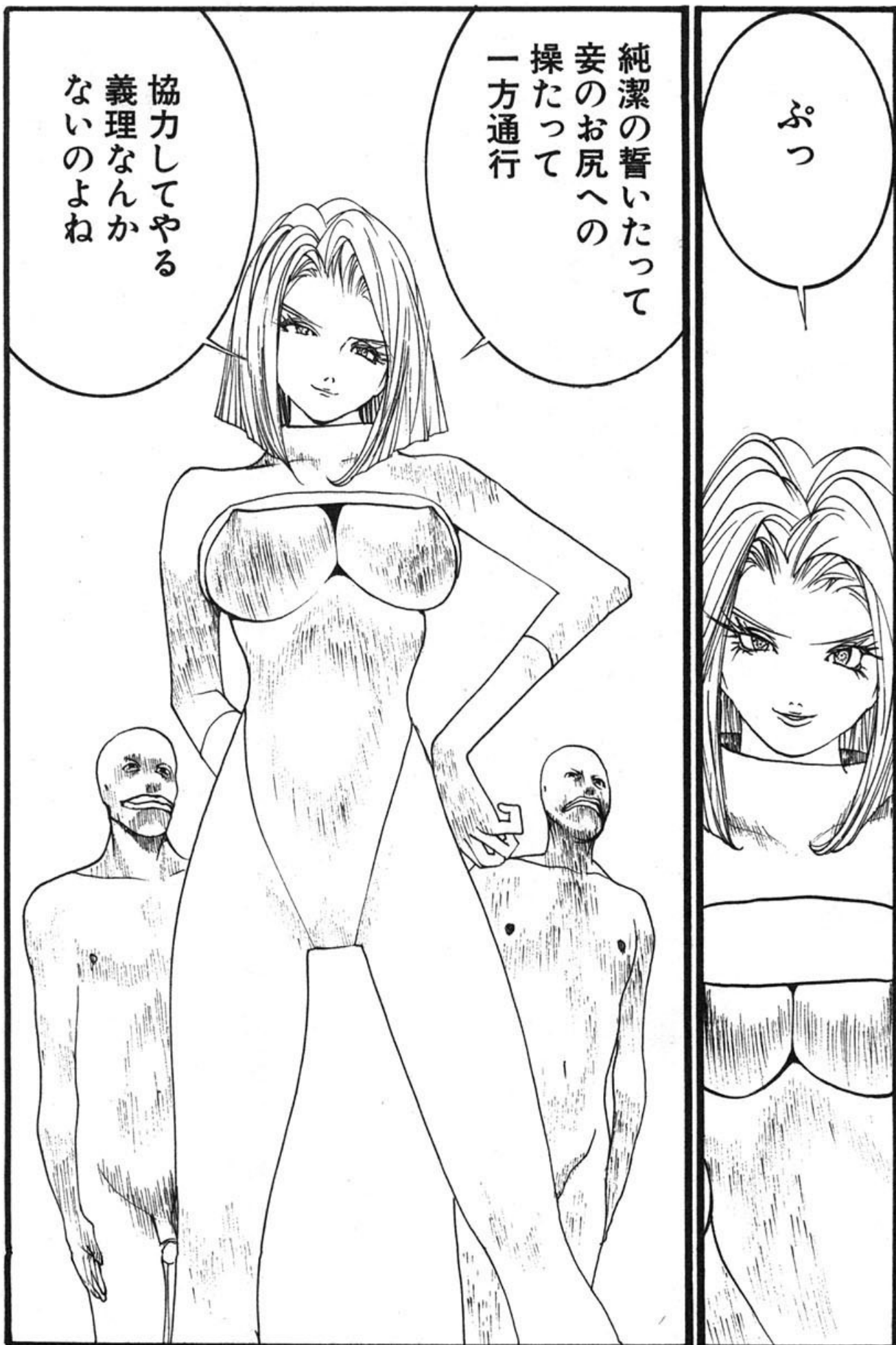
もちろん
アルビニズム
白神信仰は
ちやんと身に
ついてるから
失礼はしないけど



ふっ

純潔の誓いたって
妾のお尻への
操たって
一方通行

協力してやる
義理なんか
ないのよね



あとでは
白菊の
厚物咲を象^{なご}った

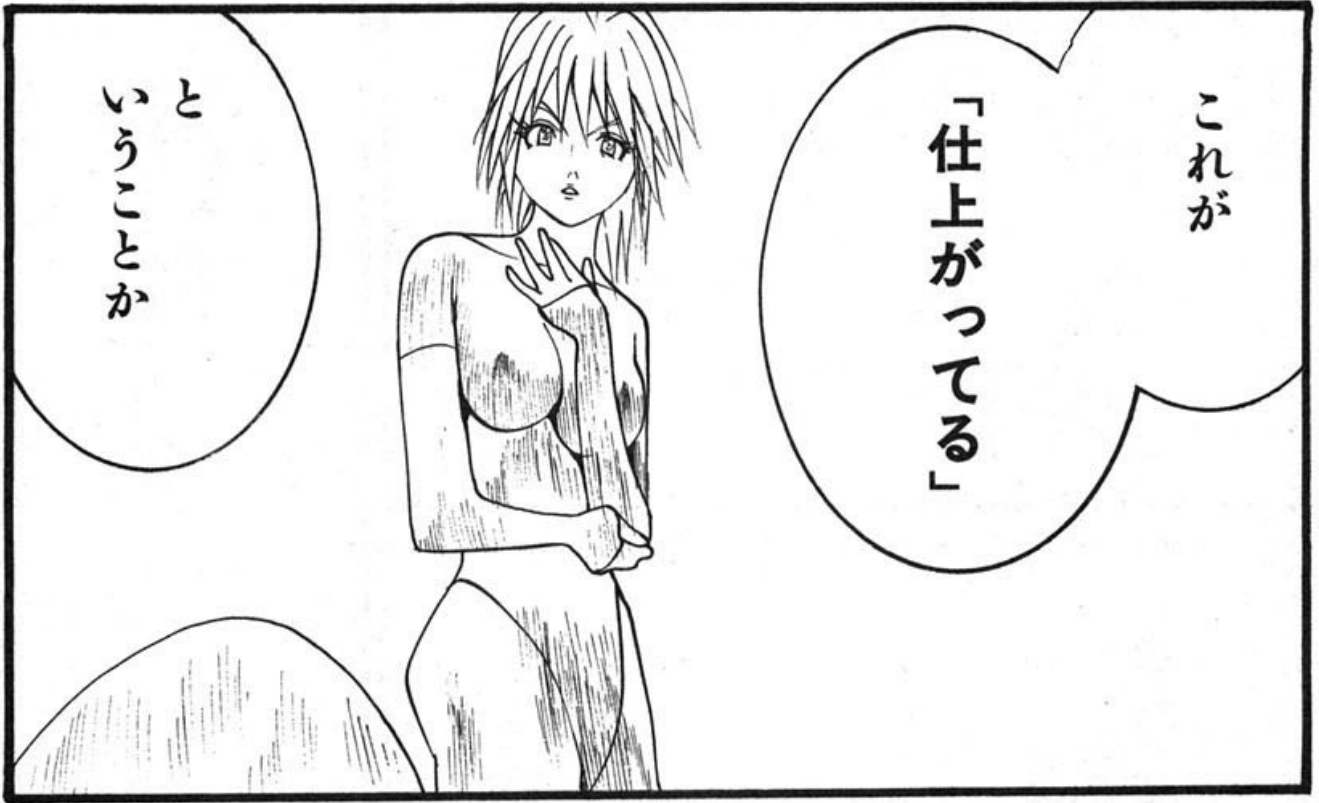
ウエリントン・スタイルの
花に
食べさせましたけど





まず
ネルソン・スタイルの
蛇に飲ませて
試してみた

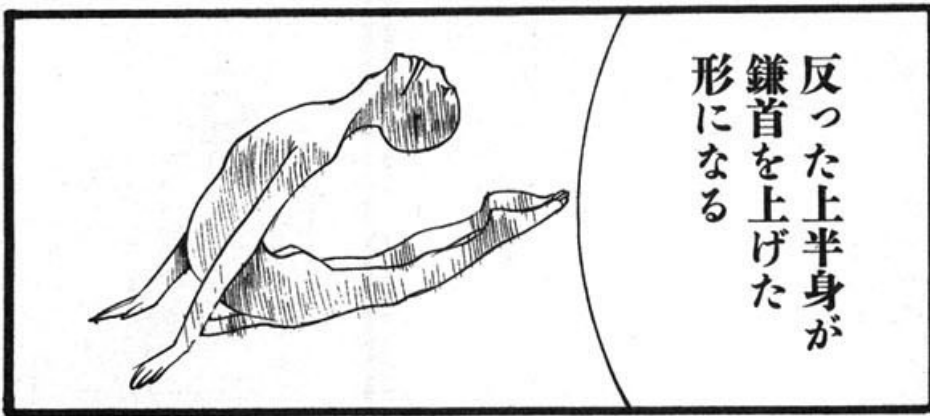




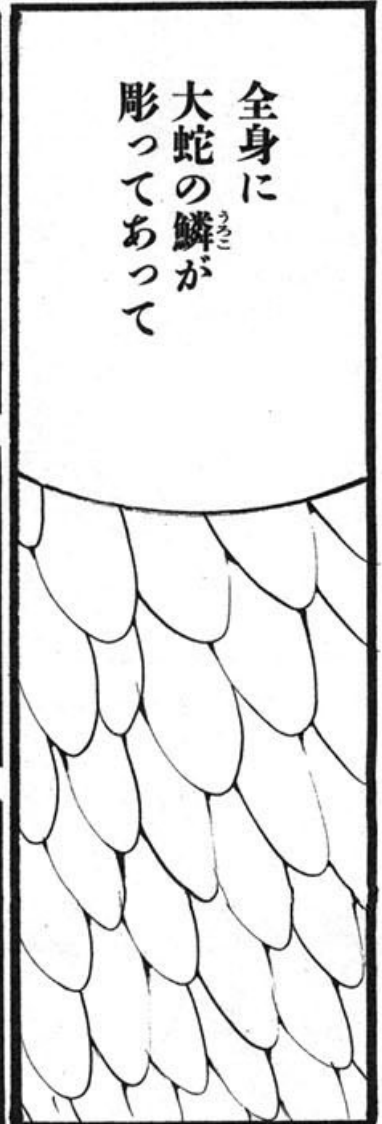
これが

「仕上がってる」

と
いうことか



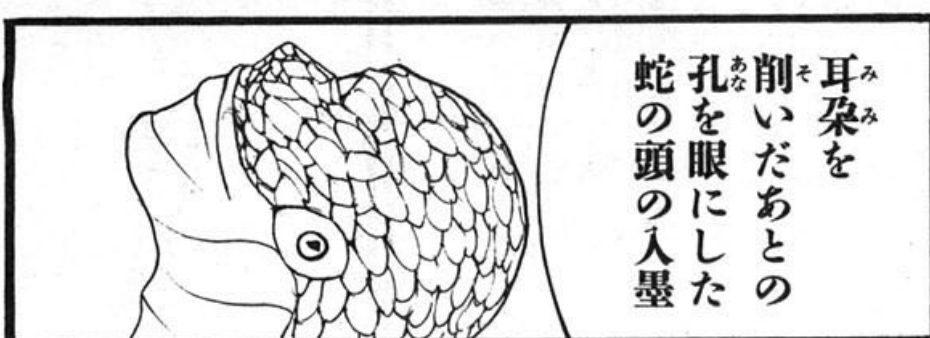
反った上半身が
鎌首を上げた
形になる



全身に
大蛇の鱗が
彫ってあつて



剃り上げた
頭蓋の



耳朶を
削いだあとの
孔を眼にした
蛇の頭の入墨



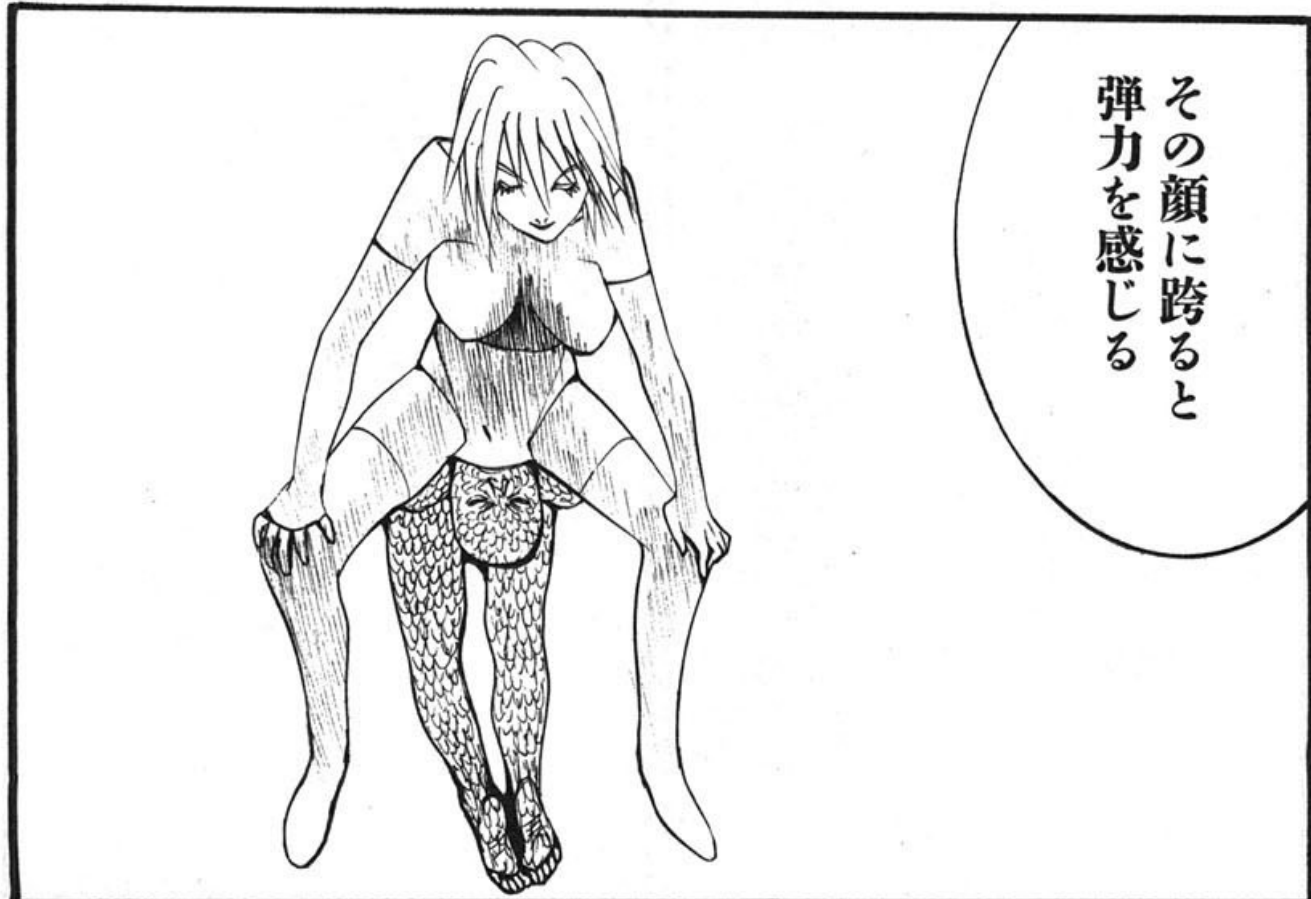
これが

「^かお^おな^なお^お
顔面を整形した」

と
いうこと
なのだろう



顔は
口の左右が裂けて
唇が厚い

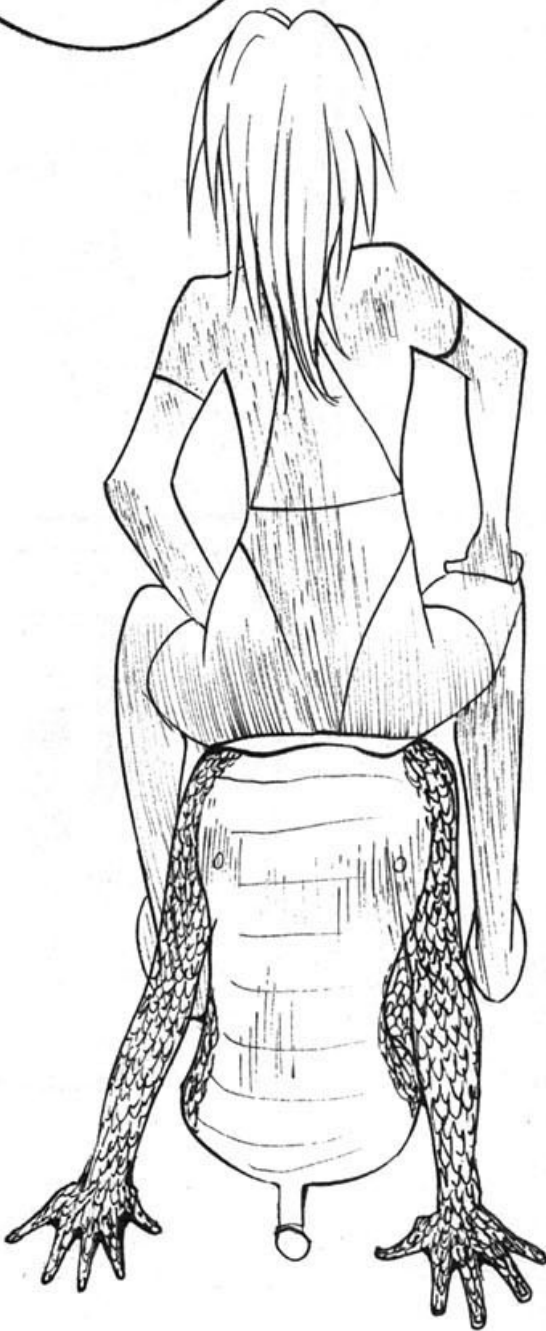


その顔に跨ると
弾力を感じる

顔面にかかる
妾の体重
百四十ポンドを



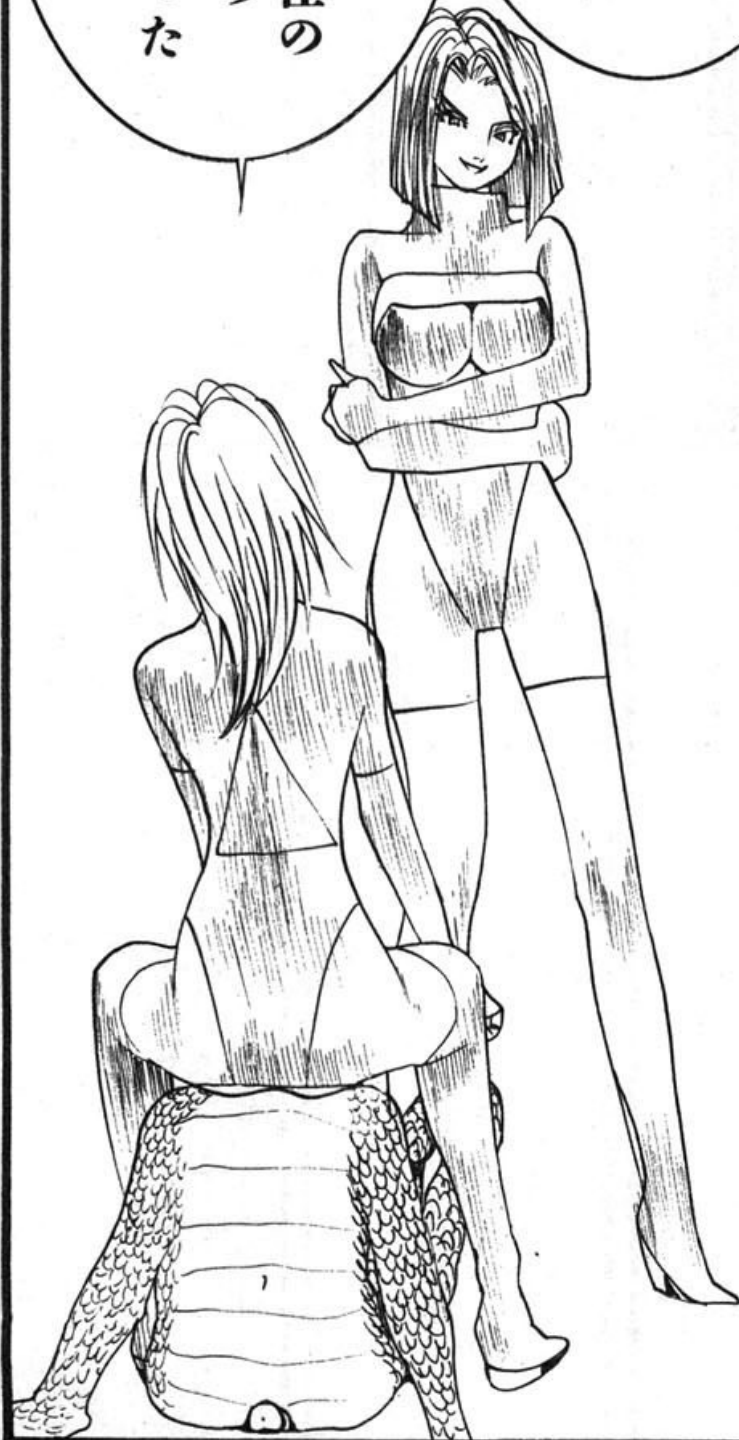
〈背骨の復原力〉
だけで
耐えているわけ
けなげ
健気な印象だった



クリーニング
清拭舌の使い方も
標準型より
丁寧な感じ

ここまで
仕込むのは

アベルデーン在住の
大貴族ならではの
たのしみ
娯楽だろうと思った



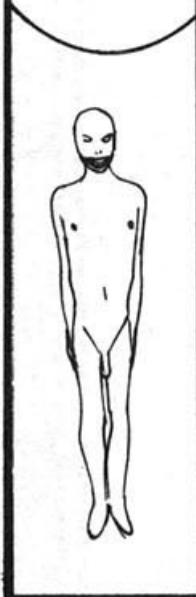
そう
感想を述べて



仕上がり日数は
ヤプーによって
個体差があつて？



と訊くと



そうね
ものいうのは
ハングリーか
どうかね



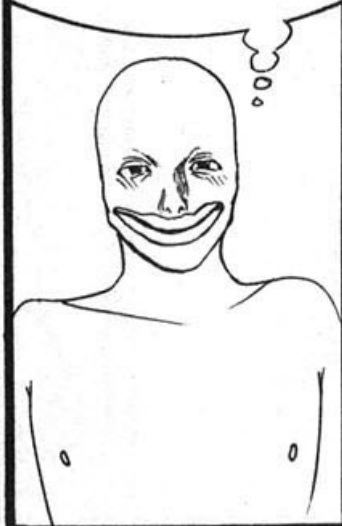
ハングリーだと
心構えが
謙虚だから



こちらに
奉仕できること
自体を
ありがたいことと
思つて

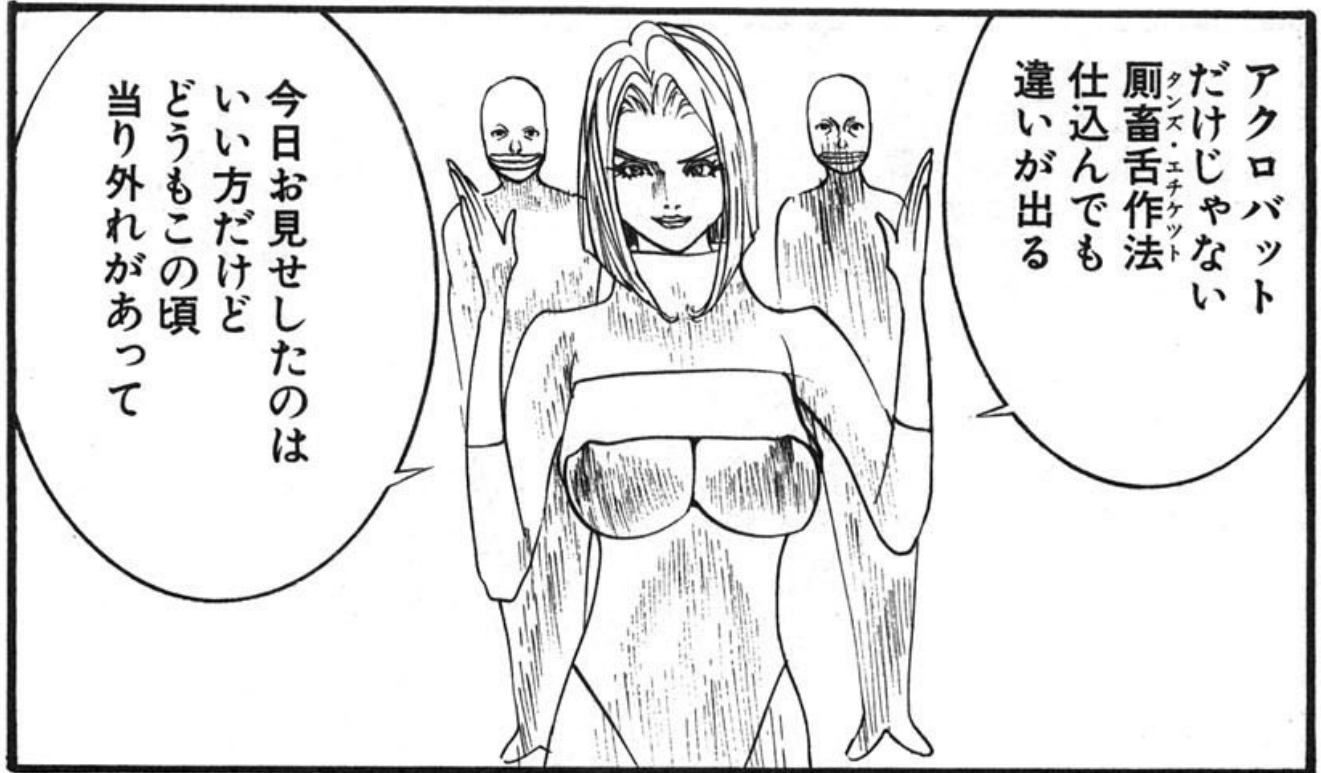


「御恩返し」の
ためにも頑張ろう



という
気持になる
らしいのね





アクロバット
だけじゃない
ダンス・エチケツト
厠畜舌作法
仕込んで
違いが出る

今日お見せしたのは
いい方だけど
どうもこの頃
当り外れがあつて



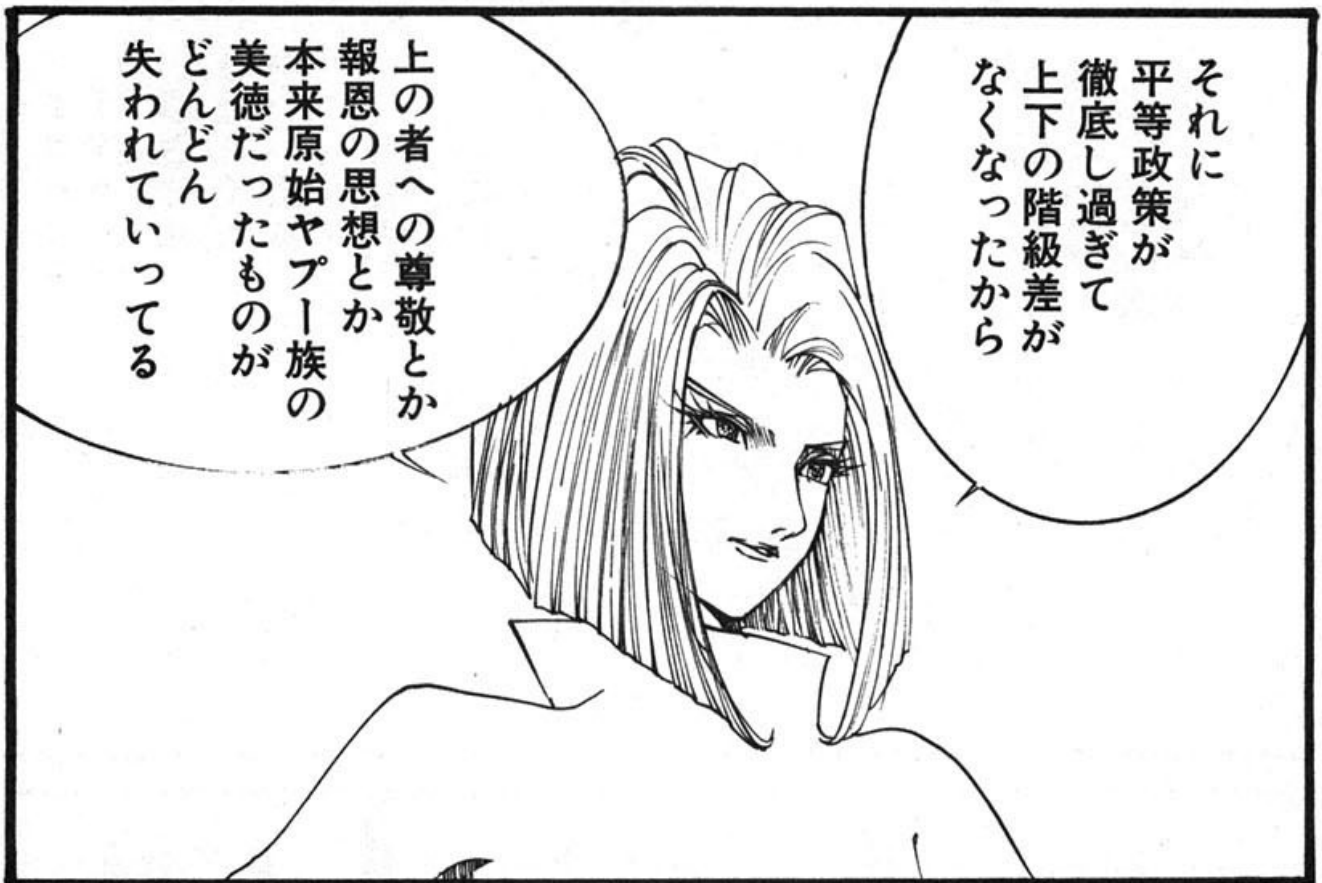
畜人省が
甘やかしてるのよ



邪蛮人から
ハングリー精神が
失われたのね

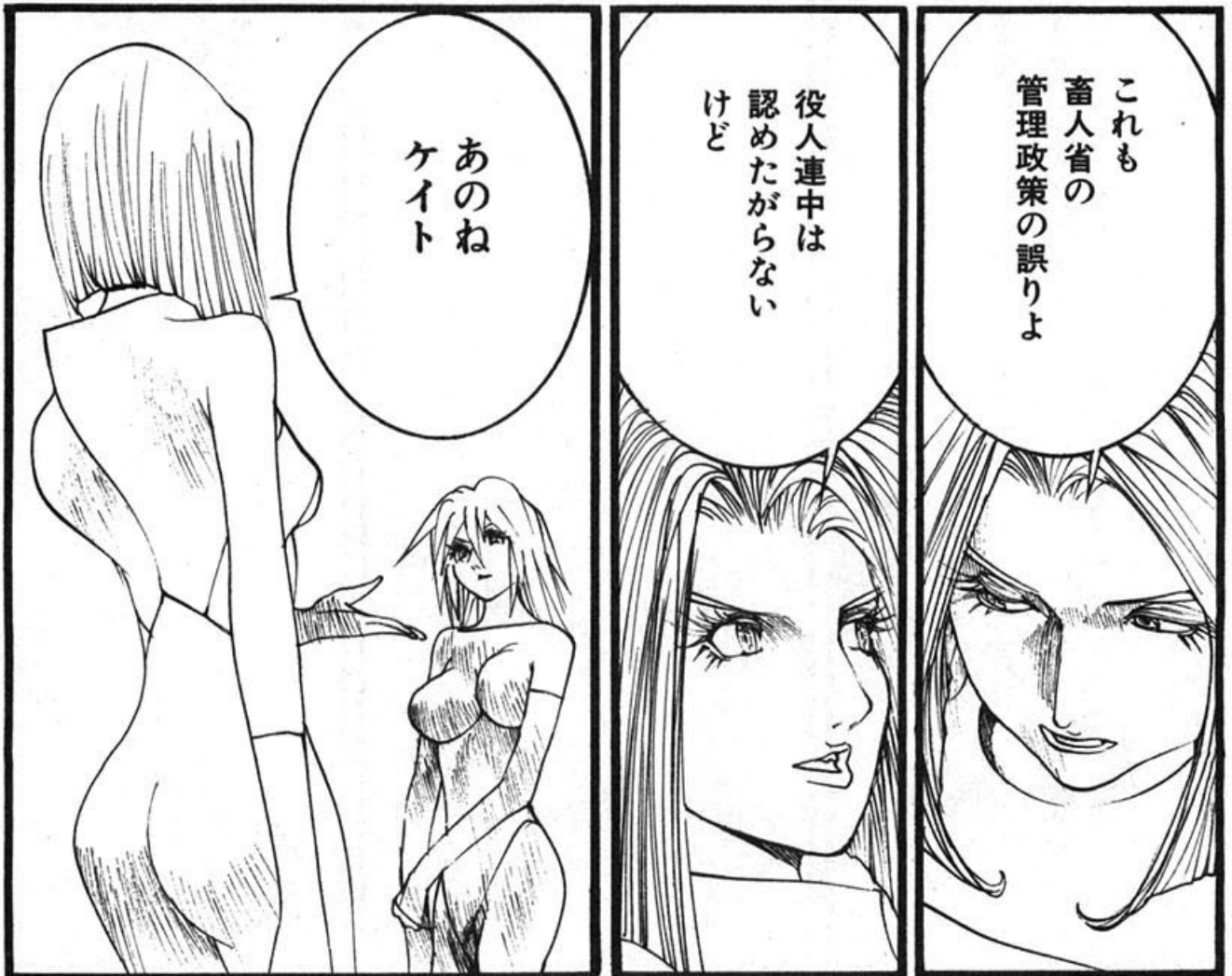


成績よくないのが
出るのよ
ヤブン諸島の
物資が豊富になつて



それに
平等政策が
徹底し過ぎて
上下の階級差が
なくなったから

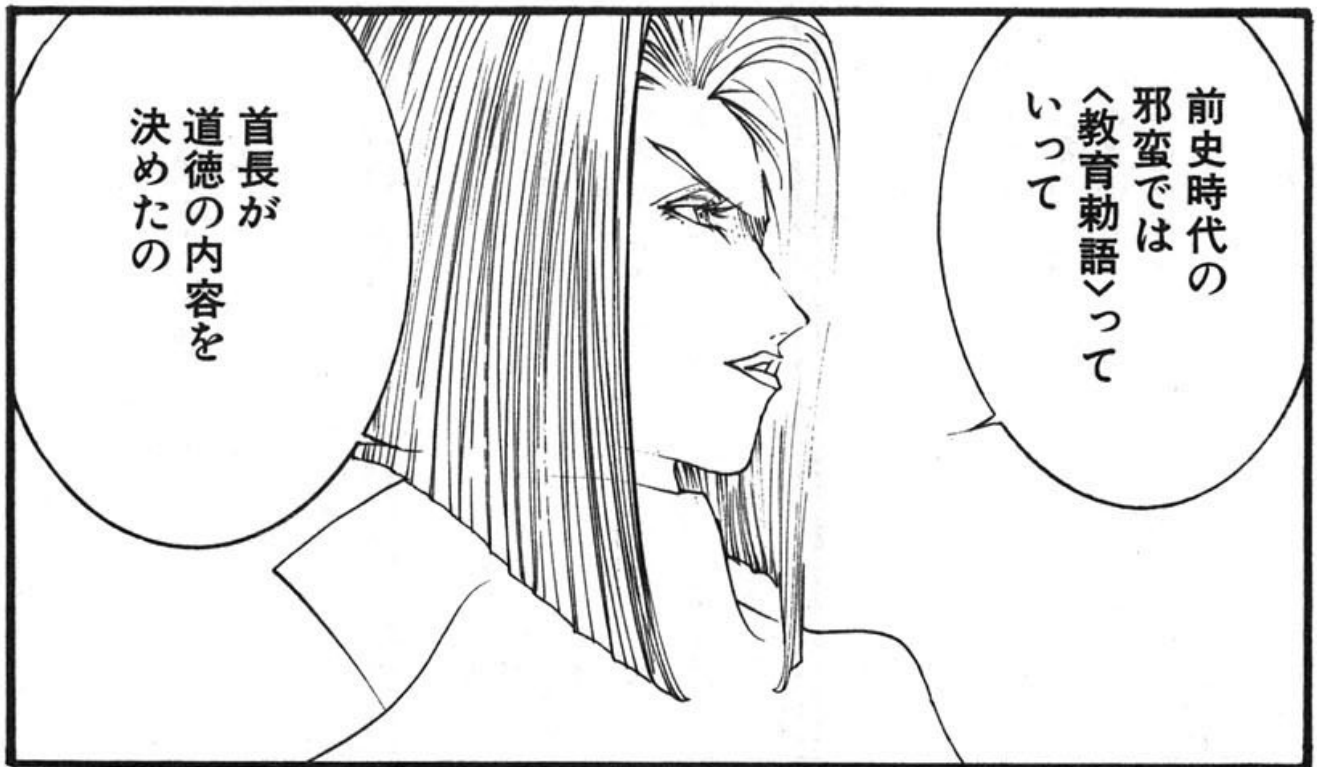
上の者への尊敬とか
報恩の思想とか
本来原始ヤプー族の
美德だったものが
どんどん
失われていってる



あのね
ケイト

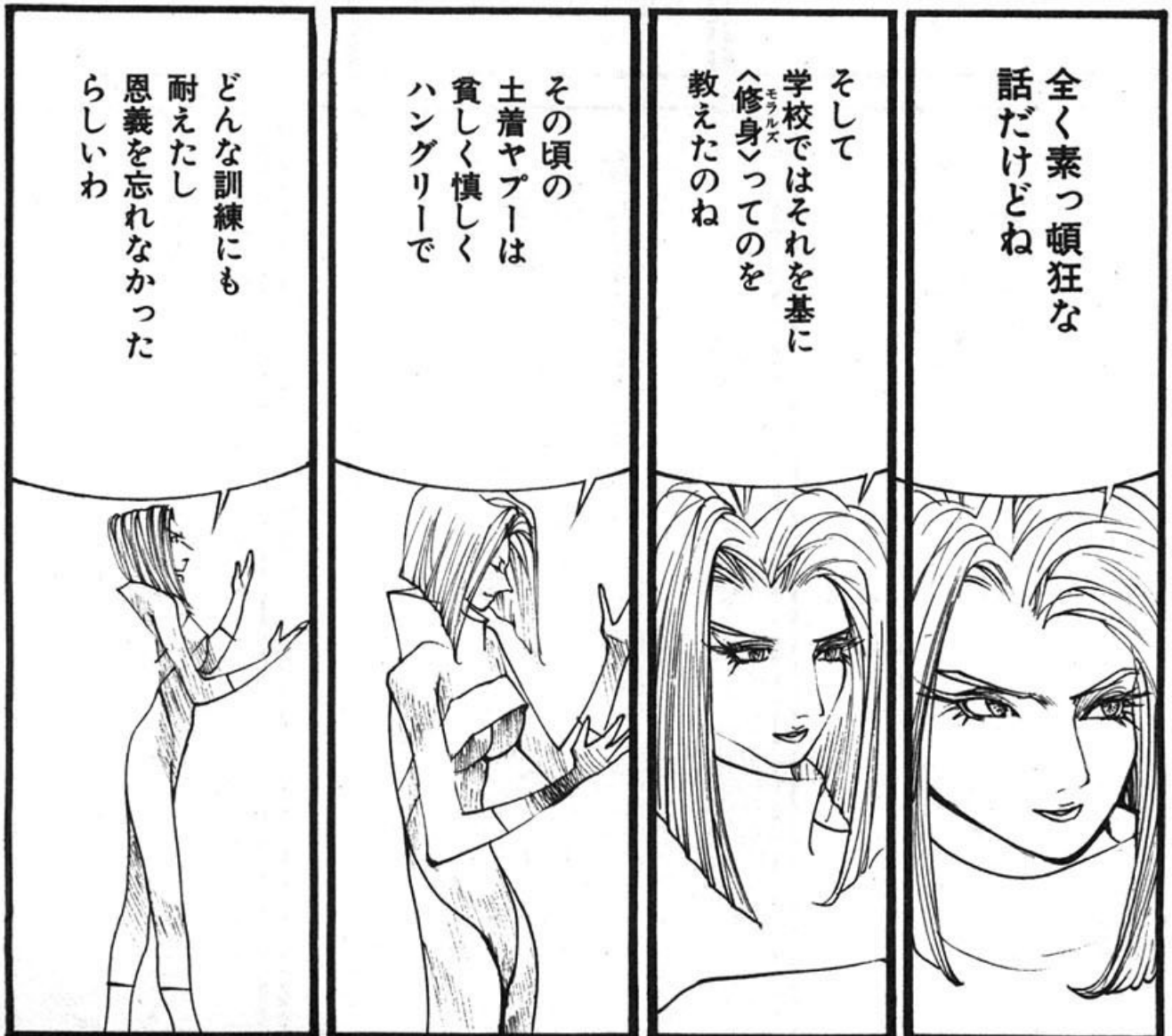
役人連中は
認めたがらない
けど

これも
畜人省の
管理政策の誤りよ



前史時代の
邪蛮では
へ教育勅語へって
いって

首長が
道徳の内容を
決めたの



全く素っ頓狂な
話だけどね

そして
学校ではそれを基に
へ修身^{モラルズ}へってのを
教えたのね

その頃の
土着ヤプーは
貧しく慎しく
ハングリーで

どんな訓練にも
耐えられ
恩義を忘れなかった
らしいわ

妾ね
COSYI委員
として



邪蛮人の
低学年教育に
その修身を
復活させたらって
提言してるの



ま
目下ハーフが
首長家はじめ
指導者層を
取り込み始めてて



平等社会が
崩れかかっている
という



いずれは
ハーフ貴族と
純血庶民の
二階級に分れる
なんて予測もある



だけど
ヤブン諸島の
存在意義から
言って



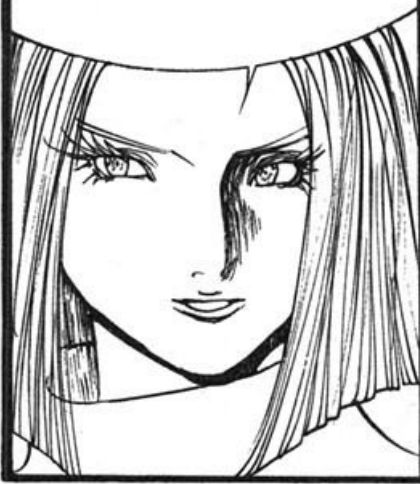
ハイブリッド
混血児を拜む
アルビニズム
白神崇拝を
教えるわけにも
いかないでしょ



教育勅語の復活も
下層階級だけ相手じゃ
発布しにくいと
思うの



ハイフ貴族たちは
純血庶民に
もう一度
窮乏の味を
教え込むだろうし



庶民精神教育綱領も
作られて

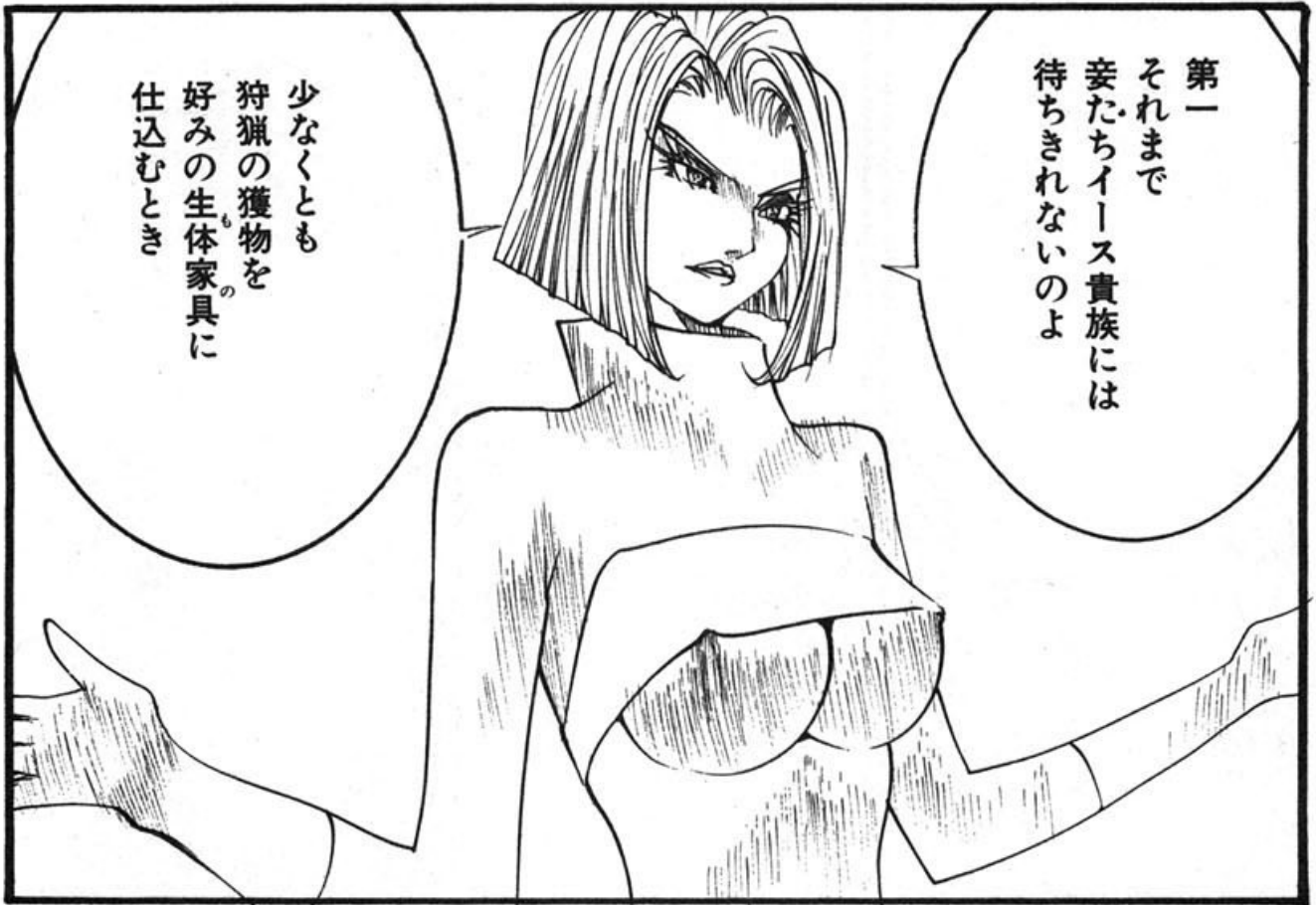


いずれは
甘やかされてない
昔の土着ヤプーが
また生れるかも
知れないけど



希望的観測だし





第一
それまで
妾たちイース貴族には
待ちきれないのよ

少なくとも
狩猟の獲物を
好みの生体家具に
仕込むとき



つまり
飽食でたるんだ
今のヤプン諸島を
締め直し



肝心なのは
ハングリー精神だから
へ修身教育で
活を入れようって
わけ

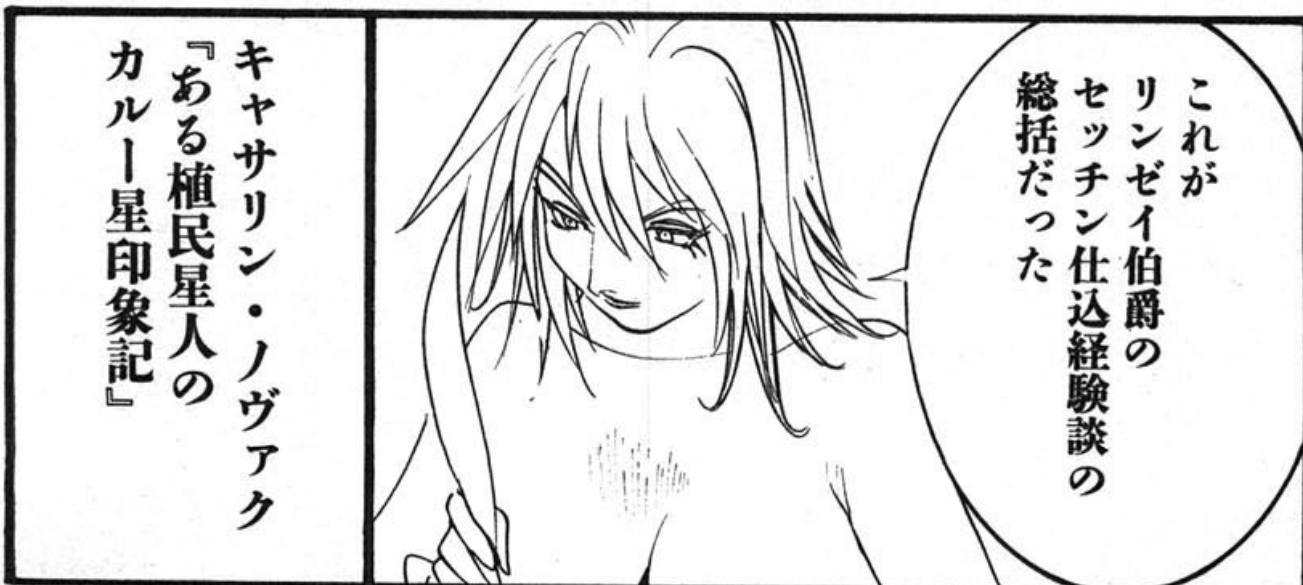


当り外れの不満を
持たなくて済むように
一日も早く
したいと思う



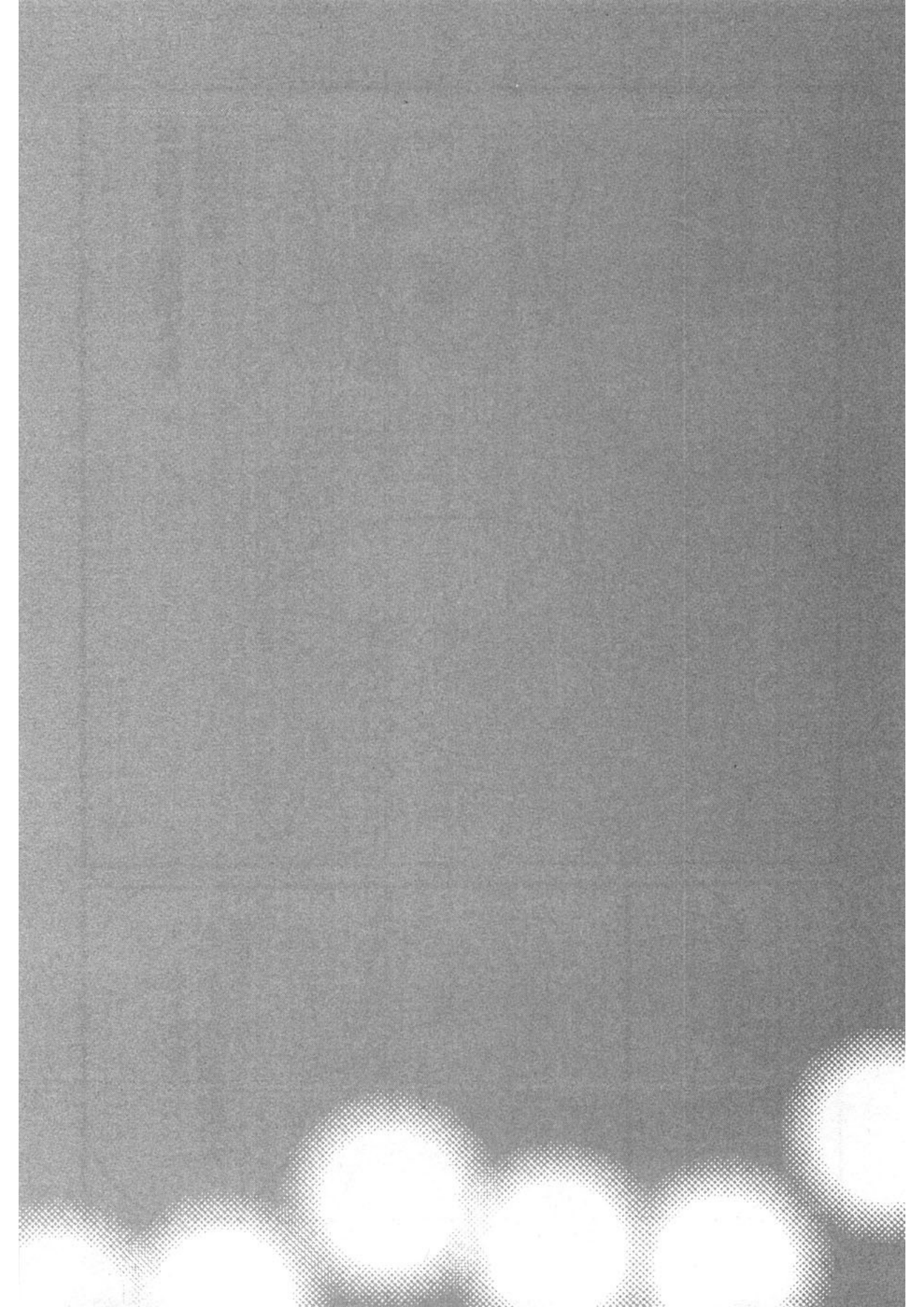
だらけた邪^ヤ蛮^マ人を
一掃する

へ修身教育復活に関する
リンゼイ提言の
狙いはそれよ



これが
リンゼイ伯爵の
セツチン仕込経験談の
総括だった

キャサリン・ノヴァク
『ある植民星人の
カルー星印象記』



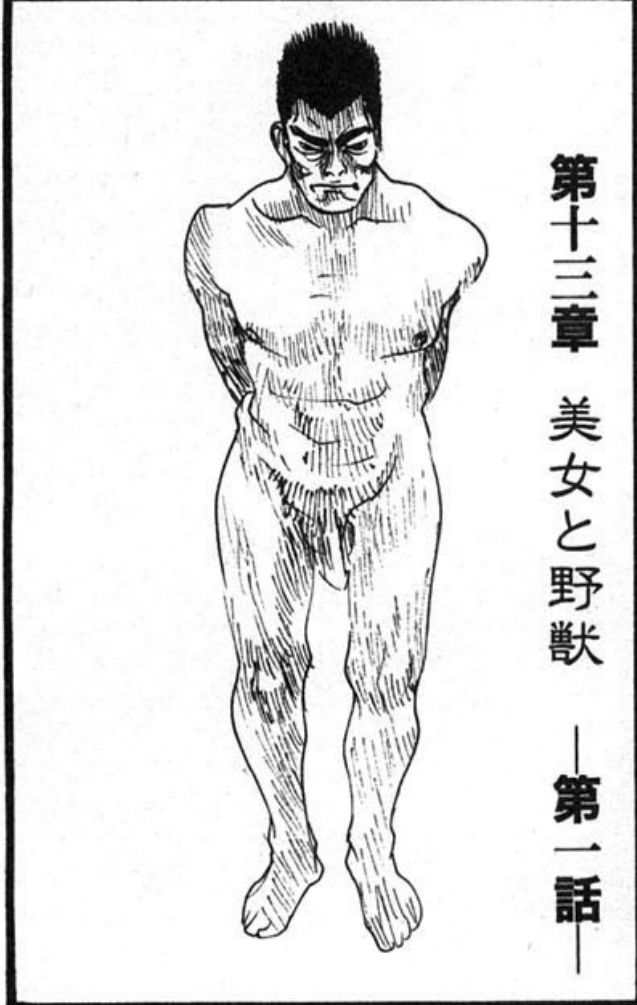
YAPOO, THE HUMAN CATTLE



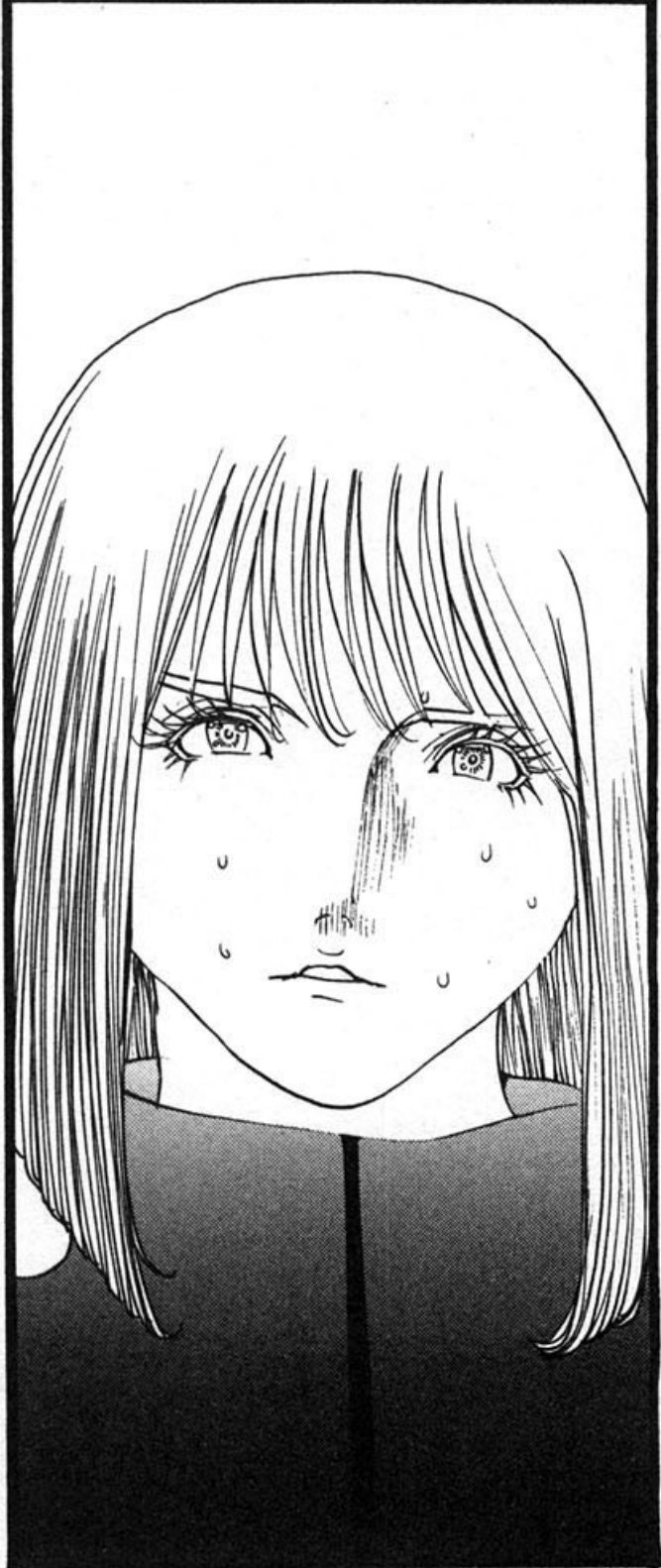
当然
服を着ているもの

クララは
仰天して
声も
出ない

と
思い込んでいた
鱗一郎りんいちろうが
一糸まとわぬ姿で
戸口に立っている
のだ……



第十三章 美女と野獣 — 第一話 —



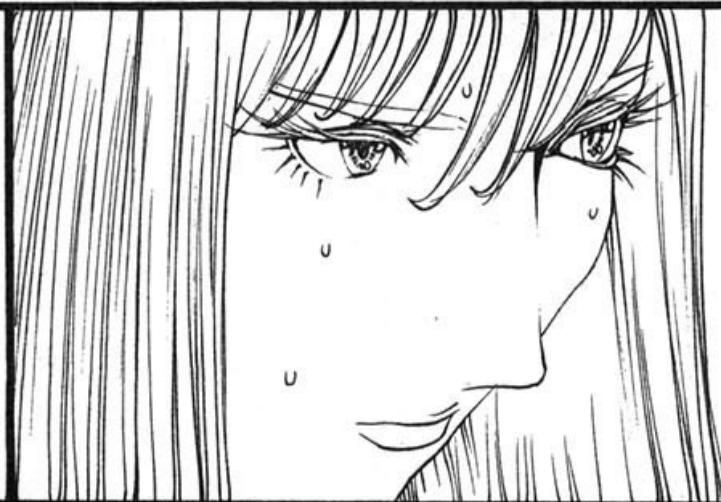
—じゃあ
あのとき
別れてから

ずっと裸のまま
置いとかれたの
かしら？

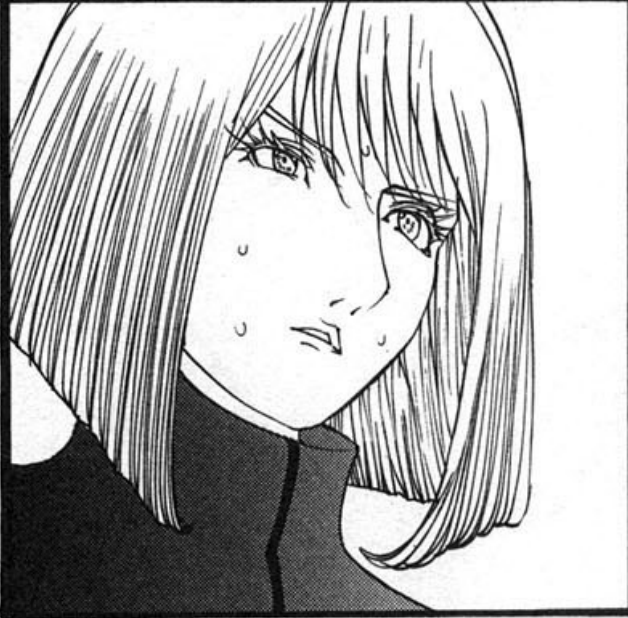
セシルは
服を着せるような
ことをいつてたが
……



一瞬
怪しんだとき



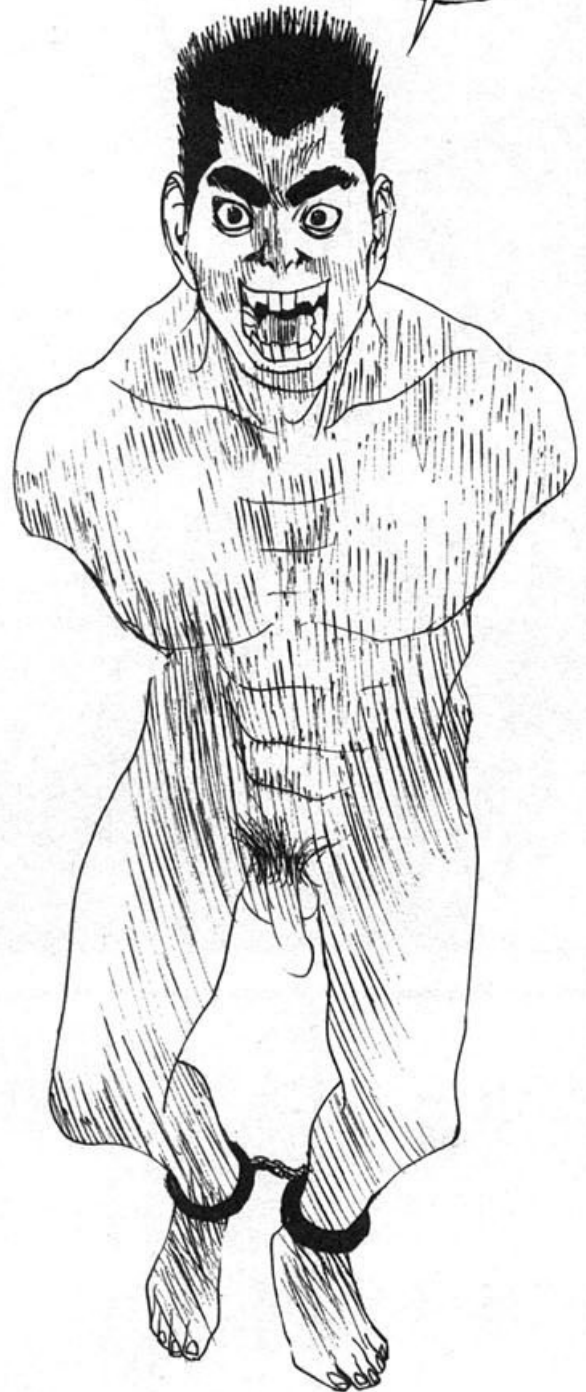
という
喜ばしげな
呼び声が
あがった



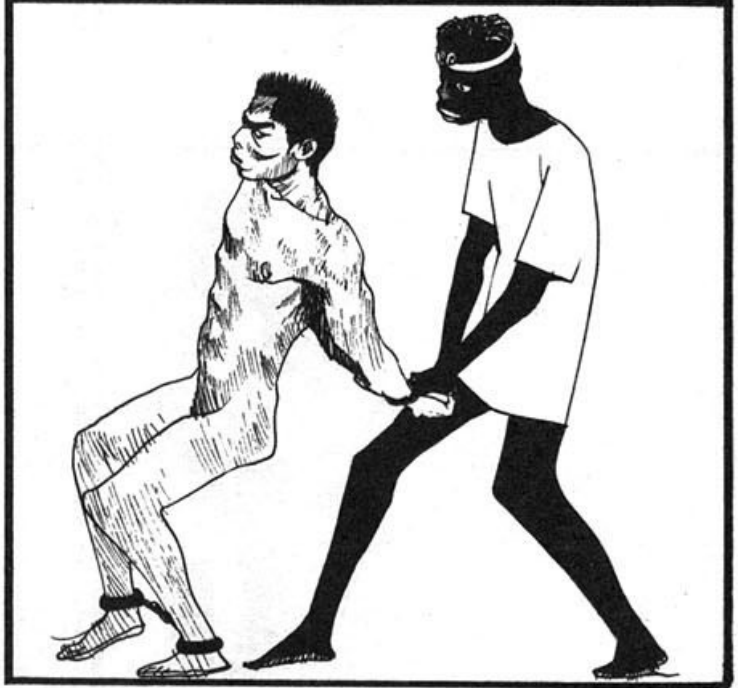
と
見るや
鱗一郎は
急に
後じさった



クラララ!



——と
見えたのは
鎖を握る黒奴に
前進を
さえぎられて
逆に
引き戻された
からだった



いつたい
何としたことか！



後ろ手錠
いや
足錠まで！



頭では
鱗一郎に対して
否定的評価を
強くしてきていた
彼女ではあったが

今
その哀れな姿を
目前にすると
憐憫れんぴんの情が
一時にわいた



女心とは
不思議なもので
ある

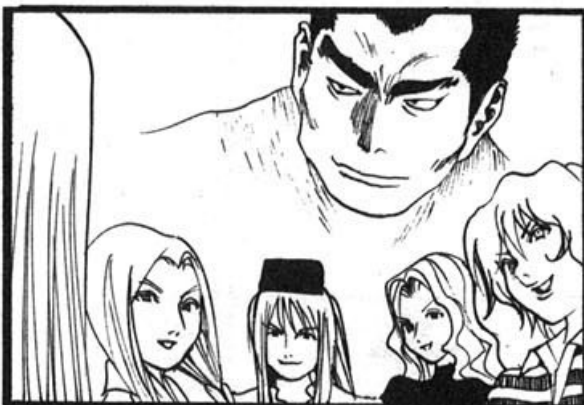


こうして
目の前に
現われれば

何ととっても
半年の間
あんなに
愛し合ってきた
仲である



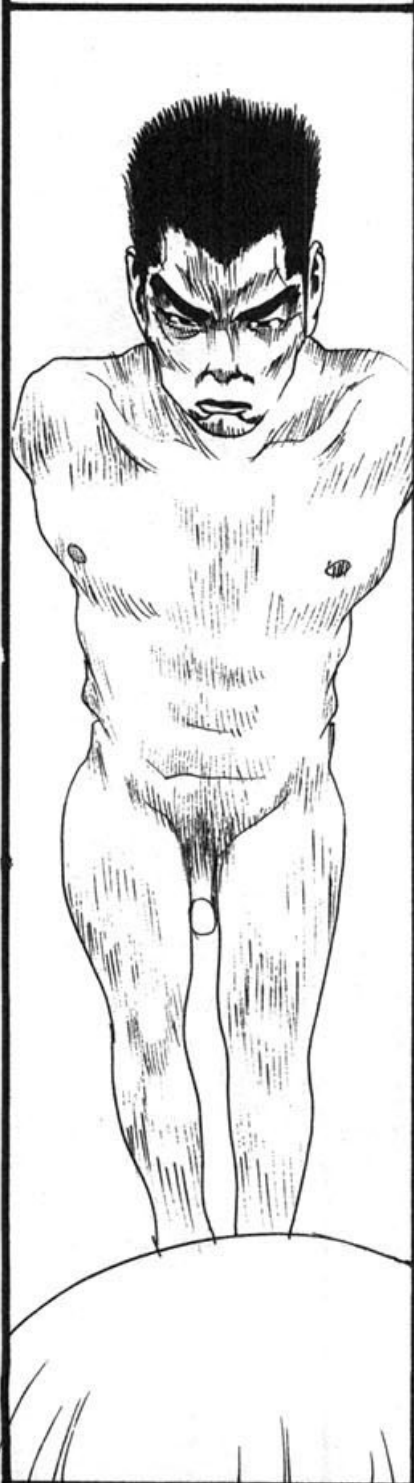
ヤブーだと
聞かされ



そうか



と
疑ってはいても



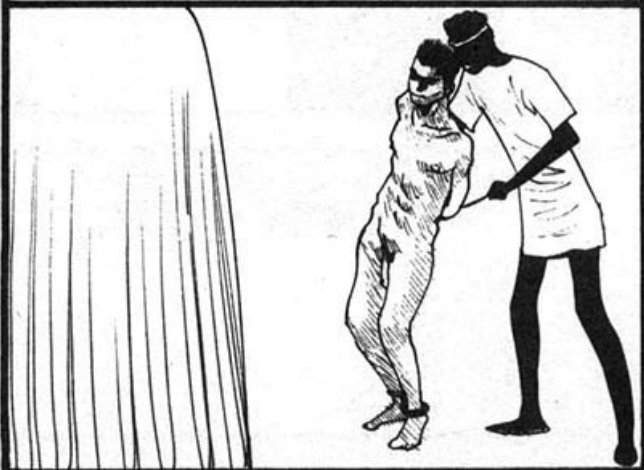
恋愛から
婚約までの
いろいろな
思ひ出が
湧くし



今まで見た
ヤプーと違って



少しも
奇形的な
ところのない
肉体を
目にする

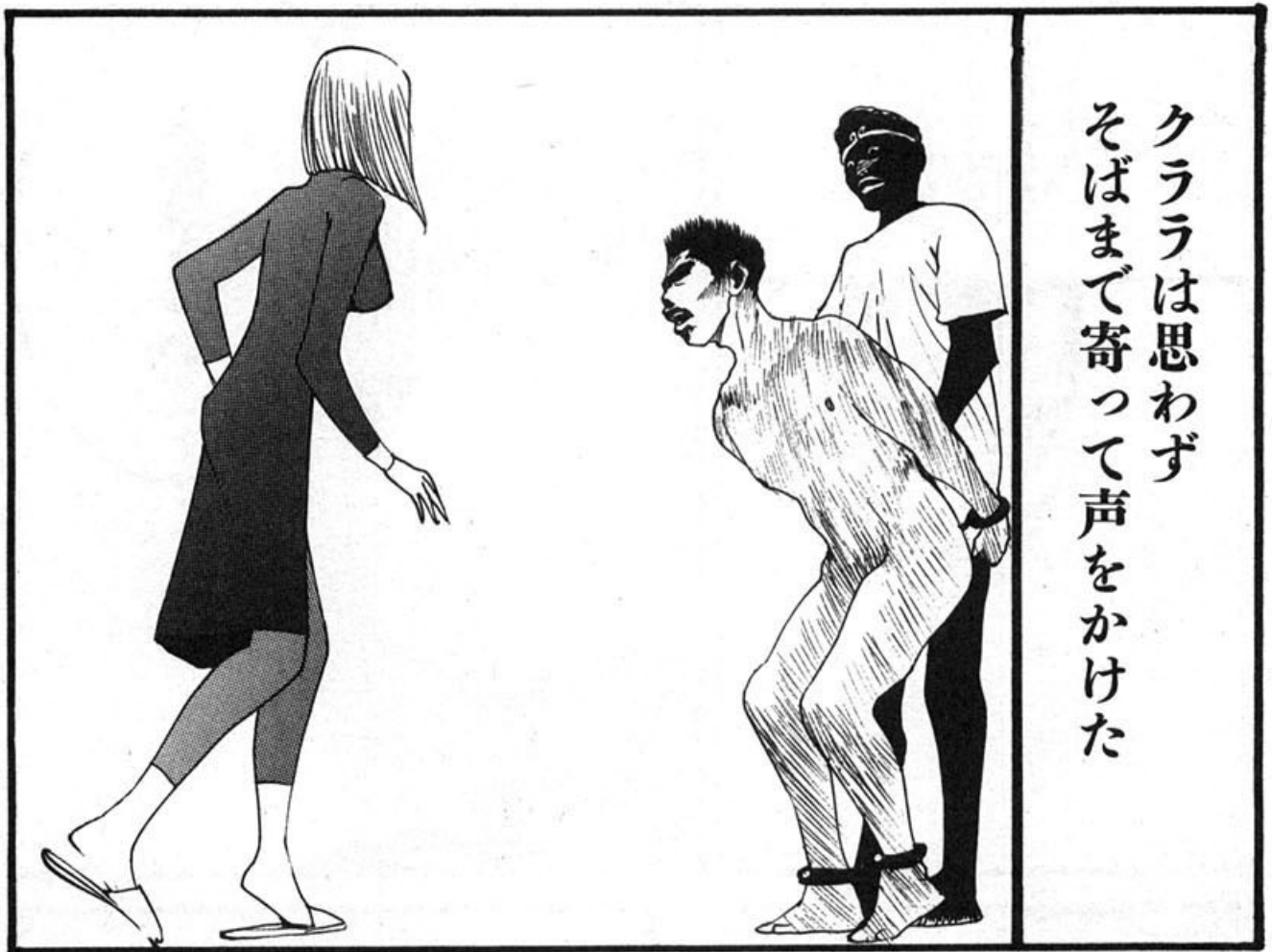


皮膚が
黄色いだけで

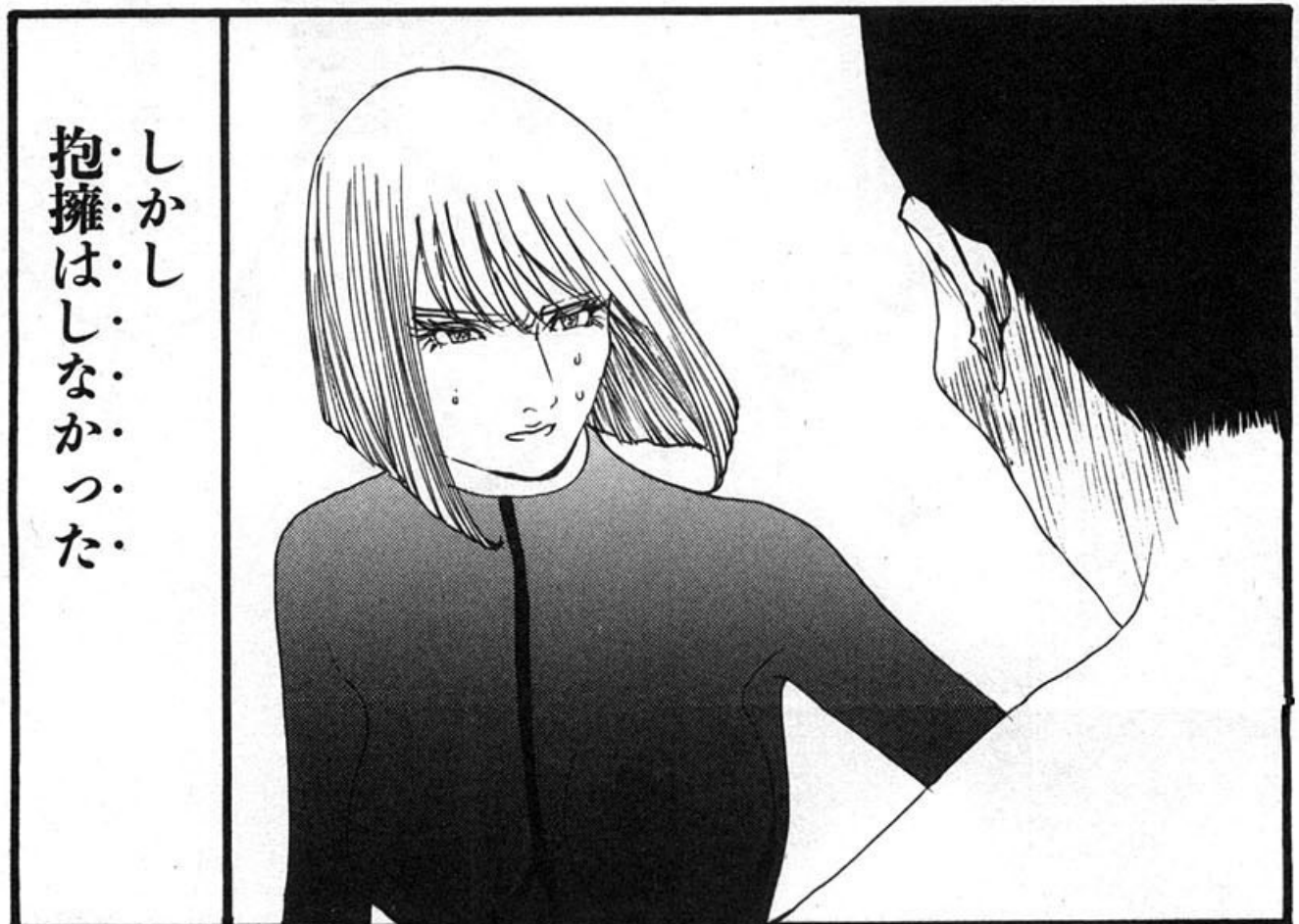


なぜ
とんでもない
作りごとを
聞かされた
気がする



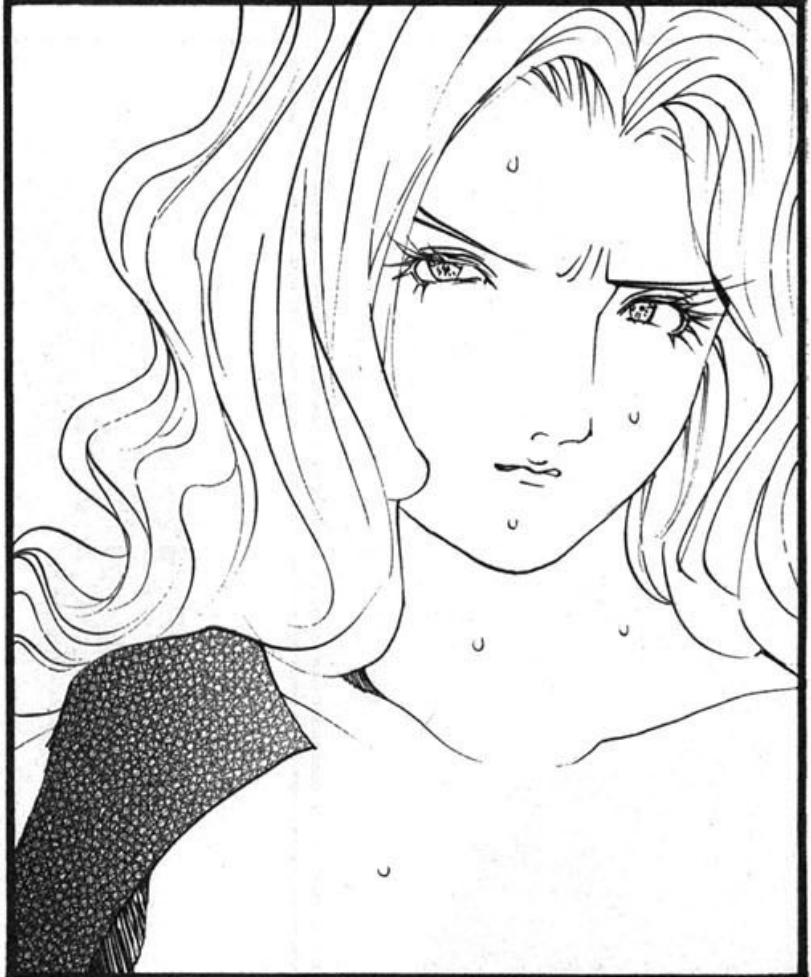


クララは思わず
そばまで寄って声をかけた



しかし
抱擁はしなかつた

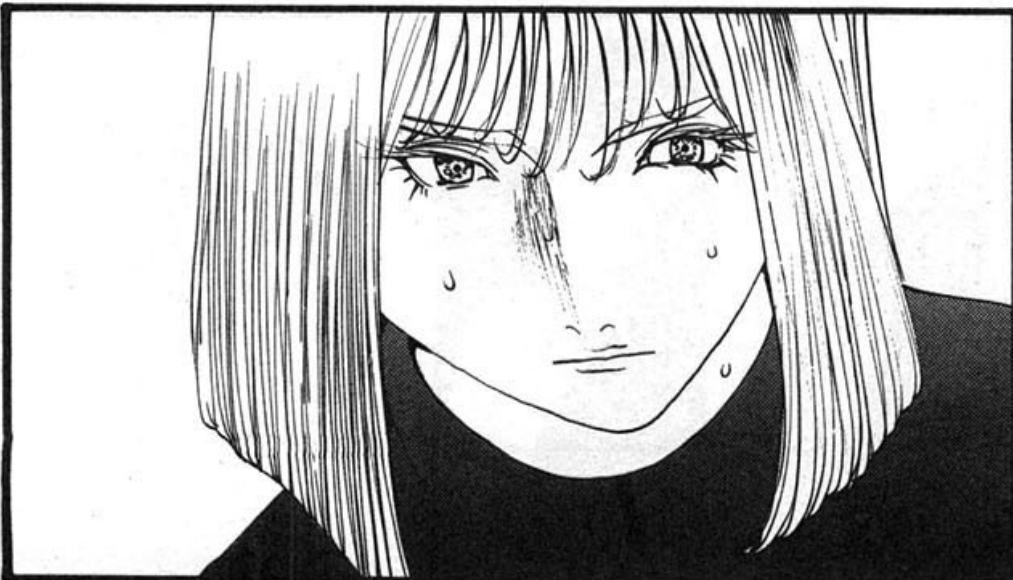
先に
円盤内で
ポリーリンの
視線にも
かまわず



せつぶん
接吻した
ときの
クララとは



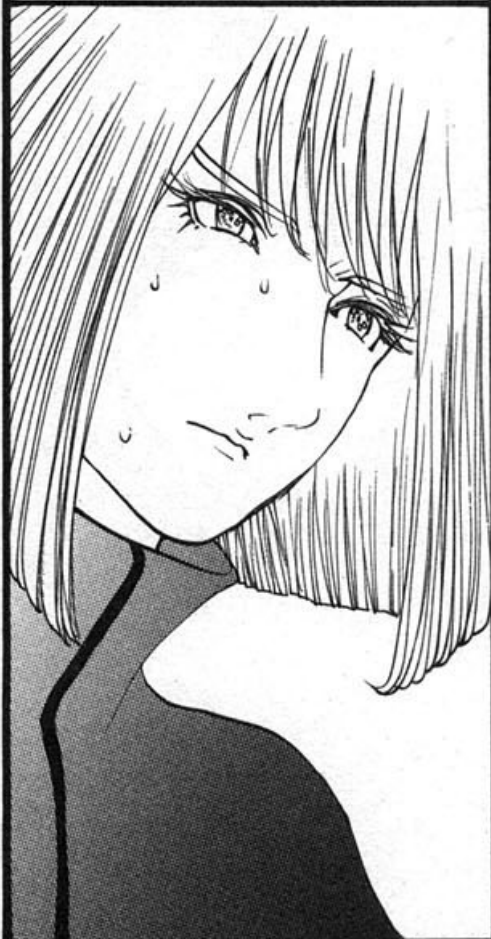
微妙に
変化していた



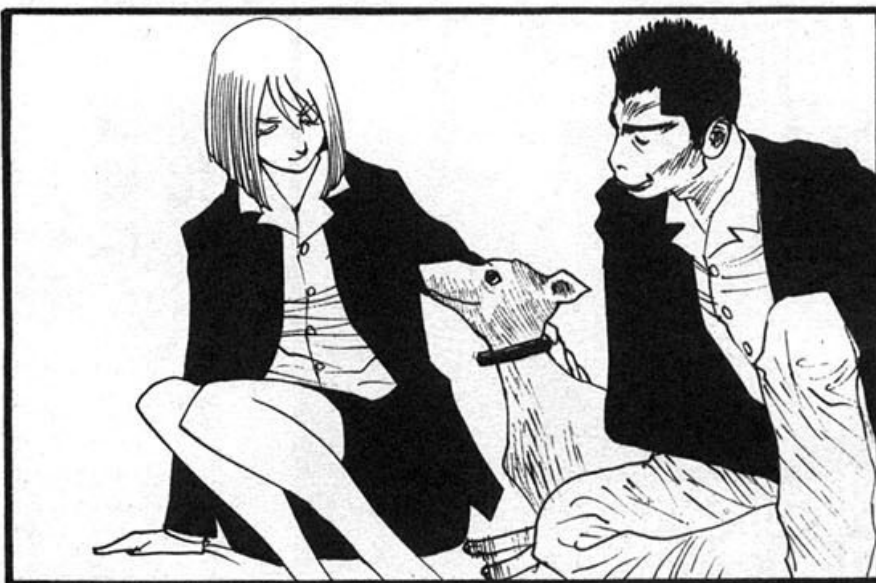
鱗一郎が
もう一度前へ
出ようとして
邪慳じやくけんに
引き戻され



鎖が
チャリチャリと
音を立てた



鱗一郎から
愛犬タロを
貰もらいうけた
当座は

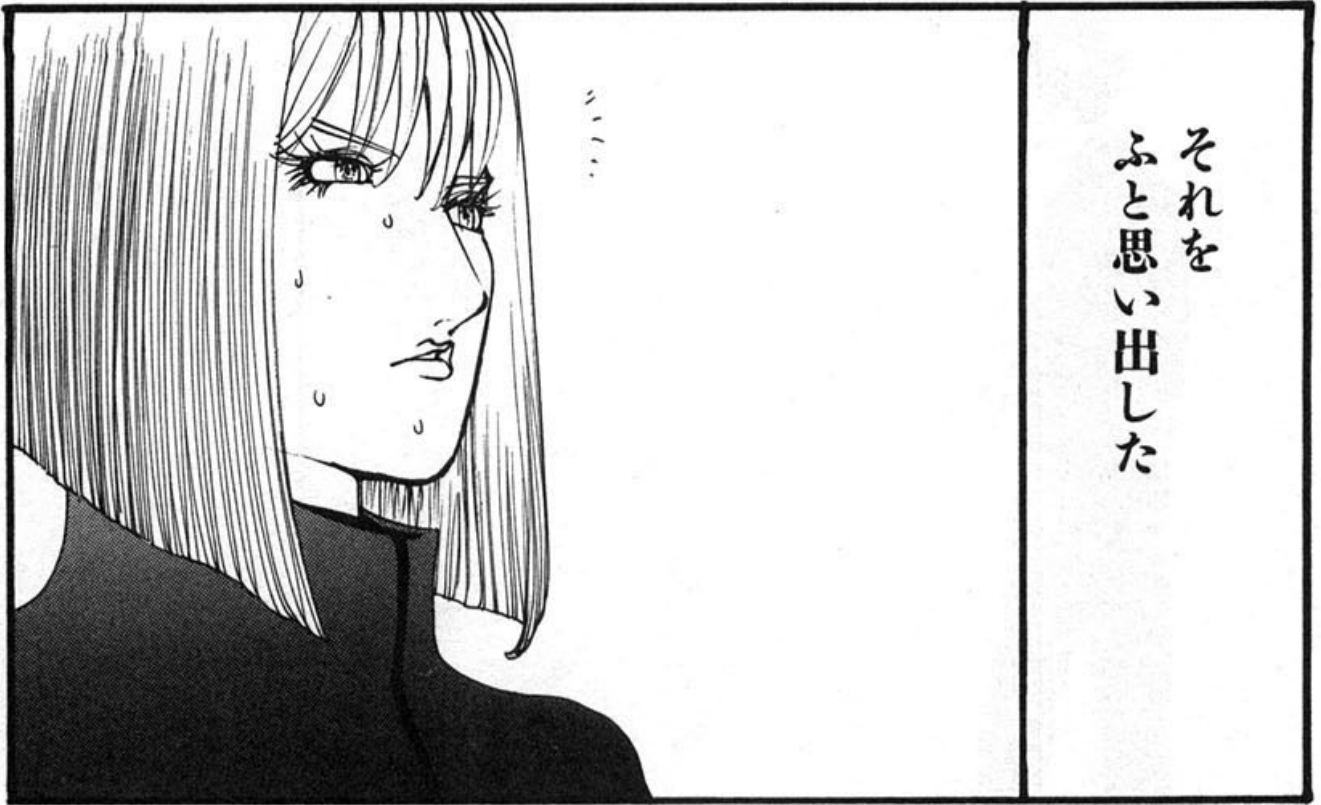


タロが旧主人を見て
そのほうに寄ろうと
勇むのを

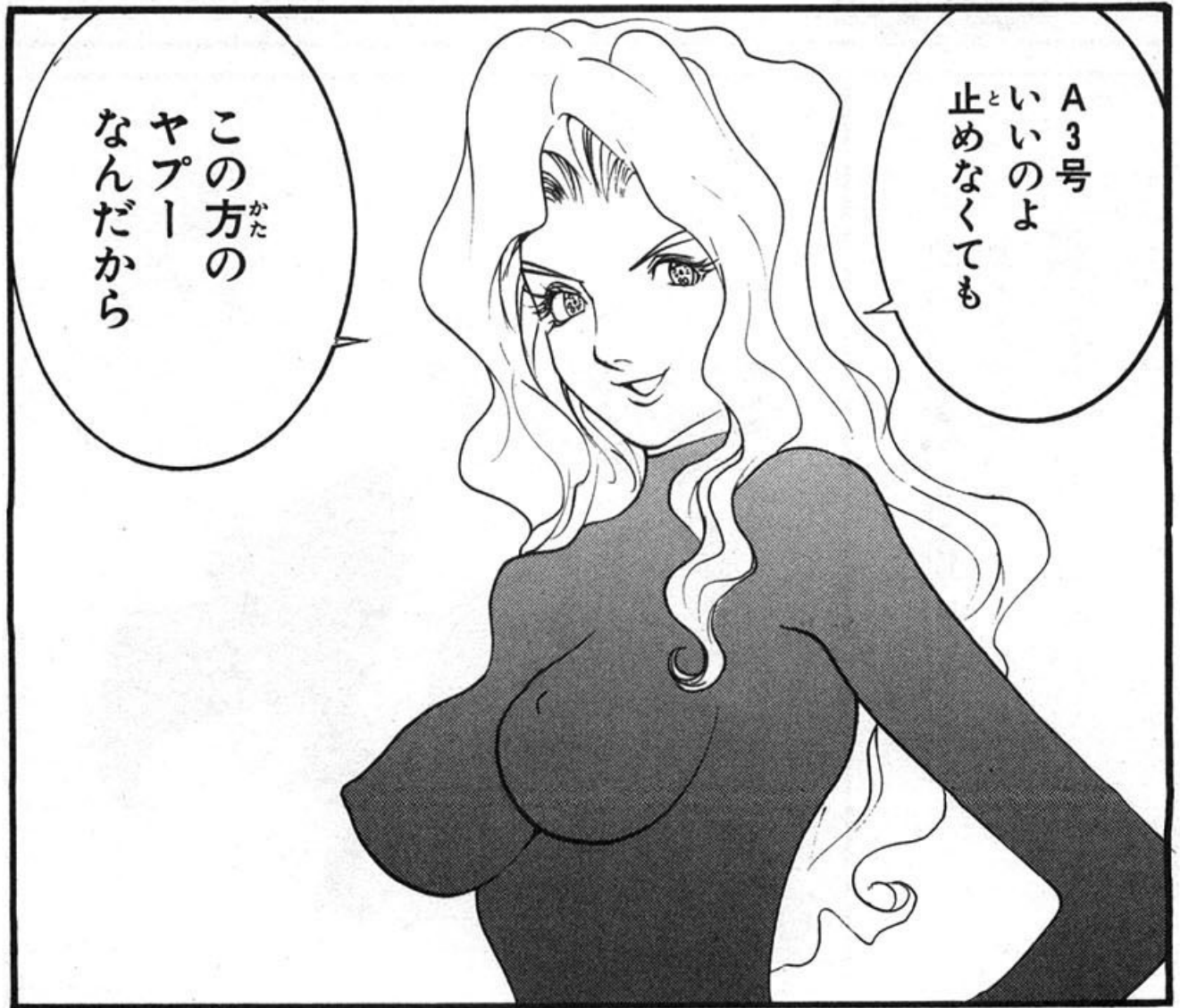


クララが引き止めて
よくこらうして
鎖を鳴らしたものだ





それを
ふと思いだした



A3号
いいのよ
止めなくても

この方^{かた}の
ヤプー
なんだから

YAPOO, THE HUMAN CATTLE 7 END

作画 **江川達也** 原作 **沼正三**

発行・幻冬舎コミックス 発売・幻冬舎

BIRZ COMICS

POO, THE HUMAN CATTLE

gawa Tatsuya x Numa Shozo

家畜 人

かちく
じん

©D693円(本体価格260円)②～⑦620円(本体価格590円)

(一)～(七)

絶賛発売中



衝 撃 の コ

西暦196X年、将来を誓い合った恋人同士であるドイツ人・クララと日本人・麟一郎。

二人が乗馬を楽しんでいたそんなある日、

突如見た事もない飛行物体が目の前に墜落する。

それに乗っていたのは、完璧な美貌を持つ白人女性・ポーリーン。

彼女は日本人が生体手術により、生体家具、肉便器などあらゆる「物」に加工され、

宇宙帝国イースを支える家畜「ヤブー」として生きる

二千年後の未来世界からタイムドライブしてきたのだった。

船内で気を失ったポーリーンを助けてしまったクララと麟一郎。

恋人同士の輝く未来は、この時を境にあらゆる方向へと流れ出す……！

異才・沼正三が放った
戦後最大のタブーに
鬼才・江川達也が挑む!!

毎月30日発売 ● 490円(本体価格467円)

月刊コミックバーズにて

絶賛連載中!!

バースコミックス

家畜人ヤプー⑦

2006年2月24日 第1刷発行

著者

えがわたつや
江川達也

ぬま しょうぞう
沼正三

発行人

伊藤嘉彦

発行元

株式会社 幻冬舎コミックス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7

電話 03(5411)6431(編集)

発売元

株式会社 幻冬舎

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7

電話 03(5411)6222(営業)

振替00120-8-767643

印刷・製本所

大日本印刷株式会社

検印廃止

万一、落丁乱丁のある場合は送料当社負担でお取替致します。幻冬舎宛にお送り下さい。本書の一部あるいは全部を無断で複写複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

定価はカバーに表示してあります。

©Egawa Tatsuya, Numa Shozo, GENTOSHA COMICS 2006

ISBN4-344-80704-9 C9979 Printed in Japan

幻冬舎コミックスホームページ <http://www.gentosha-comics.net>

この本に関するご意見・ご感想をメールでお寄せいただく場合は、comics@gentosha.co.jpまで。

本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには関係ありません。